

平成29年度 人材力活性化に関する  
調査研究事業

報告書

平成30年3月

総務省地域力創造グループ地域自立応援課  
人材力活性化・連携交流室



## << 目 次 >>

序章 調査の目的	1
1. 調査の目的	1
2. 調査研究事業	1
第Ⅰ章 全国地域づくり人財塾	2
1. 全国地域づくり人財塾とは	2
2. 本年度の実施状況	4
3. 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修	15
第Ⅱ章 全国地域づくり人財塾 課題解決編	18
1. 全国地域づくり人財塾 課題解決編とは	18
2. フィールドワーク型の実施状況	18
第Ⅲ章 人材力活性化研究会	21
1. 人材力活性化研究会とは	21
2. 第21回研究会	22
3. 第22回研究会	25
第Ⅳ章 本年度の調査研究事業の成果と今後の方向性	27
1. 本年度の調査研究事業の成果と課題の確認	27
2. 今後の展開に向けて	32
参考資料1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等	33
1. 全国市町村国際文化研修所（JIAM）編	33
2. 自治大学校編	69
3. 地方開催（IN 福岡）編	106
4. 市町村職員中央研修所（JAMP）編	143
参考資料2. 全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修	190
1. 九州地域フォローアップセミナーチラシ	190
参考資料3. 全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型）	192
1. 受講者アンケート・リーフレット	192

参考資料 4. 人材力活性化研究会 資料 .....	204
1. 第 21 回人材力活性化研究会 .....	204
2. 第 22 回人材力活性化研究会 .....	211

## 序章 調査の目的

### 1. 調査の目的

総務省では、地域活性化の基本的な要素である人材力の強化を図るため、NPO・企業等の「民」と国・地方公共団体等の「官」の連携方策も含めた課題を抽出した上で、地方公共団体や地域活性化に関わる団体等が、人材力の活性化に取り組む場合の参考として用いることを想定して「地域づくり人」を育成するために3つのテキスト（「人材力活性化プログラム」「地域づくり活動のリーダー育成のためのカリキュラム」及び「地域づくり人の育成に関する手引き」）を作成した。そして、これらを「地域づくり人育成ハンドブック」として取りまとめるとともに、地域づくり人育成のための研修会を開催し、地域づくり人の広がりや質の向上を図ってきたところである。

平成29年度においては、これらを基本テキストとした人材力活性化のための講座開催や今後の展開を念頭に置いた調査研究等を行った。

### 2. 調査研究事業

本年度行った調査研究事業は、以下のとおり。

研修事業	調査研究事業
<ul style="list-style-type: none"><li>■全国地域づくり人財塾<ul style="list-style-type: none"><li>●通常開催(JIAM、JAMP、自治大・大学)</li><li>●地方開催(IN 福岡)</li></ul></li><li>■全国地域づくり人財塾 課題解決編<ul style="list-style-type: none"><li>●フィールドワーク型</li></ul></li><li>■全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修<ul style="list-style-type: none"><li>●九州フォローアップセミナー</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■人材力活性化研究会</li></ul>

# 第 I 章 全国地域づくり人財塾

## 1. 全国地域づくり人財塾とは

地域活性化の取組においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切である。

このような状況を生み出すため、地域づくりに関係する行政職員およびNPOなどの民間団体のスタッフ等を対象に、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成する全国地域づくり人財塾を開催している。

平成 28 年度からは、地方開催を併せて年 4 回実施している。

図表 これまで実施された全国地域づくり人財塾

研修名	会場	開催時期
平成 23 年度 地域づくり人育成講座	自治大学校	H23. 8. 8～ 9
	全国市町村国際文化研修所	H23. 12. 13～15
	市町村職員中央研修所	H24. 3. 12～14
平成 24 年度 地域づくり人育成講座	自治大学校	H24. 7. 26～27
	全国市町村国際文化研修所	H25. 1. 9～11
	市町村職員中央研修所	H25. 3. 11～13
平成 25 年度 全国地域づくり人財塾	自治大学校	H25. 8. 1～ 2
	全国市町村国際文化研修所	H25. 9. 25～27
	市町村職員中央研修所	H25. 10. 30～11. 1
平成 26 年度 全国地域づくり人財塾	全国市町村国際文化研修所	H26. 6. 18～20
	自治大学校	H26. 7. 24～25
	市町村職員中央研修所	H26. 10. 29～31
平成 27 年度 全国地域づくり人財塾	全国市町村国際文化研修所	H27. 5. 12～14
	自治大学校	H27. 6. 4～ 5
	市町村職員中央研修所	H27. 10. 28～30
平成 28 年度 全国地域づくり人財塾	全国市町村国際文化研修所	H28. 5. 11～13
	自治大学校	H28. 6. 2～ 3
	IN 仙台	H28. 8. 1～ 2
	市町村職員中央研修所	H28. 10. 26～28
平成 24 年度 「域学連携」地域づくり人 育成支援事業	○最上のまちづくり地域リーダー塾（山形県最上市）12月～1月 ○つくば発！地域力コーディネーター養成講座（茨城県つくば市）2月 ○近江地域づくり人交座（滋賀県彦根市）1月～2月 ○きくち地域づくり人育成塾（熊本県菊池市）11月～2月 ○やんばる地域づくり人育成講座（沖縄県浦添市）11月～2月	

研修名	会場	開催時期
平成 25 年度 地域づくり人育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「たまろくと地域づくり人」育成講座（東京都多摩六市）2月</li> <li>○平成25年度石川地域づくり塾（石川県内）11月～2月</li> <li>○愛媛県中予地域づくり人育成事業（愛媛県中予地域）12月～2月</li> <li>○つくば発！地域力コーディネーター養成講座（茨城県つくば市）2月</li> <li>○「域学連携」地域づくり人育成支援事業（沖縄県やんばる地域）11月～2月</li> </ul>	

図表 本年度実施した全国地域づくり人財塾

研修名	会場	開催時期
平成 29 年度 全国地域づくり人財塾	全国市町村国際文化研修所	H29. 5. 10 ～ 12
	自治大 学校	H29. 6. 1 ～ 2
	IN 福岡	H29. 9. 21 ～ 22
	市町村職員中央研修所	H29. 10. 25 ～ 27

## 2. 本年度の実施状況

### (1) 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 編

#### ①開催概要

- 日時：平成 29 年 5 月 10 日（水）～12 日（金）
- 場所：全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）
- 参加者数：54 名（自治体職員 49 名、その他 5 名）
- 研修概要：地域づくりに取り組む市区町村等職員及び NPO 関係者等を対象とした 2 泊 3 日の合宿型研修。

人材力活性化研究会構成員および地域で活躍する実践者を外部講師とした座学式の講義のほか、講師との直接対話やグループワーク、人財塾修了生の事例報告を通じて、地域リーダーとして必要な心構えやノウハウ等を学習するとともに、個人ワークとして研修終了後に「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」（行動宣言）を取りまとめた。

#### ②カリキュラム（敬称略・役職は当時のもの）

月日	時間	講義内容
5 月 10 日 (水)	11:00～13:00	入寮受付・昼食 開講・オリエンテーション
	13:00～13:15	【導入】 「人材力の活性化について」 飯塚 秋成 講師（総務省 人材力活性化・連携交流室室長）
	13:15～14:10	【実践事例】 『『創業の人財』と『後継の人財』』 富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長）
	14:25～15:35	【実践事例】 「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長）
	15:50～17:00	【実践事例】 「大学・調理専門学校との連携事業」 寺本 英仁 講師（島根県邑南町商工観光課商工観光係）
	17:00～17:30	【グループ・トーク】 本日の振り返り
	18:00	交流会



月日	時間	講義内容
5 月 11 日 (木)	9:00~9:25	【グループトーク】
	9:25~10:35	【実践事例】 「地域づくりのマネジメント ～つながりをつくり創発を生む仕組みづくり～」 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学 SFC 研究所所長／総合政策学部教授）
	10:50~12:00	【実践事例】 『『能力を磨く』という人材育成の考え方』 玉沖 仁美 講師（株式会社紡代表取締役）
	13:00~14:10	【講師との直接対話】 飯盛 義徳 講師 （慶應義塾大学 SFC 研究所所長／総合政策学部教授）
	14:25~15:35	富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長） 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長） 玉沖 仁美 講師（株式会社紡代表取締役）
	15:50~17:00	前神 有里 講師（愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課介護予防係 長） 牧野 益巳 講師（総務省地域力創造アドバイザー）
	17:00~17:30	【グループトーク】 本日の振り返り
	19:00~20:00	【講師との直接対話】
5 月 12 日 (金)	9:00~9:25	【グループトーク】
	9:25~10:35	【事例報告】 全国地域づくり人財塾既受講者からの報告 鈴木 晃子 講師（栃木県栃木市総合政策部地域づくり推進課） 宇都宮 万幸 講師（愛媛県西予市野村支所産業建設課産業係）
	10:50~12:00	【事例報告】 全国地域づくり人財塾既受講者からの報告 小田 圭介 講師（静岡県裾野市議会議員） 高本 恵三 講師（兵庫県朝来市市長公室あさご暮らし応援課）
	13:00~14:10	【成果発表と振り返り】
	14:10~14:40	研修アンケート記入、閉講

### ③受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

#### （研修時間・研修内容関係）

- 全体的にコマ数が多い。時間的な余裕がない。
- 一つのテーマにもう少し時間を割いて、グループワークなどをしてはどうか。
- 講義を聴いてから直接対話をしてほしい。
- グループトークがもう少しあってもよかった。
- 研修最後の宣言は、大きな輪になり一言ずつ全員が宣言してはどうか。

#### （ステップアップ研修の要望等）

- 現地での実践研修。
- 参加者から提案された事例、現に取り組んでいる活動・課題についてのグループ討議。
- まちづくりの目的別（自治会支援、産業振興、福祉等）に分けてはどうか。
- 失敗例を取り上げてほしい。
- メンバー間で話し合えるフォローアップ研修。



修了生の事例報告（鈴木講師）



修了生の事例報告（宇都宮講師）



修了生の事例報告（小田講師）



修了生の事例報告（高本講師）

#### ■参考資料

参考資料1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等

1. 全国市町村国際文化研修所（JIAM）編 受講者アンケート：P33～

## (2) 自治大学校編

### ①開催概要

■日時：平成 29 年 6 月 1 日（木）～2 日（金）

■場所：自治大学校（東京都立川市）

■参加者数：97 名（自治体職員 95 名、その他 2 名）

■研修概要：自治大学校「政策専門課程」受講生を対象とした研修。

人材力活性化研究会構成員および地域で活躍する実践者を外部講師とした実践事例の講義を通じて、地域リーダーとして必要な心構えやノウハウ等を学習した。

### ②カリキュラム（敬称略・役職は当時のもの）

月日	時 限	時間	講義内容
6 月 1 日 （木）	3 限 目	13：00 ～ 14：10	【開講挨拶】（13：00～13：10） 時澤 忠（総務省 地域力創造審議官） 【合同講義】（13：10～14：10） 「創造の人財と後継の人財」 富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長）
	4 限 目	14：25 ～ 15：35	【合同講義】 「人口減少時代の自治体の役割・公務員の役割 ～従来制度からの転換と官民連携～」 関 幸子 講師（株式会社ローカルファースト研究所代表取締役）
	5 限 目	15：50 ～ 17：00	
6 月 2 日 （金）	1 限 目	9：25 ～ 10：35	【合同講義】 「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長）
	2 限 目	10：50 ～ 12：00	【合同講義】 「発明の時代によろこそ！～21 世紀の都市再生戦略のつくり方～」 西村 浩 講師（株式会社ワークヴィジョンズ代表）
	3 限 目	13：00 ～ 14：10	
	4 限 目	14：25 ～ 15：35	【合同講義】 「世界農業遺産や CSV を通じた持続可能な地域づくり」 大和田 順子 講師 （一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス共同代表）
	5 限 目	15：50 ～ 17：00	【合同講義】 「地域づくりのマネジメント」 飯盛 義徳 講師 （慶應義塾大学 SFC 研究所所長／総合政策学部教授）

### ③受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

#### （研修時間・参加内容関係）

- 1 コマ 70 分は短い。時間が短い。（多数）
- 自分の考えをまとめる時間、振り返りの時間がほしい。

#### （ステップアップ研修の要望等）

- 現地研修、フィールドワーク。（多数）
- 受講生の地域の取組・施策・現状・課題についての討議。（同旨多数）
- また、各講師からどのような切り口で対応すべきか指導してほしい。
- 今回の研修を受けての実践事例の発表。
- 日本の最前線の取組事例、世界の事情や先進事例。
- 実践計画の作成、失敗談とそのフォローアップ方法。
- 成功事例を詳しく掘り下げてほしい。

#### ■参考資料

- 参考資料 1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等
2. 自治大学校編 受講者アンケート：P69～

### (3) 地方開催 (IN 福岡) 編

#### ①開催概要

■日時：平成 29 年 9 月 21 日 (木) ～22 日 (金)

■場所：福岡国際会議場

■参加者数：85 名

■研修概要：地域づくりに取り組む市区町村等職員及び NPO 関係者等を対象とした 1 泊 2 日の集合型研修。

人材力活性化研究会構成員および地域で活躍する実践者を外部講師とした実践事例の講義と、講師との直接対話を通じて、地域リーダーとして必要な心構えやノウハウ等を学習した。

#### ②カリキュラム (敬称略・役職は当時のもの)

月日	時間	講義内容
9 月 21 日 (木)	12:00～12:45	受付
	12:45～13:00	開講・オリエンテーション
	13:00～13:30	【導入講義】 「人材力の活性化について」 三宅 啓之 講師 (総務省人材力活性化・連携交流室)
	13:40～14:40	【講義】 「“地域人財が育つ” 地域資源融合型公園経営」 富永 一夫 講師 (特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長)
	14:55～16:05	【講義】 「地域再生 ～行政に頼らない地域づくり～」 豊重 哲郎 講師 (柳谷自治公民館館長)
	16:20～17:30	【講義】 「民間まちづくり会社の挑戦 ～御祓川がつなぐマチ・ミセ・ヒト～」 森山 奈美 講師 (株式会社御祓川代表取締役)
	18:00～19:30	交流会

月日	時間	講義内容
9 月 22 日 (金)	8:20～8:50	受付
	8:50～9:00	オリエンテーション
	9:00～10:10	【講義】 「人材×組織×マーケティングによる地域活性化戦略」 井手 修身 講師（アイデアパートナーズ株式会社代表取締役/ 特定非営利活動法人アイデア九州・アジア理事長）
	10:25～11:35	【講義】 「地域づくりのマネジメント-つながりをつくり創発を生む仕組みづくり」 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学 SFC 研究所所長／総合政策学部教授）
	12:30～14:00	【講師との直接対話】 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学 SFC 研究所所長／総合政策学部教授） 富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フェュージョン長池会長） 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館館長）
	14:15～15:45	森山 奈美 講師（株式会社御祓川代表取締役） 飛田 章 講師（総務省人材力活性化・連携交流室室長）
	16:00～16:30	振り返り・閉講
	16:40～17:30	課外活動

### ③受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

#### （研修時間・参加人数関係）

- 研修の申し込みの案内が遅かったので行政への連絡を早めをお願いしたいと思いました。
- 講義の後に直接対話の講師を選択できればもっと良かった。
- 受講者の中には途中集中力がきれてあからさまに携帯をされる人がおり、見ていて残念でした。募集の段階でレポート提出などされてはいかがでしょうか。見られる方々は大変だと思いますが…。

#### （ステップアップ研修の要望等）

- 受講生の活動について講師がアドバイスを行う形。受講生のプランも講師のアドバイスも共有したい。
- 地域おこし協力隊員の成功例、現在活動して成功されていることなども伺いたいと思いました（協力隊員として）
- グループワークを多くとり入れるなど、実際に考える時間も（手を動かす？）あればもっとよいのではないかと思います。
- 実地調査や政策提言などを行う研修

#### （フォローアップについて）

- 今回の経験がその後どう生かされたかの事例発表会を開催する。



講義（富永講師）



講義（豊重講師）



講義（井出講師）



直接対話（飯盛講師）



直接対話（森山講師）



課外活動（富永講師）

■参考資料

参考資料1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等

3. 地方開催（IN福岡）編 受講者アンケート・リーフレット：P106～

#### (4) 市町村職員中央研修所（JAMP）編

##### ①開催概要

■日時：平成29年10月25日（水）～10月27日（金）

■場所：市町村職員中央研修所（千葉県千葉市）

■参加者数：56名

■研修概要：地域づくりに取り組む市区町村等職員及びNPO関係者等を対象とした2泊3日の合宿型研修。

人材力活性化研究会構成員および地域で活躍する実践者を外部講師とした座学式の講義のほか、講師との直接対話やグループワーク、人財塾修了生の事例報告を通じて、地域リーダーとして必要な心構えやハウツー等を学習するとともに、個人ワークとして研修終了後に「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」（行動宣言）を取りまとめた。

##### ②カリキュラム（敬称略・役職は当時のもの）

月日	時間	講義内容
10 月 25 日 （水）	11：00～11：30	受付
	11：30～12：30	昼食
	12：30～13：00	開講・オリエンテーション
	13：00～14：10	【講義1：導入】 「地域力の創造と人材力の活性化について」 池田 憲治 講師（総務省 地域力創造審議官）
	14：25～15：35	【講義2：実践事例】 「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長）
	15：50～17：00	【講義3：実践事例】 「福祉施設の地域との共生・地域づくりへの貢献について」 山田 一久 講師（社会福祉法人スマイリング・パーク理事長）
	17：00～17：30	【グループ・トーク】 本日の振り返り
	18：00～	交流会



月日	時間	講義内容
10 月 26 日 (木)	9:00~9:25	【グループトーク】
	9:25~10:35	【講義4：実践事例】 「地域づくりのマネジメント-つながりをつくり創発を生む仕組みづくり」 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学 SFC 研究所所長／総合政策学部教授）
	10:50~12:00	【講義5：実践事例】 「“地域人財が育つ” 地域資源融合型公園経営」 富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長）
	13:00~14:10	【講師との直接対話】 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学 SFC 研究所所長／総合政策学部教授） 富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長）
	14:25~15:35	豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長） 玉沖 仁美 講師（株式会社紡代表取締役）
	15:50~17:00	前神 有里 講師（愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課介護予防係長） 牧野 益巳 講師（一般社団法人日本ティーチャーズ・イニシアティブ事務局長）
	17:00~17:30	【グループ・トーク】 本日の振り返り
	19:00~20:10	【課外（講師との直接対話）】
10 月 27 日 (金)	9:00~9:25	【グループトーク】
	9:25~10:35	【事例報告】 佐々木 絵里 講師（青森県弘前市相馬総合支所）
	10:50~12:00	【事例報告】 安富 圭司 講師（徳島県佐那河内村総務企画課）
	13:00~14:10	【成果発表と振り返り】
	14:10~14:20	閉講

### ③受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

#### （研修時間・研修内容関係）

- 3日間という短い研修であるため、もう少し長く研修をしたいと思った。講師の話がたくさん聞きたい。
- 講師との直接対話について、もっと多くの方と対話をしたかった。また、対話の際に初めてお会いする講師についてはその方の活動内容の説明から始まるので対話の時間が短く残念だった。
- 直接対話の時間は気兼ねなく講師の先生方に質問することができて大変有意義だった。
- 全国各地から意欲あふれる受講生が集い、一緒に勉強ができ、とても刺激的でした。もう少し受講生同士が論議できる時間があれば良かったと思います。
- 講師陣には民間の方が多かったが、参加者に民間の人がいて、違う視点での交流が始まるともっと会の意味合いが変わるし、地域も変わると思いました。

#### （ステップアップ研修の要望等）

- 集落再生の現場での実践研修。1週間～2週間、実際の現場での調査・分析、提案、実施までをロールプレイ。
- 実際に地域づくりが行われている現地を見ながら、試行錯誤の経緯や周囲の雰囲気を感じてみたい。
- 数ヵ月後、数年後と継続的に報告できる活動事例の報告会をやりたい。



会場の様子



講師との直接対話（玉沖講師）



講師との直接対話（牧野講師）



講師との直接対話（前神講師）

#### ■参考資料

- 参考資料1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等
4. 市町村職員中央研修所（JAMP）編 受講者アンケート：P143～

### 3. 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修

#### (1) 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修とは

これまで実施した「全国地域づくり人財塾」の修了生が自主的に集まり、定期的に勉強会（フォローアップ研修）を実施している。

これまで、大きくは東日本と西日本で活動があり、東日本では5年目の本年度に20回目のフォローアップ研修が実施された。

また、地方開催を契機に九州（宮崎県三股町）でフォローアップ研修がスタートした。

フォローアップ研修の活動概要

年度	日時	場所	テーマ	
東日本支部	25	平成 25 年 4 月 17 日	長池公園自然館	あったらいいな、こんな〇〇（市）
		平成 25 年 7 月 19 日		
		平成 25 年 10 月 3 日		
		平成 26 年 1 月 29 日		
	26	平成 26 年 4 月 23 日	長池公園自然館	あったらいいな、こんな〇〇（市）
		平成 26 年 7 月 9 日	地域活性化センター	あったらいいな、こんな〇〇（市）
		平成 26 年 10 月 8 日		よりよい“コーディネーター”とは？
		平成 27 年 1 月 7 日		人財塾での行動宣言の実践状況の報告、抱負
	27	平成 27 年 4 月 15 日	地域活性化センター	今、これから
		平成 27 年 7 月 29 日	長池公園自然館	指定管理者制度の10年を検証する
		平成 27 年 10 月 21 日	ルネこだいら	“みんなが集まる場”とは？
		平成 28 年 1 月 21 日	フォーシーズンズ 志木ふれあいプラザ	地域とかかわる“楽しさ”と“難しさ”
	28	平成 28 年 4 月 28 日	千葉市生涯学習センター	地域の未来イメージをつくる～千葉市の新たな取り組みをケースに～
		平成 28 年 7 月 28 日	山武市ふれあいセンター	図書館が発信する山武市の魅力！
		平成 28 年 11 月 7 日	首都大学東京	学生との交流で、新たな創発を！
		平成 29 年 1 月 20 日	地域活性化センター	人財力とは何か・・・いま再び考える

年度	日時	場所	テーマ
29	平成 29 年 4 月 13 日	長池公園自然館	魅力的な公園づくり
	平成 29 年 7 月 19 日	白鳳大学	市民協働とは何かを考える
	平成 29 年 10 月 17 日	移住・交流ガーデン	関東圏の移住を考える
	平成 30 年 1 月 16 日	首都大学東京	若者参加
西日本	25 平成 26 年 2 月 23 日 ～25 日	愛媛県松山市ほか	移住対策
	26 平成 26 年 10 月 11 日 ～12 日	山口県周南市	若手による地域づくり
	27 平成 27 年 9 月 26 日 ～27 日	大阪府河内長野市	開催地における地域づくり（中山間地の活動拠点整備・運用、地区まちづくり会の活動）
	29 平成 29 年 8 月 5 日～6 日	愛媛県西予市	茶堂について
仙台	28 平成 28 年 8 月 2 日	仙台国際センター	地域と関わる中であなたが大切にしたいことは？
九州	29 平成 30 年 1 月 27 日	宮崎県三股町	地域住民に喜ばれる公園とは。人の交流の起点となる公園活用方法

## （２）本年度の実施状況

### ①全国地域づくり人財塾・東日本支部

- ・平成 24 年度の全国地域づくり人財塾（市町村職員中央研修所編）の修了生が中心となって企画・開催している。
- ・平成 25 年 4 月以降、3 か月毎に開催し、平成 29 年度までに 20 回開催されている。
- ・平成 26 年度末に今後の運営のあり方について意見交換を行った結果、平成 27 年度以降は、参加者による持ち回り担当制により開催されている。
- ・本年度の研修内容は、人材力活性化研究会の構成員や大学とタイアップした講義のほか、参加者が自分の地域についてプレゼンを行い、それに対して他の参加者からフィードバックを行う形式で開催している。

開催時の様子



第 20 回：首都大学東京大杉ゼミとのタイアップ研修

## ②西日本

- ・西日本においては、これまで年1回程度、四国・中国・関西地区において、それぞれテーマを設定して不定期に開催されている。

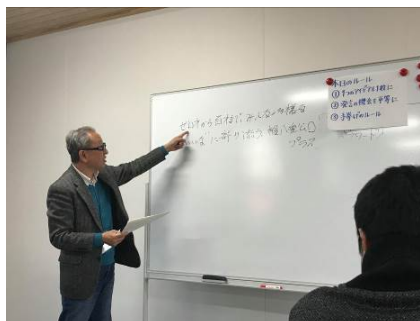
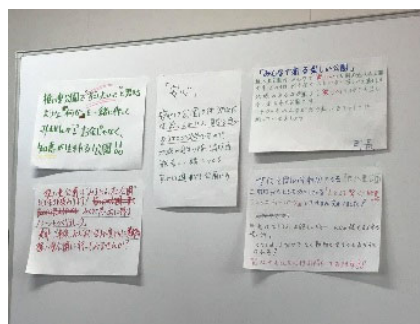
## ③仙台

- ・全国地域づくり人財塾 IN 仙台的開催に合わせて、平成 28 年 8 月 2 日に仙台国際センターで開催し、東北圏の市町村、NPO 職員を中心に 10 名程度が参加した。
- ・平成 26 年度の全国地域づくり人財塾（市町村職員中央研修所編）で活動事例報告を行った修了生が中心となって企画・開催した。
- ・「小さなことでもいいから一歩踏み出す」ことをねらいとして、学んだことの活動や仕事への活かし方を考える場を提供した。

## ④九州

- ・平成 29 年度の全国地域づくり人財塾 IN 福岡を受講生が「課外活動」で他のフォローアップ研修事例を聞き、開催を宣言。富永副座長、東日本支部を主催する神山氏、事務局と相談しながら宮崎県三股町で企画・開催された九州地区のフォローアップ研修。
- ・IN 福岡や過年度の修了生 8 名のほか、宮崎、鹿児島、熊本から 21 名が参加。地元「椎八重公園」の活性化をテーマに、フィールドワーク、グループワークを実施。グループワークでは、宮崎産業経営大学の出山准教授をコーディネーターに住民に使われる公園づくりの検討を行った。

### グループワークの様子



### ■参考資料

参考資料 3. 全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修

1. 九州フォローアップセミナーチラシ：P191～

## 第Ⅱ章 全国地域づくり人財塾 課題解決編

### 1. 全国地域づくり人財塾 課題解決編とは

「全国地域づくり人財塾 課題解決編」は、「全国地域づくり人財塾」の修了生等をはじめ、地域づくりの実践活動を始めた方等を対象に、課題解決の糸口発見や更なる活動へのステップアップの場として「フィールドワーク型」と「ケーススタディ型」を実施している。

本年度は、事前課題とフィールドワークを通じて地域づくりの実行計画を策定する「フィールドワーク型」を開催した。

### 2. フィールドワーク型の実施状況

#### (1) 開催概要

■日時：平成29年12月14日（木）～16日（土）〔2泊3日〕

■場所：高知県高知市、高知県幡多郡黒潮町

■参加者数：3名（自治体職員2名、地域おこし協力隊1名） ※定員：15名

■研修概要：

- ・地域づくりに取り組む市町村等職員及びNPO関係者等を対象とした2泊3日の合宿型研修。
- ・今年度のカリキュラムは、個人ワークを中心に構成。初日の事前課題プレゼンテーションの後、発表テーマに基づく検討テーマを決め、実行計画案を策定する演習を行った。
- ・研修初日と二日目に、地域づくりの現場を訪ねるフィールドワークを行い、地域課題の解決方法等の理解を深めた。
- ・三日目に、フィールドワークの結果等も踏まえて検討した実行計画のプレゼンテーションを行うとともに、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」（行動宣言）も作成し発表した。
- ・このような学習作業を通じて、課題解決力およびプレゼンテーション力の向上を図った。

#### (2) カリキュラム（敬称略・役職は当時のもの）

月日	時間	内容
12月14日（木）	12:30～	集合（高知駅）
	13:00～ 13:50	出発（バス）・開講・オリエンテーション
	14:00～ 15:20	【事前課題の発表】 ①事前課題プレゼンテーション ②講評 飯盛 義徳 講師 （慶應義塾大学総合政策学部学部長補佐／教授）
	15:30～ 17:30	【フィールドワーク①】土佐山アカデミー（高知市） 吉富 慎作 講師 （特定非営利活動法人土佐山アカデミー事務局長）

月日	時間	内容
12月15日 (金)	9:00～ 10:30	【個人ワーク①】 事前課題発表を踏まえて、各自の地域づくり活動について意見交換。
	11:00～ 12:30	【フィールドワーク②】ひろめ市場（高知市） 自由散策
	12:40～ 14:10	移動中、ひろめ市場の参考になった点を共有し、事例ビデオを視聴。
	14:30～ 16:00	【フィールドワーク③】砂浜美術館（黒潮町） 村上 健太郎 講師 （特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館理事長）
	16:30～ 17:30	【個人ワーク②】 事業計画案の作成
	17:40～ 18:40	【個人ワーク③】 事業計画案の作成
12月16日 (土)	9:00～ 10:00	【個人ワーク④】 事業計画案の作成・プレゼンテーションの準備
	10:10～ 11:10	【個人ワーク⑤】 事業計画案の発表
	11:20～ 11:50	【個人ワーク⑥】 行動宣言作成・発表
	12:45～ 13:45	【総括講義】
	13:45～ 13:55	閉講式
	16:10	解散（高知駅）

### （3）受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

#### （研修全般）

- 刺激だらけで、ぐさぐさと刺さるくらい痛い研修だった。その反面、自分の成長につながったとともに、将来こういうことがしたいと明確な夢を持つことができた気がする。本当にありがとうございました。
- 飯盛先生と直接お話できたこと、目黒さんにすばらしい情報をいただいたこと、こうした方が補助金申請通す可能性が高くなりますよ、というアドバイスをいただいたこと、村上理事長から聞いたお話から、向かう方向に確信をもてたこと、みなさんに出会えたこと、最高でした！！
- 期待していた通りの内容でした。自身が関わっている業務と直接関連するようなことも多く、参考になる事例もたくさん聞くことができました。

### (ステップアップ研修の要望等)

- 受講生の自治体に行って紹介してもらおうとか面白いと思う。
- 大人数、中人数、少人数の法則に従い、大きな会場での研修をベーシック。比較的10名前後の中人数でグローイング的なコース。個別のコンサル、という感じです。
- 今回のような形式が合っていると思います。様々な地域で開催すれば、全国の人たちも参加しやすいと思います。



事前課題の発表



講義 (飯盛講師)



フィールドワーク  
土佐山アカデミー 吉富講師



フィールドワーク  
ひろめ市場



フィールドワーク  
NPO 砂浜美術館 村上講師



現地視察 (砂浜美術館)



個人ワーク



事業計画案作成



事業計画案発表



行動宣言

### ■参考資料

参考資料2. 全国地域づくり人財塾 課題解決編 (フィールドワーク型)

受講者アンケート・リーフレット : P193～



## 第Ⅲ章 人材力活性化研究会

### 1. 人材力活性化研究会とは

人材力活性化の具体的な施策・目標の検討や、研修に係るカリキュラムやハンドブック等の作成、全国地域づくり人財塾の進め方等の検討を行うことを目的に、有識者や実践者による「人材力活性化研究会」を平成22年に設置している。

本年度は、第21回と第22回の研究会を開催した。

#### 人材力活性化研究会の設置目的

地域活性化の基本的な要素である人材力の強化を図るため、「人材力活性化研究会」を開催し、NPO・企業等との連携方策も含めた課題を抽出したうえで、人材力活性化の具体的な施策・目標の検討や人材力の相互交流とネットワーク形成の進め方等の検討を行い、人材力の強化・活性化に取り組もうとしている様々な主体の今後の指針となるプログラムを策定。あわせて、人材力活性化の事例の調査等を行い、その充実を図る。

#### 人材力活性化研究会の検討事項

- (1) 人材力活性化の取組の現状と課題の抽出、対応策の検討
- (2) 人材力活性化プログラム等の検討・策定
- (3) 人材力活性化プログラム及びプログラムに基づき実施する施策の充実
- (4) その他、人材力活性化プログラムに関し検討が必要なこと

#### 研究会構成員（平成30年3月現在）

座長	飯盛 義徳（慶應義塾大学総合政策学部 学部長補佐／教授）
	小澤 浩子（赤羽消防団 副団長）
	谷 和樹（玉川大学教職大学院 教授）
	玉沖 仁美（株式会社紡 代表取締役）
副座長	富永 一夫（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池 会長）
	豊重 哲郎（柳谷自治公民館長）
	前神 有里（愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課 介護予防係長）
	牧野 益巳（一般社団法人日本ティーチャーズ・イニシアティブ 事務局長）
	宮城 治男（特定非営利活動法人 ETIC. 代表理事）

（敬称略、50音順）

## 2. 第 21 回研究会

### (1) 開催概要

■日時：平成 29 年 6 月 8 日（木）13：30～15：30

■場所：中央合同庁舎第 2 号館共用会議室 3

■出席者（敬称略：50 音順）

<構成員>

飯盛 義徳（座長）、富永 一夫（副座長）、小澤 浩子、玉沖 仁美、豊重 哲郎、前神 有里、  
牧野 益巳、宮城 治男

<事務局>

時澤地域力創造審議官、飯塚人材力活性化・連携交流室長

### (2) 議事概要

#### ①「全国地域づくり人財塾」実績報告について

- ・「講師の直接対話」では、可能な限り広く皆の話は聞いてきたが、時間の制限があるため、深い話ができなかった思いがある。現在、色々活動してる受講者が増えてきたことから、深く議論するために以前も行ったことがある「誰々先生と誰々先生の部屋」ようなコラボ式のグループ討議に戻してみてもいいのかなと思った。
- ・コラボ形式にすれば入れ替えの回数も減らすことができる。これまで自己紹介だけで時間終了となるケースや、最初の質問に引っ張られ「参加の意味がなかった」とか言う人が出たケースもある。だから 1 回のグループ時間を長くし議論の時間を確保する方式は有効だと思う。
- ・先日、あるシンクタンクと一緒に企業の新入社員研修の受け入れを行って良いと感じた方法がある。講師が 50 分話をしたら、事前に分けられたグループの隣席メンバーで「5 分間、討議をする」。このあと「質問時間」とすると、質問がどんどん出てくる。講義終了直後の質疑応答の場合は質問が出てくるまで時間がかかる。この方法は有効だと感じた。
- ・フォローアップ研修でも言っているが、「互学互習（ごがくごしゅう）」の観点があれば、著名な講師を招かない場合でも学習できる。活動報告をする人が先生で、次はそのほかの人。お互いに報告し質問をする。それで一気に仲間意識と活動情報の共通を行う。すると場の雰囲気が変わってくる。これは 1 つのノウハウだと思う。
- ・受講者を年代で見ると、興味あるテーマにかなり温度差があると感じる。1 つのテーマに 2 時間かければ、その解決に至ることは可能だと思うが、15 人で 1 時間の場合は本当にさわりぐらいになってしまう。折角、受講するのだから、例えば、福祉や 6 次産業、ビジネスコミュニティなど、年代の興味に合うようなテーマを予め設定し、これに沿ってグループを編成して対話する方が望ましいのではないかな。
- ・「講師の直接対話」の時間は、どちらにしても時間が足りないので、せめてテーマごとに、受講者数がバランスが取れなくても、しっかり 2 時間かけた方が講師も受講生も未消化が少なく、満足度や持ち帰った後のスタートアップは高いと思う。
- ・総務省の研修という点を考えれば、審議官級が「国の政策を話す」時間を設ける必要がある。また、地域活動施策には最終的に財務の話が必要だと感じる。財務の話を押さえないと、イベント型事業に

- なりかねない。「基本は財源・財務だよ。数字でものを言え。」というぐらいのレクチャーを財務省と連携して、そういう人を投入するくらいの人財塾にならないと、リピーターがあまり増えないような気がする。現在、我々講師が全面に出るカリキュラムとなっているため、国の制度政策や今の方向性、財務等を徹底的に聞く機会を設けないと、たぶん物足りないような持ち帰りではないかと感じている。
- ・そういうことであれば ICT の視点からも、ぜひ、お話しいただきたい。今後の地域づくりには、その意識付けとして必要不可欠だと思う。
  - ・審議官級にコマをもってもらうことは賛成だ。いまの ICT のほか、サテライトオフィス構想も新しい施策だ。しかし、新しい施策の場合、本人にやる気があっても周りが全く理解できずに障害となっているケースが散見される。
  - ・いろんな政策のメニューがある中、人財塾で政策に関する講義を行うことは、熱心なところのアプリを促すことが期待でき、非常に大事なことと考えている。
  - ・財務の話に対するニーズは高い。委員各位にも関係している団体もあるかと思うので、そのような団体と連携講義を行うことも有効と考える。

## ②平成 29 年度の事業概要について

- ・フォローアップ研修を 8 月 5 日と 6 日に、西予市城川で行うことになった。飯盛座長がこの日程で城川に来られるということで、西予市の塾生 5 人が「じゃあやろう」と発起人となって、以前、周南市で開催した際の愛媛：松山のメンバー等に声をかけて、中・四国、特に愛媛の塾生が中心になって自主開催が決まった。
- ・東日本のフォローアップ研修は発足から 4 年を過ぎ、5 年目に突入した。そして、今年度、初めて首都圏以外、栃木県小山市で開催する。当初は、富永が代表となり始めたが、現在、2 代目代表は修了生にバトンタッチして一生懸命やっている。東日本のフォローアップ研修では開催地の人たちに地域課題や悩みごとを話してもらい、参加者がその悩みごとを解決するための議論をして、その内容を土産話として置いて帰る。そんなスタイルで続けている。
- ・フィールドワーク型は、これまで米原、伊勢、能登で行ってきた。各回、受講生は夜遅くまで熱く気合を入れて課題に取り組んでおり、昼間は、地域づくりの素晴らしい取組のトップの方々とは直に触れ合えるという中々ない機会だ。ただし、ロジスティックスの問題で 20 人が限界だ。このため、このような形にさせていただいている状況だ。
- ・JAMP の修了生講師の候補者として、徳島県佐那河内村の Y さんを推薦したい。一般財団法人を設立して、財団と役場の両輪で地域づくりを行っている面白いアイデアマンである。
- ・これまで多様に活躍する修了生に、この塾で活動発表をしてもらってきた。そこで思うのは、やはり、この場で発表することは、自治体職員の皆さんにとって励みになると感じている。だから我々の講義数を減らしてでも、頑張っている人たちに大いに発表してもらい、その発表に対して、我々や受講生がアイデアを出すというカリキュラムがあってもいいのかなと思う。
- ・全国的に考えた場合、受講生の数はひと握りにすぎない。このため、人財の開拓を我々は考えないとはいけない。このため、受講していない市町村に対して開拓という感覚をもって、魅力ある一手を考えていかなければならない。たとえば、1 本釣りくらいのことをやる等の取組が必要なのではないか。
- ・新規の参加者や出席がない市町村の開拓は、開催場所の問題が一番大きい。やはり、時間的、コスト的にアクセスしやすい会場に受講生が集まる。このため地方開催は人財の開拓に有効であると考え

る。

### ③人財塾修了生への支援について

- ・名刺に「全国地域づくり人財塾卒塾期」が記載できるということは、修了生にとっては結構重要なことだと思う。周りでも自治大学校の何期生を記載している人もいる。そして「地域力創造アドバイザー」のように、修了生が講師を研修に呼ぶ際、講師の謝金や交通費のサポートが与えられる仕組みがあると尚良い。
- ・「全国地域づくり人財塾」の頭に「総務省」を付けることはできないか。
- ・「やねだん」の場合も卒塾期を名刺に記載しても良いとしているが、その記載に対する回りの信用感は、あの人の講義を受けている等という講師陣の人徳にあるものと考えている。我々もそのような裏づけ、重みを発信できるようになりたいと思う。
- ・地方開催、名刺への記載、フォローアップ研修に対する財源的な支援の3つをやっていけば、修了生の動きは、かなり変わってくるのではないかと思う。
- ・資料にあった“近隣の修了生とのネットワーク構築”については、重要な点であると思うので是非支援していただきたい。ただSNSが適当とは必ずしも言えないが、ゆるい繋がりを保つことはやはり大事だと思う。

### ④意見交換（最近の地域づくり好事例について）

～略～

#### ■参考資料

参考資料3. 人材力活性化研究会 資料

1. 第21回人材力活性化研究会：P205～

### 3. 第 22 回研究会

#### (1) 開催概要

■日時：平成 30 年 2 月 26 日（月）14：00～16：00

■場所：総務省 6 階会議室

■出席者（敬称略：50 音順）

<構成員>

飯盛義徳（座長）、富永一夫（副座長）、玉沖仁美、豊重哲郎、前神有里、宮城治男

<事務局>

飛田人材力活性化・連携交流室長

#### (2) 議事概要

##### ①「全国地域づくり人財塾」実績報告

- ・受講生の意識に温度差がある中、やる気のない受講生対策の一つとしては、セパレートが挙げられる。目的を明確にして、受講生を絞った研修の方がお互いにいいと思う。
- ・地域開催の場合、気軽に参加できるということは、よくも悪くも温度差がある受講生がいることを前提に設計していかなければいけない。
- ・受講生に対し、その講義の狙い・目的をキチッと知らせれば、やる気のない受講生は自ずと仕分けされていくのではないか。
- ・西日本のフォローアップ研修は、「茶堂」というお堂で行った。ここは昔から地域の人が集まり、お茶を飲んだり、通行人をもてなしたりする場だ。西予市の卒塾生が JIAM で発表し、飯盛先生がいつも講義されている「地域のプラットフォーム」がまさに該当するとなつて、実際にこの場所に集まってフォローアップ研修を行った。初日は飯盛先生の講義、2 日目は活動報告をするなど 1 泊 2 日で行った。
- ・フィールドワーク型については、高知の砂浜美術館と土佐山アカデミーという地域づくりの聖地で行った。非常に内容の濃い研修で、受講生のコメントも素晴らしい内容だったとあるが、時期が年末だったので少人数となった。

##### ②平成 30 年度「全国地域づくり人財塾」実施計画案・カリキュラム及び全国地域づくり人財塾地方開催について

- ・どこに軸足を置くかにより、こちらをたてればあちらが立たずと、必ず要望がかなえられない人たちが現われる。このため、どこを主軸に置くかということは、事務局サイドで決める問題ではないか。
- ・いまの問題を解消するには、2 泊 3 日のコースを 3 泊 4 日にしたらどうか。もう 1 泊延ばせば「講師との直接対話」もゆっくりできそうだ。全体の持ち時間をもう少し増やすことができれば、案外、広がりや深くできる構成にはなると思う。
- ・「講師との直接対話」でも、人前では話せないという人が必ずでる。このため、個人面談ではないが、個人が一言ずつでも話せる 10 分～15 分の時間があっても案外おもしろいのではないかと思う。
- ・「講師との直接対話」の受講生は 3 つのタイプがいる。一つは明確に問題意識を持ち、「この講師に

この話を聞いてみたい」と思っている人。その次に直接講師と話をすることで満足する人。そして、もう1つのタイプは、極めて入口的な質問しかないため人の話を聞いている間に質問する内容が無くなってしまう人。このため、少しの時間であれば今の話は有効だと思う。

- ・「講師との直接対話」は、講義を聞くだけでなく、ほかの人の意見を聞きながら、学び合うということが最初の設定だった。しかし、最近、一問一答のように「私の質問」、「私の質問」という感じになってきている。
- ・であれば「講師との直接対話」の主旨をもう少しアナウンスをしたほうがいいのかもしい。
- ・「講師との直接対話」の目的、狙いについて、カリキュラムに1行加えていただくと、まとまりがよいのではないかと思う。
- ・平成30年度の地方開催の候補地については、説明があったように、北海道、北陸、中国四国あたりでよろしいかと思う。

### ③「人材力活性化に関する調査研究事業」報告書骨子（案）について

特に意見なし

### ④その他（取組事例報告）

～略～

#### ■参考資料

参考資料3. 人材力活性化研究会 資料

3. 第21回人材力活性化研究会：P212～

## 第IV章 本年度の調査研究事業の成果と今後の方向性

### 1. 本年度の調査研究事業の成果と課題の確認

本年度も地域づくり人の育成に向け、スタートアップの課程として位置づけている「地域づくり人財塾」(以下、「人財塾」という)を開催した。これに加え、修了生あるいは実践者のステップアップ課程として位置づけている「課題解決編」の「フィールドワーク型」を開催した。

調査研究事業では、「人材力活性化研究会」において「人財塾」のカリキュラムや修了者に対する支援の方法等について検討した。

ここでは、これらの取組を振り返り、本年度の成果と課題を確認するとともに、次年度以降の方向性について検討・整理を行った。

#### (1) 全国地域づくり人財塾

##### ①成果の確認

###### ■270名の修了生の輩出と地域活動への貢献

- ・本年度も、全国市町村国際文化研修所(JIAM)、市町村職員中央研修所(JAMP)、自治大学校の3か所で「全国地域づくり人財塾」を実施するとともに、福岡市でも開催した。
- ・本年度は、トータル270名の修了生を輩出し、地域力創造および地域づくり活動の活発化に向けた地域づくり人材のすそ野の拡充につながった。

###### ■九州での地方開催(IN福岡)

- ・これまで「人財塾」では、身近な場所での開催を目的に「一日人材力活性化研究会」という形式で半日を日程とした簡易なカリキュラムを平成23年度に実施した。しかし、平成24年度以降は、その実施は停止されていた。
- ・このため、平成28年度に1泊2日カリキュラムで、宮城県仙台市で地方開催を実施した。
- ・今年度は、九州地方での開催を目的に福岡県福岡市で開催した。
- ・参加者をみると、九州管内の参加割合が7割を超え、地元参加の吸引力の強さが確認された。
- ・なお、今回は「課外活動」の時間を設け、フォローアップ研修(自主研修)に関する説明を行ったところ、IN福岡修了生によるフォローアップセミナーが平成30年1月27日に開催され、説明会の意義・効果が確認された。

##### 参考 一日人材力活性化研究会

- |   |
|---|
| ● 「一日人材力活性化研究会「おおやけ塾 in 福山」<br>開催場所：福山市役所本庁舎3階大会議室<br>開催日時：平成24年2月25日(土)13時00分～17時00分 |
| ● 「一日人材力活性化研究会 in 青森」<br>開催場所：青森市文化観光交流施設「ワ・ラッセ」<br>開催日時：平成24年1月24日(火)13時30分～17時30分   |
| ● 「一日人材力活性化研究会 in 佐賀」<br>開催場所：佐賀市文化会館「大会議室」<br>開催日時：平成23年12月3日(土)13時00分～17時00分        |

- 「一日人材力活性化研究会 in 滋賀」  
開催場所：滋賀県近江八幡市「酒游館」  
開催日時：平成 23 年 10 月 31 日（月）13 時 30 分～17 時 30 分
- 「一日人材力活性化研究会 in 愛媛」  
開催場所：愛媛県美術館「講堂」  
開催日時：平成 23 年 10 月 20 日（木）13 時～16 時

### ■フォローアップ研修会の継続と、新しい取組への後押し

- ・「全国地域づくり人財塾」の修了生が自主的に集まり、勉強会等を開催している「フォローアップ研修」がなされている。
- ・本年度は「西日本」で開催されたほか、「東日本支部」では本年度も 4 回開催され、発足以降 5 年目 20 回目となる研修が開催された。特に、「東日本支部」のフォローアップ研修は、修了生の発表だけではなく、外部講師の招へい等や地域の大学とのコラボレーション企画による研修会が実施されるなど創意工夫がなされている。
- ・また、前述のとおり、IN 福岡の開催時に「課外活動」としてフォローアップ研修の説明会を行ったところ、IN 福岡修了生によるフォローアップセミナーが平成 30 年 1 月 27 日に開催されるなど、新しい取組もスタートした。なお、九州地区のフォローアップ研修は半年後を目途に第二回が開催される予定となっている。

### ■質の高いカリキュラムの構築

- ・本年度も「人材力活性化研究会」の構成員による講義に加え、全国的に注目、あるいは活躍されている学識者や有識者を招いての講義、受講生が抱える課題について講師と議論する「講師との直接対話」、グループワーク（グループ討議等）を組み合わせ、地域づくり人としての心構えや地域づくり活動に関するノウハウを学ぶ研修を実施してきた。
- ・また、修了生の地域活動継続の意欲醸成と、活躍の場の提供を目的に行っている「全国地域づくり人財塾既受講生からの報告」の時限は、発表を希望する修了生も出現するなど、修了生の目標にもなっている。
- ・これらの取組の結果、研修終了後の受講者アンケートでは、各講義とも高い満足度が確認されるとともに、前述のように、修了生の自主的な取組が継続している。

## ②課題の確認

### ■受講者満足度の向上

- ・「全国地域づくり人財塾」では、毎回受講者アンケートの結果等を踏まえ、カリキュラム編成や講義方法を見直してきた。
- ・このため、一般講義では、満足度・活用度とも高い満足度が得られているが、「講師との直接対話」に対しては、満足度・活用度は高いものの、「もっと長く講師と話がしたい（または時間が短い）」、「全講師を回りたい」などの意見が繰り返しみられている。また、一般講義を受けた後に「講師の直接対話」を選びたいと意見もみられた。
- ・これに対し、これまで受講生のプロフィールカードや論点（知りたいことと背景）カードの事前提出など、議論時間を増やす試みや、単元数の増加、途中退出の承認、食事時間の活用等も採用して



きたが、定員が数十名を超える現状では、全てのニーズに応えることが難しい。

- ・「人材力活性化研究会」では、これら課題に対して、1グループあたりの時間延長や、講師が二人一組になったコラボ式による「講師の直接対話」、テーマ型の「講師の直接対話」の採用が議論された。

#### ■受講マナーの徹底

- ・IN福岡では受講生85名に対し、修了生が63名である等、途中退出や遅刻が多い回となった。
- ・また、講義の最中、携帯電話の使用による退出も散見される等、受講マナーに問題もあった。受講者アンケートでも同様の指摘があったことから、受講マナーの徹底を図る必要がある。

#### ■受講生ワークの時間の拡充

- ・受講者アンケートでは、受講生相互で議論する時間やグループワークなど、参加型の講義に対する要望がみられた。
- ・このため、グループワークの充実や時間配分の調整などにより、受講生のワークの時間の充実を図る必要がある。

#### ■参加が少ない市町村等への訴求

- ・平成23年度からスタートした「全国地域づくり人財塾」（従前は「地域づくり人養成講座」）であるが、受講生が少ない地域があることが毎回確認されている。
- ・本年度の「人材力活性化研究会」でも、これまで受講生を派遣していない（あるいは少ない）市町村に対する訴求について議論され、この一つの対策として、地方開催の有効性が確認された。
- ・このため、地方開催を定例化し、受講しやすい環境づくりを行う必要がある。

#### ■修了生に対する活動支援の効果検証

- ・「全国地域づくり人財塾」修了者の活動支援として、修了者が「全国地域づくり人財塾〇期塾生」という名称を名刺等に使用することを推奨する「名称使用と名刺作成の推奨」と、修了生が地域で人財塾開催やフォローアップ研修を開催する際に総務省が人材力活性化研究会構成員を講師として派遣（総務省が旅費・謝金等を負担）する「地方版人財塾・フォローアップ研修等を開催する際の支援」が本年度から制度化された。
- ・今後、この支援策の効果について追跡調査を行うなどのフォローアップが必要と考えられる。

## (2) 全国地域づくり人財塾 課題解決編

### ①成果の確認

#### ■受講生の要望に即した実践性の高いカリキュラムの構築

- ・「全国地域づくり人財塾」での受講生アンケートや、『「全国地域づくり人財塾」修了者の地域づくり活動調査』でも要望が高い、ステップアップ研修として「全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型）」を本年度も実施した。
- ・「フィールドワーク型」では、プランニング力の養成を目的に、グループワークや講師とのディスカッションに重点を置いたカリキュラムになっている中、本年度は、個人ワークによる事業化やプロジェクト組成等のスキル養成に重点を置いたカリキュラムとした。
- ・この結果、受講生からの評価は極めて高いものとなっている。

### ②課題の確認

#### ■開催時期の検討

- ・本年度の「フィールドワーク型」は、「全国地域づくり人財塾」の修了生の参加がみられたものの、定員 15 名に対して参加者は 3 名だった。
- ・周知には一定程度の期間を確保したが、開催が 12 月であったことから、業務の調整が可能な受講生が限定された状況がうかがえた。
- ・このため、講師と早期に日程を調整の上、議会会期等に影響されない時期に開催する必要があると考えられる。

#### ■受講生レベル差対策

- ・課題解決型では、受講に際して特段の受講資格を設けていないため、受講生の経験に差が生じてしまう傾向がうかがえる。
- ・課題解決型では、ビジネススキルを短時間でかなりなところまで仕上げるカリキュラムのため、参加者の経験の程度等に格差がある中で、受講の達成感や成果の実感には、相当の工夫が必要となる。
- ・このため、事前に経験値や希望等を図る事前アンケートを丁寧に実施し、それに応じたチーム編成が必要と考えられる。
- ・あるいは、今年度のように個人ワークを採用する方法も一つと考えられる。

### (3) 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修

#### ①成果の確認

##### ■フォローアップ研修の開催と定型化

- ・「全国地域づくり人財塾フォローアップ研修・東日本支部」は、本年度も4回開催され、発足以後5年にわたる継続した開催が定型化している。
- ・「西日本」は本年度開催され、不定期ではあるものの、継続した開催がなされている。
- ・また、本年度は「全国地域づくり人財塾 IN 福岡」を契機に、宮崎、熊本、鹿児島の修了生を中心とした九州フォローアップセミナーが開催された。

#### ②課題の確認

##### ■身近な場所でのフォローアップ機会づくり

- ・受講者アンケートでは、OB・OG会の開催や修了生の活動報告会などに対する要望がみられた。

##### ■開催にあたっての事務局サポート

- ・IN 福岡を契機とした九州フォローアップセミナーは、幹事役となった修了生が不慣れなことから、開催までのステップやカリキュラム等の相談を事務局が行った。
- ・同様のケースが今後も想定できることから、講師派遣の費用負担だけでなく、開催までのフォローを事務局が行う必要があると考えられる。

##### ■継続に対するサポート

- ・「全国地域づくり人財塾フォローアップ研修・東日本支部」では、年4回の開催が定型化しているが、他の地域では不定期開催となっている。
- ・IN 福岡を契機とした九州フォローアップセミナーは、第1回時に次回開催幹事を決めたことにより定期開催の道筋をつけた。
- ・継続開催をサポートするため、開催の呼びかけや次回の日程調整を行う等、事務局サポートの実施が想定できる。

## 2. 今後の展開に向けて

「1. 本年度の調査研究事業の成果と課題の確認」を踏まえ、次年度以降の方向性は、次のように整理できる。

### (1) 全国地域づくり人財塾

#### ①通常開催の実施

- ・来年度も「人財塾」を JIAM、JAMP、自治大において通常開催を行う。
- ・定員については、多様な場面で活躍することができる人財を養成する観点から、可能な限り多くの受講生を受け入れることを目指して広報事務等を充実・強化する。

#### ②地方開催の実施

- ・昨年度の「人財塾 IN 仙台」、本年度の「人財塾 IN 福岡」の成功を踏まえ、今後も地方開催を実施する。
- ・開催場所については、北海道、北陸、中国・四国を想定する。
- ・また、本年度同様、「課外活動」の時間を設け、実施地域のフォローアップ研修開催を誘導するよう内容を工夫する。

#### ③課題解決編の実施

- ・本年度の「課題解決編（フィールドワーク型）」の結果を踏まえ、来年度も引き続き「課題解決編（フィールドワーク型）」の開催を検討する。
- ・受講生が集まりやすいよう開催期間について特段の配慮を行うとともに、募集期間を十分に確保できるよう、開催日についてはできる限り早く設定できるよう配慮する。

### (2) 「全国地域づくり人財塾」修了生に対する支援策を通じた地方開催

- ・本年度より、制度化された「地方版人財塾・フォローアップ研修等を開催する際の支援」については、フォローアップ研修を目的としていることから、その適用のためには修了生5名以上の参加が要件となっている。
- ・一方で、修了生の発意によるミニ人財塾の企画も想定できることから、一般受講者を対象としたミニ人財塾の開催を支援することは、地方開催の一助になるものと想定できる。
- ・このため、ミニ人財塾の開催についても支援対象とするよう検討する。

## 参 考 資 料

### ■参考資料 1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等

1. 全国市町村国際文化研修所（JIAM）編 受講者アンケート..... 33
2. 自治大学校編 受講者アンケート..... 69
3. 地方開催（IN 福岡）編 受講者アンケート・リーフレット..... 106
4. 市町村職員中央研修所（JAMP）編 受講者アンケート..... 143

### ■参考資料 2. 全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型）

1. 受講者アンケート・リーフレット..... 190

### ■参考資料 3. 全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修

1. 九州フォローアップセミナーチラシ..... 192

### ■参考資料 3. 人材力活性化研究会 資料

1. 第 21 回人材力活性化研究会 ..... 204
2. 第 22 回人材力活性化研究会 ..... 211



## 参考資料 1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等

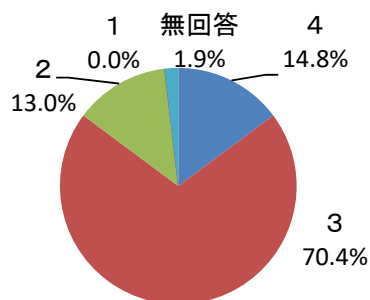
### 1. 全国市町村国際文化研修所（JIAM）編

[平成 29 年 5 月 10 日～12 日]

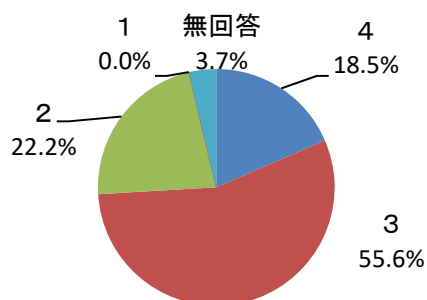
(1) 各プログラムに対する評価

【導入】「人材力の活性化について」総務省人材力活性化・連携交流室長 飯塚 秋成 講師

		N=54	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	8	14.8%
	3	38	70.4%
	2	7	13.0%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



		N=54	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	10	18.5%
	3	30	55.6%
	2	12	22.2%
	1	0	0.0%
	無回答	2	3.7%
合計		54	100.0%



#### <感想>

##### ◎活用度 4

- ・ 国の制度として人材力の向上に向けた取組を積極的に行っていることを認識できた。
- ・ 国としての地域づくりの動向が聞けてよかった。
- ・ 日本の現状を正しく理解できた。
- ・ 地方創生の根拠を学ぶことが出来ました。地域づくり人育成ハンドブックを熟読したいと思います。
- ・ 政府全体の考え方について勉強不足だと気があってよかった。
- ・ 国として、現代の多様な働き方をサポートする制度が様々なことを知ることが出来ました。

##### ◎活用度 3

- ・ 自分の職場でも外部人材の導入を予定しており、担当者にも情報提供したいと思う。
- ・ 業務の精度UPのため参加したが、国策について理解を深める事が出来た。
- ・ 時間が短かった事が残念であった。
- ・ 全国に知らない学びの場があることが分かった。学生にたくさん体験してほしいと思いました。

- ・ 人材育成に力を入れていただいていることを感じました。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 総務省の方針を改めて知ることができた。
- ・ 説明が早かったので、もっと詳しくききたかった。
- ・ この研修の目的について、国の方向性がわかって良かったです。
- ・ 中核市として活用できるものを調べようと思う。
- ・ 非常にわかり易い資料で、各省庁間の地方創生における関わり方が理解できました。
- ・ 政府の方針や総務省の施策については理解できたが、それが各自治体の現場の職員まで正しくいきわたっていないことが課題では。
- ・ 国が本気で人財力に力を入れているのがわかり、市も活用したい。
- ・ 「地域づくり人育成ハンドブック」活用します。
- ・ 総務省でこんなに人材育成のための取組がなされていることを知らなかった。
- ・ 資料により総務省の方針を知ることが出来た。
- ・ 本研修の目的、意義を理解した。

#### ◎活用度 2

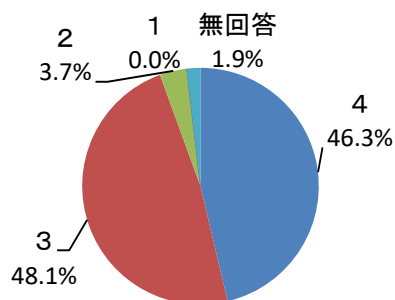
- ・ 15分で説明するには量が多すぎました。
- ・ 制度等の概要を分かりやすく説明していただき、今後の勉強のきっかけとなる資料となりそうです。
- ・ 国がすすめる地方創生の骨格となるまち・ひと・しごと創生総合戦略について理解を深めた。
- ・ 総務省の方針と今回の研修の関係を知ることができました。
- ・ 国の「人材力活性化」について知識として身につける事ができた。



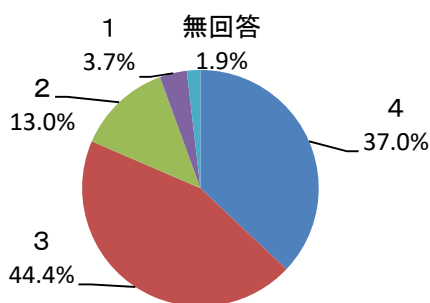
【実践事例】 「創業の人材」と「後継の人材」

特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池 会長 富永 一夫 講師

<理解度>		N=54	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	25	46.3%
	3	26	48.1%
	2	2	3.7%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
	合計	54	100.0%



<活用度>		N=54	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	20	37.0%
	3	24	44.4%
	2	7	13.0%
	1	2	3.7%
	無回答	1	1.9%
	合計	54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 企業も地域も回復させるのは組織力ではなく、人間力だというお言葉に共感しました。講義内容にも非常に感動しました。
- ・ 経営の観点や個人としての力を養う重要性を痛感した。誰もが主役となり、生きがいを感じる活動をまずは行政人としてサポートしていきたい。
- ・ よろこびの連鎖を生み出せるよう組織づくり、きっかけづくりを心掛けたい
- ・ 経営のための地域資源として、ヒト、モノ、カネ、情報をいかに集めるか。特に、ヒトが地域資源という認識が高まった。
- ・ 富永先生のお話については非常に参考となった。地元の公園管理に生かしたい。
- ・ NPOの方々の付き合い方等、改めて気付かされました。
- ・ NPOの活動資金の集め方や用途が何通りもあるのだと思いました。
- ・ 地域活性化のための人材育成の必要性について考えさせられました。
- ・ 人間力を身に付けるため、自分自身を磨きたいと思います。
- ・ 体験を通じた、お話をさせていただいたので、とてもよく響きました。人間力が大切だとわかりました。
- ・ 元々の街の状態が当市に似ていると感じたのでそこから活性化へ持っていく方向性や実践されていることがとても参考になりました。
- ・ 民間の方と関わる時は営利のことを考えておくことが必要だと再認識した。
- ・ 人間力が優る世の中を一緒に取り組みたい。

- ・ 人間力を大切にしたいと思います。今まで組織力を重視していたので人間一人一人の力を信じたいです。
- ・ 組織力で通用しても、そのままではおちるので人間力を養う。個人の力が大切だと知って力を養いたいと思った。※里山公園の多様な協働経営設計図を参考にしたい
- ・ 財源の捉え方を行政の人間も考える必要があると感じた。
- ・ 新住民側の地域づくりというのは新鮮でした。
- ・ 具体的でわかりやすかった。行政と民間の感覚のずれについても気づきがあってよかった。設計図を描き落とせるレベルになりたい。
- ・ 行政とNPOの関係について考えることが出来た。若い世代に引き継ぐ手法は大変参考になった。

### ◎活用度 3

- ・ 地域づくりを企業経営の視点から考えるいい機会となり、話の内容がとても理解できた。
- ・ もう少し時間をいただいて話ができるとよかった。
- ・ 喜びの連鎖が地域の活性化につながるという事が特に印象に残りました。
- ・ 組織力ではなく、人間力と言われることがわかったような気がする。ただ、行政はあまり味方していないのか、なぜ?と思う。
- ・ 取組についてこんなやり方があるのだと気付いた。
- ・ 対NPO支援+協働の方法。行政の姿勢に対するNPOの求めるものを考えさせられました。
- ・ 各団体が喜びの連鎖を感じられるように協働経営の設計をすることが大切である。
- ・ 立ち上げの経緯も凄いと思ったが、後継者を見つけ、人材育成をされたことは本当にすごいと思った。
- ・ 「この方が富永さんか」と感慨深い。活動内容をもっと時間をかけて聞きたい。
- ・ 印象に残ったのは、講師のパワーと後継者をしっかりと育成されている点でした。
- ・ 行政の立場とNPOの立場、企業の立場を考えた話し合いが大切だと思った。
- ・ ゼロからの地域活動、参考になりました。
- ・ 指定管理について、うちの市でも今ゴタゴタがあるので、どうしたら上手く管理側と協力できるのか悩みがあった。そもそもの目線の違い、体制の違い、など互いのことを理解していけたらと思う。
- ・ 公園をビジネスとしてマネジメントしていることがすばらしいと思った。自分が良いだけでなく相手方にも喜びの連鎖を起こすこと、後世へまちをつなぐ意識の必要性を感じた。
- ・ 組織をまわすには、やはり人だということを認識し、自分も成長したい。
- ・ 人間力の大切さを知った。
- ・ 時間みっちり集中して聞くことが出来た。指定管理についても勉強しようと思った。
- ・ エリア特性をよく理解し、活かしていると思いました。

### ◎活用度 2

- ・ コミュニティ支援の仕事をしているのでコミュニティによるまちづくりに関心があります。
- ・ 活動事例を含めご説明いただき分かりやすく理解できたが、実践にあたってはかなり困難なこ

とと感じた。

- ・ 人間力の重要性を知ることができ、また、多様性をどう生かすかを考えさせられました。
- ・ 民間の常識の話は参考になりました。行政の非常識も良く理解できました。
- ・ 組織としてでなく、1人の人財の力も必要であると、実践事例をもとに理解することが出来た。

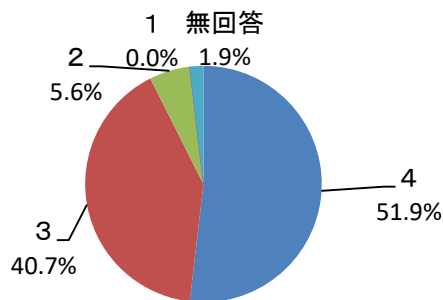
◎活用度 1

- ・ 後継者づくりを行っていることは素晴らしいと感じましたが、現状では私自身は NPO 活動自体に取り組むことは考えていない。

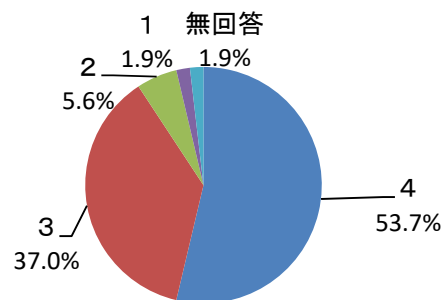
【実践事例】「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」

柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 講師

		N=54	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	28	51.9%
	3	22	40.7%
	2	3	5.6%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



		N=54	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	29	53.7%
	3	20	37.0%
	2	3	5.6%
	1	1	1.9%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 心を熱くさせる講義で自分もすぐに一步踏み出して行動をおこすという気持ちを強く持ちました。
- ・ 主体的な活動でここまでできるという姿を生で聴くことができ、感動した。行政人としてだけでなく、地域人としても必要な力を学習することができた。
- ・ 本気となって地域をかえることの大切さが分かりました。行動にうつしたいと思います。
- ・ 人を動かすためには立ち位置を変えるという言葉に感銘を受けた。覚悟を持って頑張ります。
- ・ 熱意がひしひしと伝わり、とても刺激を受けました。地域づくりは1人でやらないこと、演出力が必要であることが、特に印象的でした。心に響きました。
- ・ 立ち位置を変えるということがどういうことか。自分でもできるのか、考えさせられる時間でした。
- ・ 地域づくりに補欠はいないという言葉に感銘を受けました。公務員の役割について考えさせられました。
- ・ 豊重さんの熱意に感動し、少しでも行政職員として立ち位置をかえて頑張りたいと思います。
- ・ 地域づくりの土台、信頼の駆逐、リーダーとしての責任など心が動きました。
- ・ 以前から気になっていた取組だったのでお話が聞けてよかった。なにより豊重さんのパワーに驚いた。
- ・ とにかく熱かったです。
- ・ 豊重節健在。何度聞いてもその都度励まされる。

- ・ 実体験に基づいた講義は非常に説得力があり、胸を打たれました。
- ・ 豊重さんのパワーがすごく、熱意を持って自分が汗する大切さを知った。
- ・ 「じたばたするな、逆境も3年」根気強く取り組みます。
- ・ 立ち位置を変えて、言動出来るよう視点の切り替えも大切だと痛感しました。アドリブ力、演出力を見習いたいです。
- ・ みんなのやる気をいかに引き出してあげるか（演出力）、立ち位置を変えて、自分が使われた役に徹するかに大変勉強になりました。
- ・ 「やねだん」の地域再生への様々な取組を知って、行政に頼らない方法（住民自治、自主財源確保、還元など）所属 NPO でも取りいれてみたいと思った。
- ・ 「自身で汗水を流すことで、周りを巻き込んでいく」自分も活用すべきと感じた。
- ・ 地域の求めていること、それぞれの立ち位置で考えること、を学んだ。
- ・ 様々な世代を巻き込んで地域で確保できる財源を考えながら、地域づくりをサポートしていきたい。
- ・ 力強く、本音でよかった。
- ・ 「本気」「洞察力」ということが最後に残った。自分はじめ一人ひとりの人間力が肝心であることを学んだ。しかし、気になっているのはその単位が大きくなると1人あたりの目配り、気配り、心配りができるのには限りがある点である。
- ・ 1人も取りこぼさず全員で地域づくりをする気合に感動。実行力、根回し力が地域に必要だと分かった。

### ◎活用度3

- ・ 地域づくりへの参加が少ない現役層を動かす子どもと年配層の役割の重要性を感じた。
- ・ 気づかい、心づかい、豊重先生の細かな配慮が人を動かしていることが分かり、感動しました。
- ・ 先生の熱意を感じとることができ、自分の消極的な面を見直すきっかけとなった。
- ・ 以前に一度話を伺いましたが、また元気を頂きました。
- ・ 講師が実際に行ってきた細かい実例の中に、参考になるものがありました。
- ・ リーダーとしての魅力を身につけたいと思いました。
- ・ 地域との協力が大事だと感じた。
- ・ 心をつなげる地域づくりには、信頼と演出力、地域全体が協力しやすいストーリーづくりがされており、すごく高等な技術と感じた。
- ・ 目配り、気配り、心配りにより信頼を得ること。また、アドリブ（演出）による感動をコーディネートすることが必要。
- ・ 住民が自分達で行動を起こせる環境を作らなければならないと思った。
- ・ 企画力、財務力、アドリブ力を今後身に付け活動する。
- ・ 個人的な気持ちとしては高齢者が多く昔から顔なじみの人が多いから成り立つ方法なのかなあと。全ての自治会にここまでのことを求めるのはむずかしそう。
- ・ 相手の立ち位置に立ってみるということは案外できていないと気付いた。自分ごととして捉え、どうすれば動きたくなるか考える想像力を身につけて行きたい。

- ・ 自分が変わり、やりつづけることで周りが変わってくるということで、どれだけ自分が本気になれるかだと思った。
- ・ 自らが動き、周りを巻き込み、地域全員で町をつくっていく取組に感銘を受けた。
- ・ 立ち位置を考える。原点を表現されていて心に残った。
- ・ まずは自分が小さなリーダーになり100mから地域を変えたい。
- ・ 頼らないけど、保険のための補助金は「アリ」では？

#### ◎活用度 2

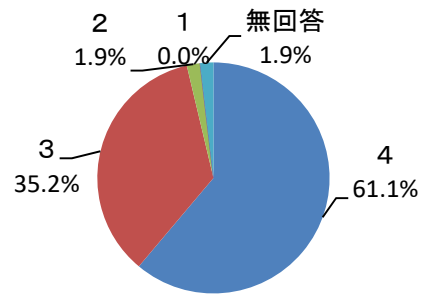
- ・ 1人目をそらす人がいたら、他10人はいるというお話が印象的でした。視野が広がりました。
- ・ 「やねだん」で達成されたことを自分の自治体で、自治会で、じゃあどうすればできるのかは難しそうと感じた。

#### ◎活用度 1

- ・ 豊重氏の活動自体は素晴らしいものであると感じましたが、どこでも同様にできるかは疑わしく思われる。周辺地域は活性化しているのであろうか？

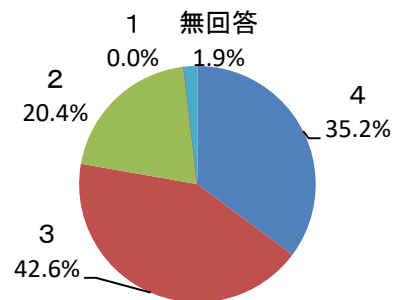
N=54

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	33	61.1%
	3	19	35.2%
	2	1	1.9%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



N=54

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	19	35.2%
	3	23	42.6%
	2	11	20.4%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 3割の失敗を恐れず、行動していきたいと感じました。
- ・ 地域資源の食をいかにPRし自ら動くかという実践的行動を起こされたことは素晴らしい。
- ・ スーパー公務員のお話はとても楽しみであった。お話を聞いて、地元に戻元できる事が多かった。
- ・ 地域づくりへの情熱に感動しました。自分の町でも何かできないか精一杯取り組みたいと思います。
- ・ 公務員と言う立場から勇気をいただきました。
- ・ 講師の発想力、行動力に感動しました。
- ・ これからの時代の公務員に必要な事（地域人材のマッチング、行動力）について学ぶことができました。参考にさせていただきます。
- ・ 協力隊に関する考え方が大変参考になった。
- ・ 自らも行動して、地域にプライドを持って活動し、仕事されていることがわかり、素晴らしいと思った。
- ・ メディアにも多く露出されている寺本さんの講義は期待通りの興味深い内容でした。
- ・ 今回の研修で一番逢いたかった人に出逢えて感謝。
- ・ 「やりたいこと」×「地方」のコラボレーションを若い世代がチャレンジできる雰囲気大切だと思う。特に、2年前に就職したばかりの自分にとって、「就職失敗したら人生詰む」感覚があったので、本当に安定した職場かどうか第一条件で、自由がなかったと思う。町や市が、若い人達に「やりたいことを仕事にしてみないか」とよびかけること、それをサポートしてもらえる

ことは、学生側も求めているんじゃないかなと思う。

- ・ 失敗ではなく間違い。行動力あるのみと思いました。
- ・ 地域の食の宝に目を付け、食べる人に来てもらって、食べてもらうという発想転換に感心した。これから地方では、多様な働き方をとりいれていくことへの共感ができた。
- ・ 地域の「宝」を輝かせることの大切さを知った。とても良い事例で勉強になった。
- ・ 地域のモノをしっかり磨き上げる。売り出すよりも人を呼ぶ、素晴らしい事例でした。
- ・ 公務員として型にとらわれず、1歩踏み出したい。
- ・ 逆転の発想、すばらしい。

### ◎活用度 3

- ・ スケールの大きい話でとても面白かったです。
- ・ 首長に直接やりたいことを伝えられる組織の環境がすばらしいと感じた。
- ・ 発想の転換や自ら動く姿勢がすばらしい。
- ・ 一般的な行政の枠をこえた仕事が興味深かった。
- ・ 公務員でもここまでやっていいんだという気付き。
- ・ 発想の転換、アイデアや行動力がすごいと感じました。
- ・ ここまで長く、また、思ったようにやらせてもらえることは幸せな事である。それだけに、多くの事を学ばれ、経験されている。言葉が結構強かった。
- ・ 資源は自分で作るものだと感じた。
- ・ 行政職員としてのやる気が参考になりました。
- ・ 地産地消に基づき地域活性を計り売りに行くのではなく、買いに来てもらう逆転の発想を理解した。
- ・ この取組みの発想と寺本さんの行動力がすごいと思った。
- ・ 他の自治体とは違う考え方をして、成功されていて、すごいと思いました。
- ・ 邑南町のA級グルメは是非食べに行きたい。
- ・ まずやってみることの大切さを学んだ。
- ・ 熱意ある取組。邑南町に行ってみたくになりました。
- ・ 自分のまちを楽しくしたいという熱意がとても伝わった。わざわざ来てもらえるまちにする発想の転換がすごいと思った。まちの人の考え方を換え、地域でお金がまわるようにしていきたい。
- ・ 本人のやる気と周囲のサポートがあってこそその活性化だと思った。
- ・ 寺本先生の熱意と行動力に大変驚かされました。
- ・ 同じ業種ということもあり、似たような立場として自分に置き換えて考える事が出来ました。
- ・ 行動力を身につけて、様々な視点で企画をしていきたいと思う。
- ・ 希望部署が別とは意外でした。どこにいてもやり方次第ですね。

### ◎活用度 2

- ・ 寺本さんの行動力に驚きました。いつかAJIKURAに行ってみたいです。



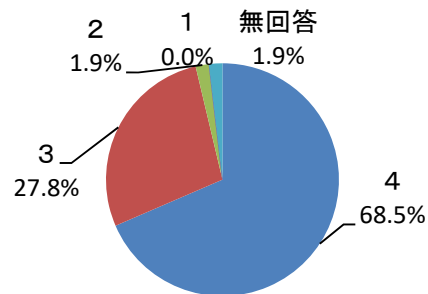
- ・ まねはできないと感じたが、一度現場を見てみたい
- ・ パワーポイントの資料が頂ければと思いました。
- ・ やる気、熱意の大切さを感じました。また町長などのトップの意識も影響するとも感じました。
- ・ すごくおもしろい話で時間があっという間だった。三宅町では特産があまりないためアピールできるものを考えていきたい。
- ・ 以前 NHK の番組で邑南町の活動を見て興味を持っていました。行政職員の立場として出来ることと民間人として出来ることは別であると感じています。
- ・ 実体験について楽しそうに話っていたので印象的でした。
- ・ こんなにもうまくいくものか・・・と思うくらいの成功で驚いた。行政マンでここまでできるかと夢を与えられた例だと思う。何かできそうな希望になった。

【実践事例】「地域づくりのマネジメントーつながりをつくり創発を生む仕組みづくりー」

慶應義塾大学 SFC 研究所 所長／総合政策学部 教授 飯盛 義徳 講師

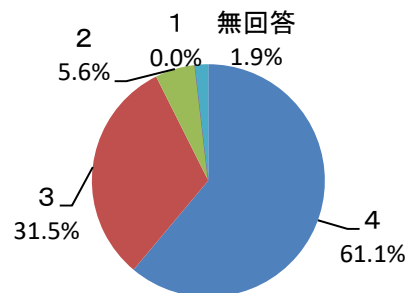
N=54

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	37	68.5%
	3	15	27.8%
	2	1	1.9%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



N=54

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	33	61.1%
	3	17	31.5%
	2	3	5.6%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 社会的創発や場づくりの話に大変感銘を受けました。またお話をお聴きしたいです。
- ・ 自分事とするヒントを得た。境界の設定が参考になった。
- ・ 場づくりの必要性を強く感じました。グレーゾーンを意識した場づくりを行っていきたく思います。
- ・ 「創発」「境界」「還元」など、キーワードをいただき行動に対するヒントをいただいた。
- ・ プラットホームの設計について非常に参考となった。
- ・ グレーゾーンの設定、創発等欲しかったヒントが見つかりました。
- ・ 地域に自分がつくった資源があると愛着がわくんだと思いました。
- ・ 大学連携など貴重なお話ありがとうございました。
- ・ 環境設定のことや、どんな参加理由であっても結果的に地域活動に関わっていればよいという話が印象的でした。
- ・ 普段何気感じていたことが、しっかりとした裏付けで言われたような気がした。ヒントを得たような気がした。
- ・ 地域住民と大学との連携やプラットフォームについての考えを持ち帰り、活用したいと思います。
- ・ グレーゾーンの必要性、全てを巻き込まず。
- ・ 地域づくりのためには、関係性の強い人ばかりでなく、外の人も境界をつくりながらすすめる大切さがわかった。

- ・ 大学連携により本市でも取り組んでいることもあり、実体験としてお話に共感することができた。
- ・ 市内に8大学がある。学生のかかわりに注目したい。
- ・ 学生たちに人気のある先生の講義は、まさに”今の地域づくり”の現状を反映しており、私自身は久々にアカデミックな気分を味わうことが出来ました。
- ・ 人間関係の縁側（グレーゾーン）の大切さを学ぶことが出来た。
- ・ マネジメントの視点を今後活用したい。
- ・ 「効果的な境界」大変難しいが、常に意識して取り組んでいきます。
- ・ グレーゾーンをつくるという方法がとても興味深かった。活動にいろいろなインセンティブの人が関わっていけるようにグレーゾーンをつくりながら、入り易い環境をつくっていきたいと思った。
- ・ 命令や強制をせず、境界にいる人々の力を信じて一緒に活動していけるようになりたいと思います。
- ・ 内部と外部との間の境界をどのように設けて活用していくのかということが大変参考になりました。
- ・ 新しい自発的な住民主役の活動が生まれること「創発」と言う言葉を知った。つながりは強弱両方必要、空間に内と外をつくるまで新しい人が入ってくる余地をつくるということを学べた。
- ・ 「境界」の考え方を参考にしたい。
- ・ わかりやすかった。長いブランクがあったが再び原点に戻って地域づくりにライフワークとして取り組みたいと思いを新たにした。しかし、学生、OGとしてではなく、実践ができるか。この講座をもとに取り組んでいこうと思う。
- ・ 地域に新しい風を吹かすことの効果を知ることができ、大変面白く感じました。境界作りたいです。
- ・ グレーゾーンの立場の人材活用とグレーゾーンエリアの設定・設計の必要性を感じました。

### ◎活用度3

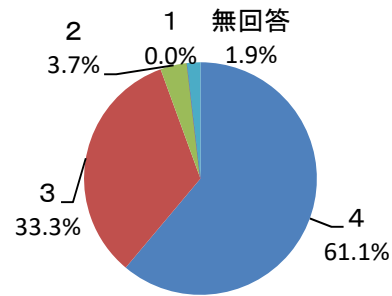
- ・ 参加を促す手法として「資源持ち寄り」という考え方が非常に参考となった。
- ・ 資源は作るものだと思えた。
- ・ 学生との協働について、学生の力を活用したいと考えているところでしたので、非常に参考になりました。
- ・ 現状を把握して適正な人材を把握することの大切さと困難さがわかった。
- ・ プラットフォームの設計の方法と境界について理解した。境界について、人・場所ともに考えていきたい。
- ・ 縁側の話はなるほどと思いました。行政がその体制を整えているのはハード的に取り入れやすいかなと思いました。
- ・ 連携している大学と上手く協働出来ていないと思うため、もっと関係を深め互いに連携のメリットを感じられる様な状態になりたい。
- ・ 地域で実感していることを体系的に理解することが出来た。

- ・ 行政という立場として、場づくりやつなぎ役としてどのような考え方をもてばよいかを学ぶことが出来た。
- ・ プラットフォーム設計のポイントとして、内と外の共存、グレーゾーンをつくるという考え方は参考にしていきたい。
- ・ 地域の資源がないとあきらめず、資源に変えることも必要だと感じた。
- ・ クレバーなのにフレンドリーな語りで聞きやすかった。
- ・ まずはつながりを作って、プラットフォームづくりに取り組めたら。

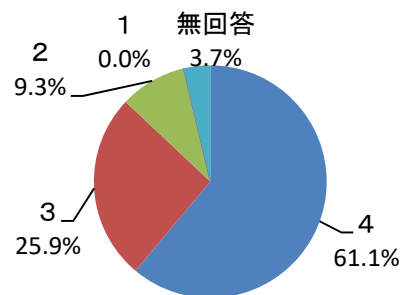
#### ◎活用度 2

- ・ 境界をなくす、グレーゾーンをつくる発想が参考になった
- ・ 次々と新しいことに取り組む重要性は理解できました。境界の考え方を実際に行い成功させることは難しそう。

		N=54	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	33	61.1%
	3	18	33.3%
	2	2	3.7%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



		N=54	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	33	61.1%
	3	14	25.9%
	2	5	9.3%
	1	0	0.0%
	無回答	2	3.7%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ ゴール設定の明確化の共有は実はやっているようでやっていなく、改めて重要性を感じた。まずは、一步踏み込むときにモチベーションを全体で上げて行きたい。
- ・ ゴールをしっかりと話し合って理解し合うように行動したい。
- ・ 経営者であっても現場ではプレーヤーであることは重要であると思った。
- ・ 明確な目標設定、その共有の重要性について改めて勉強になりました。
- ・ 人材育成の根本を教えて頂いたような気がした。
- ・ ゴールの設定をしっかり決めたいと思います。
- ・ ゴール設定の大切さを改めて感じました。今後計画づくりの際の参考にしたいと思います。
- ・ プロセスを学ぶことができ、大変参考になった。
- ・ 非常に分かりやすく、今後に活かせる「技術」を教えていただいた気がします。
- ・ ゴール設定に数値目標だけでなく、それ以外の成果についても考える。ゴールはワンフレーズでわくわくするわかり易いものにする。
- ・ ゴールを確実に設定する大切さが理解できた。
- ・ ゴール設定の話は非常に参考になりました。なにより「わかりやすく」というのがそのとおりだと思いましたので、ぜひ活用したいです。
- ・ バイタリティあふれる講師からパワーをもらうことができました。
- ・ ネガティブな意見から耳を背けない、話をきっちり聞くようになりたい。
- ・ 具体的な目的を立て、そこから逆算して行動しなければならないと感じた。
- ・ 「どうしてこれに取り組むのか」の共有、参考になりました。

- ・ ほめることを大切に人を育て、協働する上でゴール設定を丁寧にしたいと思いました。
- ・ 具体的な目標を設定することの重要性を感じました。
- ・ 成功するまでのプロセスを学んだ。
- ・ 理にかなっていて、図が頭に入りやすかった。実践する上で迷いが生じても、その理、技法に立ち戻り修正をしていけばよいので、今後進める上で基本の考え方としていきたい。
- ・ ゴール設計が甘い、という部分で耳の痛いお話でしたが、しっかりとヒアリングする大切さを学びました。
- ・ 反対する人に近づく勇気をもって取り組みたい。
- ・ プラン設計を考える上でとても参考となった。
- ・ ゴールの設定等、これからの活動でとても参考になりました。
- ・ コーチングに興味をもちました。ほめ方も様々で即活用できることばかりでとても参考になりました。
- ・ 分かりやすい説明でした。
- ・ ゴール設定の明確さがとても重要だということがよくわかった。定性、定量の両方からゴールを設定するという方法も具体的でわかり易く、実務に活かしていきたいと思う。
- ・ ゴールからの逆算という考え方はとても重要だと考えさせられた。
- ・ 地域づくりをする人財育成で、①現状把握→②ゴール設立→③の過程の順で組み立てる事を知った。カウンセリングの技法を使って対応力を身につけたいと思った。

### ◎活用度 3

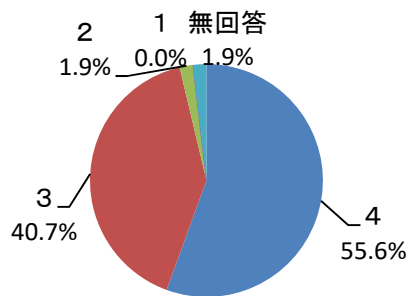
- ・ 場を取りもつコミュニケーション技法に興味をわいた。詳しくは勉強してみたい。
- ・ ゴール設定、難しい点ではあるが必要なことだと思った。
- ・ 人を動かすスキルを参考にしたい。
- ・ 「ゴール」という目標設定をしてから過程を考え、現状に結びつけるというのは今まで自分にはない考え方だった。
- ・ わかりやすく、PDCAにも期限設定が重要ということを学んだ
- ・ 設計の話はわかりやすかったです。育成の話はその気でない団体については難しいと感じました。
- ・ ゴールを決めた後の進め方について知ることが出来た。
- ・ ネガティブ情報を整理していき理解を深めていくことが重要であるとわかった。
- ・ 「ゴール」の設定が一番大事というお話は非常にためになった。
- ・ 人材育成のポイントを活用し、しっかりコーチング出来る自分になる。

### ◎活用度 2

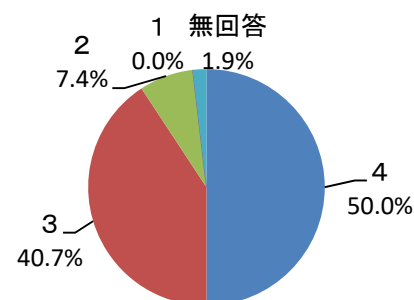
- ・ 現在の立場では人材を充てんする程の時間もない。内容は自分の会社員当時を考えればよく理解できた。
- ・ スタート→ゴールの過程の逆算。もう少し具体的に説明があればよかったですと思います。

【講師との直接対話】

		N=54	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	30	55.6%
	3	22	40.7%
	2	1	1.9%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



		N=54	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	27	50.0%
	3	22	40.7%
	2	4	7.4%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 少人数のグループで対話出来たので通常の講義よりもわかりやすいというか、実感がわきました。
- ・ 少人数だと近くで思いを感じ取れる。良い意味でも悪い意味でも行政との感覚の差は感じた。
- ・ 直接話を聞くことができ、大変参考になりました。
- ・ 貴重な時間でした。
- ・ 少人数で先生方の熱い思いを聞くことができ、感動しました。
- ・ どの先生も企画の大切さをお話されていた。企画あって、人、そして変化への対応。勉強になりました。
- ・ 疑問にそれぞれ答えていただけて、とても参考になりました。
- ・ 地域にどういう利益をもたらすのかを明確にし、誰と組むか（座組）がコーディネートには重要となる。
- ・ 大学連携の活用、やねだんの実践、IT企業との協働、前神さんの行動、それぞれに役立つ内容でした。
- ・ さらに掘り下げたお話が聞けてよかった。
- ・ 前任の講師と直接話すことができよかった。
- ・ 質問に丁寧に答えていただくだけでなくアドバイスなどもいただくなど大変有意義な時間でした。
- ・ 講師の方たちの熱意や楽しんでらっしゃるなということを強く感じた。
- ・ クリエイティブでイノベーティブでマルチタスクな仕事に取り組む。

- ・ 講師の熱意がより感じられた。
- ・ ICT×地域づくり、福祉×地域づくりなど、いろいろな切り口を見つけ出すためにも、他の課との交流は大切だなと思う。
- ・ 対話というよりは話を聞く方がメインにはなったが、普段悩んでいることへのヒントになるようなことも多くあった。講師とつながりができてよかった。
- ・ 情報を事前に収集できるように人とのつながりを大切にしていきたいと思いました。活動するためには座組が大切だということ学びました。
- ・ 少人数での講師対話を行えたことでより具体的に話を聞くことが出来大変良かった。
- ・ ITを使った地域づくりが心に残った。
- ・ 「対話」というより講演の続きでしたが、よりくわしい内容を知ることが出来ました。

### ◎活用度 3

- ・ ICT による地域活性化においてどうしても専門分野の為にベンダーに頼る所が大きいがまずは地域のニーズを把握することが大事だと感じた。
- ・ 座学以上に対話を通じて理解が進みました。
- ・ 講義の時とはまた違った先生の顔や考えをきけて、とても有意義な時間でした。
- ・ それぞれ時間が足りなかった。
- ・ より詳しい話が聞けて良かったです。
- ・ 講師と近い距離でお話を聞くことが出来た。
- ・ いろいろな角度から少人数で話を聞くことが出来て良かったです。
- ・ 特に「やねだん」の話で疑問であった”行政に何が求められているか”ではなく”自分に”何が求められているか学んだと思います。
- ・ 事例的なものを沢山聞くことができ、参考となった。
- ・ あまり「対話」はできませんでしたが、どの先生の話もとてもありがたいものでした。
- ・ 講師 1 人 1 人との対話時間が短かった。
- ・ 事例を挙げながら、行政としての考え方や立ち位置、また本人が成長することなど具体的な話を聞けてよかった。
- ・ 直接対話を通して講師の方々とより詳しく話を聞けてとても参考になった。
- ・ 1R～4R あり個別の感想は書けませんが、少人数で理解が深まりました。

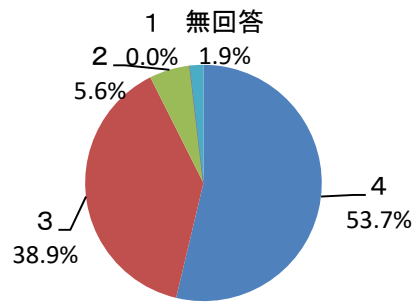
### ◎活用度 2

- ・ 対話なのか講義なのか良く分からない時間で、自分のスタンスに悩みながら参加しました。
- ・ それぞれの講師の方の話がどれも勉強になり、なるほど、と改めて気付かされる連続でした。
- ・ 直接対話する時間が十分に取れていない。講師によっては一方的に説明を聞くだけになってしまった。
- ・ さらに深めることができるものもあった。また、牧野先生のお話から、遠隔地から窓口相談も ICT の活用を提案したいと思う。



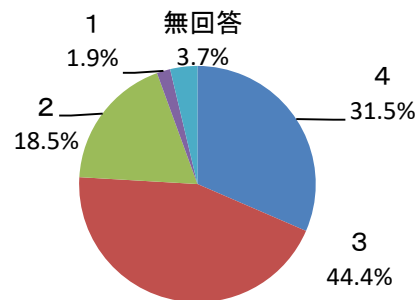
N=54

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	29	53.7%
	3	21	38.9%
	2	3	5.6%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



N=54

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	17	31.5%
	3	24	44.4%
	2	10	18.5%
	1	1	1.9%
	無回答	2	3.7%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ とても参考になった。
- ・ 自主グループで何かやってみたい気持ちになりました。
- ・ 目指すまちにむけて、ご自身のできる範囲で活動されているお話をうかがい、私も実践しなくてはと思いました。
- ・ 自分からアクションを起こされていて刺激を受けました。
- ・ 共感できる内容が多く、研修後の目指すべき姿だと思いました。
- ・ 自分が得たものを”おいしく提供する”という言葉が印象的でした。講師の積極性を見習いたいと感じました。
- ・ 受講されてから地域への飛び出しの勇気を見習いたい。
- ・ まだ大きな事業が出来るわけでもなく、「今」何からはじめたらいいのか、という悩みについてヒントをもらえたように思う。
- ・ 実践されていることがとても身近に感じられて、イメージしやすかった。職場以外でも、幅広く活動されていて、すごいと思いました。自分もなにか踏みだしたいと共感した。
- ・ 自分のできることから始めること、共有できる仲間をつくる、増やすということで、職員同士がそういう意識になることが大切。
- ・ 栃木に行ってみたいと思いました。若い高校生の力を引き出すことはすばらしいと思いました。
- ・ ご自身の振り返りと合わせ、人財塾の効果を教えていただきわかりやすかった。

### ◎活用度 3

- ・ 意欲的に公務外で勉強会を開催していることに感心した
- ・ できるところから踏み出している。高校生が帰ってきたくなる・・・当町と同じで互いに参考になる部分があると思う。※ヤングカレッジ事業
- ・ 同じような立場で活動されている人の話なので参考になりました。
- ・ 1日目、2日目の講義をきいてすぐ真似ができるような行動力ではないと思っていましたが、今ある事業から進んでいる姿が素敵だと思いました。
- ・ 自分でできることから実践されている点が良かった。
- ・ 自分からいろいろなところに出向いて人と関わっていく行動力がすごいと思いました。
- ・ またお若いのに、これだけのバイタリティ、感心します。
- ・ 何かを1から作らなくてもまずは今あるものを活用しようと思った。
- ・ 最も身近でした。どうしたらいいの？からはじまることで少しずつでも一歩、ということの良いんだと感じました。
- ・ 「自分のやれることをやる。」「自分の得たものを整理して地域に提供していく」心にひびいた。
- ・ 人材塾をきっかけとして、地域を見直しとりあえずやってみよう活動されている姿に感心しました。
- ・ 自分の中で起こった変化を7年間振り返りという形で説明いただき、非常にわかりやすかった。
- ・ 行動力が素晴らしいと感じました。自分もそうなりたいと思います。
- ・ 研修後に庁内で取組を継続されていらっしゃることは本当に素晴らしいと感じました。
- ・ 入庁してから地域づくりに関わっていくためのきっかけ等自分に重ねて聞くことができた。
- ・ 公務員の方々は業務外の時間に様々な活動をされていて、素晴らしいけど大変だなと心配になりました。

### ◎活用度 2

- ・ できることをするという姿勢は参考になりました。
- ・ 人材塾をきっかけに、積極的にまちづくりに参画した経験を聞いた。高校生をターゲットとして考えておられた。
- ・ 事業として何かすることからではなくても、小さなことやすぐ近くの人たちと少しずつ動き出すのも1つだと知れた。
- ・ 人材塾の後、実際に行った活動内容がわかりやすかった。
- ・ 業務外の活動が多く参考になりました。

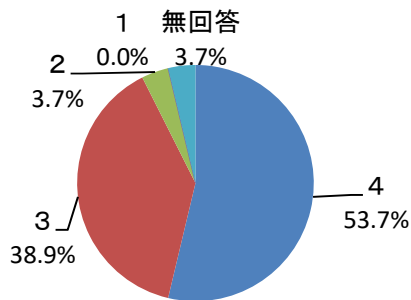
### ◎活用度 1

- ・ 行政職員として地域と関わるのがそのきっかけから良く分かった。

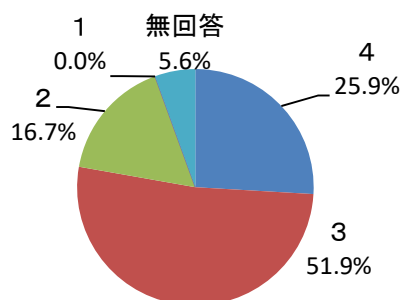
### ◎活用度無回答

- ・ 自分らしいとても良いチャレンジをされているとの感想を持った。応援したくなる。

<理解度>		N=54	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	29	53.7%
	3	21	38.9%
	2	2	3.7%
	1	0	0.0%
	無回答	2	3.7%
合計		54	100.0%



<活用度>		N=54	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	14	25.9%
	3	28	51.9%
	2	9	16.7%
	1	0	0.0%
	無回答	3	5.6%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ とても参考になった。
- ・ 自ら地域のリーダーとして活動され実践されていることが素晴らしいと思いました。
- ・ 自ら地域に出ていろいろと実践されており刺激を受けました。
- ・ 協力隊の活動や拠点の作り方は大変参考になった。
- ・ 地域ですごく必要とされているのだと感じ、見習わなければと感じた。
- ・ わが市においても、同じような課題を抱えており、共感できる内容が多かったです。”元快衆楽”など弱みを逆手に取る感覚が必要だと感じた。
- ・ 区長への挑戦など仕事と地域を区別しない姿勢を見習いたい。
- ・ 自分の市でも茶堂があるので、とても参考になった。楽しんで活動している姿がとても印象的だった。
- ・ 同じ四国ですが、西予市の事は良く知りませんでした。若い宇都宮さんが活動されることが地域づくりに大切だと思いました。

◎活用度 3

- ・ 地区計画がしっかり作られているのがすばらしいと感じた。
- ・ 公民館配属からというのは私も同じであり、特に若い職員には一度は行って欲しい。地域人として実践できていることがすごい。
- ・ 茶堂の話など色々なところでつながりが出来るのだと感じました。
- ・ 「元快衆楽」がとても印象的でした。

- ・ 茶堂が特に印象的でした。様々な地域活動への関わり、行動力がすごいと思いました。
- ・ 自分のまちが好きというのは最大の力になると感じました。
- ・ 机の上に居るだけでなく、外に出て一緒に何かをやるのが大事だと感じた。
- ・ 組織の理解もあってと思いますが、自らが地域の担い手として活動されていると聞き、すばらしいと思いました。
- ・ 実践できる内容で、参考になりました。
- ・ まずは自分から動くことを実行されていて勉強になった。
- ・ 自ら動くことの重要性を理解できた。
- ・ 地域の状況が似ているように感じました。何か取り入れることが出来れば良いと思いました。
- ・ 地域活動に住民としても深く関わっている点、見習いたいです。
- ・ 地域おこし協力隊との関係がうまく出来ているなど思う。
- ・ 周りを巻き込む方法や考え方について参考となる部分が多くあった。誰とつながるかなど常にアンテナを張っておく必要がある。
- ・ 地域に対して積極的に入り込まれていて、限界集落における取組の姿勢に驚きました。
- ・ まずは地方に入ることを強く感じた。
- ・ 地域との活動の事例を聞き、地域間の距離の近さを感じた。
- ・ 身近にある建物などを資源としてとらえ活用することが参考になった。
- ・ 公私にわたって地域に密着していて驚いた。
- ・ 地域にこんな公務員の方がいたら助かります。協力隊の活動も気になりました。
- ・ 限界集落への対処方法、一発逆転の必殺技、結局は地道な活動かと思いました。

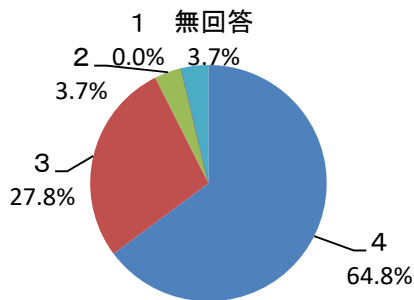
#### ◎活用度 2

- ・ 仕事以外の取組みに感心しました。
- ・ 地元ならではの、地元を知ってこそ、ということの大切さを考えさせられました。
- ・ 地域の中に入り、地域課題の解決に向けて取り組まれていることを聞いた。
- ・ 自ら率先して動いている印象を受けた。地域を好きになるため地域のことを知りたい。

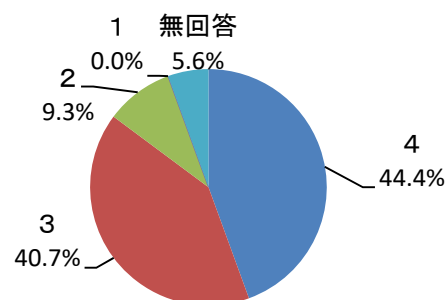
#### ◎活用度無回答

- ・ 地域づくり交付金の出し方、考え方について教えてほしい。
- ・ 地域に根差す公務員さんは地域にとってとてもありがたく頼もしい存在。多くの職員がこうあってほしい。

		N=54	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	35	64.8%
	3	15	27.8%
	2	2	3.7%
	1	0	0.0%
	無回答	2	3.7%
合計		54	100.0%



		N=54	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	24	44.4%
	3	22	40.7%
	2	5	9.3%
	1	0	0.0%
	無回答	3	5.6%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 何もしない合宿、実施できるよう頑張ります。
- ・ 何もしない合宿、いすみ市でやりたいと思います。
- ・ 何もしない合宿のアイデアは庁内で共有したいです。
- ・ わがまちの良さを伝えていただいていたありがとうございます。
- ・ 目的がしっかりとあるからこそ素晴らしい活動だと思いました。参考にさせていただきます。
- ・ 地域の子どものつながりを継続して、実施することで、子どもにも大人にも、良い関係ができる素晴らしい活動と思った。
- ・ お若くて、議員とお聞きしてびっくりしたが、すごくよい取組みをされているなと感じた。
- ・ ”何もしない”の発想力は凄いと思います。
- ・ 中学生・小学生との活動、私も見習いたい。
- ・ 何もしない合宿、とても素敵だと思いました。自分の地域でも人のつながりを強めたい
- ・ 自分のためでもよいという考え方を聞いて気が楽になったというか、まずは難しく考えずにやればよいという思いになった。
- ・ 「何もしない合宿」の発想が斬新でした。中学生をサポートにする発想も良いと思いました。
- ・ 若い世代、特に子どもたちへの継続した地域への関わりの場をつくられていることに大変素晴らしいと感じました。
- ・ 何もしない合宿は地域づくりの面白さ、愉快さを感じた。敬語は人の心を離れさせたり、人を敬い、使い方TPOを工夫したい。
- ・ 「何もしない合宿」とてもよいイベントだと思う。継続的な、無理のない。

- ・ すごく楽しそうだなと感じました。熊本でもパクろうと思います。
- ・ とても取り入れやすく、楽しい活動でぜひ提案したいと思いました。
- ・ 数年中に岡山でも何もしない合宿を実現します。
- ・ 大きくハキハキわかりやすい。

### ◎活用度 3

- ・ 子ども会が無くなっているなか、新たな子どもの参加づくりの機会になると感じた。
- ・ 良いと思ったこと、子どもたちのためになることを素直に実践している。子どもたちの地元への愛着心の醸成の参考としたい。つかれないことが同じく大事と思う。
- ・ “ナナメの関係” 私も地域の子どものお婆さんの存在になれたらいいな・・・笑
- ・ 人と人が関わる場づくりの大切さを改めて教えて頂きました。
- ・ 発想がすごい。またそれを実現させて続けていく。何かに活かしていきたい。
- ・ なるべく負担を掛けないという視点は長続きの秘訣かなと思いました。
- ・ 自分だけでなく、誰かも巻き込んでいくことが大事だと感じた。
- ・ 個人的に自分の子どもにやってみたい。と思いました。
- ・ めっちゃやりたいです。
- ・ 負担を少なくすることで継続できる良い例だと思った。
- ・ 何もしなくても、人が集まり継続することで、色々な事が生まれることを再認識できました。
- ・ 楽しそう。「無理なく続けられる」ことが大事だと思う。豊重さんの事例のような、集落に共通の目標があるのも1つの形だけど、こちらは皆がそれぞれの方向を向いていてOKな雰囲気現代の生活に合っていると思う。
- ・ とても面白い活動を紹介してもらい、これからの自分の活動に参考にしたいと感じた。

### ◎活用度 2

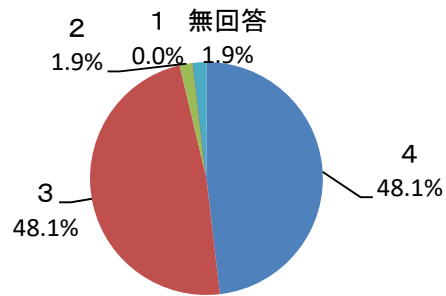
- ・ 人とのつながりの重要性を感じた。子どもたちの心の豊かさが将来につながると思った。
- ・ 既存の概念にとらわれない活動により共生を果たされているが、自分の地域におきかえることは安全管理から不可能である。
- ・ 「何もしない合宿」事業についての報告をしていただいた。境界とプラットフォームに気をくばりコーディネートされていた。
- ・ 人との関わりが地域づくりで最も大切だと感じた。
- ・ 消費者サイドの負担を減らす。

### ◎活用度無回答

- ・ 取組が「何もやらない」という発想が参加しやすいきっかけになると感じました。
- ・ 元気な活動報告は、特に「父親」参加者にはダイレクトに伝わり、一歩踏み出す後押しになったのでは。

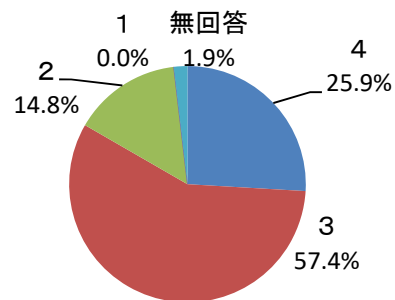
N=54

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	26	48.1%
	3	26	48.1%
	2	1	1.9%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



N=54

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	14	25.9%
	3	31	57.4%
	2	8	14.8%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 朝来市には以前からとても興味があったため今回お話を聞けて良かったです。
- ・ とても参考になった。
- ・ 自分（達）のできることをやってみるこの一歩がすごいと思いました。刺激になります。
- ・ 地域資源の活用と、若い世代の活発な取組を参考にさせていただきたいと思います。
- ・ 実践事例が分かりやすかったです。
- ・ 市の地域活動推進にとっても役立つ情報をもらった。
- ・ 普段の何気ない活動から始めることが大切であると感じました。
- ・ 自分のやりたいこと、できることがわかっておらず、全て中途半端だったので、自分のやりたいこと、できることを考えたいと思った。
- ・ 一歩を踏み出すこと、何をしてつながるのではなく何を思いつながるかが大切であるということが印象的でした。
- ・ 結成された団体においてしっかりとワーキンググループで方針を話し合いされていることが素晴らしいと思いました。
- ・ 一歩を踏み出すことの大切さ、それが大事。地域を知って自分を知ってもらう。

◎活用度 3

- ・ 新たな第1歩として地域活動への飛び出しは難しいことだと思うが大切なことだと感じた。
- ・ 「楽しさが活動に重要」これからのヒントにしたいと思います。
- ・ 地域づくりの企画をするとき、この図をもとに考えてみます。

- ・ すごい観光資源を持っていても、根底にある課題は同じだと感じました。今後観光資源をつくるだけでなくその周りのことにも目を向けて行かなければいけない。
- ・ 地域と一緒に何かやるのが大事だと感じた。
- ・ ”たのしそう”と感じました。自分が楽しくなければつづかないなど。
- ・ 地域を知り、人を知る、そして認めてもらう。地域の下請けでなく、自分も楽しめる活動を！！理想的な思想だと思った。
- ・ この研修をうけたことで地域に介入するきっかけと手法を上手く活用し、自らも地域と仕事を両立されていたことがすごいと思った。
- ・ 失敗談も交えてお話いただき参考になった。
- ・ 皆でムリなくやるっていうのが、とてもカンタンそうに見えますが、ほんとは難しいのかなと思いました。
- ・ 一緒に受講した方たちのやる気や覚悟を知ることが出来た。
- ・ 誠実さが伝わりました。
- ・ 「まずは一步踏みだし、楽しく続ける」自分も実践したいと思います。
- ・ 先程の事例同様、無理なく楽しめることの重要性、また、自ら地域に出向くことが重要だとわかった。しかし、何でも引き受ける便利屋、という扱いだと負担が増えるため、その線引きも実際は難しいところだと思う。
- ・ 自分が楽しめること、できることをやるということは、つづけるということから考えても大事なことだと思った。
- ・ 現在行っている活動事例をもとに発表をしてくださり、参考にしていきたいと感じた。
- ・ 人財塾で学び、すぐ動くことの重要性を学ばされた。一步踏み出します。
- ・ 地域に入る姿勢はすばらしいと思いました。
- ・ 公務員同士の協力を進めていきたい。

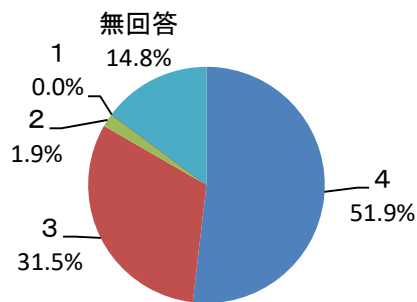
## ◎活用度 2

- ・ 住人としての地区活動に感心しました。
- ・ 20～50代の年代で実行するグループをつくっておられ、「地域を知り」「自分を知ってもらう」「地域に入る」としながら、負担感、義務感のないよう配慮しておられた。
- ・ 具体的な活動内容がよくわかった。
- ・ 地域や行政の下請けではなく楽しんで継続することが大切であることがわかった。
- ・ 素晴らしい資源を持っているエリアで、その活用手法はそうでない地域では使いにくい。

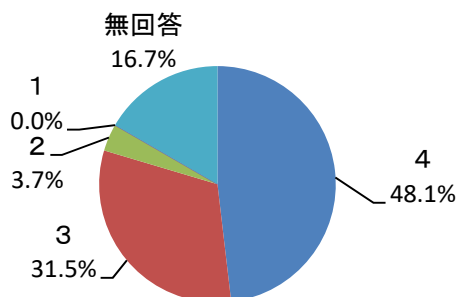


【成果発表と振り返り】

		N=54	
<理解度>		回答数	%
↑ 高低 ↓	4	28	51.9%
	3	17	31.5%
	2	1	1.9%
	1	0	0.0%
	無回答	8	14.8%
合計		54	100.0%



		N=54	
<活用度>		回答数	%
↑ 高低 ↓	4	26	48.1%
	3	17	31.5%
	2	2	3.7%
	1	0	0.0%
	無回答	9	16.7%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 振り返りの成果を紙に宣言として書き出すということは非常に有意義だと感じた。
- ・ 宣言された方から刺激を受けた。
- ・ 自分に足りない部分を強く感じ、変えていきたいと強く思いました。
- ・ 何か出来そうなそんな気にさせていただきました。
- ・ 3日間のまとめをすることができ、良かったです。
- ・ 先生方の熱意を忘れそうにありません。
- ・ 講師陣のあついメッセージがありがたかったです。
- ・ 皆さんの発表がすごくいい刺激になった。
- ・ 自分のこれからすべきことを深く考えることができた。
- ・ 人財塾で得た熱が継続するよう、行動宣言の用紙は大切にします。
- ・ 人の発表を聞くなかで、自分のやりたいことへのヒント。自分は発表をしなかったが、周りに宣言しようと思った。
- ・ 皆さんの成果発表を拝聴し、とても前向きな気持ちになることが出来ました。
- ・ 受講されたみなさんの思いや考えを共有することが出来て良かったです。
- ・ 講師の方の言葉を頂き、きちんと心にとめておきたいと思った。
- ・ 行動宣言をもとに行動していきます。
- ・ 今後の自分がやっていきたいことを整理できた。実行したい。
- ・ 各自が地域に持ち帰ってこのマインドを持って働いたら地域が元気になると思う。

### ◎活用度 3

- ・ 1歩を踏み出された6名の方の背中を見習って私も地元で1歩を踏み出したいと思います。
- ・ 自分の決めた行動宣言を実行していきたいと思います。
- ・ それぞれの立場で目標を設定し1歩踏み出す力が伝わってきました。
- ・ 自分の気付き以外の点についても復習できる良い時間だった。
- ・ 変わるキッカケとなることを実感しました。
- ・ 最後ゆっくりと落とし込めて良かったです。
- ・ みなさんの熱い思いを聞くことで自分のモチベーションUPにもつながった。
- ・ 様々な方々の意見を聞き、この研修を振り返るのにとっても良い機会であった。

### ◎活用度 2

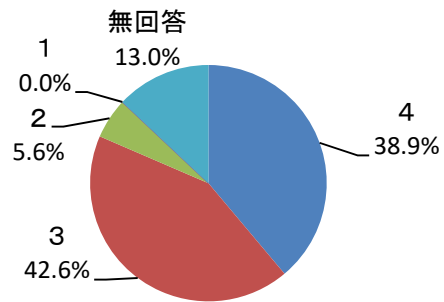
- ・ 6人の方の発表を聞いた。

### ◎活用度無回答

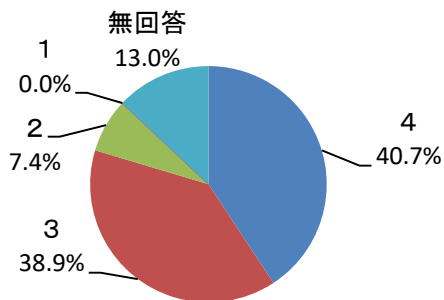
- ・ 自分とは違う考え、やり方を聞くことができ良かった。
- ・ 3日間の成果を発表いただいてさらに自己を振り返ることができた。
- ・ それぞれに頂いた言葉が胸にグッときました。

【グループトーク】

		N=54	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	21	38.9%
	3	23	42.6%
	2	3	5.6%
	1	0	0.0%
	無回答	7	13.0%
合計		54	100.0%



		N=54	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	22	40.7%
	3	21	38.9%
	2	4	7.4%
	1	0	0.0%
	無回答	7	13.0%
合計		54	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ メンバーの感じたこと、学んだことから考えた独自の意見がきけて刺激を受けました。
- ・ 多くの方と交流が出来て良かったです。
- ・ 他市の方との交流ができ、参考になりました。
- ・ 再確認できて良かったです。
- ・ 情報交換は非常に有益でした。
- ・ グループで話し合う事で、自分の学びの整理と、他の方の意見もきけてよかった。
- ・ 他市の様子を知ることができた。
- ・ 共有できてよかった。
- ・ 他の組織の方と話すことができるのでよかった。
- ・ 自分一人の解釈以外に皆さんの意見を聞くことで新たな知見を得る事が出来ました。
- ・ グループトークをすることで、つながりができ、更に、1日の振り返りをする事ができた。

◎活用度 3

- ・ 講義内容を参加者の意見などをもとに整理する良い機会となった。
- ・ 人の話を上手く引き出す大切さを久しぶりのグループトークで思い出しました。
- ・ もう少し時間があっても良かったと思います。
- ・ 自分の市以外でも同じ課題を抱えていたり、こういう考え方もあったのかと気付くこともできた。
- ・ それぞれの違った考えを聞くことができてよかった。

- ・ グループの人達の意見を聞くことで理解を深める事ができ、自分自身の理解の確認にもなった。
- ・ それぞれが抱える課題とかの話も共有できてよかった。
- ・ もう少し、テーマを絞り、時間が取れば、より良かったと思います。
- ・ 多くの人との交流を持つことができた。
- ・ 有意義な振り返りになりました。
- ・ 短い。けれど、自分があまり重視してなかったところに、他の人は着眼してたりして、自分一人では追いついてなかった部分まで考えなおすことが出来た。
- ・ 他の受講生との気付き、感じたこと等の意見交換を行うことができ、振り返りを1日単位で行うことができた。
- ・ 1人1人のキャラクターを知れて良かったです。

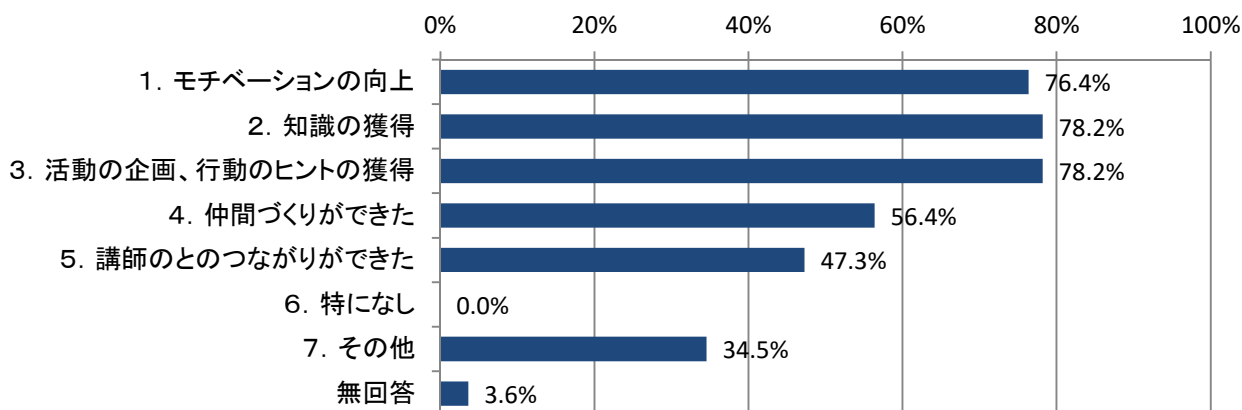
◎活用度2

- ・ 一人一人の話をもっと落ち着いて聞きたかったです。

(2) 研修全体について

①人財塾の良かった点についてお伺いします。下記の選択肢から該当するもの全てに○をつけてください。

	回答数	%
1. モチベーションの向上	42	76.4%
2. 知識の獲得	43	78.2%
3. 活動の企画、行動のヒントの獲得	43	78.2%
4. 仲間づくりができた	31	56.4%
5. 講師のとのつながりができた	26	47.3%
6. 特になし	0	0.0%
7. その他	19	34.5%
無回答	2	3.6%



<その他の回答>

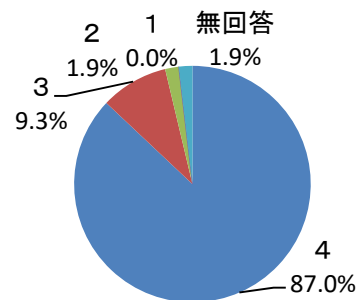
- ・ 具体的に目指すもの（創発）ができて、明日から頑張れそうです。
- ・ 研修前は、地域でどんな活動をすれば良いのか分からなかったのですが、ヒントを得られればと思っていました。研修を受けてからは、まず人間力・組織力が大事なのだと気がきました。
- ・ 仕事で何をすべきか分からなかったのですが、今日の研修を受講してモチベーションが向上しました。今一度自分の地域と向き合い、よりよい地域づくりを進めていきたい。また、全国の人とつながりが持てたのがとても良かったです。
- ・ これまでモヤモヤしていたことがスッキリとまではいかないまでも、こんな方向で考えればいいのかとか思えることができた。人間力の大切さ、企画力の大切さ、行政という立場ではなく、1人の人間としてかんがえ、振舞うことが大事であるということを基盤とし、これからの仕事に活かしていきたい。
- ・ なかなかお話を伺う事が難しい講師の方々と直接対話ができ、非常に参考になるものでした。
- ・ 講師の方々も受講生も熱意があり、かなり”帰ったらやってみよう”という気持ちにさせていただけました。
- ・ コーディネートするのに不足していた知識や情報を得ることが出来た。また、今の自分の仕事

に当てはめ、必要な行動のヒントを得た。

- ・ 研修に参加する前に考えていた以上に内容の濃いもので驚いた一方で、感動しました。
- ・ 3日間を通じて非常に密度のある研修で、大変参考になった。今後の取組を進めて行く上でのヒントがたくさんあったと思う。まず自らが動くということを常に頭に入れて活動していきたい。
- ・ いろんな方とお知り合いになれたのは本当に良かったです。また、講師の方からのお話で「自分でもできる事からやってみよう」と思うことが出来ました。
- ・ すごいことをすぐにはできませんが、行動宣言に書いたことは絶対に実行していきたいです。
- ・ 卒塾生の報告は具体性がありとても参考になってよかった。講義内容が活かされている様子も見られ、この人財塾の研修が実践されているなどの感想をもった。
- ・ 多めに持参した名刺がすべてなくなりました。非常に充実した3日間でした。ありがとうございました。
- ・ 既に非常に多くの人々が、地域づくりに取り組んでいることに驚いた。”入塾”との意識がないまま、いつの間にか塾生のようになった感じで、気がつけば少し前に進んでいる感じがかえってよかった。これって（飯盛先生のグレーゾーン？）
- ・ 自分の地域の見つめ直しが出来たと思う。話を聞くなかですごい取り組みをしてるな、と思う反面「うちにも近いことやっている課があるなあ」と思いだしたりして、課ごとのつながりでもっと効果的にまちづくりができないかなと思った。
- ・ いろいろな方と話すことができたり、事例を聞くことができてよかったが、講師の方の話をもう少し詳しく聞ければ良かったと思う。少し時間が足りないなと感じるところもあった。
- ・ 仲間づくりができたことがとても大きいです。人とのつながりを大切に情報共有、交換して職務に還元したいと思いました。
- ・ まずは「行動すること」の大切さ、モチベーションを高める事ができた。
- ・ 「地域づくり」というテーマで集まった方々だったので、各市町村で取り組んでいることなどを意見交換することが出来、とてもよいきっかけとなった。
- ・ 自分の行動のヒントを多くもらえました。がんばって変わろうと思います。

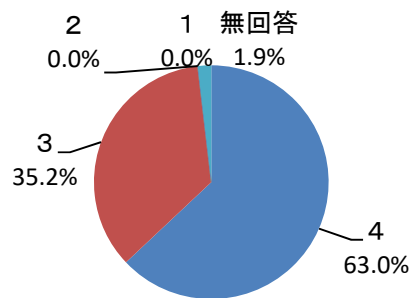
②人財塾を受講したことにより、今後、業務又は業務外で地域づくりに関する活動を新たに又は、継続して行っていききたいと思うようになりましたか？

		N=54	
活用度		回答数	%
↑ 思った 思わない ↓	4	47	87.0%
	3	5	9.3%
	2	1	1.9%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



③研修全体の進め方・運営についてどのように感じられましたか？

		N=54	
活用度		回答数	%
↑ 良かった 良くなかった ↓	4	34	63.0%
	3	19	35.2%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.9%
合計		54	100.0%



④その他研修に関して改善点・お気づきの点をお聞かせください。

[プログラム、講義形式]

- ・ 全体的にコマ数が多いと感じた。1つのテーマにもう少し時間を割いてグループワークなどの時間をとってほしいと思う。
- ・ 事前アンケートの必要性について検討してほしい。講義を聞いてから直接対話をしてほしい。
- ・ グループトークがもう少しあってもよかったかもしれない。先生のお話も勉強になるが、同じ課題でみなさんがどう考えておられるかももう少し深く聞けるとよかった。
- ・ 1日目の交流会では様々な自治体等の方々と意見交換が出来て良かったです。
- ・ 個別の講師との対話は、先生方の熱意が高く、講師のお話の後にもっと受講生と講師間での討議（質疑応答）の時間が得られたら・・・と感じました。
- ・ 日程の関係で、2日目の課外という型よりも6時限目を設ける型の方がよかったと思う。
- ・ 休憩の時間はしっかり取ってほしい。
- ・ 研修生同士でお話できる機会が少し物足りなさを感じました。講師との直接対話でもあまり発言が出来なかった。
- ・ もう少し日数があればと思いました。
- ・ 講師1人1人との対話の時間が少なかった。

- ・ 講義内容と時間の不一致（各講師とも時間をオーバーしている or 内容を一部省略している）。直接対話はもっと少人数制にした方が対話の時間が増えると思います。
- ・ 3日目を夕方までにして、その後もメンバー交流できると良いと思いました。14時40分に終了すると後泊できないので、バラバラになってしまうという点が残念です。とてもスケジュールはタイトでしたが充実して楽しい研修でした。これから継続していただきたいです。
- ・ 研修全体については、進め方で時間的な余裕がないように思われた。例えばじっくりと話を聞きたい講師との時間や昼食後には1時間程度自由時間を作り（資料を読む、前日の復習、唐崎神社へいく、図書館で地方自治関係の本を読む）等の過ごし方が出来る。
- ・ こちらの図書館でそろえてある本が、特異的で他にない本が多くあり、大変素晴らしく、夜などじっくり読みたくとも時間がなく残念でした。DVDやCDも利用してみたかった。活用頻度が少なそうに見えた。
- ・ 他の受講者の状況を聞く時間がもっとあれば良いと思いました。
- ・ 講師との直接対話、もう少し長く時間があれば良いと思います。
- ・ 朝の発表の時間はもっと楽しいやり方があると思いました。

#### [講義内容]

- ・ 講師の話はとてもためになりました。全体を通して少しハードな日程に感じました。
- ・ とてもいい時間になりました。ありがとうございました。直接対話が消化不良でしたが、またこれからも参加したいと思います。
- ・ 良い講師陣に恵まれました。ありがとうございました。

#### [その他]

- ・ 非常に良い研修でした。ありがとうございました。
- ・ 3日間はあっという間でしたが、自分の中のモヤモヤが取れました。
- ・ それぞれの先生方の講義はとても魅力的なものであったので、もっと時間をかけて勉強したいと思いました。
- ・ 滋賀の日本酒、もっと大きい瓶を希望です。(笑)
- ・ とてもよかった。次年度は是非西宮市職員を参加させたい。
- ・ 講師の方たちの熱意はもちろん、受講生の皆さんの熱意を感じる事ができ、今後の業務へのモチベーションの向上と知識の獲得ができ、この研修に参加できて良かったと思う。
- ・ 自分が地域に入って行く大切さを学んだ。良い研修となりました。
- ・ 売店は夜間に開けてあると滋賀の土産など選びやすいと思えた。



(3) 今回の研修受講生を対象としたステップアップ研修を行う場合、どのような内容を望みますか？

[受講者の個別の課題をテーマとした研修]

- ・ みなさんが持っていた課題をどう乗り越えてこられたか、知れるとよい。また、演習のような形で深堀できたらよい。
- ・ その後の自身の活動した内容等の発表。(きっかけ、行動内容、成功・失敗談、今後の目標等)
- ・ 受講生の実例によるケーススタディで、実践力向上につなげられないか。

[その他内容に関する事柄]

- ・ 先生たちが話された内容の事が、その後どう展開されていったか教えていただきたい。
- ・ 具体的な事例をもとに検証をし、成功した理由、失敗した理由を探る研修。
- ・ より専門的、詳しいものにするためにはまちづくりの目的(自治会支援、産業振興、福祉目的など)別に分けてはどうかと思いました。
- ・ 成功例よりも失敗例から学ぶことが多いので、こういう事をしなかったからコミュニティが崩壊してしまったなどの例があれば取り上げて欲しい。崩壊までいなくても、上手くいっていない例を皆で考える場でもよい。
- ・ 今回の研修で得たものを実践に移すべく、今度は各論というか個々のスキルのようなものを学べるような場があれば是非、参加したいと思います。
- ・ 今回、時間の都合で聞くことが出来なかった講師の方たちの講義を受けたい。
- ・ 今日学んだこと、知ったことを実践してみた後の問題点、改善点等をあげ、受講生同士が話し合ってみる。など
- ・ 具体例、実践の失敗(間違い)例。

[グループワークの形式]

- ・ 現地での実践研修または参加者から提案された事例をもとにケースメソッドなどのグループ討議など。
- ・ 取り組んでいる内容の課題を小グループで解決策を見出す。
- ・ ディスカッション、対話の時間、講師・参加者と。
- ・ 地域ごとの課題について話し合うワークショップ形式の研修など、より実務に近付いたものを希望します。
- ・ 1つのテーマ、事例を出して、グループでどの様に進めて行ったらよいか考える。
- ・ ワークショップ形式でお互いの活動等の話や課題を話し合う物を少しずつ(時間が)でも、年に1-2回でもあれば、是非参加したいと思います。これきりにならず、次へつなげたいと強く感じます。西日本のフォローアップも可能な限り参加したいです。
- ・ 演習を中心とした研修(グループワーク)も行ってみたいです。
- ・ 自分が行っている、行う予定である活動についてのワークショップ形式等によって意見出しを行い、よりよいものにする研修。

#### [フィールドワークの形式]

- ・ 現地視察。
- ・ 座学よりもワークを中心としたもの。
- ・ フィールドワーク。
- ・ フィールドワーク、してみたいなあ・・・と思う。JIAM 内での講義はもちろん参考になったけれど、外に出た方がまちづくりのリアルが見えてきそうだなあと思う。例えば、この周辺の、タヌキやらフクロウの置物がいたるところに置いてあるのは何故だろうとか、深めてみるとまちづくりにつながるのかなあと思う。

#### [その他形式に関する事柄]

- ・ より個別に対話し現在の活動について相談できるような研修。
- ・ 最後の宣言は、大きな輪になり一言ずつ全員宣言するとかどうですか？
- ・ 講師の方の事業などの見学や実務研修。

#### [フォローアップ]

- ・ 実際にどんな活動に踏み出したかを発表し合う会。
- ・ 研修前に提出した課題について、研修をうけての状況を一定期間をおいて確認（評価）していただき、ご教示いただく機会があればすばらしいと思います。
- ・ 研修の内容までは思いつきませんが、様々な事例紹介は参考になったので、情報提供いただきたいです。
- ・ 今回の研修後に取り組んだ内容を共有したいです。研修のモチベーションが下がりそうな頃に共有できたら再燃するのかなと思いました。
- ・ 先輩方が事例報告をしてくださったように、今回の研修の学びを同じ研修を受けたメンバー間で話し合えるフォローアップ研修（プレゼン）があると良いと思います。
- ・ 今回の研修を参考に、地域づくりに実際に携わった上での意見交換などが出来る場があればよい。
- ・ 現状→参加→変化の「変化」を共有するもの。

## 2. 自治大学校編

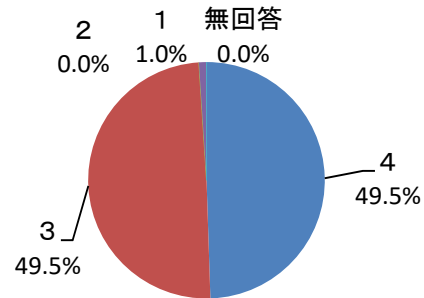
[平成 29 年 6 月 1 日～2 日]

(1) 各プログラムに対する評価

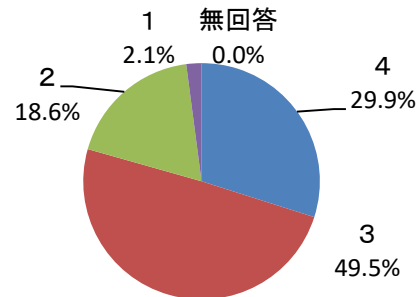
【合同講義】「創業の人材と後継の人材」

特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池 会長 富永 一夫 講師

<理解度>		N=97	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	48	49.5%
	3	48	49.5%
	2	0	0.0%
	1	1	1.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	97	100.0%



<活用度>		N=97	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	29	29.9%
	3	48	49.5%
	2	18	18.6%
	1	2	2.1%
	無回答	0	0.0%
	合計	97	100.0%



### <感想>

#### ◎活用度 4

- ・ 組織の肩書きで仕事をしているうちは2流という言葉が印象に残りました。
- ・ 指定管理者制度について考える機会をいただき、ありがとうございました。
- ・ 以前指定管理者制度の取りまとめを行っていたことがあるが、とても参考になり、本市でも活用させて頂きたい内容であった。
- ・ 長池公園の地域づくりの中で、子どもから高齢者まで様々な人材を活かした地域づくりが参考になった。当市でも、特技や熱意をもった高齢者の方がいらっしゃるの、これから、そのような人たちへのアプローチをやってみたいと思った。
- ・ 公園の管理に携わる地域の人、企業をまとめて行く上で、人間力を持った人財が必要であり、そういった人財の存在が地域の活性化、魅力アップにつながると感じました。
- ・ 形を自ら創りあげ、さらに後継を育て、存続させていくことが出来ることに感動しました。
- ・ 人を育てることは目先の効率性にとらわれず丁寧にやっていくことが大切だと実感しました。「子育てと同じ」に納得です。
- ・ 指定管理者の考え方が変わる内容でした。とても参考になりました。
- ・ 個人の集まりが集団であるという当たり前の話に改めてハッとさせられました。これからは「組

織に属する一個人」を超えていけるよう努力してまいります。

- ・ 造園業者や電気業者も仲間にして、行政に頼らない手法がすごいと思いました。
- ・ できないことはできる人を連れてくることで弱点を克服する。「できない」と言いたくなることは多いが、少しずつ進めていけるようにしたい。組織力ではなく、人間力。
- ・ 指定管理について考えさせられた。ただ施設の管理を任せるという印象でいたが、それだけではだめだと思った。
- ・ 長池公園の手法を学び、全て平等、公平に行う必要がある「官」による管理運営の限界に気付きました。
- ・ 以前、東浦町自然環境学習の森の基本計画を住民と作成し保全団体を設立した際のことをいろいろ思い出しました。
- ・ 団塊の世代の皆さんの活用法、事例をもう少し聞きたかった。
- ・ 指定管理の内容が印象的で岡山でも全国都市緑化フェアでもその時限りのイベントで終わるのではなく、都市緑化を引き継いでいくことが大切だと感じたが、まさにそれを実感できるような講義であった。
- ・ 公共施設の管理のあり方の一つの方向性が見えた気がした。津山市に 1 自治会全く同じことをしている会があります。会員 600 人でやっています。
- ・ 組織力で勝負できる時代ではなく” 個人の人間力” で勝負する時代、この言葉がものすごく心に突き刺さった
- ・ 後継者は創業者がやってきたことをまずは丸飲みした上で次へつなげていく。それぞれの役割があるということがわかりました。先生の行動力に感動しました。
- ・ 長池公園をぜひ見たいという気持ちになりました。やる気の大事さを痛感しました。
- ・ 公と民の関係と民の柔軟性の活用のお話が参考になりました。
- ・ 本市でも公園愛護会を組織し、地域での公園管理を行っているが、そのスケールと形態等々圧倒されたところである。
- ・ 小さなことでもビジネスチャンスととらえ、財源と人材をつなげていくことが必要だと感じました。
- ・ 要は人財をうまく活用することの重要性について勉強になった。
- ・ 地域でこれまで実践されてきたお話はとても参考となりました。

### ◎活用度 3

- ・ 指定管理者制度における 1 つの成功例であり、また、事業を行うにあたっての「意識」を学ぶことができました。
- ・ これから公共財において維持管理はきつくなる。いかに多くの住民・民間を巻き込んで主体的に動くかということの大切さを知った。
- ・ 事業を動かすヒントになった。仕事の後継もヒントになった。
- ・ 誰もが創業を目指すべきというのではなく、創業は創業が得意な人間が、後継は後継が得意な人間がやれば良いという言葉には安心した。得意なことは人それぞれ違うと思う。
- ・ 太陽、風、月の関係で、上手くいっている事例であり、行政は民間人 (NPO 法人)、民間人は (株)

企業や市民などと仲良くする。コーディネート力のある NPO 法人と出会いたいと思った。

- ・ 近いところの事例で身近に感じた。仕組みづくりだけでなく、長く続けられるものをつくるのが大事だと感じた。
- ・ 公園を基にしたまちづくりで一人一人を活かす人間力が大事だと学びました。
- ・ 高齢者への誤解がすべて解けるようなお話でした。後継出来る形は何か。
- ・ 組織化され、ボランティアではない仕組みが勉強になりました。
- ・ 公園の指定管理から地域づくりを行い、ビジネスに発展させ、継続可能な組織をつくりたいと思った。
- ・ 「人」が重要であることがわかります。行政は岩盤であり、〇〇が上手く育てばその上には沢山の人が集まってくることが展開できるとよい。
- ・ 地域とつながり、人財、後継育成の重要性を学ぶことが出来ました。
- ・ 指定管理施設を管理しており富永さんの様な管理者だと行政として大変だろうと思うと同時に施設はとても魅力的になるだろうと思った。
- ・ 素晴らしい取り組みだと思いました。指定管理者さんと行政が一緒になって地域の事を考えていけたらいいです。小学生の子どもが二人いますが、こんなすてきな公園が近くにあったらいいのと思いました。
- ・ 公園管理にとどまらず、地域とともに広く活動を展開している事例をお聞きし、大変参考となった。
- ・ 継続。
- ・ 組織力ではなく人間力。得意技を活かせる適材適所が必要。情報の発信が受信力をもたらす。
- ・ 指定管理者がどれだけ重要な協力が必要なのかが分かった。組織の1人ではなく、1人の職員として人間力を認めてもらおうと思った。
- ・ 自分のできること、できないことをまず判別したうえで、できないことについて、できる人を連れてくる。というお話に非常に感銘を受けました。
- ・ 個人としての人間力を鍛えたいです。まずは、自分にできることできないことを仕分けし、弱点は協同、協力により克服できるという言葉信じ、人間関係を大切にしたいです。
- ・ 公園管理という身近な内容を実体験を交えて説明していただいたので理解しやすかった。
- ・ NPO 活動を継続させること、これを意識していくことがポイント。それには人間力が必要であることを再認識した。
- ・ 自分にできること、できないことの仕分け、情報の発信力が情報受信力を育てることが印象に残った。
- ・ 仕事ではアウトプットを強く意識して取り組んでいたのも、その先にあるアウトカムに力点を置くように心がけたい。
- ・ 地域資源を知り、分析し、活用できる人財の育成とそれを有効的に活用できる仕組みづくりと後継者の確保が大事であると感じました。
- ・ とてもわかりやすく話をしていただいた。後継者へつなぐ部分のお話は共感しました。
- ・ タイトルの”後継の人財”について、どのようにして後継の人材を育成されたのが、詳しくお聞きできればさらに今後の業務のヒントになったと思う。

- ・ 指定管理の成功するための必要なポイントが見えてきた。担当する第三セクターともこうした視点で将来について考えて行きたい。
- ・ 行政でできないことは NPO や民間企業に任せる。また適材適所に人を配置するなど、それぞれの得意分野を活かす仕組みをつくることで事業を展開することを考えていきたい。
- ・ 行政と同一に論じるわけにはいかないが組織の運営の仕方のヒントになる話が聞けてよかった。行政の非協力に関しては若干身につまされるところがあった。
- ・ 行政や企業、地域の人と多様な共生を行い、協働と協力により事業を実施する手法を学ぶことができた。
- ・ 伝えたいこと、何が大切であるかはわかるが、どう伝え、どうつながり、どう発展させるのか行政が取るべき方法がわからない。
- ・ 仕事に対する姿勢を改めて教えていただいた。
- ・ うまく人と情報を活用できた組織運営をされていると感じました。
- ・ ノウハウがない中から都市公園の管理を始められ、それにとどまらずの民生等での街の活性化につながられ、後の世代につなげて行かれたことに感銘を受けました。
- ・ あまり携わったことのない分野だったので大変勉強になった。
- ・ 一から地域活動に関わり、それを後世に引き継いでいく流れを聞いたことは、高齢化、担い手不足の課題に参考になった。
- ・ 成功している事業を続けて行くことは大変エネルギーが必要であります。人を育てるとともに稼ぐ力をいかに作っていくかは難しい問題ですが勉強になりました。今後活かしていきたいと思います。
- ・ 入庁以来、仕事は組織で進めるべきと教え込まれた者には富永講師の「もはや組織で何とかできる時代ではなく個人の力である。すなわち人間力である」はインパクトがあった。一見、関係のなさそうな企業や団体を結びつけ、互いにメリットを享受し、また、そこから派生する効果に驚いた。
- ・ 民間の知恵力のすばらしさを改めて感じました。指定管理者制度を利用しつつ、利益を生む仕組みを作っていくことは大変なことだったと思います。続けて行くためには人財の育成が大切であることを学びました。
- ・ 人が第一。自分がある市役所といわれるようになりたい。

## ◎活用度 2

- ・ 情報発信が受信力を育てるというフレーズは重かった。
- ・ 人間力という言葉とその持つ意味や力はどの場面においても重要であり、その力をつけていきたいと思った。
- ・ 個人の能力の向上が必要な時代なので、もっと努力しなければと刺激になりました。
- ・ 人間力が活性化につながることを理解できた。
- ・ 人材育成はとても難しいと感じました。
- ・ 「人がいない」のではない「人を探す!」、力強い言葉が印象的でした。
- ・ 「できること」「できないこと」を見極めコーディネートする人材になりたい。情報は毎回出し

きることが大切。

- ・ リーダーシップだけでなく、後継者を育てる力、後継者に任せる決断力の重要性を知った。講師の力強さを感じた。
- ・ 公園管理からの協働の話かと思ったが、分業する、できないことはできる人をお願いするなど、業務に利用できる話だと思います。
- ・ 指定管理者としての企画事例が参考になった。
- ・ 引き継げる人材を育成することやできることできないことを区別し、任せることの大切さなどをよく理解できました。
- ・ 成果だけでなく、1人から始めた取組のプロセスをぜひ伺いたかった。

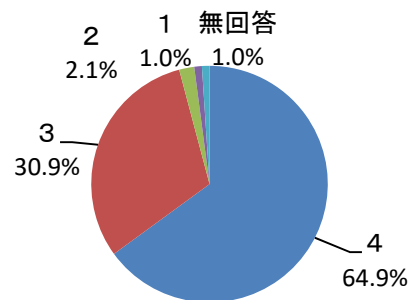
#### ◎活用度 1

- ・ 成功事例の分析や過程（失敗例含む）の説明がされなかったため得るものが少ない。活動の概要の説明が中心だったため、伝わるもの、活用できるヒントに乏しかった。
- ・ 県政で活かしていくイメージはわかかなかったが、NPO 活動の非常によい例を知ることができた。個人的な活動に活用していきたい。

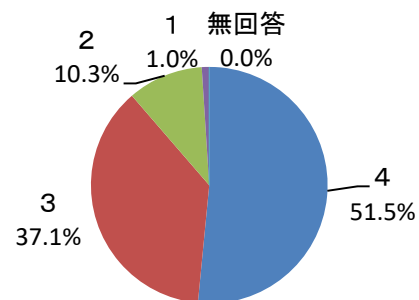
【合同講義】「人口減少時代の自治体の役割・公務員の役割～従来制度からの転換と官民連携～」

株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役 関 幸子 講師

<理解度>		N=97	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	63	64.9%
	3	30	30.9%
	2	2	2.1%
	1	1	1.0%
	無回答	1	1.0%
	合計	97	100.0%



<活用度>		N=97	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	50	51.5%
	3	36	37.1%
	2	10	10.3%
	1	1	1.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	97	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 徹底した説明の重要性。市民を賢くするという発想の気づき。
- ・ 講師が役所出身の方ということでしたが、色々な知識や経験が豊富で刺激を受けました。
- ・ なにか一つやることの意義の重要性が伝わった。
- ・ 地域のできることは大きいのだということが良く分かりました。
- ・ 先生ご自身の実体験に基づいた内容であり、説得力のある講義であった。まずはやってみることが（企画書作成）大事であると感じた。
- ・ 話をお聞きして、戻ったらすぐに行動していきたいと思った。先生のように戦略的な公務員になりたいと思った。
- ・ 先生の実行力に圧倒されました。まずやってみること。失敗を恐れずに動いてみることは、いままであれこれ理由をつけて出来ていないが、今後は小さなことからでも実行する習慣をつけて行きたい。
- ・ 先生の行動力が群を抜いていた。同じ様な行動力が自分にも欲しい。
- ・ 入札で安ければよいのではなく、多少高くても適正な価格で地域にお金を回し、目先の金ではなく、長期的視点に立つべきという話は財政課職員として考えさせられました。
- ・ まずは、自分の自治体の分析をして具体的にできる能力を身に付けて、自治体を変えて行きたいと思った。もっと話を聞きたいです。
- ・ 地方の側面を持つ青梅市ですが、首都圏の位置づけにあるためまちづくりの半端感を感じてしまうことがあります。これを打破するための地方創生を進めたい。



- ・ 元公務員としての目線でやるべきことを具体的に示していただきました。制度が駄目なら変える！つもりで考えて行きたいです。
- ・ 制度理解と自治体としての売り方を変えるきっかけになって、非常によかった。とにかく関心を持って発信していきたい。
- ・ 「様々な事に関心を持つこと」「自分で学び高め続けること」「時流をとらえること」など大いに刺激を受けました。
- ・ 元公務員という視点を交えた。
- ・ 公平、公正の観点を乗り越える必要性を常に感じておりました。自分の考え方の方向性が見えたように思えました。
- ・ これからの時代に沿った自治体のあり方について学ばせて頂きました。公の役割が変わっていく中で、自身の行政人としての振る舞いを正していく必要性を強く感じました。
- ・ 地域創生は財源を確保し地域に仕事をさせる循環型の仕組みを作り時代の流れを読むことが重要と思った。
- ・ 時代を読む力を持ち、プロデューサーとなれるよう、日頃からの行動を意識したい。
- ・ 公務員からの転身でとても活躍して見えるのすごいです。
- ・ 先生の経歴がすごくてとても驚きました。自分の置かれた立場で何がしたい、何が出来ると常に行動された結果なんですね。「難しい」は封印してとりあえず動いてみる、ということを実践します。
- ・ 「官」「民」連携の本当の意味が少しわかった気がします。「公」⇒「民」だけでなく「民」⇒「公」の考えも取り入れて行きたい。
- ・ 図書館はこうあるべきという考え方を捨てないと一歩進めないと思った。
- ・ なぜ今地方創生か。一番必要とされているのが公務員であり、時代が動いている。その一瞬一瞬。
- ・ 図書館と情報の結びつきについて今年度するつもりでいたので非常に参考になった。
- ・ 人口減少問題はずいぶん前からわかっていた課題であるが、今後ピークを過ぎる事も想定した将来を見据えた課題解決に取り組む必要を感じた。
- ・ 国の制度や通知に対して（批判するだけでなく）上手く活用すれば様々なことが可能になるという発想が重要だと感じた。
- ・ 人口減少が当たり前の事実を改めて目の当たりにするとショックだが、「やらないといけないことがある」と認識させられた。
- ・ 人口減少の時代は以前から言われているが、その対応に向け、具体的に動かなければならないことを改めて考えさせられた。
- ・ ご自身の公務員時代からの実体験を踏まえた話で入り込みやすかった。また、「安い」ことがベストではないという価値観は自分には新鮮だった。
- ・ 指定管理者は、額を安く抑えるためのものではないと言ってくれたことがありがたかった。CCCの事例ではマスコミではあまり取り上げられないプラスの部分を講義してもらい、認識を新たにできた。
- ・ モチベーションがあがった。

- ・ 公務員として、今まで意識したことも考えたこともなかった「経営する」という視点をもつことの大切さを実感しました。先生自らの体験を基にわかりやすい内容で心打たれました。まず自分が行動することから始めたいと思います。
- ・ 行政職員の経験を含めてのお話で、重みがあった。時代を読む力がすごいと感じた。地域にお金を出すのが行政の仕事というのはこれまでにない視点だった。
- ・ 目先のことを一生懸命やるしかないと思った。官民連携が今後の地方創生のカギ。
- ・ 公平・公共・平等性を乗り越えて誰と組むのか。原理原則ではダメ。自身の意見をペーパー化する。協賛、後援して公式化する。等々、示唆に富む内容だった。今後業務にあたっての矜持にしたいと思う。
- ・ いつくるかわからないチャンス、機会の為にとんなどころでも、地道に頑張り、まずは動きだします。アンテナを張ります。
- ・ 「戦略的な公務員」になり「賢い市民」を作れるよう努力していきたいと思います。
- ・ 行政の職員も企業的視点をもって地域再生を行う必要性について勉強になった。
- ・ 元公務員の視点と民間の視点を踏まえた、とてもわかりやすく説得力のある説明でした。
- ・ 今まで、発注は安い方がよいのか。地域にお金を落とせることを優先すべきか悩む事があったが、今後の地方創生。
- ・ 公務員のあり方や、着目すべき点についてが、大変参考になった。

### ◎活用度 3

- ・ この講義をきっかけに自分自身のやりたいことを見直し、変えるくらいのチャレンジをしてみたいと思う。
- ・ 個の能力の向上のため、また、まちづくりの考え方のヒントとなる様な講演で良い刺激となりました。
- ・ キャリアがおもしろかった。
- ・ 講師の方の経験、またその考え方について、とても参考になりました。
- ・ これからの自治体に求められるもの、また、公務員の役割、役目について、再認識するきっかけになった。
- ・ 時代を読む力、金を稼ぐ自治体といったキーワードが印象的であった。
- ・ 賢い市民を育てるという言葉が印象に残った。出会いが大事という話に自治体生活そのものにつながると感じた。
- ・ 図書館という定例的な業務から抜擢されて経営者の視点で業務を行っているのがすばらしいと思いました。
- ・ 公式を上手に展開し、住民の力を上手に活かしていきたい。地方創生拠点整備交付金ではそれを活用していく予定なので展開したい。
- ・ 人口減少の問題を受け止め、稼ぐ自治体へ意識をもっていかねばならない。時代の先を読みチャレンジし続けることを学びました。
- ・ 公務員でも法律を変えられる！ということを知った時はおどろきであった。関さんの活動を聞いていて自分のこれまでの仕事への取り組み方を考えさせられた。

- ・ 本市でも、中心市街地拠点施設として「図書情報館」を新設しており、図書館の持つ可能性を再確認することが出来た。
- ・ 公務員経験のある講師の話ということもあり、大変興味深かった。
- ・ アウトプットよりもアウトカム。民間・企業とのタッグ。プロデューサー（仕組みづくり）。
- ・ 元々市職員の方ゆえに、すべてを知り尽くしたうえで、今の時代のニーズに対応できる能力を身につけるためのポイントについて、非常にわかりやすく教えていただきました。
- ・ 人口減少する中で自治体公務員の役割を見直さないといけないと強く感じました。
- ・ 稼ぐ公務員となること。「従来の考え方」を根本から変えること。
- ・ 適切な価格で地域にお金をまわしていくことの重要性がわかった。
- ・ 関さんの経歴と頑張りに驚いた。失敗事例の改善策なども聞きたかった。
- ・ ソーシャルビジネスの内容が印象的であった。勉強になることが多々あった。自己紹介のスライドで合わせて取り組みを紹介していただいたところや、スライドと講義内容が不一致でつかみづらいところがあったのが難しかった。
- ・ 前半はどうなることかと心配したが、後半は本題に移りほっとした。
- ・ 人にお金をかける。財政問題がある中（人材育成）ですが、今（本当は10年前に）取り組むべき人口問題の重要性について意識することができました。実践と若手に伝えて行きたい。
- ・ 民間と協力し自治体が稼ぐ（財源を確保）することの有効性がより理解できた。
- ・ 図書館の活用などクリアすべき課題が多く感じている。
- ・ 役所がすべてを担うことは無理がある。民間や住民に公的な位置づけを与えることで大きく動く原動力になることがわかった。
- ・ 前職が公務員とのことであったが、若いころより積極的なアプローチで色々な事に取り組みられ圧倒させられる内容だったと感じました。書くこと、企画すること、今後仕事に活かしたいと思います。
- ・ 同じ地方自治体の職員からの転身ということで驚きと尊敬を覚えました。目の前の与えられた業務に真摯に取り組まれた結果ということでしたが、私もより一層励みたいと思った。
- ・ 民間との連携の重要性を学ぶ事ができ、よかった。また公務員としての心得をわかりやすく講義していただき大変参考になった。
- ・ 今までの行政のやり方ではなく、今後を見つめた施策の考え方について大変勉強になりました。地方創生は自治体にとって重大な課題です。今後の事業に活かしたいと考えます。
- ・ 大都市事例の中から地方小規模自治体でも可能なものを活用できれば。
- ・ 三鷹市を早期退職されたことだけでも驚きでしたが、人生の中で何度も会社を立ち上げたことは偉業だと思いました。「人との出会い、自身の考え方一つで変えることができる」と強く感じました。
- ・ 同じようなことはできませんが、まず自分が動くことと感じました。
- ・ 制度を利用して、自分のやりたい事業を推進する方法論が勉強になりました。

## ◎活用度 2

- ・ 自分の中で色々な情報・アンテナを持ち、少し先・時代を敏感にとらえることが大切と感じまし

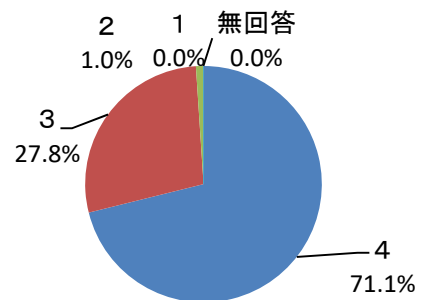
た。

- ・ 我々と同じ公務員としてスタートしながらあまりにもわれわれと違いすぎる経歴に圧倒されてしまい、現実感が持てなかった。
- ・ 関先生の活動の広さに脱帽しました。
- ・ 職歴、自身の経験からの講話。話自体は理解するが自身への反映にはハードルが高いと感じた。
- ・ 私は民間企業に勤めていましたが、その際の経営感覚からすれば、講義中に示された自治体・公務員の役割については少し違和感を覚える点がありました。
- ・ 自治体の経営の考え方について、単に”稼ぐ”ということではなくて時代の流れを読んで政策を打つことが自治体経営なのだと思った。
- ・ 現状の把握の重要性はもちろんそれに合わせて実行していくことの必要性を感じました。

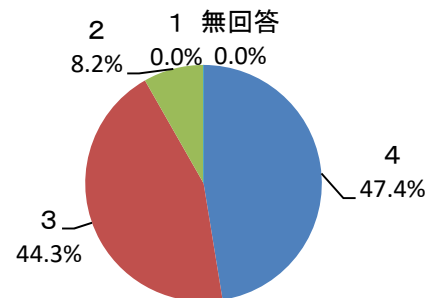
#### ◎活用度 1

- ・ 地方創生交付金の有効活用事例についての説明・紹介が皆無のため、国のばらまき制度の正当性を聞かされているようだ。持続可能な地域づくりに逆行、いまさら交付金。

<理解度>		N=97	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	69	71.1%
	3	27	27.8%
	2	1	1.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		97	100.0%



<活用度>		N=97	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	46	47.4%
	3	43	44.3%
	2	8	8.2%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		97	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 実践に活用できるノウハウ、経験が満載でとても勉強になりました。
- ・ 制度を良く理解すること、法律を変えることができるということ、大変参考となりました。ありがとうございました。
- ・ 柳谷町内会の自治運営が「地方自治」の根底そのものであると感じました。
- ・ 奇跡のような町内会・地域づくりだと思った。特に、自分達で稼ぎ、ゆりかごから墓場まで考えて動いていることに大変感動した。
- ・ 大変感動しました。仕事の中で、自治会長を説得したりする機会があり、何度もお会いするうちに徐々に理解しあえて、強力な味方になってくれたことがあり、人を見る力と熱意を持ち続けることは大事だと、先生のお話で改めて感じました。
- ・ 地域の住民に出番をつくり、才能を引き出しながら地域に関わってもらおうという話がありましたが、活力ある地域づくりはやはり「人」が重要であると感じました。
- ・ この取組をやる人材があってこそ成功するのだと感じた。素晴らしい取り組みでした。
- ・ 強い意志や想いが伝わり、公務員に必要であり、足りないものだと痛感しました。
- ・ とても感動的な内容で、人を動かすには心、人間力と改めて思いました。
- ・ 人間として大切なことを教えていただいた。今回の研修に感謝。
- ・ 気持ちの入った熱い講義でした。コーディネーターの役割の重要性を改めて感じました。
- ・ 涙が出ました。あんな人になりたいなと素直に思いました。
- ・ 地域づくりに必要な要素をたくさん教えていただきました。コーディネーターとしての役割を

正しく認識し、自分の役割をしっかり果たしていきたいと思います。

- ・ コーディネーターの役割、コーディネーターとして動く時のポイントを具体的に教えていただいた。熱意と冷静な分析力を持ちたい。
- ・ とても感動しました。良いお話を聞かせていただきました。
- ・ 人間力の大切さをとても感じさせられました。
- ・ 人間力の強化、コーディネーターとしての能力を養っていききたい。
- ・ コーディネーターとして目配り、気配り、心配りして、地域住民とパイプを持ち、地域の方々のジョイントを大切にどういうことができるか分析していくことに気をつけたい。無関心な人に対しても、相手の立場を考えて対応していきたいです。
- ・ 考え方全てが素晴らしいと感じました。リーダーとはかくあるべき、というものを認識しました。
- ・ コーディネート力がこれから求められ、また昨日の講義でもあったソーシャルビジネスに絡んでくる内容が印象的だった。自身も岡山市政政策立案研修でソーシャルビジネスをテーマに研究・発表した経験があるのでもう一度がんばりたいと思った。
- ・ 自治のあり方の一つの方法を見せていただきました。涙が出そうでした。津山市に1自治会全く同じことをしている会があります。
- ・ リーダー論的なものが他の先生方と切り口が異なり、とても新鮮だった。とても役立てるような気がした。
- ・ 地域づくりのリーダー、コーディネーターの必要性を熱意ある講演で心に響く内容でした。また、お話を聞いてみたいと思いました。
- ・ 感動を意識した手法に感銘を受けました。実践と若手にも伝えて行きたいです。
- ・ 自身の地元も高齢化でコミュニティの将来が危ぶまれているが、再生のためのヒントが得られたと思うができれば冒頭のDVDは全て見たかった。
- ・ 人材をみつけて才能を引き出すことができるコーディネーターに自分もなることができるだろうか。
- ・ コーディネーター役として何が必要で何が求められているか非常に参考になった。人材の育成や教育方面にも参考になる講義だった。
- ・ コーディネーター（リーダー）の企画力、アドリブ力、人間力によって地域は自ら活性化し、行政に頼らない社会の実現が可能であることが良く理解でき、感動しました。
- ・ 人を動かす方法やコーディネーター役が行うべきことが良く理解できました。
- ・ やねだんの成功事例について聞くことのできる貴重な体験。2時間は欲しい。意欲も見識も深まる有意義な講演。
- ・ 実践経験を踏まえた熱意ある講義でとても勉強になりました。
- ・ 日本中の地方が直面している問題が今回の地域再生であり、佐世保市も例外ではなく、地域が自らの力で再生していく事例として参考になりました。
- ・ 地域再生の素晴らしい事例で大変参考になった。リーダーとしての圧倒的な人間力を感じ、どうしたら近づけるかを時間をかけて考えたいと思った。
- ・ いかにかに人のやる気、貫き通す大事さがわかった。

- ・ 実践者としての説得力や感動を与える演出がすばらしかった。完璧だと何も起こらない。才能を引き出すという発想に感心した。
- ・ 地域を運営するには「お金」が必要です。行政も補助金を出すだけでは持続可能なまちづくりが達成することができません。参考になる例をありがとうございました。
- ・ 講師の発する言葉に大きな力を感じ、背中を押されたところである。コーディネーターを意識して業務にあたることにしたい。
- ・ 同じ鹿児島県内にあるが、まだ行っていないのでぜひ訪れたいと思います。
- ・ 熱意が人を動かしていくことを学んだ。
- ・ 情熱がすごい、言葉が心に響いた。
- ・ 地域で実践してこられたお話はとても参考になりました。

### ◎活用度 3

- ・ 現場の実践のよい話をきけてうれしかった。いぜん、報道で見たことのある話題ではとした。
- ・ コーディネーター役として、どのように関わっていけるのか、自治会などの住民自治が縮小する中、考えてみたいと思った。
- ・ 人間が重要。
- ・ 地域の人 1 人 1 人に気付かせる感じさせることの難しさ—けれども必要なことを改めて感じました。
- ・ 人間力がすごい
- ・ 「EDUCE」というキーワードを初めて知った。熱意のこもった講演とともに印象的であった。
- ・ 経験と実績に基づいた熱い講義が印象深かった。行政と立場は異なるが、相手に理解を求めることの重要性を改めて確認できた。
- ・ 行政に頼らず地域を活性化する人間力、コミュカがすごいと思う。プライベートで活用したい。
- ・ 人に訴えかけるものがある。人間力というものを感じた。
- ・ まちに住む一人一人を切り捨てずに活力としていく姿勢に感銘を受けました。
- ・ 地域づくりがこんなに感動するものだとは思わなかった。講師の熱い想いが伝わってきた。ホワイトボードが少し見えづらかった。
- ・ 行政に頼らずに住民の手で企画力や人間力を活用して地域づくりをしている情熱を感じました。
- ・ 心の広さ、豊かさに人の生きることを感じさせられた方でした。
- ・ 無関心層を取り込み、反対する人はクッション役を置いて対応する。地域づくりは文化、子ども対策が重要である。
- ・ 熱い思いが人を動かせることに感動しました。やはり「人」です。どうつながるかこれからの課題はそこです。
- ・ 地域アドバイザーとして自覚をもって、地域の良きパイプ役として分析力を大切にしていくことの重要性が学べました。
- ・ 地域再生には並々ならぬ努力、忍耐、継続が必要であり、覚悟が必要だと思った。地域創生には子育てと文化向上といわれ、文化行政に携わる者として賛同するとともに身の引き締まる思い

がした。

- ・ VTR で、地域の方々が本当にいきいきと楽しそうにされていた姿がとても印象的でした（見てたら涙が出てきました）。
- ・ 地域自らの力で、地域を再生した実例として大変参考になった。今後、私自身も企画力、アドリブ力、人間力を身につけていきたい。
- ・ 熱い思いを感じました。職場に戻ったらまず何ができるか考えさせてもらいました。まずは地元の祭りにがつつり参加したい。
- ・ 人間力です。高校生の関わり。8割の1%。
- ・ 情熱。コーディネーター（パイプ、ジョイント、分析）。完璧にエスコートせず、わざと隙間をつくって相手を動かす。地域はファミリー。
- ・ 地域で稼いで全て回す。理想までできたのは本当に頭が下がります。悪臭対策もすごいですね。全く想像つきません。
- ・ まさしく、地域のリーダーという方で、わかりやすく、行政の役割を教えてくださいました。1住民として、ここまで熱心に取り組まれている姿に感銘を受けました。
- ・ 素晴らしい話でエネルギーをいただきました。地域からキーパーソンがどうすれば誕生するのか、考えてみたい。
- ・ 地域づくりには熱意が不可欠であると感じました。
- ・ 地域を再生してきた取組を講義いただいたが、行政の仕事の中でも1人の市民としても、人と人との関わりにおいて大切なことを教えていただいた。
- ・ 涙がでました。豊重さんのような人がどうやったら現れるのでしょうか？
- ・ 住民自身が地域の課題を解決すること、自主財源で運営することは基本ではあるが難しいことだと思う。
- ・ 人を動かすための言動、立ち振る舞いの仕方が良く理解でき、業務の内外問わず活かしていきたいと思う。
- ・ 福祉に関する生活支援コーディネーターを委託しているが、行政も外に出て行くことの必要性を感じた。
- ・ 地域の再生として大変興味深い話であった。行政として話をした場合、豊重講師と同じ様な結果を出すことは難しかったと思います。
- ・ 講師のバイタリティ、地域を一体化させて活性化させていこうという熱い感情に触れることができ、刺激になりました。
- ・ 講師のリーダーシップに感銘を受けた。地域再生のための戦略、集落の人々への気遣いなど本当にすばらしいものばかりであった。
- ・ リーダーとコーディネーター。人と人とのつながり。
- ・ 集落の皆さんを巻き込む豊重館長の熱い想いに驚嘆した。反目者を絶対に四捨五入しない言葉は、集落の濃密な人間関係からだと思うが、2限目の西村講師の「合意形成しない」と対極的であり、まったく異なるアプローチで地域づくりの奥深さと面白さを感じた。
- ・ これまで豊重先生が行ってきた実績に基づき地域に仕掛けや仕組みを作っていくことの大切さを再認識しました。



- ・ 豊重先生が本日も元気で活動されていらっしゃる姿を拝見できて感無量でした。以前にも拝聴させていただきましたが、やはり今回も感動と同時にやる気をいただきました。

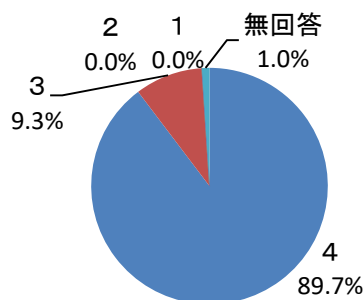
#### ◎活用度 2

- ・ 本町の関係者にもやねだんの卒業生がおり、色々な面で努力しなければと良い刺激となりました。
- ・ 講師の実績は大変すばらしく、敬服するが、話にまとまりが感じられず「これがポイント」という話がいくつも出てきて、本当に大事なものは何かがわからなかった。講師ならではの貴重な話だということはわかるだけに理解しきれなかったのが残念。
- ・ 目配り、気配り、情熱・忍耐と勇気。地域をつくるの子どもからの教育が心に残りました。
- ・ 地域のキーマンとしての苦勞が良く分かった。なかなか真似できない。
- ・ 素晴らしい取り組みであり、過疎自治体の人々に知ってもらいたい内容であった。人を動かすには、という点で気付いた点が多かった。
- ・ 行政職員の実務に活用するのが難しいと感じました。

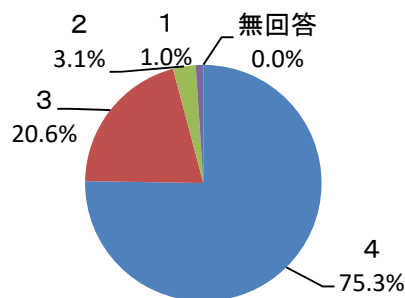
【合同講義】「発明の時代によろこそ！ 21世紀の都市再生戦略のつくり方」

株式会社ワークヴィジョンズ 代表 西村 浩 講師

		N=97	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	87	89.7%
	3	9	9.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.0%
合計		97	100.0%



		N=97	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	73	75.3%
	3	20	20.6%
	2	3	3.1%
	1	1	1.0%
	無回答	0	0.0%
合計		97	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 大変ためになった。何となく気がついてたことをわかりやすく伝えてもらって感謝しています。
- ・ 駄目な事例としてあげられていたハコモノを続けて建築しており、はずかしい思いがした。今は直接関わる部局にはいないが、参考にしたいと思った。
- ・ 空家空地にてかせぐことが財政問題をクリアする重要なファクター
- ・ 自分の住んでいるまちも、商店街はさびれていますが、やれることはたくさんあることがわかりました。ありがとうございました。
- ・ 楽しい講義。でもよく考えられた内容で勉強になった。
- ・ 中心市街地における「空家」「空地」の都市再生における利活用、アプローチについて、とても参考になりました。
- ・ 資料がなかったのは驚きだったが、一瞬でも集中がとぎれない、非常にテンポが良く、また民間の視点から新しい考え方を学ばせていただいた。
- ・ 地方創生、まちづくりについて、建築家という分野から、観点を改めて取り組む事例を聞け、大変参考となった。説明がとてもわかりやすかった。
- ・ 右肩下がりの時代は決してピンチではなく、むしろチャンス、公と民の連携により、地域内に経済の好循環をつくって行くことの重要性を知った。
- ・ 内容が興味深かった。民間や自営の友人にも聞いてほしい内容だった。
- ・ 市街地の空地、空家問題に対し、人と金の連鎖によりエリアでマネジメントしていく事例の話はとても参考になりました。また、”子ども達とまちをつくる”というフレーズがとても印象に

残りました。

- ・ 建築の話なのかと思ったが、これからの地域づくりにとても役立つと思った。地域の個性を引き出して頂きたい。
- ・ 行政マンとして行動を起こすことに躊躇してしまう面がありましたが、一步を踏み出せそうです。
- ・ どうやったら人が来るのか？なぜ人はそこに居るのか？という発想、時代によって変えていかなければというところが印象に残りました。
- ・ わかりやすく、おもしろいがピリリとからい部分もあり。今後のまちづくりで自分の意見をまとめるきっかけになりそうです。
- ・ 右肩下がりの時代は楽しい時代という言葉が印象に残りました。これまでの常識にとらわれない発想の必要性を強く感じました。個人的にデザインや建築に関心があるので、とても興味深い講義でした。
- ・ まちづくりをととてもわかりやすくご説明いただいた。とても勉強になりました。
- ・ リノベーションスクールに行かずに西村さんのお話を聞ける機会はとてもありがたかったです。
- ・ 担当分野は異なりますが、活かせる考え方や事例が多数ありました。先を見据えた教育、まちづくりを意識して当事者として取り組んでいきたいと思いました。
- ・ 教育の中で子どもたちにまちづくりに関わらせることで記憶に刻まれ、大人になると戻ってくる効果がすばらしいと思いました。
- ・ これまでの制度は今後の課題は解決できないが、時代が変わる時はチャンスだと思い、仕事をしていきたい。
- ・ 全国的に同じような課題はあるが、自分のすむ地域の個性を見つけてまちづくりをすることが大事。空地为財産に出来るように。
- ・ 時代が変化するときにいるということを考えさせられた。とても身になりました。
- ・ いろんな事例を写真で沢山見せていただけて、とてもわかりやすかったです。もっとお話を聞きたかったです。佐賀に行って、実際にこの目で見てみたいと思いました。
- ・ 「デザインが街を変える」ことは無限の可能性を持っている考え方だと思った。全国各地の実例を聞き、循環を生む仕掛けが重要だと感じた。
- ・ お金の域内循環の考え方や”ないものをつくる”から”ないものはない”の時代への考え方には、私自身気付かされるが多かった。
- ・ 考え方、発想の仕方に気付かされました。
- ・ 自分の思考がいかに凝り固まっているかを思い知らされた。
- ・ 講義が非常にわかりやすく、テンポも良かったです。また、普段からモヤモヤしてうまく表現できなかった現状や課題をピンポイントで説明いただき、非常にありがたかったです。
- ・ 都市の規模は違いますが、中心市街地の活性化に可能性を感じる事ができた。自分の頭で今一度考えてみたい。
- ・ ”デザインが街をかえる”のフレーズは心に響きました。財政問題がクローズアップされる時代においては、お金が地域に循環するような産業育成を念頭に組みたいです。民間のお金を

上手に使うということも新鮮でした。

- ・ 都市再生のヒントがつまっております非常に参考になりました。
- ・ 現状のままでは良い方向には向かっていかず、人口減少社会においては行政も変わっていかなければならないことを強く感じた。紙のレジュメは欲しかった。
- ・ 市街地活性化、商店街活性化、実験ソーシャルビジネスなど岡山市が今やろうとしている取組やこれまでの講義の内容と一致するところが多々あった。民間活用、企画競争など、現市長になって積極的な動きがよく見られる動きである。本市はそういう意味ではその基礎はできている。あとは本日の講義で学んだレベルまでブラッシュアップしていくことが重要だと感じた。
- ・ 街をデザインし暮らしを再生する。ハードの意味を考える。デザインを地域課題を解決するコンテンツにする。共感者を増やす。
- ・ 話の進め方がとてもわかりやすく面白かった。公務員に欠けがちなコスト意識を強く持ち、可能であるならば実験的に挑戦する場をもたせられてもらって取り組んでみたいと感じた。
- ・ 発想を変えるヒントが意外と簡単なことであると気付かせていただいた。今までの自分達が難しく考えすぎていました。
- ・ これからのまちづくりの方向性を考える上で、考え方の根底から考えさせられる有意義な内容でした。
- ・ 自分が思っていることと相通ずることが多かった。行政マンとして子や孫に言えるようになりたいと思います。
- ・ 地方都市の再生のプロセスが具体例を通じて説明していただき、大変わかりやすかった。
- ・ まちの再生のプロセスの大切さ。失敗を責めるのではなく成功点を評価してつなげていくことの大切さ、行政もアイデア、発明しないと。
- ・ まちづくりの手法が今までの行政手法が通じない現実をわかりやすく説明していただいた。行政も発想を転換し民間の力を活用しなければいけないと感じた。
- ・ ないからこそ、そこに地域の個性をつくりだす、そのための具体的な考えなど、具体事例を交えたわかりやすい講義だった。
- ・ 「右肩下がりとは普通のことだからこそチャレンジしがいがある」という言葉が印象に残った。民間事業者と連携して事業を行う際の留意点、ヒントをもらった。
- ・ 大変楽しい講義で2限があつという間で終了しました。公と民のアイデアによる連携で新しいビジネスやコンテンツを生み出せることが良く理解できました。
- ・ 合意形成で無理をしないまちづくりに立ち戻る。地域で産業を循環させていくという考え方にとても共感を覚えた。現実的で自身の役割を考えるきっかけをくれた。
- ・ 画一的な施設整備を行うことがいい開発では無いこと。また、空間を価値と考えアイデアを組み込めば、次から次へと民間の力が繋がっていくと感じた。
- ・ まちづくりの成功事例を体験談として、さらに行政の視点まで踏まえて学べる、今回2回目の貴重な体験。事例数も豊富で、今後のビジネスの発想に活かせるヒントが多く得られた。
- ・ 佐賀の街で行われているプロジェクトに改めて感心させられました。正直に言えば職員にも市街地の再生は難しいと話していたのですが、最近街並みが変わってきたので、こんなしかけがあったのだと改めて知ることができました。

- ・ 具体的で身近な例をたくさん紹介いただき、非常に示唆に富む講義でした。連鎖性がある取組の重要性を痛感しました。
- ・ どこにでもあるような身近な事例（特に佐世保市の事例）を題材として、活性を失ったエリアが民の力で再生していく過程が非常におもしろく、興味深く聞くことができました。そして、その過程に行政としてどう関わっていくか考えさせられました。
- ・ 市民協働という言葉がまだ一般的でない時代の「デザインで街は変わる」という言葉が印象的だった。人口減少を見据えて「こんなにやりがいのある時代はないと思う」という想いをしっかり持って、行政も新しい視点を持てるように努力したいと思った。
- ・ 将来明るく、住みやすく、わくわくしてくる街づくりをやりたいと感じた。
- ・ まちづくりの成功例をたくさん聞いたことがよかった。建築家の枠を超えた広い視点でのまちづくりの話が聞けて、とても感銘を受けた。
- ・ 当町にも活かしたいと思うお話でした。子どもについては、非常に関心の強い事項なので。
- ・ 視点、次の展開、波及を考えて動かなければならないこと、小さい実験の積み重ね、市民や民間の自立こそが社会を変えよとの言葉あり、住民としてコーディネーターとして動きたいと考える。
- ・ 必要なカネはかけなければならないが、それ以上に人を見つけてまちづくりに使っていかなければならないと思います。
- ・ レジュメのないスタイルでしたが地域づくりの考え方について集中して理解できました。
- ・ テンポよくユーモアをまじえながらの講義であつという間に時間が過ぎました。中心市街地の活性化にはかねてから関心がありましたので、まだまだ色々な話を伺いたかったです。
- ・ 街の再生を自らの経験等に基づいた具体的な事例の説明でわかりやすかった。
- ・ ないものの価値など話が前向きでおもしろい。また聞きたい。
- ・ 空地为価値あるものとしてとらえる発想や様々な事例はとても参考となりました。
- ・ 私にとっては新たな視点として参考になる点が多く、具体的事例を交えながら、わかりやすくお話をうかがうことができた。
- ・ 非常に素晴らしかったです。実務に活用できます。

### ◎活用度 3

- ・ 講義後に本町の状況をお話させていただき、良いアドバイス等をいただきありがとうございました。
- ・ 普段あまり気付かないところに大きな問題があり、これまでの常識が通用しなくなっていることを感じました。
- ・ 行政にもお金をかせぐ（地域にお金を）という感覚が重要と思いました。
- ・ 自分の仕事には都市再生は直接的に関係がないと思っていたが、当市にもさびれてしまった商店街があり、シャッターが閉まった状態で今後のために大変参考になった。技術職も自分の仕事だけを考えてはいけないと感じました。
- ・ 地域再生のための比較的具体的なヒントが多く紹介され、役立つ内容であった。「失敗してもよい」という話があったので、失敗した事例もあれば聞いてみたかった。

- ・ 金を循環させるアイデア、将来を見据えた教育、地域の個性の必要性を感じた。
- ・ 連鎖が起きる仕掛けには爽快感さえ感じた。資料がないことで聴くことに集中できた。
- ・ 建築から人を結びつける・・・都市計画は理系と思ってましたが、文系でもあり、全てが理+文ですね。
- ・ まちの規模として、立地がないため、中心市街地もない状況です。しかし、にぎわいが必要。その戦略をどう考えるか課題が山積みしております。
- ・ 官民一体となり、経済活動を支援して税収を上げる意識をもち、やるべきところでやる当事者となれるように努力してまいります。
- ・ 官でできないことを民にしかけてもらう。空地という負のイメージをプラスにとらえ、どう活用するかストーリーを描きながらの地域再生は非常に興味深かった。
- ・ 大事なものが何なのかを良く考えること。大事と思える場所、事柄、人を多くつくること。手伝い。高校生。暮らしの再生。
- ・ 逆転の発想。新たな視点（別の角度）。実験で良い。30%の成功を評価する。
- ・ 具体例が多く分かりやすかった。市内でも応用を効かせることができるようアイデアをしばりたい。
- ・ わいわいプロジェクトなど具体例を用いて講義頂いたので理解しやすかった。
- ・ 参考にしたい。
- ・ 各都市の状況をユーモアを交えて講義していただき大変わかりやすかった。本市においても商店街が衰退しているので参考になった。
- ・ 中心市街地の空洞化問題は地方都市において共通の課題となっています。各都市にあった形の対応が必要だと思いますが、大変参考になりました。
- ・ とかく行政の事業というのは総花的なものになるが、「実験」として、個別案件として実施のハードルを低くするという発想は大いに参考になった。やはり自分が育った地域への想いが行動力の源だと感じた。まずは所属自治体の地域に住み「当事者」となる事が大切だと思う。
- ・ 地元商店街などを見て、いつも思っていたこと（駐車場化、チェーン店化）への対応について、すべき方向を学べた。

#### ◎活用度 2

- ・ まちを見る視点を改めて気付かされた。身近な都市の話でわかりやすかった。
- ・ 考え方に共感できる部分が多々あり、大変参考になりました。また、当県の事例を取り上げていただき大変ありがたかったです。（佐賀市の事例はまだ発展途上と思いますが、以前に比べて改善なされているのだと思います。）

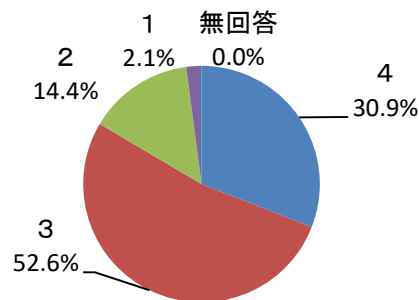
#### ◎活用度 1

- ・ 一つの建物で街は変えられる。やはりお金を稼がないと。さっとシミュレーション⇒お宝発見。初めて話で面白かった。

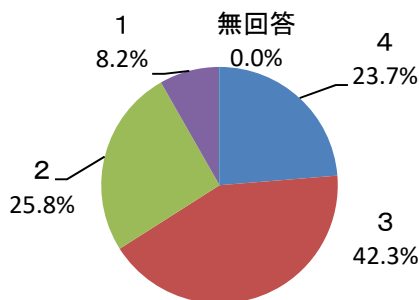
【合同講義】「世界農業遺産や CSV を通じた持続可能な地域づくり」

一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス 共同代表 大和田 順子 講師

<理解度>		N=97	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	30	30.9%
	3	51	52.6%
	2	14	14.4%
	1	2	2.1%
	無回答	0	0.0%
合計		97	100.0%



<活用度>		N=97	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	23	23.7%
	3	41	42.3%
	2	25	25.8%
	1	8	8.2%
	無回答	0	0.0%
合計		97	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 福島県への復興の支援、ありがとうございます。農業関係の業務なので、参考といたします。
- ・ これまで農業の視点から地域づくりについてあまり考えたことがなかったので、さまざまな事例を学ぶことができ勉強になりました。
- ・ 環境の側面でのまちづくりの在り方（仕方）がわかりました。
- ・ 本県にも世界農業遺産があるため大変興味深く拝聴いたしました。今までに作り上げてこられたものの中に新たな価値を見出し、あるいは、創出していく大切さを改めて認識しました。
- ・ 経済・環境・社会文化の3つの視点から考えることが重要であることがわかりました。
- ・ 「LOHAS」を日本に紹介したのが大和田先生と知り、驚きました。いろいろなお話をさせていただいた中で、世界農業遺産の内容が、心に残りました。
- ・ パートナーを見つけることが重要。ロハスの視点を入れて。
- ・ AとBをつなげて新たな共通価値を創造する。
- ・ 農業、集落、NPOと企業とのマッチングのお話はとても参考になりました。ありがとうございます。営業していきたいと思えます。
- ・ 企業とのコラボはこれまで本県ではあまり事例がないが、実現すれば活性化に向けたツールが一つ増えると思う。ただ、いかにして企業を巻き込むか、考える必要がある。
- ・ 中山間地域の地域づくりにおいてもやはり交流が大切で多くの人に関わってもらうことが力になっている。
- ・ 中山間地域における活性化の話であり身の回りにあること等普段の生活が資源となり得ると思

いました。もう少し時間があればゆっくりと話を聞きたいと感じました。

- ・ CSV、SDG s など新しい取り組みを事例を交えて聞くことができ、大変参考になった。ふくしまの事例は色々ヒントになる部分があるのでしっかり読み返したいと思う。
- ・ 企業との協同という考え方がわかった。
- ・ 当町も世界農業遺産に含まれているので、強いモチベーションアップになりました。
- ・ 環境的視点は不可欠であること、守るべきものを守るために、企業をはじめ違う立場、視点をもつ人、組織の活用を検討に含めた、事業展開を行っていききたい。
- ・ 企業のニーズと地域の課題をマッチングさせる力が必要だと考えました。
- ・ ロハスの話から地域創生の話にどうつながるのか興味がわきました。中山間地域が直面する課題解決手法として企業と連携して新しい価値を創造していくことを学びました。
- ・ 企業と連携しながら地域の課題を解決していくプロセスが参考になった。
- ・ 企業との連携で地域活性化を図る手法など、事例をまじえたわかりやすい内容でしたが、もう少し時間があれば良かったのではないかと思います。(1 コマ⇒2 コマ)

### ◎活用度 3

- ・ 世界農業遺産自体を初めて知ったが、各取組を見てみたいと思った。
- ・ 世界農業遺産は初めて聞いた言葉で自分の県での普及も必要と感じました。
- ・ 地域資源を活かした地域づくりの事例に触れることができ、とても参考となりました。
- ・ 中山間地域が直面する課題解決手法について、企業と地域の連携による CSV の事例を通じて学ぶことが出来た。
- ・ 今までロハスや世界農業遺産について知らなかったのが、大変勉強になりよかった。当市でも農業は盛んで特産もあるが、どのように見せて PR していくか考えさせられた。
- ・ さいたま市の状況とは異なる事例が多かったが、事例が聞けてよかった。  
○ ○と企業が成功した事例であった。仕掛ける市職員でありたいと思った。
- ・ 都会の人が中山間部の魅力 UP にここまで関わることができること、SDG s という視点の活かし方が勉強になりました。
- ・ 持続可能な世界をつくっていくために中山間地域の重要性を認識しました。自分のまちでも参考にできる部分は参考にしたいと思います。
- ・ 環境への配慮、また、自然なものを食べて行くことの重さ、どう生きたいかを思いなおす内容でした。
- ・ 社会貢献型人材育成は地方の課題解決の一つの手法である。世界農業遺産を活用し、中山間地域が発展することを望む。
- ・ もう一度地域歴史等を見直し、ニーズ、課題、資源、活用して地域創生デザインして成果を上げることが学びました。
- ・ 耕作放棄地や脱原発、観光壊滅的など弱みを売りにする。ボランティア市民を引き出す。企業などのパートナーを巻き込む仕組みを行政としてどう活かすかが自分の課題と思う。
- ・ もう少し深く話をききたかった。中山間地域への取組に関して。
- ・ 地域の特性を活かすことの必要性を感じました。



- ・ 健康・地域・環境を大切にするライフスタイルや、地域で循環する経済の創出の重要性を再確認することができた。企業との社会価値の共創が重要と感じた。
- ・ 復興推進、地方創生には地域住民が主役となり、多くのパートナーと合意形成を図りながら進めた点がポイントだと感じた。
- ・ 本市は綿織物「播州織」の産地で、やはり原料にこだわりたいと若手企業人を中心に綿花から栽培し、製品化する取組を進めています。
- ・ 地域が直面する社会課題をともに解決するために新たな価値を創出できればと思いました。
- ・ 人口減少する中で、持続可能な地域づくりには市民や企業などとの連携が大切であることを感じた。
- ・ 食育と農業というのは専門的なようで行政でも聖域化して考えられがちだが、実は自給の問題は決して軽視できることではない。行政全体で考えなければならぬ。また、農業部門が経済局に置かれている理由もよく理解できた。ただスライドのテキスト量と講義のボリュームがマッチしていなかったのがもったいなかった。
- ・ 地域資源を磨き、ローカル生産を重視した里山コミュニティ経済をつくりあげ、持続可能な開発目標を進めることが大事だと感じました。
- ・ 世界（日本）農業遺産は、その認知度が良く分からないが、地域を見直しその魅力を再発見するためのツールとしては興味深い。
- ・ 持続可能性を軸に、都市と農村の具体的な交流事例を多く知ることができてよかった。
- ・ CSR、CSV、SDGs など初めて聞く言葉であったが、講義を通じて新しい知識を得ることができた。
- ・ 企業の自主的取組が重要でそれを念頭に取組んでいきたい。
- ・ 参考にしたい。
- ・ 基礎知識がない中で講義を受けてしまったので、内容についてしっかり復習したいと思います。
- ・ 企業、地域のマルチセクター、大学などそれぞれが持っている弱点や強みを組み合わせて行くことで地域が抱える問題を解決していけることを理解できました。
- ・ いわき市の震災後の取組は参考になった。
- ・ 当市はグリーンツーリズムに力を入れているところもあり、1歩進んだ中山間地域の問題解決に進んでいきたいと考えております。
- ・ 地域再生において企業との連携する重要さを学びました。地方においてはいかに応援者を呼び込めるかがポイントだと感じました。
- ・ 多くを巻き込むこと。参考にしたいと思います。
- ・ あまり知識がなかった分野の視点や取組のヒントをうかがうことができ参考となった。
- ・ 地域資源を発見して活用するという視点の重要性を認識できました。

## ◎活用度 2

- ・ 持続可能な地域、その資源は身近にありそれを発掘・整理し、発展させていくことが大切ということを感じました。
- ・ ロハスの考え方がまだよくわかっていない部分があるが、地方創生の側面からのアプローチで自分の仕事と関連付けて行く必要があると感じた。

- ・ 農業遺産を初めて知った。文化継承、まちおこしにつながると思った。
- ・ 世界農業遺産へ認定される方法が気になりました。ありがとうございました。
- ・ 企業と地域の想いをうまくつなげられるかがカギになると感じた。
- ・ 企業をパートナーとして活用。
- ・ 自身の市で、農業部分に対する取組があまり進んでいないことと、講義時間が多少短く、深く理解することができませんでした。すみません。
- ・ 新しい価値と地域固有のストーリーをどうつなげていくか、そこが重要なポイントと感じた。
- ・ ボランティアの活用がなされていたが、どのような仕掛けでボランティアを集めることができるのか知りたかった。
- ・ 短時間ということもあり、地域創生とどうつながっていくのかももう少し聞きたかった。世界農業遺産関係も詳しく聞きたかった。
- ・ 理念は理解できましたが、カネのにおいがしなかったように思えた講義だったと感じました。
- ・ CSV やSDG s について知識、認識が深まった。この考えをいかに政策に取り込んでいくかを考えて行く必要があると思った。
- ・ 全国の中山間地域において、地域活性化に向けた様々な取組が行われていることがわかった。地域と企業のニーズ（社会貢献）のマッチングが課題だと思う。

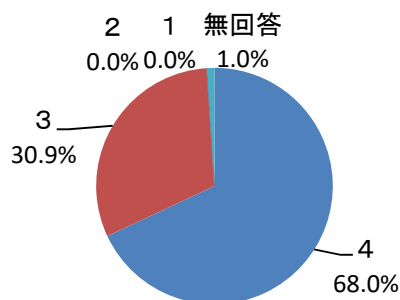
#### ◎活用度 1

- ・ 視点を変えるきっかけになった。
- ・ わかりづらい。
- ・ ロハス、CSV、SDG s というのは、今まで全く考えたことのない分野だったので、このような視点での地方創生もあるのだと思った。話し方が、同じ調子で淡々と続いたので、どこが大事かがわかりにくかった。
- ・ 当町は山川とも「ない」自然のない町です。町内の眠っている主役を掘り起こすための努力の必要性は良く分かりました。地元の白川村が紹介されたのは良かったです。他市町村と連携して事業を展開するとよいかと思えます。
- ・ 市域に農業や林業がほぼないため応用はできにくいと考える。
- ・ 先生が伝えようとしていることがあまり理解できなかった。
- ・ NPO と企業の協働事例を説明するならば、もう少し取組までの過程や取組の工夫に重点を置いて説明すべきだと思う。しかも企業のマンパワー参加ばかりで、事例に斬新さもなかった。
- ・ もっとテーマを絞ってプロセスを説明してほしい。（何が言いたいのかよくわからない）

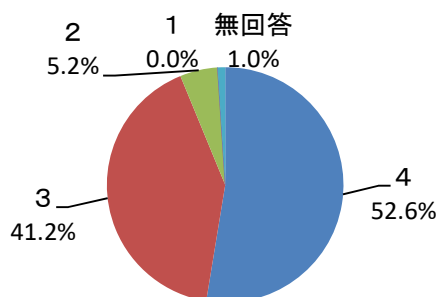
【合同講義】「地域づくりのマネジメント」

慶應義塾大学 SFC 研究所 所長／総合政策学部 教授 飯盛 義徳 講師

		N=97	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	66	68.0%
	3	30	30.9%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.0%
合計		97	100.0%



		N=97	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	51	52.6%
	3	40	41.2%
	2	5	5.2%
	1	0	0.0%
	無回答	1	1.0%
合計		97	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ アカデミックに分析することで個人的に理解の助けになった。感謝。
- ・ 学術的な部分を整理した説明でわかりやすかったです。
- ・ 「境界線」という考えを意識してみたいと思います。持ち寄りをしてもらわないと行政で完結してしまうこと、実感しました。ありがとうございました。
- ・ プラットフォームや境界設定など、新しい知識を得ることが出来ました。
- ・ プラットフォームについて今本市で進めている市民協働の会議に活用していきたい。
- ・ つながりをつくり創発を生む仕組みづくりを学んだ。地域資源がなくても積極的に資源化していくことの重要性を認識した。
- ・ 人材を含めた地域の資源に気付き、それを集めてコーディネートすることで地域の活性化につながると教えていただいた。
- ・ 小学校からの教育も重要か。やはり地域の方の参加が重要だと考えた。考え方として都市部活性にも用いることができるものと考えました。
- ・ 地域の人々が自発的に参加しやすい環境づくり（境界づくり、資源持ち寄り等）について理論的に学べて良かったです。
- ・ 青梅市もプラットフォームづくりに平成 25 年度から取り組んできましたが、今日の話を参考に一步を踏み出したいと思いました。
- ・ 境界の設定がとても参考になりました。
- ・ 地域づくりのポイントをわかりやすく解説いただいた。

- ・ とても面白くためになりました。SFC 出身の方が市におりますので更に落とし込んで聞いてみたいと思います。
- ・ これからの地域づくりで行政の果たすべき役割としてプラットフォームを設計し、ひとつひとつをつなげることが大切だということがわかりました。
- ・ プラットフォーム設計が重要でできることから始めるのが大事であることがわかりました。
- ・ 地域づくりを学術的に説明していただき、西村先生の話とリンクする部分がさらに理解を深めることが出来た。
- ・ 地域づくりのポイントを具体的な例を交えて知ることができた。生活支援体制づくりにも活かしたい。
- ・ 地域をいかに自分事として主体的に動かすかということでヒントをいただきました。
- ・ 近年、地域づくりに関心を持つ積極的な若者が増えており、機運が高まっているのは、地域再生のチャンスであると感じた。人材力の育成と活性化が重要であると感じた。
- ・ 住民や外部の方が集まれる境界（プラットフォーム）をどう設定するか。イノベーションを生み出す場を見つけること、つくることが大切。
- ・ 地域づくりを進めて行くにあたり、一定の手法を聞くことができ、大変参考となった。
- ・ 地域づくりをするために人を集めるのではなく、その結果が地域づくりになる様なことができれば良いと思った。
- ・ 住民行動にはきっかけが必要。そこに学生が入ると全く違う動きになる。今やっていることで大いに参考になった。先生と連絡が取りたい。
- ・ 理論的な話であったが、とてもわかりわかりやすかった。今の現場の仕事でコミュニティとの繋がり方のヒントが得られました。
- ・ 境界設定やプラットフォームという考え方を知ることができたのは大きな収穫だった。
- ・ 境界のつくり方が大切で、行政の立ち位置がどうあるべきか考えさせられた。
- ・ 地域づくりのポイントはやはり人がどれだけ関わるかということで当事者であるとの意識が重要だと思う。
- ・ もう一度地元を見つめ直し、地方でこそできること、どういう視点で関わっていくべきか等参考になった。
- ・ これまでの講義をまとめるように、理論と実施をわかりやすく説明いただいて助かった。
- ・ 効果的境界設計の考え方や意義が特に印象に残りました。(自身と照らして考えることができました)
- ・ 地方創生のキーワードがまさにヒトとヒトとのつながりからということがよく分かる講義でした。何もないのではなく何かを産み出す視点での資源の再認識の必要性を痛感しました。
- ・ 社会的創発、主体性の萌芽という視点は市民協働、地域コミュニティの推進にまさしく必要な部分であり、説明いただいた事例がとても参考になると思う。
- ・ 境界というキーワードに気がついた。
- ・ 大学生と連携した元気プロジェクトに非常に興味があった。
- ・ 行政の役割の再認識ができました。
- ・ 境界の考え方は興味深かった。会議ひとつから活用して、活性化を図りたいと考える。

- ・ まず人を見出し、人と人をつなげることが地域づくりの第一歩だと再認識しました。
- ・ 地域づくりとは効果的なプラットフォーム設計であり、そこには効果的な境界設定が必要であることを学びました。リーダーはトップダウン型から場づくり型へ変化、そこには信頼が必要であることを理解しました。
- ・ 対等な人間関係が、地域再生の設計に重要であることが参考になった。
- ・ 地域づくりでプラットフォームの役割、あいまいな境界や資源の持ち寄りなどとても参考になりました。
- ・ 地域づくりへの取組のイメージを掴むことができ、大変参考になった。
- ・ 理論が納得できた。まちづくりの実務に活用できるヒントが多かったです。

### ◎活用度 3

- ・ まちづくりの基本を学んだ。
- ・ 自分も住民の一員として地域づくりの中で主体性をもっていくことが大切と感じました。
- ・ 境界の作り方についての話は、聞いたことがなかったので、なるほどと思えた。「プラットフォーム」というキーワードは忘れないようにしたいと思う。
- ・ 事例を通して、地域の若手発掘、支援が大事だと感じた。
- ・ やはり人が大切であること、強制や命令によらないマネジメント能力など、大切な視点に気がきました。
- ・ まちづくりのしくみづくりの大切さを学ぶことが出来ました。今後、継続的に勉強したいと思います。
- ・ できることは何かを考えさせられる講義であった。
- ・ 哲学的な部分が盛り込まれていて、また違う角度から地域づくりを考えさせられました。
- ・ 資源を上手く活用していくことこそ地方創生の近道かとも思いました。しかし、じっくり考えるのも大事。でもまったなし。
- ・ まずできるところからはじめて、続け、人材力活性化が地域づくりには重要だと感じました。
- ・ 様々な取組における境界設定の重要さは新たな発見である。
- ・ 普段の業務の中ではなかなか「プラットフォーム」の考え方でものごとを進めていませんでしたが、自分の働く地域で地元のみなさんがいきいきと過ごせるお手伝いのできたらいいなと思いました。
- ・ 「内」「外」の境界をつくらず縁側のように外の人を内に入りやすくする仕組みづくりが大切だと感じた。
- ・ 自ら考え、行動していく。自発的な活動、創造。互いが見える（分かる）境界の設定。資源の活用。
- ・ 内と外のへだたりがあると入りにくい、当たり前の話を再度気がきました。
- ・ 地方創生のキーワードはまさしく「人」であり、まずは一步踏み出す勇気が必要であることに気付かされました。地域づくりが自身の街を救う唯一の手段であることを強く思いましたので、精一杯頑張っていきたいです。
- ・ 仕掛けづくり、場づくりが必要だと思いました。漠然とした取組でなく先人のノウハウをしっ

かり理解して活用していくことが大切と思った。

- ・ 核となる人以外にいろいろなインセンティブをもつ人をいかに多く取り込めるかが重要だと思いました。
- ・ 地域づくりにプラットフォームの活用が不可欠であるのが理解できた。
- ・ 地域コミュニティ活動、ソーシャルビジネスの基盤は地域のつながりであり、その土台が効果的なプラットフォームの設計であるというのが印象的であった。
- ・ 富永先生や豊重先生、西村先生と同様のことをおっしゃっていることに驚いた。このあたりを特に意識して取り組みたい。
- ・ プラットフォーム設計や運営について、理論的な話であったが、非常にわかりやすく理解が深まった。
- ・ 全国の様々な地域づくりへの取組を知るとともに、地域資源が財政だけでなく人・モノ・カネ・情報等全てのコンテンツが資源化プロセスに重要であることが良く理解できました。
- ・ 自主的な取組が地域で出てくる環境を醸成する必要があると感じた。
- ・ 参考にしたい。
- ・ 人を集める際のプラットフォームづくりに境界のあいまいさが必要と感じた。また、全員が想いを完全に共有する必要もなく、様々なインセンティブで人は行動していることがわかった。
- ・ 可視性、透明性や境界（制約）をあいまいにする等発想できなかった様々なことを確認させられました。地域の活性化につなげられたらと思います。
- ・ 地域創生において何より「ひと」、人材の活性化がポイントであるということが、事例を交えた丁寧な説明で理解することができました。
- ・ 事例を紹介しながらの講義だったのでわかりやすかった。
- ・ 少子高齢化が進んでいる地方にとってコミュニティの力が必要とされています。古い地区は既に凶られています。あたらしい地域ならびに混在している地域に対するプラットフォームづくりに対し参考になりました。
- ・ 地域づくりのマネジメントに必要なプラットフォームづくり、境界の考え方など非常に参考になりました。
- ・ やって見ないとわからないことが多い。できることから一歩ずつ。ということであれば気が楽になります。
- ・ 「プラットフォーム」について調べ、なるべく活用していけるようにしたい。

## ◎活用度 2

- ・ とても興味深い授業だと思った。参考図書も読んでみたいと思う。
- ・ 地域づくりに関心をもつ人がなかなかいないのは当たり前。色々なインセンティブをもった人々の集まりでよい。リーダーがそれらを地域活性化につなげればよい。あらためてリーダーの役割の大きさを考えた。また、砂浜美術館の話は、地元との大きな温度差の解消が課題だと感じた。

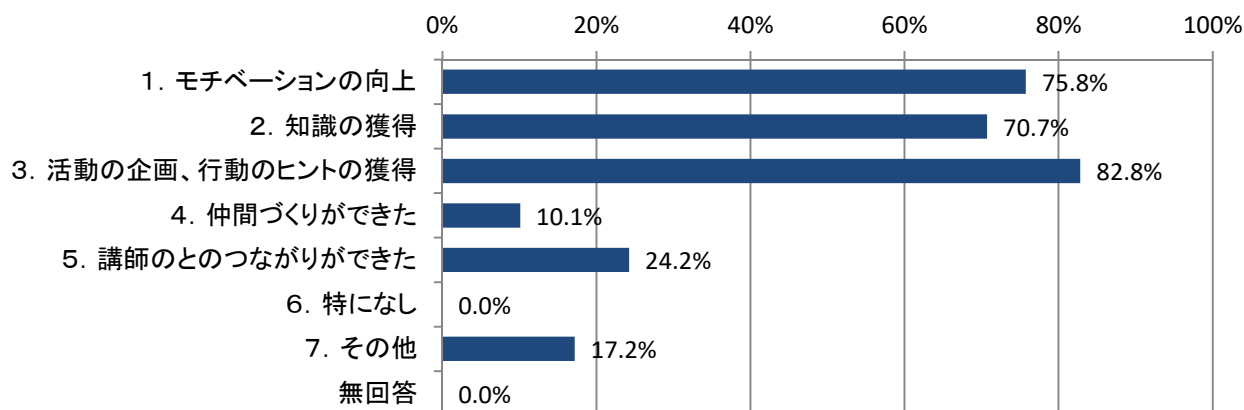
◎活用度無回答

- ・ Tシャツアート展は、面白い取り組みであると感じました。一步を踏み出す。できることから始めて、続けることが大事であると感じました。行政の職員自身がしっかり地域活動の中へ入って活動していくことが大事だと感じました。

(2) 研修全体について

①人財塾の良かった点についてお伺いします。下記の選択肢から該当するもの全てに○をつけてください。

	回答数	%
1. モチベーションの向上	75	75.8%
2. 知識の獲得	70	70.7%
3. 活動の企画、行動のヒントの獲得	82	82.8%
4. 仲間づくりができた	10	10.1%
5. 講師のとのつながりができた	24	24.2%
6. 特になし	0	0.0%
7. その他	17	17.2%
無回答	0	0.0%



<その他の回答>

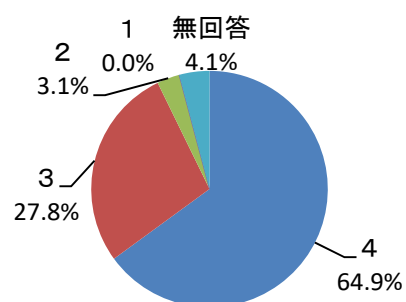
- ・ 地元に戻って地域づくりに参加してみたいと思った。
- ・ 様々な視点から、今後の行政のあり方についてご講義いただき大変勉強になりました。まずは自分自身が変わり、行動を起こす必要があると感じました。
- ・ 経営の視点を持つことが、これからの行政には必要であることがわかったので、今後の行政に活かしていきたいと思いました。
- ・ 幅広い、多面的な種類のものが取り揃えてありよかった。
- ・ 人財塾を通して全て行政がやらなくてもよい、人材育成や、人とのつながりが地方創生に必要であることに気付かされた。また、どの講師もものすごいパワーと情熱をお持ちで刺激を受けた。
- ・ 地域の人材を見つけること、自分自身の人材力を高めること、民間との連携、身にしみて感じた。
- ・ 普段お聴きできない貴重なお話ばかりで、研修に参加できて本当に良かったです。職場にも今回の内容を伝えたいし、もっと地域の活性化のお手伝い出来る部署への異動もしてみたいと思うようになりました。



- ・ 地域の再生は地域が主体的に行えるよう、行政として循環や連鎖が起こる仕掛け作りが重要であると感じた。官民連携の重要性を再確認することが出来た。
- ・ 自分のところでは見られない方法、現状を学び、自らが変わることの重要性に気付いたこと。
- ・ それぞれ専門分野のトップの先生方の貴重なご講義をいただき、非常にモチベーションの向上につながりました。また機会があれば受講してみたいです。
- ・ 今まで仕事でやった方向性、研究してきたことが間違っていなかったことを改めて実感できた。今回はそのブラッシュアップ手法、更なる知識、今後持ち帰って進むべき方向性の再確認を学べた。
- ・ 「共感者を増やす」が全体を通じてのキーワードのように感じた。作業、自治会運営、デザイン、健康、切り口はそれぞれちがうが皆共感者を増やすことにずば抜けて長けている。自分にどんな切り口があるのか。頭の中は結構スッキリした。
- ・ 全ての先生がバイタリティに溢れた方だった。あのバイタリティを見習いたい。
- ・ 自分の知識だけでは狭い情報の中だけでの判断となるため、もっと多くの情報の取得と共有が必要であり、そのための情報収集や努力が大切であると感じました。
- ・ 全ての講師の行動力や柔軟性に感動しました。
- ・ 今回の研修を受けて、自分自身のモチベーション、やる気がすごく高まったことを感じました。限られた時間の中で非常に内容の濃い、そして深い話ばかりでしたので、もっと時間がほしいと感じました。
- ・ 地域づくりへの取組に対するイメージを掴むことができ、今後の大きなきっかけとなる講義内容でした。

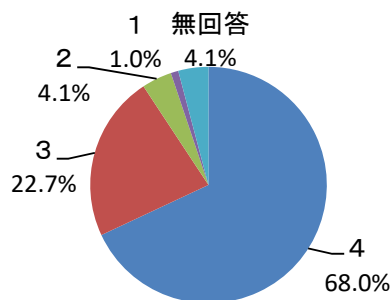
②人財塾を受講したことにより、今後、業務又は業務外で地域づくりに関する活動を新たに又は、継続して行っていきたいと思うようになりましたか？

		N=97	
<活用度>		回答数	%
↑ 思った 思わない ↓	4	63	64.9%
	3	27	27.8%
	2	3	3.1%
	1	0	0.0%
	無回答	4	4.1%
合計		97	100.0%



③研修全体の進め方・運営についてどのようにお感じになりましたか？

		N=97	
<活用度>		回答数	%
↑ 良かった 良くなかった ↓	4	66	68.0%
	3	22	22.7%
	2	4	4.1%
	1	1	1.0%
	無回答	4	4.1%
	合計	97	100.0%



④その他研修に関して改善点・お気づきの点をお聞かせください。

[プログラム、講義形式]

- ・ 1 限しかない講義について、時間が足りなくなり講師の方が最後まで伝えられなかった感があり、申し訳ない気がしました。
- ・ 1 コマあたりの時間がもう少し長くても良いかと思いました。
- ・ 2 コマにするなど、1 講義に割く時間を増やす方が良いのではないかと感じた。
- ・ アンケートは初日の最初の講義の前に配布していただきたかったです。
- ・ 各先生の持ち時間が短い。
- ・ 研修の時間や講師との話す時間など、時間的制約があり、もっとゆっくり話を聞きたい講義もあった。数をしぼってゆっくりとしたカリキュラムが良かったように思います。
- ・ 講師の先生方にとって、1 コマ 70 分だけは短いように感じました。
- ・ 講師の人の話が最後まで聞けるようになればうれしい。最後、急ぎ目で聴けないことがあるため。講師さんの時間調整もありますが・・・。
- ・ 座学の連続で、自分なりの考えにまとめる時間がない。さらに対話なしのため知識の定着がむずかしい。連続講座とするなら、講座の順番にも配慮すべきだったのでは（概念⇒事例、実践者のように。最後に飯盛先生の話なのは収束されてよかった）。講演者にも講演主旨がうまく伝わってなかったのでは・・・という例が数件。2 日目の講師からは「伝えたいこと」が強く伝わってきて有意義な時間をいただけた（豊重氏、西村氏）。
- ・ 時間オーバーが続いたので、トイレ休憩などが取りにくく困った。
- ・ 時間が短いと感じました。どの自治体も地方創生はまったなし、ここに時間をもっと割いてほしい。
- ・ 時間が短く、説明を省略されることが多々あったので、残念。もう一日くらい授業のコマがあればいい。
- ・ シラバスを事前に配布していただけると、講義の準備や意識が高く臨めるので、暫定版でもよいので、配布していただけるとありがたいです。
- ・ 資料と講義はその内容がマッチしているのが望ましい。
- ・ 全体的に時間設定に余裕が欲しいと思います。
- ・ 内容がどれをとっても素晴らしいお話だったので、70 分という時間が少し短いように感じまし

た。(2コマの講義もありましたが)

- ・ 内容は非常に充実していたが、講義時間についてできれば時間内もしくは1-2分の程度の延長にしていただければありがたい。講義全体としても、1つの方向に結論付けようとするものではなく、様々な見解の講師の話の聞けることで自分の引き出しが増えたような気がします。
- ・ 普段お会いすることのできない講師陣に驚いている。できれば事前に知っていたら著書を読んで受講できたと思った。
- ・ ホワイトボードを壇上に置いた方がよく見えるのですが・・・。
- ・ もう少し詳しく話を聞きたい部分もあり、もう少し時間を確保いただければと思う。
- ・ もう少し時間をとられたら良いと思います。
- ・ もっと意見を言える研修の方がより身になっていたように思われます。(2日の1限目の講義)
- ・ もっと講師とのつながりができる時間的余裕が欲しい
- ・ 西村先生のように2コマ程度のお時間があれば、他の先生方のご講義も更に習熟度が増したような気がします。

#### [講義内容]

- ・ 今まで自身が地元自治体で抱えていた諸課題についてどう分析し、どう取り組んでいけばよいのか、いつも悩んでいましたが、解決のヒントを頂き感謝しています。
- ・ いろいろな事例の知識を増やすことが出来て良かったです。
- ・ 各分野の第一線で活躍している講師陣からお話を聞くことが出来、とても有意義でした。
- ・ 具体的事例の紹介・解説が多くわかりやすく良かった。
- ・ 経済的格差や貧困の問題は今後、どの様に解決していけばよいのか。格差による分断が次の課題になるような気がした。明日の生活がままならないヒトが地域のことを考えるのは容易ではない。
- ・ 書籍を読んだことのある方の講演を聴けるというのはとても恵まれた機会でした。
- ・ すばらしい講師の方々ばかりで大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ スライドのテキストは、多すぎるとどこが論点なのかわかりにくい。
- ・ 成功例だけでなく、そこに至る端緒や過程について聞きたい。
- ・ 全国の事例を紹介していただきとてもわかりやすかった。
- ・ それぞれの先生方が、切り口が異なっても、キーとなる部分で一致していることが良く分かりました。
- ・ 大変良い刺激を受けたので、引き続き、同じコマ数を確保していただきたい。
- ・ 地域的にあてはまらない内容もあったが、全て拝聴出来て良かったです。
- ・ とても参考になりました。
- ・ 西村浩先生の講義ではテキストがなかったが、その分話に集中できたこと自分なりに要約してメモを取るなど、ある意味理解度が増した。写真がOKなのもよかった。

[会場]

- ・ 直接講義と関係ないが、大教室の冷房がきつく感じる。講義が伸びると休憩中に寮まで戻ることができず、着替えられないのが不便。

[その他]

- ・ 現在の業務ではほとんど地域づくりに関われることはないが、市全体が活性化していくように考えるようにしていきたいと思う。
- ・ ためになる研修、実践につなげていきたい。
- ・ 特にはないです。とてもよかったです。参考になりました。

(3) 今回の研修受講生を対象としたステップアップ研修を行う場合、どのような内容を望みますか？

[受講者の個別の課題をテーマとした研修]

- ・ 各地方（我々なら中部圏）とかにスポットがあたるものを望みます。
- ・ それぞれがアイデアを出してみても、具体的なアドバイスをしてもらおうなど、実践的なものがあると良いと思います。
- ・ 例えば、現在の受講生の地域が取り組んでいる施策、現状について、各講師の先生方などのような切り口で対応すべきかを、具体事例を用いてご教示いただきたいと思いました。〇〇市の事例を参考（実験台のような）にし、何が足りないのかを気付かせていただきたいと思います。
- ・ 受講生が具体的に悩んでいる事例に対して、討議、回答するようなやり方も 1 つの方法と思います。
- ・ 自分の地域で、講義のような取組をしたらどんなことができるか・・・というようなシミュレーションのようなことができるのではないかと思います。

[ビジネスをテーマとした研修]

- ・ 自らの自治体での活用事例について持ち寄り、講師とともに課題を見つける。

[その他内容に関する事柄]

- ・ 時代の課題等に対応していくための能力向上に資する内容。
- ・ 公民連携。
- ・ 日本の最前線の取組事例とともに、幅広く考える観点から、世界の事情や先進事例について。
- ・ 人口減少時代に対応した新しいまちづくりの手法について。
- ・ 縮退する都市構造への対応をもう少し掘り下げた内容。
- ・ いくつかのケースについて、費用、収益などより具体的な講義を聴いて（みたい本に書けない生々しい話）。
- ・ その他のまちづくりの成功例が知りたいです。
- ・ 実践計画の作成、失敗談とそのフォローアップ方法。学生、子どもへのアプローチ（教育）。
- ・ 地域再生の成功事例を詳しく掘り下げて行うものがよいと思います。
- ・ ふるさと納税。
- ・ 頑張ってもらわないといけない地域の方々に頑張ってもらうためのインセンティブ（動機づけ）をどうしたらよいか、もっと考えていける内容など。
- ・ 今回の受講時間では短かったと思うので、具体的な経験談等をもう少し聞いてみたい。
- ・ テーマを明確にした講座構成がもう少し伝わりやすければよかった（自治会中心の地域創生、まちづくりデザイン、NPO と企業の協働・・・など）。
- ・ 地方都市の者なので、地方創生についてももう少し深く聞いてみたかったです。
- ・ 最新の取組。
- ・ 県レベルで出来ること、市町村レベルでできること、それぞれに分けた内容のものがあればありがたいです。

### [グループワークの形式]

- ・ 類似自治体によるワークショップ（意見交換）。
- ・ グループ演習等で各々が抱える問題点を協議し合うような研修（ケーススタディ）。

### [フィールドワークの形式]

- ・ フィールドワーク等。
- ・ ある程度参加できるようなものだと楽しいのではないかと考えます。
- ・ 期間を延ばした実践的な演習、現地に行つての演習。
- ・ ご紹介いただいた事例の地に実際に足を運び、自身の目で現場を見て、関係者の方から話をうかがい、活動に参加できるような機会があれば、より理解が深まり、学んだ知識が経験として身に付くのではないかと思います。
- ・ 現場に出ること。
- ・ 実際の現場での研修を希望します。（内容についてはあまりイメージがないですが・・・）
- ・ 現場を見たい。フィールドワーク。
- ・ 現場に出る。良い現場に何があるのか体感できるような研修。人なのか場所なのかにおいをかいでみたい。
- ・ 実際の現場の視察などに行つてみたい。長池公園など。
- ・ 実地研修・視察（様々な事例が紹介されていたので、実際の現場を見て、肌で感じることでより理解が深まるとともに印象に残ると思われる）。
- ・ 実際の先進事例における視察・研修。
- ・ 座学よりも、実践形式に重点を置いた方がよいような印象を受けた（2日の1限目の講義）。
- ・ スケジュールや予算的に厳しいと思いますが、今回の研修では地域再生、活性化などの多くの成功例を紹介されたことから、是非その事例となった場所へ行き、実際に携わっている現地の人の声を聞き、実際に参加、体験できるような研修があると良いと思います。
- ・ やねだん創生塾のような現地研修。
- ・ 現地視察、フィールドワークみたいな感じも面白いかと考えます。
- ・ 現地視察など地域に入った研修などがあればさらによいと思います。

### [その他形式に関する事柄]

- ・ 対話型の内容。
- ・ 意識を広めていくため、例えば、研修受講生とその人が思うおすすめの後輩が参加できるような研修ができるとよいと思いました。もちろん受講した私達が後輩に伝えて行くことが一番まずやらないといけません。
- ・ 少しの時間でいいので振り返りの時間がほしい（近くの受講生と感想を共有する、できれば講師も）。

#### [フォローアップ]

- ・ 今回の研修をうけて実践し、失敗も含めて成果（少しでもいいので）が見えた方の生の声を聞いてみたいです（成果といっても、成功例でなくともこういったプロセスを経ての今現在の状況など）。
- ・ 現場で活用した事例発表。
- ・ 今回の研修後地元で地域づくりを实际行った人の体験などをきく。

#### [その他]

- ・ 西村講師の資料がなく画面のみの講演で、画面の切り替えが早く、撮影できなかつたときがあったので、もう少し、切り替えのタイミングを考慮していただければありがたかったです。
- ・ バランス良い内容だったと感じました。
- ・ 良く考えてくださっていると思います。
- ・ 今回の研修は地域づくりに関するものが多く、多様性のある講義でも良かったのではと思います。それだけに地方に公務員に求められる重要な案件であると再認識する機会になったと思います。

### 3. 地方開催（IN 福岡）編

[平成 29 年 9 月 21 日～22 日]

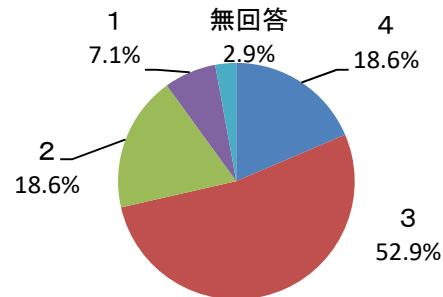
#### ■受講者アンケート

(1) 各プログラムに対する評価

【導入講義】「人材力の活性化について」総務省地域力活性化・連携交流室長代理 三宅 啓之 講師

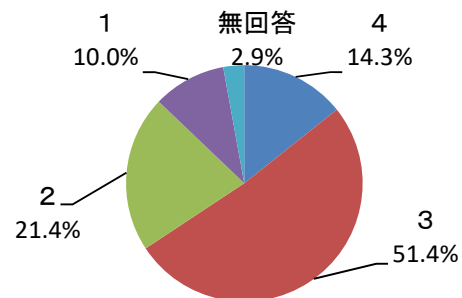
N= 70

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	13	18.6%
	3	37	52.9%
	2	13	18.6%
	1	5	7.1%
	無回答	2	2.9%
合計		70	100.0%



N= 70

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	10	14.3%
	3	36	51.4%
	2	15	21.4%
	1	7	10.0%
	無回答	2	2.9%
合計		70	100.0%



#### <感想>

##### ◎活用度 4

- ・ 総務省もいろいろと考えている事が分かりました。
- ・ 資料がたくさんあるのでのちほど吟味したい。
- ・ 結論として人材活用の全体を知ることができました。

##### ◎活用度 3

- ・ 総務省の取り組みについて、特に地域おこし協力隊について、これからも情報収集を行っていきたいです。
- ・ 人財塾という場を設けていただきありがとうございます。
- ・ 「あなたの地域に何がありますか」の最初のといかけにインパクトがあった。
- ・ 自分の住んでいる市、地域を紹介できる能力を身につけることが必要であると改めて思った。
- ・ ほとんどは知っていた話でしたがこんなのあるんだというのもありました。
- ・ 改めて地域づくりに関わる情報が沢山知れて、良かったです。
- ・ 活用できる事業や補助金について再度確認してみたいと思います。
- ・ 自己紹介させてくれたのは良かったです！
- ・ 総務省の施策など勉強出来た。



- ・ 現在の取組だけでなく、今後考えられていることなどもお聞きできると良かった。
- ・ 地域資源・良いトコ探しを今後もしっかりやっていきたい。
- ・ あなたの地域には何がありますか？と聞かれたときに、ちゃんと答えられるように地域の魅力を再発見したいなと思いました。
- ・ 地域自慢をすることで改めて大事なことに気づけました。
- ・ 所属する課の方に資料を見せたいと思いました。
- ・ 聞きとりにくかったです。
- ・ もう少しゆっくり進めてほしかった。
- ・ 情報が盛りだくさんでしたが焦点がぼれませんでした。すみません。
- ・ 地域おこし協力隊の活用と町おこしについて。

#### ◎活用度 2

- ・ 何をテーマに話すのかわからなかった。
- ・ 時間が短かったのであまりついていけず、理解度が低いです…。

#### ◎活用度 1

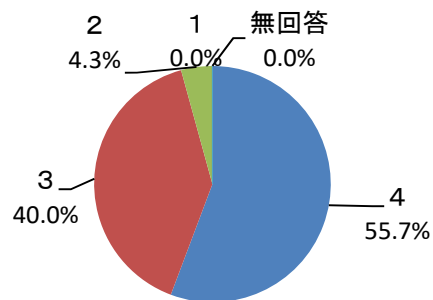
- ・ 自信がないように感じた。
- ・ せめてわかりやすくしてほしい。
- ・ スタートから別人はあかんでしょ。
- ・ 3分で自分の地域の良さを伝えるのがいつも難しく、ヤキモキします笑。
- ・ あいさつも短め、おきまりの話し。可もなく、不可もないオリエンテーション。

【講義】「“地域人財が育つ” 地域資源融合型公園経営」

特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池 会長 富永 一夫 講師

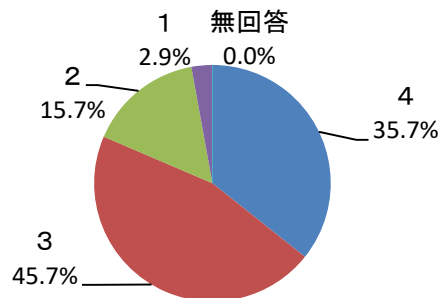
N= 70

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	39	55.7%
	3	28	40.0%
	2	3	4.3%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		70	100.0%



N= 70

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	25	35.7%
	3	32	45.7%
	2	11	15.7%
	1	2	2.9%
	無回答	0	0.0%
合計		70	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ リーダーの考えにより大きく左右されるということを感じた。
- ・ 公園づくりから全体の街づくりの発想など再度 HP をみさせていただきます。
- ・ 都会での地域づくりの事がわかってよかったです。
- ・ 元企業人らしく、話がわかりやすい。
- ・ 公園経営＝地域おこしが当初ピンとこなかったが、多面的な経営設計が非常に役に立った。
- ・ 公園管理における経営（マーケティング）を活用した地域づくりについて参考となる事が多くあった。多様な方法で資金を確保することの重要性を感じたところである。
- ・ 過去の経験もいかされていて、“人生ムダなことはないんだな”と感じながら聞いていました。
- ・ 自然、里山など自分がテーマにしているものと共通しており大変勉強になりました。NPO に関してもタイムリーに考えていたところで助かりました。スライド資料がとてもみやすかったです！
- ・ 公園の指定管理から法人設立まで参考になる話が多かったです。
- ・ サクセスストーリーをつかっていく過程がすばらしい。
- ・ 多様なものをシンプルに！むずかしいと思いましたが、今必要だと感じました。
- ・ 協働の成功例として学ぶことが多かったです。
- ・ 任期退任後のビジネスモデル構築のために今日は富永さんのお話を聴きたくて参加しました。よかったです。
- ・ 「経営」の視点の大切さがよくわかった。その視点が無いと経済的にも活動を継続し成長し続

けることはできないと思った。

- ・ 行政とのつきあい方。
- ・ 新宮町でも公園の利用・活用について検討等しているので、参考になりました。

### ◎活用度 3

- ・ 町内にも自然公園のようなものがあり、人材育成のうえで参考にしたいと思いました。
- ・ 所有と経営の分離がおこっているということが、たしかに納得致しました。子供がすみやすいまちづくりをされているなどと思いました。
- ・ やりつづける根性えらい！！
- ・ 基本収入の主な部分が指定管理ということで少し残念だったが、現在起業し自ら稼いでいくという事でしたのですばらしい。話がわりと単調で少しねむかった。
- ・ 後継者育成されていたのが素晴らしかったです！
- ・ 公園を通じての活動や人材との出会いを大切にしたい。自分の地域でも導入したい内容が沢山ありました。
- ・ 地域人との関わりについて詳細を聞きたかった
- ・ 都市型コミュニティビジネスの優良事例として参考にすべき点が多いと感じた。
- ・ 多様な人々との協働はとてもいいことだと思いました。周りの人々と協力して、地域が幸せになるような取り組みをしたいです。
- ・ しくみ作りをする中で、沢山の人の話を聞き、どのようにすれば良いかと考える事を話せる人がいたら変わるだろうなどと思いました。
- ・ 後継にいさぎよく NPO 法人をゆずったことがすごい。地方だと老人がしがみついている。
- ・ 大変すばらしい事例だと思いました。失敗例などあれば教えて頂きたかったです。
- ・ 「設計図」を構築することの大切さ、「何となく」「何とかしないと」だけの考え方で実施しては続かないと認識した。
- ・ 地域の特性を活かし発展させる人材の必要性を感じた。人材の発見！！
- ・ みんなのいこいの場である公園を活用し、繋げる場にするという発想など、勉強になりました。
- ・ 1 つ 1 つ積みかさねて行く大切さを再確認しました。人の意識を変える事へ沢山のヒントをいただきました。

### ◎活用度 2

- ・ 公園が対象の事案はないと考える。
- ・ 公園の指定管理を受託され、本当に様々なことに取り組んでおられると思いました。経営という視点を忘れず、また地域づくりにも貢献されていることで、素晴らしいと思います。
- ・ きょうの学びをもつて帰ること
- ・ 困難事例などの話も（苦労話）聞きたかったです
- ・ 公園作りから人材作り、営利団体と NPO の役割、とても参考になりました。
- ・ 経営視点からの多角的な組み方を学びました。自己開示が大切なことを知りました。
- ・ とてもおもしろかったのですが、成功例すぎて実用の具体案が思いつかないです。

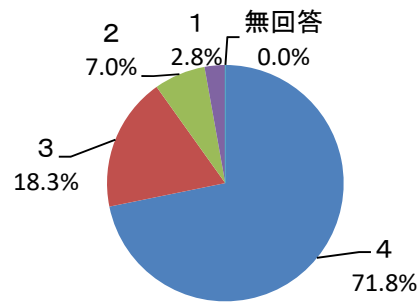
- ・ 脱線が多く頭に入りにくかった。

◎活用度 1

- ・ 都市部であり、公園管理と内容については取組むことが難しいところですが、人材育成、後任を育てることについて、参考になりました。
- ・ 公園活用の民委嘱として感じましたが、身近な問題としては。

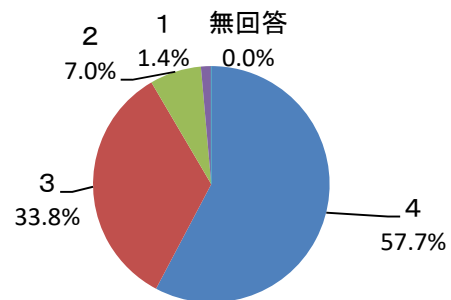
N = 71

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	51	71.8%
	3	13	18.3%
	2	5	7.0%
	1	2	2.8%
	無回答	0	0.0%
合計		71	100.0%



N = 71

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	41	57.7%
	3	24	33.8%
	2	5	7.0%
	1	1	1.4%
	無回答	0	0.0%
合計		71	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 地域づくりに取組むまでの視点が見えてきたように思う。
- ・ 先生の熱意に圧倒されました。お会い出来て良かったです。頑張らなくてはい思いました。
- ・ 地域づくりにレギュラーはいらない、全員参画でのぞむことを学んだ。
- ・ 同じくらいの覚悟をもって出来る人が居るのか気になりました。
- ・ 住民自治の基本をあらためて認識しました。
- ・ 格好いい人だ。私も将来豊重さんのようなリーダーになりたい！
- ・ 最初は大声出したり、ステージ踏みならして恐かったが、最後は一番心にひびいた。ヒントが多かった。
- ・ 「住民自治」「自主財源確保」「還元」という地域づくりの要素を自身の経験を交えながらお話されて、地域づくりにおけるリーダーの役割について考えるきっかけになった。
- ・ とても迫力がありました。
- ・ 非常に熱量のある、素晴らしいお話でした。自分の中へ落とし込みます。
- ・ 三股町から 1 時間位の所での話しだったので、すごくリアリティがありスッと頭に入ってきました。今度遊びに行きます！
- ・ 先生の熱量にびっくりした。補助金に頼らぬ地域おこしの話が感動しました。
- ・ 豊重先生の話を通じて住民の方にも聞いて戴きたいと感じました。
- ・ どこかの財源をひっぱり出すより自主財源を創り出すことで地域再生につながりを持つことを知り感動した。
- ・ 地域づくりするため自主財源を確保する方法がとても印象に残りました。

- ・ 人をひきつける話し方、内容でした。私が市民でも、何か行動しなくては！と忘れてしまいそうです。
- ・ 自主財源の確保はとても難しいなと思っていましたが、小さなことからコツコツすることが大事だと感じました。地域でも取り組んでいきたいです。
- ・ 開発ブランドを開発できるように、新たな気持ちで生活しようと思いました。
- ・ 感動しました。自分が住んでいる町にも、このような事に興味を持つ人が増えてほしいと思いました。
- ・ 地域が独自に取り組むことの重要さと難しさが学べました。
- ・ 地元農家の人の似顔絵と無人市よかったです。「財源の確保が最後の決め手」この言葉が心に響きました。イモ、イモ焼酎すばらしい。協力隊活動に役立つお話でした。
- ・ 故郷鹿児島の取り組みを初めて知りました。県民性（地元ならではの事情）もあるように思いますが子供の未来のために何をすべきかの重要性がしみました。
- ・ リーダー力のすごさ。
- ・ 自主参加の仕組みづくりが重要。
- ・ つながり、信頼を自ら築き、かつ開発までして、先の将来まで地域の方へ生業が出来るシステム作りはとても感動しました。
- ・ 地域の人々のモチベーション作りの参考にしたいと思います。

### ◎活用度 3

- ・ メディア等で以前より活躍されていることを知っていましたが、実際に話を聞き、そのバイタリティあふれるまちづくりに対するご自分の信念を貫いておられると思いました。参考とすべきことが多々ありました。
- ・ 情熱、マナビ、EDUCE。とてもヒントになりました！
- ・ ”やねだん”を盛り上げるために土着菌に目をつけたりなど、発想が豊かであり、大変参考にさせて頂きました。
- ・ レイクロックみたいな人？
- ・ 力強かった。
- ・ 子供のための地域づくりという視点が、私の思いと同じで共感しました。30年後、50年後を考えて活動したいです。
- ・ 地域づくりに振り返りが大事であること、取組を始めるにあたり、数字で説明すること、地域で稼ぐということ、また、地域に還元するということが、色々参考になりました。
- ・ 豊重氏の片腕に当たる
- ・ 中山間型コミュニティビジネスの優良事例として参考にすべき点が多いと感じた。
- ・ やはり、経営をされていたことがわかる経営者ならではの視点だった。
- ・ 数字で語り、相手に感動を与えること、活用していきたいと思います。
- ・ ほとんどの方がスライドと話しのみだった講演でしたが、先生は強調性のある話し方、行動をしていてとても聞きやすかったです。
- ・ 具体例はとても実用的でした。豊重先生のように腹がくくれるかどうかの問題ですがやり甲斐

あります。

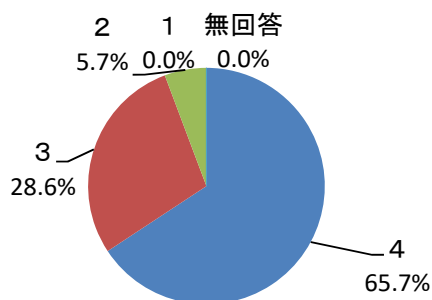
- ・ 「自主財源があれば自由な発想で自由に使える」。
- ・ ”リーダーとは”という事も考えさせられました。
- ・ 高校生（若者）から活動を始め、高齢者、親が参加し、地域全体の活動になったのはすごいと思う。やはり、子供がきっかけとなり活動を起こしていくのは重要。
- ・ 大先輩に貴重なお話を聴く機会に恵まれ、大変勉強になりました。

#### ◎活用度 2

- ・ 話慣れていて、知恵はどこから出ているのか興味あり。
- ・ 映像を使ったのはよかったが脱線が多く頭に入りにくかった。
- ・ 熱意とお話しは既読の本で充分でした。
- ・ 地域を良くするという強い熱意は感じたものの、要点がイマイチよく分らなかった。

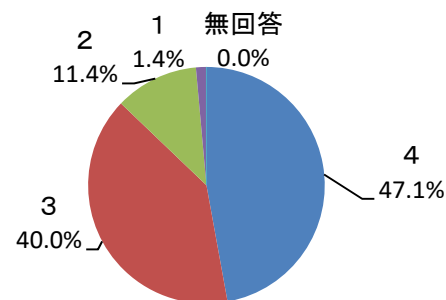
N= 70

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	46	65.7%
	3	20	28.6%
	2	4	5.7%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		70	100.0%



N= 70

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	33	47.1%
	3	28	40.0%
	2	8	11.4%
	1	1	1.4%
	無回答	0	0.0%
合計		70	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 民間会社での取組が、地域づくりに向けた多角的な視点が勉強になった。
- ・ 仕組みづくりがおもしろいと思いました。地域を一番に考えられているのだと感じ参考にいたします。
- ・ 「川と人との関係を取り戻す。」私の地域には、湖があるのですが同じく活用されておらず、住民との距離感があることに気づきました。湖と人との関係を、復活させられればと思いました。
- ・ コーディネーターとプロジェクト設計、勉強になりました。
- ・ 景観という目に見えるものをツールに地域づくりを可視化する取り組み、非常にわかりやすかったです。
- ・ 地域資源を再認識し、それを意味づけし、さらに戦略を策定し実行するプロセスの必要性を考えることになった。まちづくり会社について関心をもった。
- ・ 民間会社として、グループとして幅広い人を巻き込んでいって収益も出しているのがすごいなと思った。資料はあった方が良かったです。
- ・ 町づくりの素晴らしい仕組みに、とても勉強になりました。
- ・ 森山さんの前向きな感じが伝わりその方向からも勇気と元気をもらえてよかったです！！
- ・ 岐阜市の G-Net 話がつながったのが意外でした！
- ・ まちづくり型・ワークショップ型など自分自身に置き換える事、地域資源の再認識など自分の地域の再認識をしたいと思います。
- ・ 課題解決の手法や能登留学についてとても参考になりました。



- ・ 計画が素晴らしくても住民が参加しないと意味がないという言葉が心に残りました。
- ・ とても参考になった。見方を変えること、再認識しました。
- ・ マチ・ミセ・ヒト、みそぎ会社のスタイルを見本に小値賀スタイルを見つけたいです。
- ・ 同じ民間企業としての取り組みなのでとても参考になりました。
- ・ すべて続けたからやれたというところが自信になった。
- ・ 行政として実施するのは難しい部分もありましたが、活用できる手法がたくさん学べました。
- ・ 一度見学させていただきたいと思いました。
- ・ 様々な具体例をお伺いしました。人と”モノ”と地域の関係性を再確認し、やる気が再び出てきます。
- ・ 親の代からの志を継いでその土地に生まれ育った人が「学び」の場を創造されていることに感動します。
- ・ 株式会社での運営。
- ・ 分りやすく、これまでの流れやポイントを話をしていただけだったので、とても勉強になりました。

### ◎活用度 3

- ・ 他の町（例えば氷見市）に適応できるか。
- ・ 水路についての政策提案をする機会があったので、興味深く聴きました。
- ・ まちづくりの中心的存在となっておられるまちづくり会社の取組を知ることができ、わが町にもその必要性を強く感じました。
- ・ 人々が関わって自分達の地域課題を解決していきます。
- ・ 様々な事業を展開されていて参考になります。
- ・ パワフル。
- ・ 地域の人に自分の土地とのつながりを再認識してもらうことの大切さを学んだ
- ・ 後でもいいので紙資料ももらえると途中で撮影する人も少なく良かったと思う。
- ・ できあがっているものの再立ちはいへんだったでしょう。
- ・ 川と市民の関係をとり戻す、とても共感しました。
- ・ 御祓川大学、いいなーと思いました。大学生と連携し、大学生が主体となって取り組んでいることは、地域にとっても大学生にとっても幸せなことだと感じました。
- ・ 地域づくりが改めてすてきな事だなと思いました。仕事を通して地域づくりに関わる事があれば、関わりたいと思いました。
- ・ 「自治自体が目的」。
- ・ 素晴らしい事例紹介でした。起業時の本当の苦勞がみえてこないのが残念でしたが、内容はよかったです。
- ・ 川を中心にしたまちおこしに感心した。
- ・ 今回唯一の女性のお話で大変興味深く拝聴いたしました。
- ・ どんな素晴らしい計画も、地域住民の手が入らなければ幸福感は左右されない。との考え大変共感いたしました。
- ・ まちづくりの場は学生たちの学びの場になるという話に興味がありました。

## ◎活用度 2

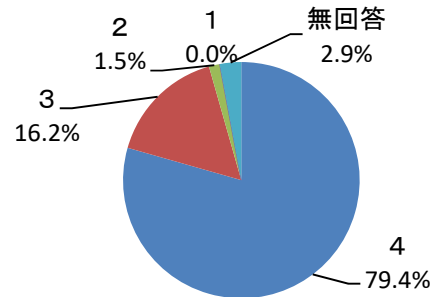
- ・ 川から始まった取組がここまで多面的事業になるのはすごい。しかし規模の大きな話で活用は難しい。
- ・ 事例が多く、頭の中で少し混乱してしまいました。ただ、先の 2 名の講師の方と共通している部分もあり、活動の参考にします。
- ・ 学生の企画を実現するということ、融資に尽力されたかと思います。「まちづくり」というものが学生の良い教材になるということが参考になりました。
- ・ パワポ中心の講義だったが、ふり返るためにも資料が欲しかったです。若者と地域が課題解決に挑戦している、特に若者の力を活用することを考えていきたい。

【講義】「人材×組織×マーケティングによる地域活性化戦略」

アイデアパートナーズ株式会社 代表取締役／特定非営利活動法人アイデア九州・アジア 理事長  
井手 修身 講師

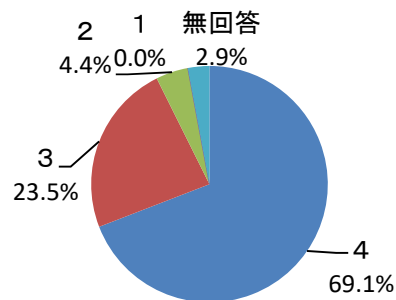
N= 68

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	54	79.4%
	3	11	16.2%
	2	1	1.5%
	1	0	0.0%
	無回答	2	2.9%
合計		68	100.0%



N= 68

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	47	69.1%
	3	16	23.5%
	2	3	4.4%
	1	0	0.0%
	無回答	2	2.9%
合計		68	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 各地の事例が参考になった。
- ・ 今、地域づくりとは関係のない部署ですが、そんな中でもできることはあるし、「第3の居場所」を大切にしたいと思いました。
- ・ 地域にお金をおとす仕組みなどヒントはたくさんありました。ありがとうございます。
- ・ 本質をまねる。
- ・ マーケティング、ターゲティング、やり続けること、PDCA。まちづくりは、長い目で見守る…まるで子の成長を見守る親のような目線が必要だと感じました。
- ・ マーケティングとは、ずっとやりつづけること、失敗してもやめずに、何度もくり返し行うこと。心にひびきました。つづけていくうちに、人や地域がよってくるのだなと思いました。
- ・ 3時間の消費できる空間を提供するという考え方、勉強になりました。
- ・ 循環サイクルをいかにデザインしていくか、実践的な話がきけて事業の参考になりました。
- ・ 様々な事例を分かり易く説明して頂きました。
- ・ 気づきが多く、参考になったので、帰ってから復習し活用したい。
- ・ 地域づくりにおいて、マーケティングの考えを導入することが必要であると認識することができた。「3時間の時間消費」の考えは参考になった。
- ・ 具体例をたくさん出してくれて、とても良かった。お金は大事。
- ・ 町づくりと収益、補助金に頼らない運営、もっと学ばせて頂きたいです。

- ・ 自分のやろうと思うこと、そしていろんなヒントを頂くことができました。いろいろ勉強させていただきました。
- ・ 以前、別の研修でも講演を聞きました。あれから半年が経ち、その時は自分の中で落ちてこなかったことが今はスッと入ってくるが多く2回目も大変参考になりました。
- ・ 3時間の時間の消費など今まで発想に無い考え方を学べました。マーケティング手法など自分の地域で実施したいと思います。
- ・ 本物を徹底的にまねるなど、地域がもうける仕組みがわかりやすかったです。
- ・ 民間活力の力強さを感じました。
- ・ とても参考になった。
- ・ 戦略、マーケティング、自分なりのやり方を考えてみようと思いました。
- ・ 近所なのでまたお話しきたいです。
- ・ 活動をして自分の地域にもとり入れたいと思った。
- ・ マーケティング手法の成功事例を多く学ぶことができ、今後の模倣を検討したいと感じました。
- ・ 事例を数個挙げての説明、非常に分かりやすかったです。
- ・ 共に活動する仲間に入れていただいているのでこれまでを振り返り改めて一貫した信条を理解する想いでした。
- ・ 実行力のすごさ。
- ・ 実践力はすばらしい！！
- ・ わかりやすく、テンポの良い講義で幅広い充実した内容でした。ありがとうございました。
- ・ 熱を持った人材育成と不燃型・消火型の方をもやす工夫をしたい、つくりたいと思いました。

### ◎活用度3

- ・ 完全パクリから独自展開へのキモ部分を見極められた。
- ・ NPO 法人等、まちづくりの核となる組織体制の整備からいろいろな事業を展開されているのを聞き、あらためて組織の大切さを痛感しました。
- ・ ターゲットを明確にしての滞在型観光について参考になりました。3時間滞在してもらえれば地域にお金が落ちるという話を聞き、今後の体験プログラム等に活かしたいと思います。
- ・ モノマネするなら3年後には消滅する。やるならあきらめず続けることが大事。
- ・ 行政にも参考となる点が多かったです。
- ・ 場づくり・人・情報・知恵が集まる拠点をつくりマーケティング・ターゲティングしようと思います。
- ・ 滞在型観光、地域に何があるかすぐに出てきませんでした。もっと地域の魅力を発信できるようになりたいです。
- ・ 地域おこし協力隊だけでなく行政の方も話しを聞くとまちづくりについて話しが出来るのではないかと思いました。
- ・ 体験プログラムに関するお話は（FUKUOKA 体験バスケット）参考になりました。
- ・ すばらしい講義でした。ただ、都会的手法ばかりなので今、自分の担当地域で応用できるかという点では大変むずかしいものがあります。この方の実績というより、事例紹介のスピーカーと

しては素晴らしいものがありました。

- ・ ターゲットをしっかり分析し企画、計画していくことが大切。「自分が〇〇したい」との1人称はとても重要だと思った。
- ・ 地域をブランディングする事で、地元へのUターンがある。生業だけでなく誇りを持てる地域おこしは本当に素敵だと思う。

◎活用度2

- ・ 5、いや3年後みてみたい。

◎活用度無回答

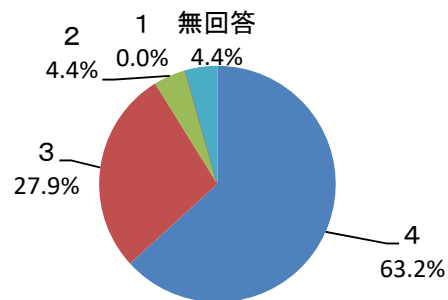
- ・ 波佐見の事例は興味深かったです。陶貨の話（戦時中の貨幣として日本で幻の通貨）を思い出しました。
- ・ 自燃型、可燃型、不可燃型という表現は、分り易く良かったです。

【講義】「地域づくりのマネジメント ―つながりをつくり創発を生む仕組みづくり―」

慶應義塾大学 SFC 研究所 所長／総合政策学部 教授 飯盛 義徳 講師

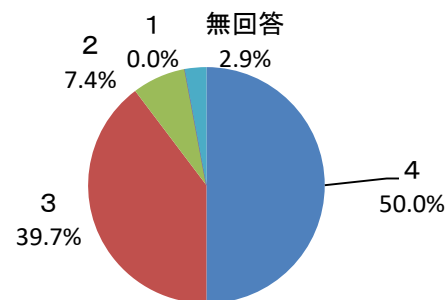
N= 68

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	43	63.2%
	3	19	27.9%
	2	3	4.4%
	1	0	0.0%
	無回答	3	4.4%
合計		68	100.0%



N= 68

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	34	50.0%
	3	27	39.7%
	2	5	7.4%
	1	0	0.0%
	無回答	2	2.9%
合計		68	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 多様な視点より考えられており、創発の考えも参考になった。
- ・ 大学生の関わり方や、「持ち寄り」による協力者の巻き込みが参考になりました。
- ・ 商店街の活性化など参考にさせていただきます。答えはないがとにかくやってみようと思います。
- ・ 続けていくことが大事であることを学んだ。
- ・ 場づくり、拠点づくり、そしてフォロワーの大切さがわかりました。
- ・ 地域づくりでは、効果的なプラットフォームを設計すること。コミュニケーションや交流など、つながりをもっていくのに必要であることがわかりました。
- ・ 境界という考え方はとても共感しました。
- ・ 正統な素晴らしいお話を伺えました
- ・ 地域づくりとは何かを定義することは結構難しいものであるか。「効果的なプラットフォームを設計」することだという考えは参考になった。
- ・ 地域の方々に主体性を持って動いて頂くヒントを多く学ばせて頂きました。
- ・ 今までのいろんな事例をきけて参考になりました。少しずつ、つまみ食いして、おもしろいことをやりたいです。
- ・ 資源の持ち寄りによる運営の話が印象的でした。
- ・ 企業経営がまちづくりに役立っている参考になった。
- ・ 小値賀を改めて見直してみようと思いました。

- ・ 学生さんの力を借り、地域と学生さん双方にプラスになる取組が参考になった。
- ・ すべてわかりやすく自分もやってみたいと思った。
- ・ 資源の再発見、プラットフォーム設計の手法について学び、今後活用できればと感じました。
- ・ 境界設定の話、目からウロコです。ブリコラージュできるような人材になりたいです。
- ・ プラットフォームの概念、ブリコラージュできる人の必要性、経営のマインドの学習・育成がとても興味をもてた。
- ・ 学からの切り口。
- ・ 前向きな行動！！スバラシー。勉強になりました。持ち寄りマネジメント。
- ・ 実践的な内容を具体的に説明していただき、勉強になりました。
- ・ みんなをとり込み、愛着のある地域づくりは大事にしたい事で、小さな事から出来そうで参考になりました。
- ・ 境界線。地域の中でどうするか考えさせられました。

### ◎活用度 3

- ・ 学問領域の話が聞けて、教授でない人との相違が良く分った。
- ・ 地域づくりには様々な要素があり、それらをうまく活用していかなければならないと思いました。
- ・ 理論的な組み立て、考え方が勉強になりました。
- ・ 民間とその経験を生かした研究、良かったです。
- ・ 大学生を中心とした活動の例はなかなか普段目にしなかったもので若い世代を通して勉強になりました。
- ・ 新しい取組を行う際に、協議を行う場合はどうしても内部での話になりがちなので、外部の方の意見、発想をどのように取り入れ、つながりを持つかということ、また、行政としての関わり方について考えないといけないと思いました。
- ・ 具体的な話を聞くことができ良かったです。
- ・ プラットフォーム設計についてとても分かりやすかったです。
- ・ 強い関係性と弱い関係性の共存、すごくよくわかりました。信頼関係は大事だけど、新しいもの・ことが生まれないんだなと思ったので、いろんな人々とつながりたいなと思いました。
- ・ 学校の講義の延長のようだった。
- ・ 自分のいる町でもこのような事に興味を持ってもらえたら変わるのではないかと思いました。
- ・ 理解力のある上司という感じで、授業受けたくくなりました。
- ・ 素晴らしい事例紹介でした。
- ・ 自分でやるんだ、始めるんだという事、成し遂げる為に続けるという事。
- ・ 地域の意見、想いを大切にし、自発的な活動をすることで、自分たちがしたことの達成感につながるの、そのような仕掛けが大切。

### ◎活用度 2

- ・ 事例が多い事は良かったが、学術的な言葉は入ってきにくい。

・ . . . .。

・ 地域資源を知ってもらうにはストーリーづけが大切だと学んだ。

◎活用度無回答

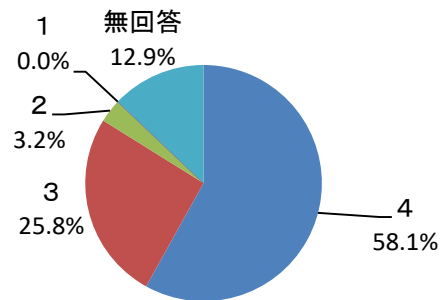
・ 資源持ち寄り、共有とブリコラージュ（寄せ集め）など町民が楽しめる場所や時間を作ってあげたいと思いました。



【講師との直接対話（コース①飯盛講師）】

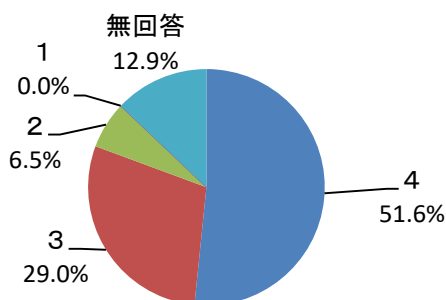
N= 31

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	18	58.1%
	3	8	25.8%
	2	1	3.2%
	1	0	0.0%
	無回答	4	12.9%
合計		31	100.0%



N= 31

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	16	51.6%
	3	9	29.0%
	2	2	6.5%
	1	0	0.0%
	無回答	4	12.9%
合計		31	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ まちおこしに向けて、一步踏み出すための手ごたえをもらった。
- ・ 講演では聞くことができなかった地域づくりのソフト面を中心に話されたこととてもありがたかったです。私もやめずに続けてコツコツやりたいです。
- ・ もう少し質疑応答ができると良かったです。
- ・ 学生さんの力を借り、地域と学生さん双方にプラスになる取組が参考になった。
- ・ かなり考えが染み込んできました。
- ・ 個別具体の事例について幅広い話を聞かせて頂き、大変勉強になりました。
- ・ 現実と向き合うまちおこしに具体的に取り組んでいるのに感心した。
- ・ 多角的に町づくりを行っていく事、さらに学ばせて下さい。
- ・ 大学と地域連携の話から、高校生と地域連携が今後の U ターンにつながると話が心に残りました。
- ・ 現場と理念が両方わかり参考になった。時間がもう少し欲しい。
- ・ 地域おこし協力隊の人が多く、皆さんの活動やその活動で悩まれていることが聞けたり、その件に対して的確なアドバイスも聞け、自分の地域に通ずるものが多く大変勉強になりました。私が悩んでいる内容も質問出来たので、頂戴したアドバイスを持ち帰り、地域で活かしたいと思います。
- ・ 勉強が足りないなあと自覚できました。
- ・ 未来に向けた取り組みや構想をお聴きできたので良かった。

### ◎活用度 3

- ・ どしどし本を書いてください。
- ・ 高校生までに地域のことについておくこと、地域の人とつながっておくこと、それによって戻ってきたときも、何か助けてくれることもある、ことがわかりました。
- ・ 地域づくり、まちづくりに明確な答えはないということを改めて認識しました。参考事例を参照し、実情に近いものを参考にさせていただきたいと思います。メール等でお問い合わせさせていただくことがあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 地元学の中で高校生が地域の人との関係を多く作る視点は改めて気付かされました。

### ◎活用度 2

- ・ 先生がどうこうでなく内容に関して、「直接対話」は事前に『希望講師と聞きたい内容』をヒアリングしてもらい、それを元にテーマを決めて頂いたもので、対話した方が各参加者も納得されたのではと思います。
- ・ 情報が多くて実戦的ではない。

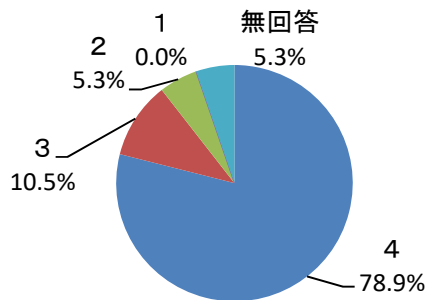
### ◎活用度無回答

- ・ 質問が思いつかず、できなかったのが残念です。
- ・ 学生との協力での成果や地域づくりプラットフォームや境界などの詳細の確認が出来ました。

【講師との直接対話（コース②富永講師）】

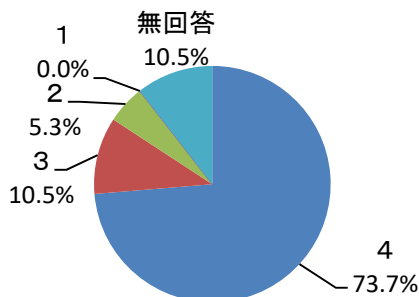
N= 19

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	15	78.9%
	3	2	10.5%
	2	1	5.3%
	1	0	0.0%
	無回答	1	5.3%
合計		19	100.0%



N= 19

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	14	73.7%
	3	2	10.5%
	2	1	5.3%
	1	0	0.0%
	無回答	2	10.5%
合計		19	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 講義の話が更に進化、ステップUP していておどろきました。本当にためになりました。ありがとうございました。
- ・ 力強いお言葉をいただき心強く感じました。ありがとうございました。
- ・ わかりやすく、やさしく強くご指導頂きありがとうございました。全体に時間がたりない。
- ・ 富永先生のお話をきくために今回は来ました。来てよかったです！
- ・ お話を聞くうちに自分の中でやりたい事が明確化されました。1人1人を大切にされる人間性を見習って行きたいです。
- ・ NPO としての取り組みや、リーダーのあり方について、勉強できた。
- ・ 再度納得。
- ・ 具体的な NPO 公園運営に関するお話が聞けて非常に参考になった。

◎活用度 3

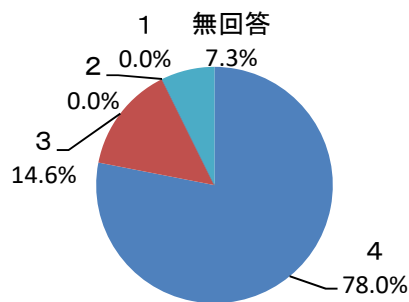
- ・ 濃い内容が聞く事が出来ました。

◎活用度無回答

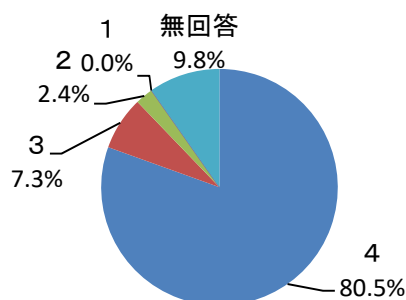
- ・ 活発な意見交換ができ、大変良い時間でした。

【講師との直接対話（コース③豊重講師）】

		N= 41	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	32	78.0%
	3	6	14.6%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	3	7.3%
合計		41	100.0%



		N= 41	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	33	80.5%
	3	3	7.3%
	2	1	2.4%
	1	0	0.0%
	無回答	4	9.8%
合計		41	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 講義では聞けなかったふみこんだ話を聞いてよかった。短い時間だったが地域で活動するときに活かして全員参加の地域づくりを目指したい。
- ・ 名前で覚えられていることにびっくりしました。見習いたいと思います。
- ・ 問答形式で、より具体的にポイントをついた講義で楽しかったです。
- ・ 地域づくりの基本は、まずは「名前で呼ぶこと」「名前を覚える」ことが必要であることを学んだ。
- ・ 詳しく聞いた。
- ・ 緊張感もあり、プレゼン力もあって適宜参加者に話をふって良かった。
- ・ 近々、お伺いさせていただきます。
- ・ まずは地域の方の顔と名前しっかり自分の中に入れていきたいと思いました。またお話しをさせて頂きたいです。
- ・ まず地域のことを考えられての行動の実践に本当に頭が下がります。ご自身のことよりも地域の将来のために行動をされており、お身体をご自愛下さいますよう切に願います。2日間でしたが、本当にありがとうございました。
- ・ 近くで熱い想いが聞け、自分達の地域でもまた新たなことに取り組まなければと思いました。
- ・ 講義でお話いただいた時には、「少し自分の地域の立場とは違うな」と思っていたのですが、いざ、先生のお話を聞くと、自分が根本的なものを見ていなかったことや、地域おこしに行く決めた時に大切にしていたはずの情熱を忘れかけていたことに気が付きました。
- ・ とても熱意が感じられた。地域と真剣に向き合っていきたいと思いました。

- ・ 本質、演出力、人に何かを伝えるというヒントをたくさん頂きました。
- ・ 町で抱える課題やそれに伴う解決手段をご教授頂きました
- ・ 先生のお話を聞いて、自分ができることを考えることができました。何をすべきか、何をしていたかなければならないのかを気づくことができました。
- ・ 企画は最後のフォローまで考える。
- ・ オーバーアクションも演出力だったことに気付く、考え方が180度変わった。
- ・ 分析力、企画力、財務力、人間力など大切なキーワードをたくさん頂きました。私も口紅をつけたくくなりました笑。
- ・ シンプルな事だと気付きました。
- ・ 心にはいってくるお話でした。やねだん、行ってみたくくなりました。ありがとうございました。
- ・ 具体的な話で分かりやすかったです。
- ・ 実践されている素晴らしい内容を直にお聞かせ頂いて、とても貴重なお時間でした。
- ・ 無関心の人をまき込んでいくには、ムードづくりが大切だと思った。

### ◎活用度3

- ・ 自分の考え方が小さい事で考えたりしてたけど、大きな目標を立てたいと思いました。
- ・ プレゼン力の参考になりました。
- ・ とても情熱のある話をきくことができました。ありがとうございます。対話の時間があると良かったです。

### ◎活用度2

- ・ 久々にカリスマを見ました。

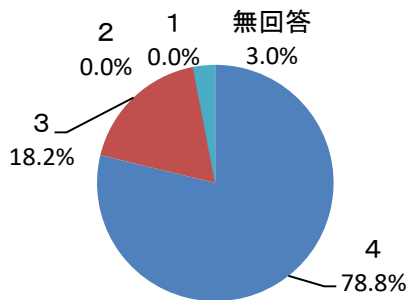
### ◎活用度無回答

- ・ 何かをする時に、一人よがりになって、人を巻き込むのが苦手ですが、急がずに周りとの関係づくりから見直していきたいです。
- ・ 成果を出し続けている戦略や体力にやる気などのモチベーションをマネしたいと感じました。
- ・ その地域に合った対応で接することが地域の中に入っていくには重要だということが勉強になりました。

【講師との直接対話（コース④森山講師）】

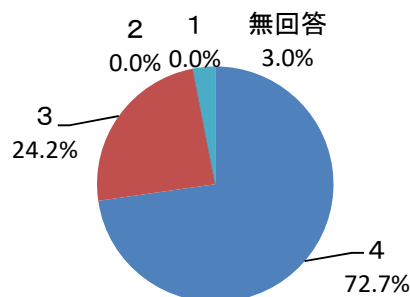
N= 33

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	26	78.8%
	3	6	18.2%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	1	3.0%
合計		33	100.0%



N= 33

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	24	72.7%
	3	8	24.2%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	1	3.0%
合計		33	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 地域おこし協力隊はプロジェクト設計をしてから募集。
- ・ 質問をたくさん聞いて頂いて勉強になった、起業したい。
- ・ かなり実現度が高いと思いました。分かりやすく聞けたと思います。
- ・ 地域おこし協力隊とのリンク話は非常に目から鱗でした！
- ・ 普段の自分に対して言われているかのように、ハッとさせられる言葉がいくつもありました。
- ・ 地域課題をしっかりとプロジェクトとして位置づけること、これが欠けていたので当市の地域づくりがうまくいってないと思った。
- ・ 細かな質問、答えづらい部分も教えていただきました。
- ・ とても楽しくてもっと話したかった。
- ・ 先生の進行方法が上手でした。
- ・ 若い人を引きつけるには、地域活力（プロジェクト）が魅力あるか否かによることがわかった。地域の課題が宝になる！それを活かせばもうけになる。
- ・ 参加者の意見にしんしに回答してくれて良かった。
- ・ 先生のリアルな声も聞くことができ、とっても良かったです。歌声も気になります♪
- ・ 具体的に話が聞け良かったですが、時間が足りないことが残念でした。
- ・ 能登留学の仕組み、等、知りたい事が聞けたのが良かった。
- ・ 全ての説明が分かりやすかった。
- ・ まちづくり会社の運営の仕方が勉強になった。

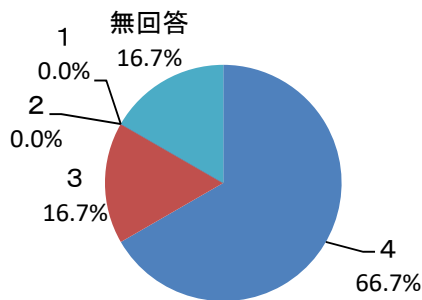
◎活用度 3

- ・ 参加者のみなさんの、各とりくみに対する悩みが、とても参考になりました。
- ・ 広域コーディネータの考え方は good である。
- ・ コーディネーターのビジネスモデル。すでに活動として行っていることで、退任後のビジネスにしたいことだったので共感できました。
- ・ 内容うんぬんというより、想いのある人柄に心動かされる思いです。具体的なお話が聞けとてもありがたかったです。

【講師との直接対話（コース⑤飛田講師）】

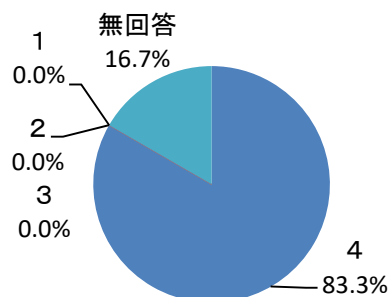
N= 6

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	4	66.7%
	3	1	16.7%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	1	16.7%
合計		6	100.0%



N= 6

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	5	83.3%
	3	0	0.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	1	16.7%
合計		6	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 地域おこし協力隊受入れの際の行政としての心構えをお聞きすることができました。アドバイスをもとに、受入へ向けて取り組んでいきたいと思います。
- ・ 少人数で地域課題について親身に答えてくださり、濃い時間を過ごせました。
- ・ 少人数でしたので、一人一人の発言をもっと引き出して頂けるとよかった。
- ・ 率直にお話を聞くことができ嬉しく思います。ありがとうございました。
- ・ 域学連携から域高（校）へ。

◎活用度無回答

- ・ 直ぐにリーダーをつくるのは難しく、継続する中で地域の人のネットワークを大切にしていきたいです。国の方と話す機会はほぼ初めてで、国と自治体の立場を考えながら働きたいと思いました。

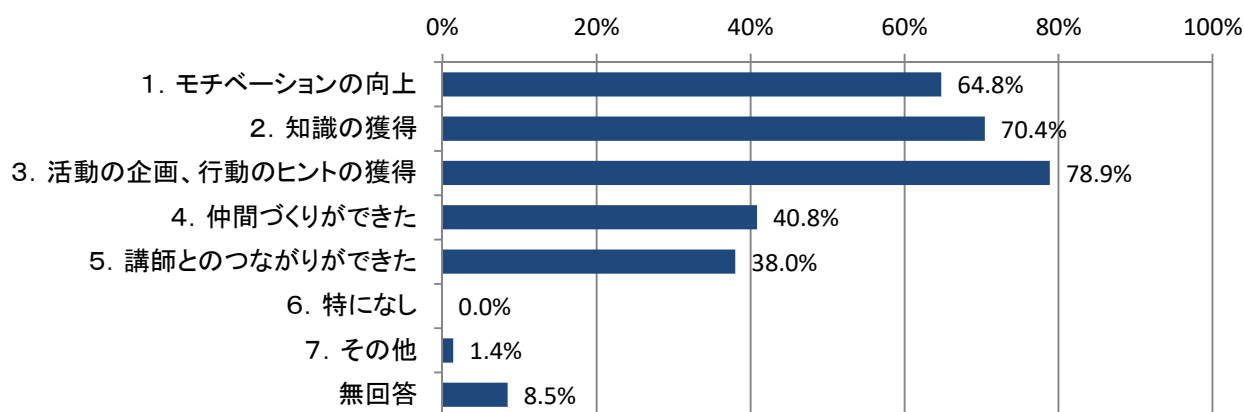


(2) 研修全体について

①人財塾の良かった点についてお伺いします。下記の選択肢から該当するもの全てに○をつけてください (○はいくつでも)

N= 71

	回答数	%
1. モチベーションの向上	46	64.8%
2. 知識の獲得	50	70.4%
3. 活動の企画、行動のヒントの獲得	56	78.9%
4. 仲間づくりができた	29	40.8%
5. 講師とのつながりができた	27	38.0%
6. 特になし	0	0.0%
7. その他	1	1.4%
無回答	6	8.5%



<感想>

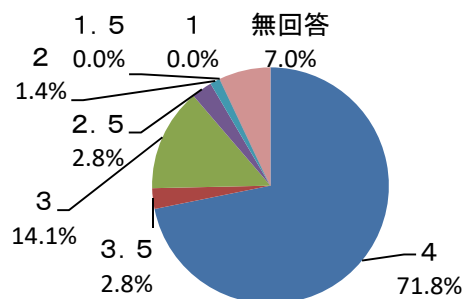
- ・ 協力隊ネットワークを広げたい。
- ・ 他の協力隊からの地域協力活動に関する情報収集、交流ができた。
- ・ 直接対話はよかった。
- ・ 交流できる場があって良かったです。直接対話でじっくり話を聞いたのも良かったです。
- ・ 井手さんの話はタメになった創発のアイデアがわいてきた。
- ・ とても有意義な2日間でした！
- ・ 全体を通してマーケティングの方法や考えを学習することが多く、行政職員にとっては新たな知識を得ることとなり、今回参加してよかった。
- ・ 新しいものを得る、という点もそうですが、普段自信のない部分、確信が持てない部分がハッキリと固まったものになった研修内容でした。風土記、伝えられるように地域へ戻ります。
- ・ 他の協力隊との連携が深めた事。情報収集が多く出来ました。情報共有が出来た。時間は掛かるかも知れないが自信を持てる気がしました。
- ・ 地域でのあり方を根本的に変えて行くべきであると思えた。取り組んだ物事には継続が肝であることを学んだ。コミュニケーションに必要なものに視覚的な壁をとっばらうことも大事。

- ・ 取り組み中の問題への解決の糸口になるヒントになりました。
- ・ 先進地の取組や地域づくりしていく上での重要なポイントがわかりやすかったです。
- ・ 今後、全国に事業を広げていきたいと思っているので各地に仲間ができて心強いです。
- ・ いろいろな方が受講され、実践的であったのでわかりやすく、大変参考になった。今後この講座を生かしていきたい。みなさん、ロマンとビジョンがはっきりしていた。
- ・ 共通して、経営的な視点、リーダー、フォロワー、コーディネーター様々な分野の人とのつながりを「組み立てる」、プラットフォームについて知識と行動の仕方を学ぶことができ、この2日間充実した時間でした。
- ・ 仲間づくり、できました。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ 実際の活動を聞いて、自分の活動での工夫すべき点やこれからどうするか、気づけるきっかけになった。マネジメントに対して知識が少なくどのような行動をすべきか悩んでいましたが、「まずはやってみる。」「1人ではなくみんなで」することの重要性、経験者の人と話をする、聞くことの重要性について気づくことができました。
- ・ 自分が地域のために何ができるか整理することができた。
- ・ 協力隊は様々な活動項目があると思いますが、色々な事を話が出来て良かったです。
- ・ 移住の話になりますが、都会から見れば一括りで「田舎」と見られる我々の街ですが、横のつながりを持つことで、少ないパイの奪い合いではなく、まずはマーケットの拡大を目指せそうで良かったです。
- ・ 地域おこし協力隊が地域活性化に具体的に関わっている事例をいくつか講義で聞くことができ、よかった。自分の自治体が全く地域づくりどころか、地域の中にすら入っていない環境に協力隊が置かれていると感じた。直接対話により、いろいろアイデアが浮かんで、良かったです。
- ・ 富永さんのグループディスカッションは最高でした。豊重さんとグループディスカッションしたかったです。
- ・ いろいろなケースを知る事ができ、今後やってみたい活動を見つける事ができました。
- ・ 実際に行動おこして成功されている人達の話で説得力ありました。

②人財塾を受講したことにより、今後、業務又は業務外で地域づくりに関する活動を新たに又は、継続して行っていきたいと思うようになりましたか？

N= 71

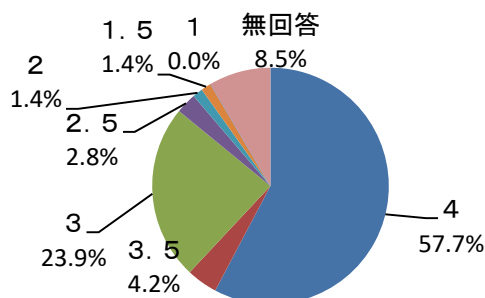
		回答数	%
↑ 思った	4	51	71.8%
	3.5	2	2.8%
	3	10	14.1%
	2.5	2	2.8%
思わない ↓	2	1	1.4%
	1.5	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	5	7.0%
合計		71	100.0%



③研修全体の進め方・運営についてどのようにお感じになりましたか？

N= 71

		回答数	%
↑ 思った	4	41	57.7%
	3.5	3	4.2%
	3	17	23.9%
	2.5	2	2.8%
思わない ↓	2	1	1.4%
	1.5	1	1.4%
	1	0	0.0%
	無回答	6	8.5%
合計		71	100.0%



④その他研修に関して改善点・お気づきの点をお聞かせください。

[申込]

- ・ 手上げによる申込み順で研修生が決められる方式であり、日時決定から受付開始までの期間が長い割には、応募様式の配布から受付開始までの期間が短く、応募用紙への必要事項等の記入が、思いつくままの記入しかできなく、講師への質問が要領を得ないものになってしまい申し訳なく思っている。余裕を持った対応をお願いしたい。
- ・ 研修の申し込みの案内が遅かったので行政への連絡を早めをお願いしたいと思いました。
- ・ 研修内容については特にありませんが、申込み受付が少し遅くなっていたので、早めに受付をして頂ければよかったですと思います。
- ・ 受講者の中には途中集中力がきれてあからさまに携帯をされる人がおり、見ていて残念でした。募集の段階でレポート提出などされてはいかががでしょうか。見られる方々は大変だと思いますが…。

・ **【プログラム、講義形式】**

- ・ 1泊2日という期間が最適。それ以上長いと集中力が切れます。
- ・ 2コース講師と直接対話出来る進め方は大変良かったと思います。
- ・ 森山講師の資料もぜひ欲しかった。組織を代表して参加させてもらったからには、組織に還元する必要あり。と、この人財塾を通して学んだこと。貴重な経験となりました。ありがとうございました。
- ・ 「直接対話」は事前に『希望講師と聞きたい内容』をヒアリングしてもらい、それを元にテーマを決めて頂いたもので、対話した方が各参加者も納得されたのではと思います。
- ・ 講義の後に直接対話の講師を選択できればもっと良かった。
- ・ 人数の振分け上、仕方のないことだと思いますが、申込の時点で直接対話を希望する講師の方を選ぶのは難しかったです。講座を聞いた後に選べると大変ありがたかったです（もちろんそれでも十分な対話となりました）。
- ・ すばらしい講話の連続で非常にいい経験をさせていただきました。可能であれば、全講師との直接対話ができればと思いました。ありがとうございました。
- ・ 交流会がもう少し長ければと思いました。
- ・ 各講義の後の振り返りに当てる時間がもう五分欲しい。
- ・ 直接対話の時間をもう少し頂きたかったです。
- ・ 対話授業の当日選択変更ができるとうれしいです。
- ・ 講師についての知識が不足している中、事前に講師を選択するのは難しいのでは？
- ・ 直接対話のあと休けいは20分くらい必要。
- ・ 直接対話の講師の変更ができるようにしていただきたかったです。
- ・ 説明画面とレジメが同じだと、話に集中して聞けるのでできれば今度。

**【講義内容】**

- ・ 行政職員に特化した人材塾を是非お願いします。行政職員が変わればもっと良くなると思います。
- ・ 意見交換をしたりグループワークをする時間もほしかったです。
- ・ 改善点—グループディスカッションの時間が欲しい。 “気づき—直接対話” とあるが時間的な問題もありますが、自分の地域の現状の不安などの質問などの時間が無い。
- ・ 研修生の地域での現状や課題をもっと聞きたかったと思いました。自分の地域で起こる可能性も有、いろいろな意見も聞いてみたかったです。
- ・ 失敗例をあげてみるのもいいのではないかと。失敗の中から成功の道がみえてくると思う。全体にすばらしい講座でした。講師の先生方ありがとうございました。
- ・ 大変勉強になりました。この地域に協力隊が入ったと事例の話はいくつかありましたが、その協力隊が活動の中でやって来た事、自治体・受入れ団体との関わり方で3年間任期をやりとげる事が出来たかという1~3年間の課程などがより詳しくあると嬉しいなと感じました。
- ・ 起業家として講義なさっているのに、話の内容が事例紹介であったり（素晴らしい事例紹介であったり）すると、がっかりします。知識の受け売りの講師の話は、私ら現場をやっている人間

が聴けばわかってしまいます。現場をやってない知識だけの方のお話は不要です。富永さん、豊重さんのお話は心に響きますが、ただの事例紹介だけなら不要です。起業家を名乗り起業家として講師になる方のお話ならば、当然事業の中身、数字、PER、PBR、ROI、ROA など実績を明らかにしないようなお話は申し訳ないですが、聴く価値がないと思います。起業家として講義される方は、ご自分の実績を明らかにし、本物にご講義いただきたいと思います。

- ・ 参加者も現場の経験があり、まっただ中にいますから語り合うワークショップ（グループワークなど）形式やアクティブ脳になるようなワークがあるとよかったです（対話コーナーでは不足もあったかと思いますが）
- ・ 講師が多すぎて、各講義が70分ずつとかだと、事例が多すぎて情報過多。各講師、実績を話したいのは分かるが、1事例などにしぼって話をしてほしい。そういう意味では、富永氏、豊重氏の話は、1つのプラットフォームにおける様々な実践について話が聞けたので分かりやすい。

#### [受付]

- ・ 私が理解力がなかったからかもしれませんが、名札を回収するシステムが少し伝わりづらかったかなと思いました。
- ・ 名簿が見つらなかった。
- ・ 分科会場の場所が判りにくかった。案内板が欲しい
- ・ 2日目の講義の場所がわかりづらかったので（電子掲示板のみのため）昼食休憩の前に口頭案内だけでも教室番号を教えていただけるとありがたいなと思いました。
- ・ 名簿・席順が見つらい！フリガナが間違っていて名前を見付けられなかった。

#### [会場]

- ・ 席について、地域の近い方と固めてもらえたらと思いました。
- ・ 会場少しさむかった。

#### [その他]

- ・ 様々な立場の方が参加されていたので情報交換など有意義な時間が持ててよかったです。
- ・ 出席者には、会議の様子を動画で公開してもらえると、研修により専念できて良いと思う。
- ・ とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 講師の皆さまのお話がとても聴きやすくて良かったと思います。
- ・ 先生に興味をもって話を聞きに行ったのに、最初から否定から入られたのがとても残念だった。自分自身が好きでしていることに対して「それが好きだからではだめだよ」と言われとても腹が立った。人の活動を否定しないでほしい。アドバイスにもならない。
- ・ 直接対話は事前に決めるではなく話を聞いた後で決めるほうがよかった。
- ・ とても貴重なお話ばかりで大変勉強になりました。学んだことを自分の地域に活かしたいと強く感じる内容でした。
- ・ 特にありません。いい研修でした。
- ・ 幅広い分野でのそれぞれの成功体験を知ることができてよかった。

(3) 今回の研修受講生を対象としたステップアップ研修を行う場合、どのような内容を望みますか？

**[受講者の個別の課題をテーマとした研修]**

- ・ 自分の地域の課題を持ち寄り、解決に向けたヒントを受講生や講師の方と学び合えるような研修があればと思います。
- ・ テーマに沿ったワークショップ。ワーキンググループ。グループ討議。テーマは、本当に現地で困っていること。現地住民の参加のもとでもよいと思う。よそもの意見もあり。WinWinにならないだろうか。
- ・ 受講生の活動について講師がアドバイスをを行う形。受講生のプランも講師のアドバイスも共有したい。
- ・ 具体的アイデアのブラッシュアップ的ワークショップ。具体的な地域づくり活動におけるアドバイスなど。
- ・ 受講生が実際行っている活動を報告し合い、情報共有化することにより類似した共通項目があると思うので、グループ毎に分けて討議し、解決したり、更に問題点が出てくると又討議する場を作る。

**[ビジネスをテーマとした研修]**

- ・ ビジネスプラン作成に向けた演習や、基礎講座を中心に研修を組んでもらいたい。
- ・ グループワーク的なことを望みます。起業までの細かな道のり等の研修があればいいと思います。
- ・ 講師をメンターにした簡易 MBA 課題解決。
- ・ 事業の企画、実践をしていきたい。
- ・ 地域マーケティング研修。

**[地域おこし協力隊をテーマとした研修]**

- ・ 地域おこし協力隊員の成功例、現在活動して成功されていることなども伺いたいと思いました（協力隊員として）。
- ・ 人財塾という事で地域おこし協力隊も半分位参加されてたと思うのですがまちづくりをする中の基本である、自治体・受入団体・町へのとけ込み方など上手くいっている自治体もあるかと思いますが、上手くいく為の課程など聞けたらなと思いました。ありがとうございました。
- ・ 地域おこし協力隊について。
- ・ 地域おこし協力隊が成功している所等から、先輩隊員に来てもらいアドバイスをもらう等。大変良い機会でした。ありがとうございました。

**[その他内容に関する事柄]**

- ・ 個人的にはもう少し事例を基にした話を聞ければと思っております。
- ・ 人間関係学と心理学。また、今後高齢化社会になるので、その対策等
- ・ 知識だけのトンチンカンなこと話してる講師のお話はやめていただき、現場のたたきあげの方、今日ならば、富永さん、豊重さんのような方々だけのお話に特化したプログラムにしていた

ければ受講する側も得ることが大きいと思います。実戦に特化した内容を望みます。起業家向けのお話ならば、最低でも、経常利益など PER、PBR、ROI、ROA 数字の中身まで明らかにできるレベルの経営者を講師にさせていただきたいです。事例紹介程度の話は聴きあきました。会社設立程度なら誰でもつくれますし例えば飲食事業なら FL50 を何年維持できてるか？など、具体的な実績が明らかにできてない人のお話は信用できません。

#### [グループワークの形式]

- ・ 参加者の交流もかなりできていたので（特に協力隊）グループ討議などできるとおもしろいかもかもしれません。
- ・ グループワークを多くとり入れるなど、実際に考える時間も（手を動かす？）あればもっとよいのではないかと思います。
- ・ 講義を受けた後にグループディスカッション（約 30 分前後）があれば、情報共有が出来る事や他協力隊などの意見が聞ける事により、自分自身いろいろと気づきが発生すると思います。座学と対話の時間などバランスの取れたステップアップ研修を望みます。
- ・ 実際の地域の問題点を挙げ参加者でアイデアを出し合い一つ持ち帰り実際に実行し、反省・方向性の修正まで行う WS の開催。
- ・ 同上（課題解決ワークなど）。（集計者註：参加者も現場の経験があり、まっただ中にいますから語り合うワークショップ（グループワークなど）形式やアクティブ脳になるようなワークがあるとよかったですのではと思います。（対話コーナーでは不足もあったかと思います）

#### [フィールドワークの形式]

- ・ 実地調査や政策提言などを行う研修。
- ・ 講師の人の元への優先的な研修、視察等ができる特典みたいなものがあればうれしい。実際に誰かの地域へ数日間行って研修をするような内容だと面白いと思います（少人数）。
- ・ やねだん研修。
- ・ 実地体験 地域の人に会う。
- ・ フィールドワークの入ったプログラムがあるといいなと思いました。
- ・ 実さいの成こう例である場所でのワークショップ。
- ・ 自治体や地域規模、地域環境が同じ対象者のみの研修（人口規模など） 講師の方の活動されている現場に行き、再度研修させて戴ければと思いました。
- ・ 実践の場、フィールドワークを中心に行っていただきたい。
- ・ 現場見学して身を通して勉強出来る研修。
- ・ 各講師の地元で、地域の人も交えて話ができればいい。
- ・ 実地研修を行う。

#### [その他形式に関する事柄]

- ・ 参加者についても、発表する機会があると同じステージの方々の話もきけるので刺激になるかと思いました。

#### [フォローアップ]

- ・ 今回の経験がその後どう生かされたかの事例発表会を開催する。
- ・ 今回の講師の言っていたことがどうなるのか数年後の答えあわせをしてほしい。

#### [交流]

- ・ 県ごとの定期的な交流会。
- ・ 自然あふれる九州の研修施設で、合宿形式の「交流」を軸にしたセミナーの開催。
- ・ 受講生同士の交流を深めるイベントや、意見交換がしたい。

#### [その他]

- ・ 上記④（集計者註：受講者に対する事前聴取に基づく、「直接対話」の内容決め）が難しいようであれば、「直接対話」は設けず、講義のみで良いかと思えます。
- ・ 職場内での情報共有。
- ・ 引き続き、多角的、多様な視点の講習・研修会を望みます。福岡まで来て良かったです。充実した実りある研修とする為、引き続き、頑張ります。有難うございました。
- ・ 豊重先生のお話にもありましたが、名前を覚えやすいシステム。例えば対話授業の時、空白の座席表などがあると、名前とメモを書けて便利だと思います。
- ・ 特にない。
- ・ 今回のような実践的内容の講演は、すばらしい。今後もしっかり続けてもらいたい。



# 全国地域づくり人財塾

IN 福岡

## 主催：総務省

地域の活性化に向け、地域独自の価値や魅力を高める創造的な人材が、行ってみたい、住んでみたいと思うような地域づくりが求められています。

そうした地域づくり活動を自らの手で企画し実践する「地域づくり人」を育成するため、「全国地域づくり人財塾」を、福岡県福岡市において開催します。

### 開催日

平成29年 9月 21日 (木) ・ 22日 (金)

※お泊りの場所は各自でご用意ください。

### 開催概要

9/21(木)	13:00～17:30	： 講義
	18:00～19:30	： 講師との交流会
9/22(金)	9:00～11:35	： 講義
	12:30～15:45	： 講師との直接対話(分科会形式)

### 対象

- 地域づくりに関心のある行政職員・地域づくり団体・NPO関係者の方
- 原則、全課目を受講いただける方

### 定員

120名 ( 受付は先着順。定員になり次第、締切となります。 )

### 受講料

無料 ( 1日目の交流会費は別途必要です。 ) ※駐車場は有料。混合う場合があります。  
 ( 2日目の昼食は各自でご用意ください。 ) ※レストランも混み合う場合があります。

### 会場

福岡国際会議場 5F  
 (福岡県福岡市博多区石城町 2 - 1)



### 【受講生の声】 ～平成28年度 地方開催in仙台 アンケートより～

- 講師の先生方の熱意ある御講演を受けて、自分もまだ頑張れるとモチベーションが上がりました。
- 自分自身の活動を多角的な視点から確認したかったので、類似事例や全く興味なかった事例の中に、共通のソリューションやヒントを得ることができました。
- 地域づくりをする上で求められているスキルや姿勢が、見えたように思います。

【主催】 総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室  
 担当：三宅地域支援専門官、高浦事務官 Tel.03-5253-5394

### お問い合わせ先

→ お申し込みは、こちら。

(株)価値総合研究所 全国地域づくり人財塾係 担当：木村、日高、目黒  
 E-mail : zinai@vmi.co.jp Tel : 03-5205-7901 Fax : 03-5205-7922  
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティグランキューブ 15階

## プログラム詳細

### ■9月21日(木)

※1日目の昼食は済ませて、ご参加ください

12:00-12:45 受付  
12:45-13:00 開講・オリエンテーション

#### 13:00-13:30 【導入講義】

『人材力の活性化について』

講師：総務省人材力活性化・連携交流室室長 飛田 章

#### 13:40-14:40 【講義】

『“地域人財が育つ”地域資源融合型公園経営』

NPO法人NPOフュージョン長池会長 富永 一夫 氏

#### 14:55-16:05 【講義】

『地域再生～行政に頼らない地域づくり～』

柳谷自治公民館館長 豊重 哲郎 氏

#### 16:20-17:30 【講義】

『民間まちづくり会社の挑戦～御祓川がつなぐマチ・ミセ・ヒト～』

株式会社御祓川代表取締役 森山 奈美 氏

18:00-19:30 【交流会】 福岡国際会議場内  
参加者間の交流を深める懇親会を開催します（会費制 ¥3,500円）

### ■9月22日(金)

※2日目の昼食は各自でご用意ください  
※施設のレストランは混雑する場合があります  
※施設内に売店、コンビニエンスストアはありません

#### 9:00-10:10 【講義】

『人材×組織×マーケティングによる地域活性化戦略』

アイデアパートナーズ株式会社代表取締役／NPO法人アイデア九州・アジア理事長 井手 修身 氏

#### 10:25-11:35 【講義】

『地域づくりのマネジメントーつながりをつくり創発を生む仕組みづくりー』

慶應義塾大学SFC研究所所長／総合政策学部教授 飯盛 義徳 氏

#### 11:35-12:30 【昼食・休憩】

12:30-14:00 【直接対話Ⅰ】 ※講師が参加者からの質問に答えるゼミ形式の時間です。  
※5名の講師(コース)から2名(コース)を受講できます。

14:15-15:45 【直接対話Ⅱ】 ①：飯盛講師 ②：富永講師 ③：豊重講師  
④：森山講師 ⑤：飛田講師

※希望する講師(コース)を申込時に選択してください。

#### 16:00-16:30 【振り返り・閉講】

16:40-17:30 【課外活動】 ※任意参加

## 講師紹介（講義順）

※H28年8月1日現在の役職

### ■特定非営利活動法人NPOフュージョン長池会長 富永 一夫 氏



東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンが、47歳で会社を辞めて、暮らしを支援するNPO法人を設立。住宅管理支援事業、高度情報化支援事業等々の事業を行い、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組む。後継者育成にも専心し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。2017年8月にはeラーニング教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。“都市郊外”の新興住宅地で、既存住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた経験をもとに、地域活動の要諦を講義いただきます。

### ■柳谷自治公民館館長 豊重 哲郎 氏



柳谷（やねだん）は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀賞受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館長の経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。

### ■株式会社御祓川（みそぎがわ）代表取締役 森山 奈美氏



都市計画コンサルタントとして各種地域計画に携わる傍ら、故郷七尾の民間まちづくり会社（株）御祓川の設立に携わり、1999年より同社チーフマネージャーを兼務。2007年より現職。川を中心としたまちづくりに取り組み、日本水大賞国土交通大臣賞や経済産業省「ソーシャルビジネス55選」等を受賞。また「能登留学」で地域課題に挑戦する若者を能登に誘致するなど、様々な主体が関わるまちづくりのつなぎ役として、能登の元気を発信し「小さな世界都市・七尾」の実現を目指して日々挑戦中。その経験から、地域づくりの要諦を講義いただきます。

### ■アイデアパートナーズ株式会社代表取締役／NPO法人アイデア九州・アジア理事長 井手 修身氏



㈱リクルートを経て、2006年観光・集客事業のバリューアップを行うアイデアパートナーズ㈱を設立。2010年にはNPO法人アイデア九州・アジアを設立し、九州を中心に地域の再生と活性化のプロデュースを多数手がける。福岡の街を飲み食べ歩きするイベント「バルウォーク福岡」を開催し全国一の規模に育てる。また日本版DMOの組織づくりの第一人者として、佐賀県有田町の有田まちづくり公社など九州各地のDMO構築の支援に携わる。その経験をもとに、「人材×組織×マーケティングによる地域活性化戦略」について講義いただきます。

### ■慶應義塾大学SFC研究所所長／総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏



地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的な方策を探求されています。その御経験から、先進事例の成功要因に基づき、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から講義いただきます。

### ■総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室室長 飛田 章

1995年4月運輸省（現国土交通省）入省。石川県企画振興部次長、国土交通省総合政策局政策課企画専門官、日本貨物鉄道株式会社総合企画本部経営企画部グループリーダー、国土交通省自動車局安全政策課安全監理室長、東北運輸局観光部長を経て、2017年7月より現職。

## 全国地域づくり人財塾 in 福岡 受講申込書

下記の申込書にご記入の上 E-mail : [zinjai@vmi.co.jp](mailto:zinjai@vmi.co.jp) までお送りください。  
 価値総合研究所ホームページからのお申し込みはこちらから  
<https://www.vmi.co.jp/jpn/consulting/seminar/2017/h29infukuoka.html>

受講申込書 (申込期限 : 平成29年9月20日 (水) 12:00まで)

お名前 (ふりがな)					
E-mail					
電話番号					
ご所属	(所属・団体名)				
	(部署・役職名)				
交流会	参 加 ・ 不 参 加				
講師との 直接対話	第1希望	第2希望	第3希望	第4希望	第5希望
	コース①: 飯盛講師 コース②: 富永講師 コース③: 豊重講師 コース④: 森山講師 コース⑤: 飛田講師				

※上記欄に御希望のコースを第5希望まで記入してください。  
 ※会場の都合により第2希望以降になる場合もあります。  
 ※受講コースは、当日発表いたします。

事前記入欄 (できるだけ簡潔に、箇条書きでご記入ください)

人財塾受講の動機についてご記入ください。また、この研修で学びたいことをご記入ください。(100字以内)	
選択講義で講師に聞きたいこと (それぞれ30文字以内)	
第1希望	
第2希望	
第3希望	
第4希望	
第5希望	

#### 4. 市町村職員中央研修所（JAMP）編

[平成 29 年 10 月 25 日～27 日]

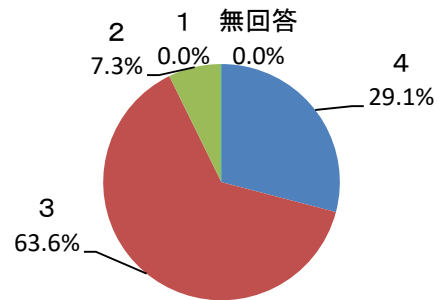
(1) 各プログラムに対する評価

【講義 1：導入】「地域力の創造と人材力の活性化について」

総務省 地域力創造審議官 池田 憲治 講師

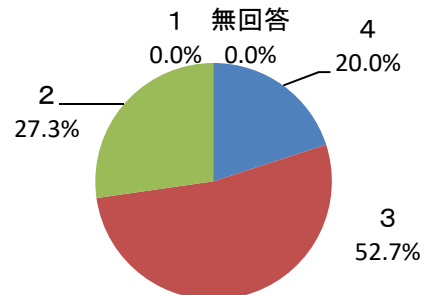
N= 55

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	16	29.1%
	3	35	63.6%
	2	4	7.3%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



N= 55

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	11	20.0%
	3	29	52.7%
	2	15	27.3%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



#### <感想>

##### ◎活用度 4

- ・ 施策の目的、ねらいをわかりやすく講義いただいた。当市においても、できることがまだまだあると思い知らされた。
- ・ 総務省の施策における様々な事例を分かりやすく解説していただき大変参考になりました。いただいたレジュメも、今後資料として活用させていただきます。
- ・ 総務省の事業や様々な支援メニューを知ることが出来、勉強になった。
- ・ 移住計画として、都市部から地方へ人の流れをつくる。お金を地域でまわす、など国の方針、施策が聞けて良かった。マイナンバーカードの活用についても参考になった。
- ・ 地域づくりの制度等が様々なことがわかり、ぜひ活用してみたいと思った。
- ・ 国の動向がよくわかりました。
- ・ 知らない制度もあったので今後活用できるよう検討したい。
- ・ 地域再生のための総務省の取り組みが分かり、非常に参考になった。しかし、地域の実情はそれぞれちがうため、もう少し使い勝手の良い、柔軟な、補助金メニューが必要であると感じた。
- ・ 国の制度設計が再認識できました。人口減少など国全体のみではなく地方ではすでに問題となっている事に対してやるべきことのヒントをいただきました。

- ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略や地域力創造グループの施策は、日本が直面している現状等を把握し数値化したうえで定められていることがよく分かった。
- ・ 自分の組織の事ですすが、初めて知ることも多数あり、現在実施している事、将来実施していく（していこうとしている）事を聞くことが出来て、有意義な時間でした。

### ◎活用度 3

- ・ 本町においても「関係人口」を地域づくりに生かすための施策を考えたい。
- ・ 邦が地方創生の施策を数多く行っていることがわかったが、その中でも「人づくり」というものに力を入れて取り組んでいることに驚いた。しかし、この研修を受け、実践者の話を聞き、やはり何よりも「人」＝「財」ということがよくわかった。
- ・ 地域おこし協力隊の詳細な内容や事例紹介を知ることができてよかった。
- ・ 過疎地域に住んでいるが現在住んでいる人たちがイキイキしていると外から見ても魅力的な地域と感じてもらえると思っている。各種制度を活用し、「住み続けたい」と思う地域づくりのきっかけを作れたらいいと思う。
- ・ 総務省で出されている施策やその考え方を知ることができました。しっかり勉強して制度を活用できるように、備えたいと思います。
- ・ 総務省の取組概要がよくわかった。
- ・ 国が考える地域づくりのための様々な施策について知ることができた。自分の町に引き寄せてもっと活用していきたい。
- ・ 今まで地域づくり関係に関ったことが無いため、基礎的な知識を得る良い機会となった。
- ・ 地域づくりの根本を知らなかったため、基本的なことを学べたので充実した講義でした。
- ・ 自分の業務と直結している部分（地域おこし協力隊や移住定住など）が多かったため、大変参考になった。
- ・ 様々な制度があることが勉強になりました。
- ・ 基盤となる知識と、「ふるさとワーキングホリデー」、「観光以上定住未満」等の考え方を新しく知ることができました。
- ・ 国の施策の展開と現在の達成状況を併せて知ることができた。
- ・ 国からのサポートを詳細に知ることができた。
- ・ ふるさとワーキングホリデーなど知らないメニューがあることを今回紹介いただいて大変有用な情報を得ることができた。
- ・ 様々なビックデータをもとに、地域の抱える問題について、より鮮明に理解できた。この分析結果をもとにこれからの地域づくりを考えていきたい。
- ・ 各種事業をされているのがわかった。当市でも取組める事業があると思ったので、検討していきたい。
- ・ 日本の将来像と今求められている地域力再生の必要性を改めて感じた。総務省の役割は、地方における自治体と同様ですが、目立たずじっくり継続的。
- ・ 地域づくりについて、現状と課題そして取り組みについて学ぶことができました。広い視野と情報を得ることは重要であると思いました。

- ・ 国の動き等のお話をわかりやすく聞けました。レジュメをしっかり読みたいと思います。
- ・ 人口減少の現実を改めて知ることになった。本市では、導入していない地域おこし協力隊の概要やその活用を詳しく知ることができて良かった。
- ・ 総務省の取組を改めて学ぶことができた。どのように施策を自治体において活用できるか、わかりやすく解説することも必要だと感じた。
- ・ 定住までしてもらうには、地域に多様にかかわる関係人口をいかに築くか。ex) 農林業体験、宿泊体験。
- ・ 全般的な話であったが、今までの確認の意味で良かったと思う。
- ・ サテライトオフィスの需要はあると感じています。地方遊休施設とのマッチングも良いと思います。

## ◎活用度 2

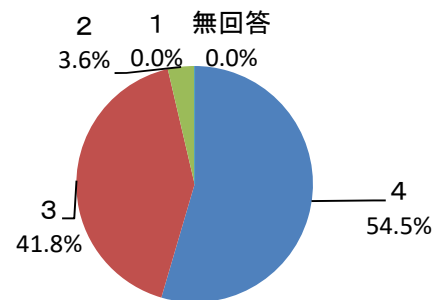
- ・ 地域づくりにおける国の施策がほとんど知らない状態だったので、もっと勉強しなければと思いました。
- ・ だいぶかけ足の説明で、地域づくりと関係のない部署から来たので、初めて聞くことが多く、全部頭に入らなかったが、持ち帰ってじっくり確認したいと思います。
- ・ 国が考えている方向性について知ることができた。
- ・ 地方の現状がよくわかった。地方を元気にすることが人口を増やすために必要だと思う。
- ・ 地域おこしに関する、現在の状況がよくわかりました。現部署での活用が難しいところですが、今後担当課へ異動した際に活用したいと思います。
- ・ 住民票に基づく定住人口以外についても関わりの有る交流人口についてなど、考え方を広げることができそうです。
- ・ 制度的な側面から地域づくりについて学ぶことができました。
- ・ 総務省の事業は、日常業務で関わらせて頂いています。ふるさと納税制度を利用した地域おこし協力隊のクラウドファンディングについては、自治体の財源活用方式を国としても統一させてほしいと思った。H30年度の要求内容については注視していきたい。
- ・ 様々な方面の施策・事業があることを知った。補助金は自治体だけでなく、NPO等も直接受けられるとよいと思う。
- ・ 総務省が現在実施している事業や、今後予定している事業を丁寧に説明していただきました。市役所の担当課が行っている事業が、理解できました。
- ・ 移住・定住はハードルが高く、思いとどまる人が多いなか、ふるさとワーキングホリデーは有効策だと感じました。
- ・ 今の私には勉強不足で、理解できていない部分が殆んどでした。頂いた資料を基に、自分で勉強させていただきます。
- ・ 総務省の地域人財の考え方や、取り組み、制度運用などを理解できた。一方で業務と関係する部分は少ないように感じた。

【講義2：実践事例】「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」

柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 講師

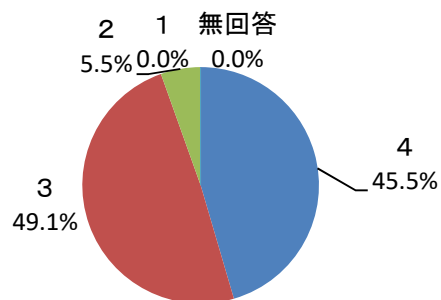
N= 55

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	30	54.5%
	3	23	41.8%
	2	2	3.6%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



N= 55

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	25	45.5%
	3	27	49.1%
	2	3	5.5%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 私だけではなく本町にとって必要な事が聞けたので、職場にもちかえり、仲間と共有して、地域づくりに生かしたい
- ・ まずは豊重さんの熱い想い、そしてそれを実践している姿勢に感銘を受けた。自分にも何かできるのではないかという思いにさせてもらった。また行政に携わる私たちへのメッセージ、心構えもご指導いただけたことに感謝します。
- ・ 地元のことをまず見つめ直し、地元の人と真剣に向き合って話をして、自分の熱意を伝え、気持ちを伝えることが大事だと思った。
- ・ 考え方、行動等全てが参考になった。住民全員を巻き込んだ地域づくりの手法を聞きたいと思っていたが、あきらめず、熱意を持って行動すること、まずは地域を知る事から始めようと思う。
- ・ 魅力的な語り口に引き込まれました。説得するのではなく、行動を起こすことで人を納得させるという姿勢は、行政に足りない部分であり見習わなければならないと強く感じました。
- ・ 豊重先生の温かいまなざしがとても印象に残った。人を動かすのは人と人のつながりなんだと強く感じた。また'負'や'不'を知る事からまちづくり、まちおこしが始まるということで、もっと自分の住む町の事を知る必要があると強く感じた。
- ・ 山本五十六の名言そのものでした。「やってみせ、言ってきかせて、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ！」
- ・ 豊重さんの熱意がじんじん伝わってきました。地域の人を取材し、真摯に向き合おうと思いま



した。

- ・ 個々の力を引きだす。それぞれに合った役割を与える。など、「させる」ではなく「きっかけづくり」が重要だということを気付かされた。
- ・ 熱い話で、パワーがあり、人間力の高さを感じた。地域づくりの根本の部分の部分を学べました。ああいったパワーのある人間力の高い人間になりたいと感じました。
- ・ 講師の人柄に直接触れることができ貴重な講演でした。ありがとうございました。
- ・ 人の心を動かすためには熱意と財源に基づく還元が必要であることを学んだ。
- ・ 地域づくりは国づくり、現場発想主義には共感しました。還元が見えないと住民の参画は得られない、そのためには自主財源が必要である、それを実践していくのが、人であり人材育成が大事であると感じた。
- ・ 実際に活動された方のお話は心に響く。
- ・ 地域や住民のことを考えて地域経営をした結果が「行政に頼らない」という形になった印象。何事も人間力が大切。70代の方から地域経営の話の伺い驚き。とても良いお話で、福祉の知人に伝えたかったので、資料があると良かった。
- ・ 地域のみなさんの心からの笑顔が印象的でした。豊重先生の講義からパワーをいただきました。
- ・ 豊重先生の熱意に心を動かされました。
- ・ やねだんへの想い、そして何よりも1人1人の住民を大切にしている豊重先生の魂を感じる事ができました。
- ・ 豊重さんの心のこもった言葉が、心に染みしました。地域貢献のため、自分もさらなる努力をしたと思った。
- ・ 住民アンケートを実施し、課題を見付け、自主財源をもって解決していくことはすごい取組みだと思う。子供からのメッセージは感動しました。
- ・ 地域をその気にさせる、「納得」というキーワードをいただいた。納得してもらう為のポイントに将来像、還元と財源確保の必要性を理解出来た。
- ・ エネルギーッシュなお話で圧迫されました。お話が時々とぶので？なときもありましたが、あの行動力をお手本にします！
- ・ 非常にインパクトのある講義でした。何が還元できるかという視点から地域の人達を納得させるかというポイントは新鮮でした。
- ・ フルネーム、笑顔という体質の話に感動しました。早速取り入れます。

### ◎活用度3

- ・ 前段のDVDは、受講前の課題としておき、時間いっぱい生の声を聞きたかった。直接対話に期待しています。
- ・ 感動しました。地域の人たちが全員役割をもって活やくしている、素晴らしいです。人としての心構えをおしえられました。
- ・ 情熱と感謝の大切さを知ることができた。地域づくりの姿勢を学ぶことができよかった
- ・ 地域づくりを始めるときに何から行えば良いのかの参考になりました。
- ・ やねだんという一つの家族の形を教えてくださいました。究極は行政のいない地区だと感じ

ました。

- ・ いくら行政が形式的に地域と関わろうとしても人は動かない。説得ではなく納得してもらうような企画・演出・プレゼン・還元が必要。
- ・ 自助⇒共助⇒公助の中でも公助を必要とせず、住民同士が助けあう共助の最高のモデルだと思う。もっと話を聞きたいと思う。
- ・ エネルギーをもらいました。
- ・ 地域おこしに限らず、人の集め方、人の心の動かし方を学びました。自分が主となって多くの人と活動するときに、活用できたらと思います。
- ・ 非常に記憶に残るキーワードを多く発言していただき、興味深く受講できました。
- ・ とにかく熱意・地域への愛情が伝わってきました。
- ・ 地域への愛、情熱、強い想いを感じました。「現場発想主義」のフレーズ、今後も意識し続けたいです。
- ・ 地縁の強化の重要性を再確認できた。
- ・ 地域づくりに関しては、最後は「思い」が重要だと考えた。その思いを持った地域の人を発見し、マネジメントしていきたい。
- ・ 地域の人一人一人に才能や経験があり、それを引き出す目配り、心配りがコーディネーターに求められるのだということが印象に残りました。
- ・ とても理解しやすい講義で、今の自分の状況にある問題と重ねて考えることができました。
- ・ 地域ブランドを開発し、自主財源で地域を再生していく発想力に驚かされた。
- ・ パワフルな講演ありがとうございました。
- ・ 地域にはリーダーが不可欠だと感じました。また地域のことを知り、文化、歴史を知り先人をそんけいしながらやることの大切さを知りました。会計・経営の考えを持って自立した組織づくりをするべきと感じた。
- ・ 日頃業務は、チームワーク（総力戦）が重要とっていました。今回の講義で地域づくりには人としてのあり方をよく理解しておかないといけないことがわかりました。プライドを傷つけず、目配り、気配り、心配りすることを大切にしていきたいと思います。
- ・ 余剰金わずか1万円から始まった「やねだん」を、ここまですばらしいコミュニティに成長させた豊重先生の行動に感動した。
- ・ 地域を盛り上げるには、全員が参加しなければならないと感じた。「補欠はいない」のフレーズが心に響いた。
- ・ DVD でやねだんの成り立ちなど背景を知れたのでわかりやすかった。豊重さんの熱い気持ちが伝わり、リーダーとしての周りとの接し方が学べました。

## ◎活用度2

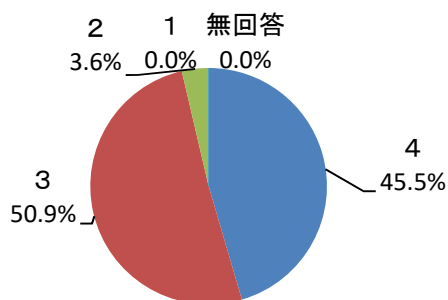
- ・ 現在の部署において活用できる知識は少なかったが、地域の創り方について、大変実のある講義でした。ただ、時間が足りなく、もう少しお話を伺えると良かったです。またお話を聞きたいと思いました。
- ・ 豊重さんの取組に反対していた人たちにも粘り強く対応し、心を動かしたことが印象に残った。

【講義3：実践事例】「福祉施設の地域との共生・地域づくりへの貢献について」

社会福祉法人スマイリング・パーク 理事長 山田 一久 講師

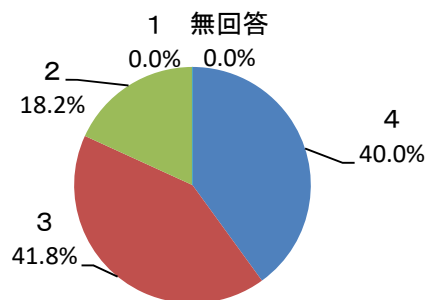
N= 55

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	25	45.5%
	3	28	50.9%
	2	2	3.6%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



N= 55

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	22	40.0%
	3	23	41.8%
	2	10	18.2%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 地域住民に信頼してもらえるようにもっと積極的に自治会の行事に参加したい。
- ・ 行政という団体が住民に信頼されるためには、小さなことをひとつひとつ地道にやらなければならないと改めて強く思った。
- ・ 豊重先生の考え方を実践されているのがよく分かった。田舎の人は「自分の家で死にたい。施設に入りたくない」と言うと思うが、「施設に入るときはこの施設に」という言葉が出てくるのはすばらしいと思った。
- ・ 反目者を味方につけることの重要性や、自分たちが住んでいる地域に誇りを持つことの重要性など非常に参考になるお話しでした。
- ・ 地域づくりのためには自らが地域の中に飛び込んで行って周囲の様々な方と関わりを持ちながら自分から汗してやっていくことが重要なんだと言うことを教えて頂いた。
- ・ 自分自身の地域づくりに生かそうと思う内容であった。信頼=キズナ=繋り！
- ・ 民間団体が自治会に入ると言う案に驚きました。「前例がない」との理由で意見が通らない事案がありましたが、私達が見直さなければと思いました。
- ・ やねだん卒生ということで、同じくパワーのあるポジティブな人間力のある方でした。スポーツマンでもあり、忍耐力、精神力の高い方で、地域づくりに必要なリーダーシップを感じました。
- ・ 地域づくりに成功している方の経験談は大変参考になりました。地域との接し方についての考え方が変わりました。

- ・ 具体的な活動がわかりやすかったです。
- ・ 社会福祉法人や企業などを再度見直していきたいと思います。
- ・ やねだんで学び、実践されていた過程がリアルに伝わってきて具体的なイメージがしやすく参考になる点がわかりやすかったです。
- ・ 自らが率先して地域へ出て行くことで周囲の意識を変えていくことができることを学んだ。
- ・ 山田先生とは夜も少しお話をさせていただきましたので、本当に心に残りました。
- ・ 地域住民から「信頼」を得ることができるように努力していきたいと思いました。講義途中のゲームで気持ちが楽になりました。
- ・ 地域づくりには信頼が必要とのお言葉が心にのこりました。
- ・ やねだんのスピリッツを受けられご自身の活動に活かされていることを肌で感じる事ができた。「信頼」のキーワードは心に深くひびいた。
- ・ 企業が取り組む地域貢献の内容について、非常に興味深い内容であった。信頼される行政マンになるためにさらなる努力を行いたい。
- ・ すごく話が聞きやすく理解できた。地域に入って行かれ、施設で行うものを地域で行う（祭りなど）ことは、いい発想、活動だと思った。信頼し、されることが大切。
- ・ まず、信頼を得ることが重要だと学びました。これは、普段の仕事でも重要だと感じました。
- ・ 地域にうけ入れられるには、コツコツと信頼をつみ上げていくことが必要だと思った。

### ◎活用度 3

- ・ 豊重イズムを引き継いで実践している姿がすばらしいと思った。現在の成功までには、苦労があったこと、人を納得させるためには、まずはコツコツ自ら動くこと、それにはある程度時間がかかること。山田さんの経験はまちづくり行政に携わる私にとってとてもためになるものである。
- ・ 豊重先生の教えを実行し地域づくりを成功させている行動力すばらしいです。住民との信頼関係をきづくことが安心してらせる地域になる、そのとおりだと思いました。
- ・ やねだんで学んだことを自分なりに捉え実践する姿は非常に参考になった。
- ・ 介護・福祉の課題である、「地域との連携」に、自ら飛び込み、諦めず、結果を出していることに感心した。
- ・ 住む人の事を考え、居る人たちのために常に工夫をして、必要な事は何かを考えるきっかけになりました。
- ・ 介護・福祉と地域が垣根を越えて連携する実践例は、大変参考になりました。
- ・ 最初のアイスブレイクが良かった。研修が始まって間もなかったのも、話し合いがしやすくなった。施設の地域開放は住民にメリットがあると思う。自治会に入るための草刈り等、あきらめず継続する事に共感した。
- ・ 縁のない人が「社福」と聞いてもよく分からないというのが実情。商売ではなく必要性を肌で感じて地域に入っていた姿に感動。世襲制ではないということに驚き。
- ・ 今回は福祉施設であったが、それに限らず、地域にいる企業等についても共生していける手つだいがない。また、なによりも信頼なくして共生のもとでの地域づくりは不可能と感じた。

- ・ 施設での祭りをやめ、地域の祭に費用や人を提供するという発想は斬新で驚きました。地域に積極的に入っていくことの大切さを学びました。
- ・ 「地域にとって不安がなくなる暮らし」 =  $(\alpha + \text{社会の仕組}) \times \text{住民}$  「信頼」 =  $\alpha$  を今後は強く意識したいと感じた。
- ・ 今まさに地域づくりに取り組んでおられることをお話し頂き、リアリティがあり、アグレッシブな感じがとても心に残りました。
- ・ 法人が自治会へ加入するという行動力に刺激を受けた。住民の信頼を得るには地域に入っていく必要があるが、自分には欠けているところだと思う。
- ・ できないのではなくやってみる事、できることから行動することが大切と感じた。自分でやってみる。けいぞくするためには、リニューアルされながらその時々合ったものにしていくのも必要。補欠はいない、みんなでつくるのが地域。
- ・ 講義をききまして、「甲佐町はどんな町だったら今まで以上に好きな町」であるのかと自問しました。地域づくりに関わっていく者として基本的な考え方を学ぶことができました。
- ・ 法人として自治会に加入するまでのお話をきいて、まずは地域の方々に信頼してもらえらるための行動を少しずつでも重ねていくことが大事だと思った。
- ・ 施設を町内会に加入できなかったが、個人としてボランティア清掃を行うなどして加入を実現させる行動力がすばらしいと感じた。
- ・ 小さな事を積み上げていく大切さを学びました。地域につくす、受け入れる。

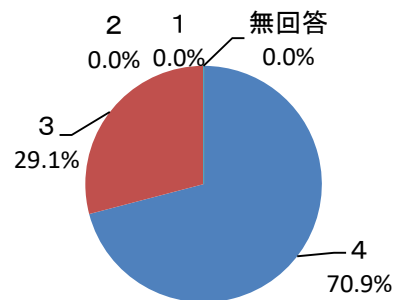
## ◎活用度 2

- ・ やねだんの精神(塾生)をうけつぐ人が増え、その人によっての手法があることを学びました。なんでも、あきらめたらダメなんですね。
- ・ 一度拒絶されてもあきらめない精神は今後の仕事に活用すべきだと考えました。
- ・ 地域と関わることの大切さを学びました。地元でも、こういった形でかかわれる企業を探してみたいです。
- ・ まずは人として信用・信頼してもらうためにどう動くのか、また、動いても成果が出なかった時にあきらめず継続する気持ちが必要であると改めて感じた。
- ・ 具体的な地域づくりの施策を、失敗談も混じえてお話しいただき、わかりやすかったです。
- ・ 豊重講師との関連があるとのことで同様に、理解しやすく受講できました。
- ・ 福祉の観点から、住民との連携方法について新たな発見があった。
- ・ 自らの取り組み事例を具体的にお話し下さったのでわかりやすかったです。
- ・ 自分の生活に不安がなく暮らせる地域という考えを聞いて、住民目線に立った時、確かにその地域であればずっと暮らしたいと腑に落ちる内容でした。将来、自分が地域に関わる仕事をする際にもう一度お話を伺いたいと思います。
- ・ 豊重さんのお話をうけ、実践されている方のお話だったので、このように活かしているんだという点がわかって参考になりました。

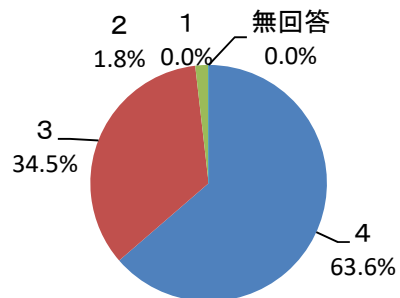
【講義4：実践事例】「地域づくりのマネジメント—つながりをつくり創発を生む仕組みづくり—」

慶應義塾大学総合政策学部 教授 飯盛 義徳 講師

		N= 55	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	39	70.9%
	3	16	29.1%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



		N= 55	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	35	63.6%
	3	19	34.5%
	2	1	1.8%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 本町には若い力が必要と考える。
- ・ 資源の持ち寄りによって地域づくりを行うことで新しい活動や価値が次々と生まれると言う内容に感動しました。何かあらたに作るのではなく、あるものを使うことの大切さを学びました。
- ・ 「境界」の設計について、物理的な写真があってイメージがつかめた。人と人の境界の役割が上手くできるようになりたいと思った。
- ・ 大切なのはプラットフォーム作り。いろいろな講義を聞いて、頭の中で整理できていなかったのですが、飯盛先生の講義を聞いて、すべて整理できた気がしました。
- ・ '強い関係性' と '弱い関係性' の共存と言う考え方が興味深かった。地元集落では昔から引き継がれる閉鎖的な強い関係性が色濃く残るが、弱い関係性をうまく取り入れていく事を考えていきたい。
- ・ 最初から完成形が出来るわけではない。まず、自分に出来ることから行動し、徐々に賛同者を得ること⇒昨日の山田さんの実践につながる話であり、一歩ふみ出す勇気がちょっとだけわいた。
- ・ 地域づくりにおける行政の関わり方(キョリ感)について、よく理解できた。
- ・ 「自分で考え、一方踏み出す行動力」私が動かなければ、何もできない変わらないと思うようになりました。
- ・ 学校との協働に興味を持ちました。当市も”れんけい”はしていますが、今一歩踏み込んでいないので参考としたいです。
- ・ 自分の実務とかなり重なる部分があり、大変参考になった。特にプラットフォームのあり方に

ついて理解が深まった。

- ・ 資源を持ち寄り、プラットフォームをつくる。一步踏み出す勇気。様々なキーワードをいただき、今後色々な、ひらめきが出てきそうな感じがした。
- ・ 大学生とのコラボで、学生にとっても勉強になるし、行政にとっても若い新鮮な視点で教えてもらうことで街をより良くできる。ウィンウィンなので、これからやっていきたいと思います。
- ・ マネジメントするにしてもまずは個人の行動力からはじまる。一步をふみ出すキモチが必要。
- ・ プラットフォームをつくりたいと思いました。
- ・ 大学という地域資源について、再度見直したいと思います。
- ・ 非常に分かりやすく、今後の基盤となる知識が得られました。
- ・ 強い関係性と弱い関係性の共存や可視性の存在が大きな効果を生む、という内容が印象的だった。
- ・ 大学生の活動力、潜在能力を活用したい。
- ・ 大学生が地域づくりに関心が高まっていることを初めて知りました。集まった資源で価値を見い出せる人を発掘育成にはプラットフォームづくりが必要でありそのとりまとめをしていかなければならないと考える。
- ・ 域学連携に興味があったのでよかったです。
- ・ 学生を始め若い人がまちづくりに意欲をもっていることを知り、心強かった。行政は全てを用意しがちで住民との距離が開いてしまう。持ち寄りの大切さを知ったが、境界と同様に調整が非常に難しそう。
- ・ 人・モノ・カネ・情報の4分野を考えながら総合的に企画する力が必要と感じました。
- ・ 非常に分かりやすい講義でした。まずはできることからやっていくことの大切さや、人と人との交流の場づくりの大切さを学ぶことができた。
- ・ 地域づくりに関心がある学生がたくさんいることにおどろいた。本市も、そういった学生を対象にインターンシップなど行い、地域活性化のアイデアをいただくとともに、本市職員にもなっていただきたいと思った。
- ・ 学生に入ってもらって課題を解決していくことは重要だと思う。自主的に行動することは大切だと思う。
- ・ 創発を生む仕組みを理論的に分かり易く説明して頂きました。「人材」「情報」「行政の役割」。
- ・ 身近な事例を分かりやすく説明され大変おもしろかった。「境界」を意識していきたい。
- ・ 行政としてどう関わっていくか、何をすべきかをわかりやすく説明いただいたと思います。地域資源が「ない」ではなく「つくる」「みつける」そして「つなげる」そういったプラットフォームになることが必要なことだと思いました。徹底的に考えます。
- ・ 地域づくりの考え方として、強い関係性と弱い関係性の共存であることと、資源の持ち寄りによるという概念を学ぶことができました。現在、取り組んでいる介護予防事業について整理してみたいと思いました。
- ・ 実践的な取り組み手法をお教えいただき、多面的に考え行動する必要性を感じました。
- ・ 地域づくりをしていくためには「境界」をつくることやいろんな人から「資源の持ちより」をしてもらい、皆で共有して広げていくことが大事ということがよく分かりました。

- ・ 地域づくりのプラットフォームをつくるには強い関係性と弱い関係性の共存が大切になる新しい人が入りやすい仕組みをつくり、最初の一步を踏み出すことが重要。
- ・ 空間づくりと資源持ち寄りが印象に残りました。プラットフォームを作る人材の重要性が理解できました。
- ・ 地域子供塾などこれからやろうとしている事に具体的なインスピレーションを頂いた！！

### ◎活用度 3

- ・ 様々な取り組み事例を紹介いただいたが地域づくりには自分で考える力を育てることが大切であること、他人事ではなく自分事、自分が主体と思わせる手法が大事ということを教えていただいた。小さなことでかまわないから、0から一步踏み出すことが一番大事とおっしゃっていたので、自分でできることを考えてみようと思った。
- ・ 自発的・主体的な活動 創発・境界。今までの考え方に衝撃を与えられました。
- ・ 地域の人に参加してもらうしかけをすること、発想しだいで資源ができてしまうことを学びました。(砂浜美術館、ゴメンシヤモ)
- ・ 住民自らが考え、行動する仕組みを作る点が参考になった。
- ・ 限られた予算で多くの事業こなすには資源の持ちよりが重要であると感じました。
- ・ 若年層の意見を取り込む必要性を感じました。
- ・ 自分がリーダーになるのではなく、他の人たちに地域おこしを担ってもらう視点でどのようなところがポイントになるのか、客観的にわかりました。
- ・ プラットフォームや境界の概念などがとてもわかり易く例示されていてよかった。以前学んだ清水〇〇さんの場の思想ともつながり、もっと学んでみたくなりました。
- ・ 全国各地で、まちおこし事業を行なっていることを知りました。自分で考え行動することの大切さを学びました。
- ・ 効率的なプラットフォームづくりは、行政の立場からも地域に貢献できる行動と感じた。地域の人々が主体で、事業の第1歩を踏み出しやすい環境をつくりたい。
- ・ 資源、ノウハウを持ち寄ることが主体的取り組みを生み出す鍵であることに感銘を受けました。動機付けは問わず参加者を集めることが第一歩だと感じました。
- ・ 若い世代の方たちは地域づくりに興味がないわけではなく、私たち(行政)との視点が違うだけということに気づかされました。
- ・ 行政としてどのように住民やボランティアと関わるのかという点で大変参考になった。プラットフォーム作りに取り組んでいきたい。
- ・ 地域づくりに関して若い人が関心があることに気づかされた。経営者の目線での講義でとてもおもしろかった。
- ・ 最初の一步を踏み出す重要性和困難性を学びました。また境界を意識すること、もちより型の地域づくりについて非常に興味深かったです。
- ・ 徹底的に自分で考えて、何を行動するのかという考えは、新しくもあり、答えをすぐに求めたい自分としては厳しくも感じると思いました。一方、何を実施したら良いかということに関しては、小さいことでも良いというお話も伺えたのが何よりも良かったです。また、持ち寄りという考



えも大変勉強になりました。

◎活用度 2

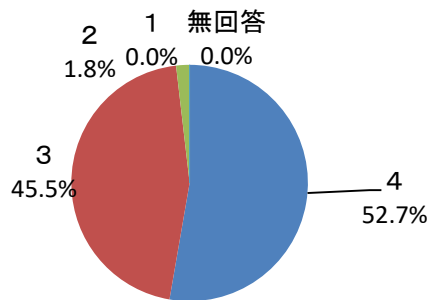
- ・ 最初の声かけ、一歩が可能であれば次は勢いで進められるのでは。内外の境界をなくすなど考えさせられました。

【講義5：実践事例】「“地域人財が育つ” 地域資源融合型公園経営」

特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池 会長 富永 一夫 講師

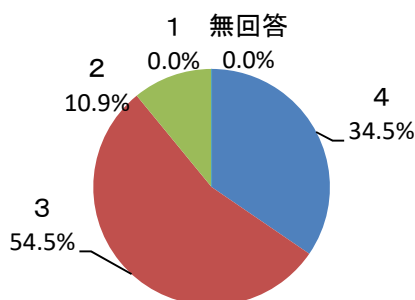
N= 55

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	29	52.7%
	3	25	45.5%
	2	1	1.8%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



N= 55

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	19	34.5%
	3	30	54.5%
	2	6	10.9%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 行政にも経営の四資源が必要だと感じた。
- ・ 地域づくりで経営の四資源ヒト・モノ・カネ・情報の中で情報を得るために最も大切なのがヒトであると教えていただいた事は感銘を受けました。
- ・ 人それぞれの得意なことを集めれば、一人ではできないことも「できる」に変わっていくのだと思った。地域の様々な「資源」を活かせるようなしくみづくりが大切だと感じた。
- ・ 地域資源であるヒト・モノをつなぐことで経営していくという手法は大変参考になりました。
- ・ 人と人をつなぐ、やモノとモノをつなぐ接着剤のような存在の人が地域づくりにはとても重要なんだと感じた。それによって個々ではなし得ないことも可能になるということが分かった。
- ・ H3～5年の2年間、八王子市の上野町に住んでましたが、当時は地域とのかかわりがなく、今日初めて知ることができた。
- ・ 公園管理を通じて財をかけずに人を動かす手法が非常に参考となりました。
- ・ 指定管理ということで、ただ公園を管理するだけではなく、地域や事業でつながって街を活性化させている素晴らしい事業者でした。地元の指定管理者と勉強会を開きたい。
- ・ 自分が担当している事業について大変参考になる講演でしたので今後の業務に少しでも活かせていきたいと思います。
- ・ 人財を育てるためのしかけづくりや、いろいろな人たちとの協働の大切さをあらためて感じました。
- ・ 公園での地域づくりは町田市でも取り入れられる可能性があると感じました。
- ・ 大学時代よく、ランニングをしていた場で、懐かしかった。

- ・ 公園づくり、地域づくりは楽しむことが必要ではないかと思いました。
- ・ 様々な能力を持つてる人をうまくつなぐコーディネーターとしての力が富永さんはお持ちで、感銘を受けました。
- ・ 地域にある者、いる人をつなぐことで出来ないことが出来るようになったり新たな取組が生まれたりすると感じた。経営の四原則を取り入れる。
- ・ 「つながりをつくる」そういった分野について特化すること。地域にあるものをつなげて「できる」にかえていくこと。その活動が必要と学んだ。
- ・ 地域資源の具体的事例を知り、大変勉強になった。さっそくハイタウン塩浜で活かします。

### ◎活用度 3

- ・ 公園管理のノウハウを持っていなかった富永さんが、造園、電気業を合同により指定管理を受託し、「地域にあるものをつなぎ合わせることでできないことができるようになる」という見本を見せていただいた。つながりがさらなるつながりを生み、活動を広げていてとても参考になった。
- ・ 指定管理者としてできるだけお金をかけないで公営を管理、また、地域や学生、企業と一緒にあってとりくんでいる。
- ・ 地域の資源をいかす点が参考になった。心で向きあうことの大切さ。
- ・ 正しい意味での指定管理者の位置付けについてよく理解できた。
- ・ 私の住む隣町でも指名管理が進んでいます。この講義をうけて、少し興味が持てました。
- ・ 限られた人財を活用するためにつなぎ合わせてより大きな力にするのは今後の行政にも必要なことだと感じました。
- ・ 地域から「〇〇がしたい」と相談の声が上がるのはとても前向きで良いこと。その声を拾って生かせるようにしたいと思った。
- ・ 人をよく見る大切さを学びました。
- ・ 元から地域に強いつながりがなかったとしても、自分の志しだけで、地域活動ができる、と言うことに勇気づけられました。
- ・ 情報得るには、まず自己の発信ありきは、実践していきたい部分です。
- ・ 行政、NPO、とユーザーのレイヤーのお話など、以前にも一度お話を伺ったことがありますが経験をつんでより多くのことが拾えるようになりました。
- ・ 実践事例と、その中での経験上のエピソードを盛り込まれ、とても有意義な講義でした。
- ・ 民間的な経営感覚によって公益事業を行い、大きな効果をあげている点が印象的だった。
- ・ 地域の人材を発見する方法、人が持っている情報を集める手段は祭り、との事で私の住んでいる地域では、子供から高齢者まで参加する伝統の祭りがあり、地域づくりを進める上で、活用していこうと思った。
- ・ いわゆる「お役所仕事」のエピソードを聞き、耳が痛かった。できないではなくどうやったらできるのかを考えられる職員になりたい。
- ・ お祭りから人財を見つけるというアイデア。日頃から人財（こんな人がいるんだ）に注目しておくことが大切。

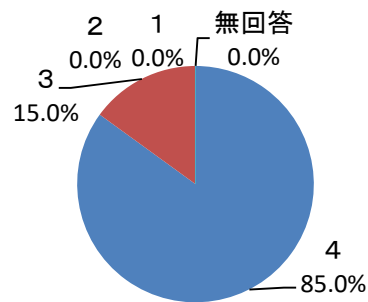
- ・ 「人・モノ・カネ・情報」この経営の基本ノウハウを、地域の有志に提供することも重要だと感じた。地域人財が育つ環境づくりを行政として行いたい。
- ・ 「地域にあるもの(人や資源)をつなぎ合わせることで、できないことをできるようにする」ことはすごく重要なことだと思う。行政にも経営感覚は必要だと実感した。
- ・ 地域づくりにはヒト、モノ、カネ、情報を集約することが大切で、特にヒトについてはwin-winの関係を築くことが、長続きさせる秘けつだと学びました。
- ・ 行政として人財を集める上で、日頃からどこにどんな人が居るか、把握しておくこと、情報収集力や、お祭りやイベントを通して人財を見つけることなど、今後に生きたい。
- ・ 今までにない考え方の話が聞けました。地域と行政が情報を共有し、問題点は取材をして把握をし、一緒に解決していく方法ができそうです。
- ・ 普段、環境啓発施設の管理業務を行っているので、手法を取り入れたいと思った。
- ・ 地域づくりを行っていくうえでは、まず自分自身が現場に出向き、地域の方の意見をきいたり話し合ったりすることが大切であると改めて実感しました。
- ・ 現在の長池公園ができるまでには本当に多くの人々の力や意見が必要で、時間もかかり、地域づくりには多くの人との協働そして時間がかかるということを学んだ。
- ・ 公園の維持・管理のために、企業ボランティアを活用していたのがおもしろかった。
- ・ 経営的な視点を取入れながら活動し、やはりそういう観点も重要だと認識しました。まず人をつなぐことの重要性も学びました。
- ・ 祭りに人を集めることで人財を見つけるという考え方が非常に新鮮でありました。先生方は凄い方達ばかりですが、こうした祭りに参加するといったことであれば自分でも出来ることかと思いました。役所での出来レースの話も面白かったです。
- ・ 芝の刈り方、生きがい就労など地域の方の思いを考えて、取りくむことでお互いにとってより効果を出している。その仕組みづくりが圧倒的に上手い。

## ◎活用度 2

- ・ 提案に対して拒絶反応が先に出る公務員になってしまった…耳が痛い話が多々あり、反省です。
- ・ 都市部と地方の地域づくりで何か違うところがあるのか、参考になることはあるか、学ぼうと思っていたが、行政あるあるネタで参考となる話が聞けなかった。
- ・ 地域資源の融合による公園経営を学びました。子ども達に故郷を作ってあげたい思いを感じました。
- ・ 地域資源を生かしたやり方は学ぶ部分が多かったです。
- ・ 地域の方が自然と公園管理に参加してくれるという話を聞き、楽しさを地域づくりに取り込まないといけないと感じた。

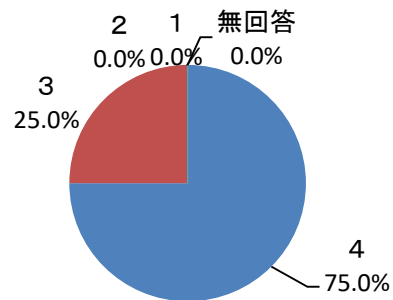
N= 20

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	17	85.0%
	3	3	15.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		20	100.0%



N= 20

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	15	75.0%
	3	5	25.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		20	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ [講義 4 と同じ。] (集計者註：本町には若い力が必要と考える)
- ・ 様々な事例を挙げながら詳細な経緯等を聞くことができたため、官学連携のイメージがよく理解できた。
- ・ 大学との連携事例を多く学べた。
- ・ 担当している業務と直接関連のある事例を多く聞くことができ良かった。飯盛先生のゼミ生と市内の大学生との交流を計画できたら面白いと思う。
- ・ 若い人が入り一緒になって考えることが地域にとってもメリットがあることがわかりました。無作為での市民ワークショップとりいれてみたいです。
- ・ 主に”域学連携”の事例をたくさんおききすることができ、その地域でしかできないことを学生とともにやっていくことの良さを学んだ。
- ・ これからの地域づくりで大事になってくるのが、大学生と共同して地域づくりをしていくことなんだと感じました。
- ・ ただ話をきくだけでなく、日頃から悩んでいることに対して相談できてよかった。
- ・ 講義内容よりもさらに深掘りしたお話を聞かせていただき大変参考になりました。私が取り組んでいる事業と似通った部分も多く、すぐに仕事に活かしていきたいと感じました。
- ・ 講義中では聞けなかった域学連携のお話や、NPO の活動のお話が聞けて町田市近隣の大学との連携について考えていきたいと思いました。
- ・ 若者、大学生の活やくが必要だと思いました。
- ・ 外からの目、よそ者の目からみた地域資源の発見方法が効果的なのではないかと感じた。大学とのコラボの可能性を感じた。

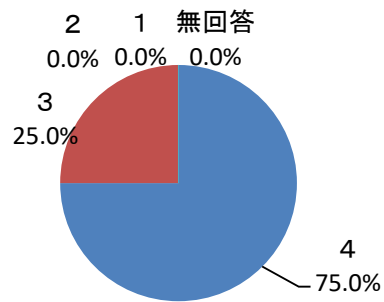
- ・ 成功事例の裏にある苦勞。1つ1つ積み重ねてゆくことこそがやはり重要。
- ・ 様々な苦勞もあった中で地域、学生、行政などと連携する取組みがすばらしく私も塾に入りたと思いました。いつか大分市に飯盛先生をおむかえして講演会を開催したいと思います。みんなにも聞いてもらいたいです。

### ◎活用度 3

- ・ 対話では、学生を取り込んだ協働のまちづくりについて特にお話をいただいたが、私の市でも大学が多く、学生の力、若い力を活用して地域づくりに生かせる取組の可能性について強く感じた。
- ・ 学生の意見・提案を取り入れて成功した事例を多く紹介していただいたので参考になりました。
- ・ 実際に大学生が地方でどのような活動をし、どのような変化をもたらしたのか勉強になった。
- ・ 先生は、何になりたかったのだろうか、直接聞けず、残念でした。やりたいことをやれているとおっしゃっていたので、幸せなのだと思います。…頭のいい人なんだとただただ感心しました。
- ・ 教育と活性の双方を一度に出来る協働は非常に有意義であると思いました。当市も同様な活動に取り組みたいです。

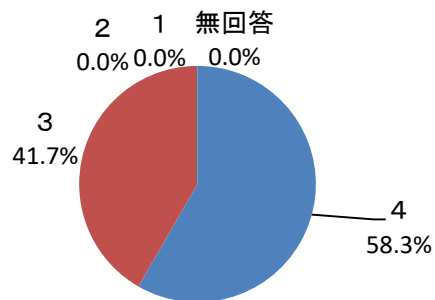
N= 12

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	9	75.0%
	3	3	25.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		12	100.0%



N= 12

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	7	58.3%
	3	5	41.7%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		12	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ まちづくりは人をたよるのではなく、人と人をつなげていくことと、自から考え行動することを考えさせられました。
- ・ 隣接している自治体の事業と言うこともあり、環境が似ており、非常に参考になりました。首都圏での取り組みはありがたいです。
- ・ 民間の動きをいち早く捉え、違質なもの、新しいものに柔軟に対応できる制度設計は行政の仕事、と言うのが印象に残った。雑談の中に本音が出るのも、そのとおりだと思う。雑談できる人になりたい。
- ・ 個人の活動→家族→隣組→町内→地域活動！弱っていた(迷っていた)「心の火種」が元気になる栄養をもらいました。
- ・ 「仕事をする人が楽しそうでなければ人は集まらない」という言葉に納得させられました。
- ・ アドバイスがもらえてありがたかったです。

◎活用度 3

- ・ 組織をつなぐという行政の役割を深く理解する対話でした。行政は事業の全てを考えてしまっしてから押しつけるというやり方をしがちだけれど、結果同じことをやるとしても、それが住民からの発案と言うだけで住民の喜びは違うため、住民のニーズから起こった事業にしていくことが大事だとわかりました。
- ・ 直接お話をすることで、よりきめ細かいことが聞け、しかも、すぐ実践できそうです。
- ・ 行政の役割はバックアップで、あまり前に出ていくと、住民やボランティア、NPOの自主性が損

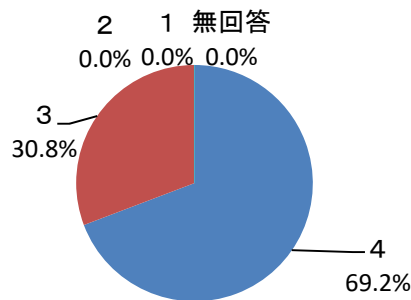
われるので、距離感が大切だと認識させられた。

- ・ 異質なものを取入れる制度づくりが必要、地域活動にかける時間、かけがえのないものから大事にする、雑談から本音がきこえてくる、など学びました。
- ・ NPO 法人のたちあげから、その運営、引退、課題である後継者の選定など多くの苦勞話がおもしろく、興味をもてた。



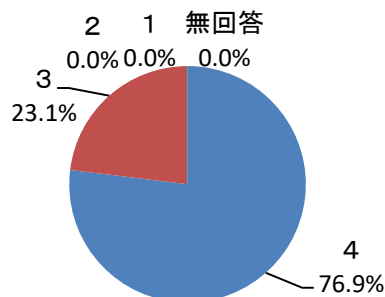
N= 26

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	18	69.2%
	3	8	30.8%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		26	100.0%



N= 26

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	20	76.9%
	3	6	23.1%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		26	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 「こうなりたい」というイメージを持ち、それに向かって戦略を立てること。行政の役割はきっかけ作りであり、地域の人が主体的に動けるようサポートすることだと思った。人としての生き方も教えてもらったと思う。自分・家族・皆を大切にしていきたい。
- ・ 行政職員として、ではなく、1人の人間として、人間力の気づきをいただきました。学習と、考えることがまだまだ足りないので努力したい。
- ・ 豊重先生の生き様についてお聞きし、とても感銘を受けた。私が豊重先生のようにになれる自信はないが、自分なりに自分の身の丈に合ったレベルでいいから、何か一步を踏み出したいと思った。
- ・ 地域活動を可能たらしめるのは家族あってこそ！家族と地域グループは「輪廻転生」。
- ・ 講義では聞けなかった豊重さんのご家族の話を知ることができたことが心に残っています。
- ・ 足元の大切さを学びました。人は一人では何もできないかもしれないと改めて感じました。
- ・ 直接対話では、様々な「力」を必要とすることを教えてもらえた。「忍耐力」「財務力」「肉体力」…前日の講義では聞けなかった裏話が…(借金)。家族を大切にしたい気持ちが改めて重要だと思った。
- ・ 自分流の方程式、仕掛けたら下がる。地域での学をコントロールする財務、実践します。そのために、忍耐力、我慢力、肉体力をつけていきたいと思います。
- ・ 本当に感動しました。本当に心が動きました。豊重さんのお話で、本当に良い一步を踏み出そうと心にちかいました。
- ・ 豊重先生の苦勞の中に、家族を大切にしてきた事に感動しました。これからも、元気に活躍して

いただきたいです。

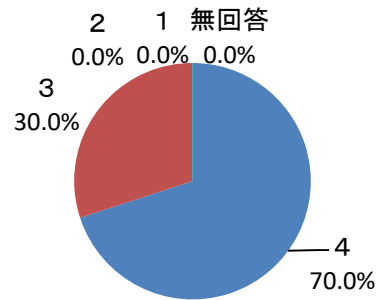
- ・ とにかく熱い講話で、一言一言に重みがあった。目配り気配り心配りもちゃんと計算して、よく考えて演出をしているということや、1人を粗末にしたらまちづくりはうまくいかないこと、まずは身近な家族を大切にすることという根本など、まちづくりの心構えを本当にたくさん教えていただき、いろいろな気づきを与えていただきました。
- ・ 小手先のやり方ではなく、地域づくりで大切な人間の真の部分、その中での企画力、思考力をみることが大切だなと感じました。目配り、気配。
- ・ 基本の基本のところまでおりてお話をしてくださり、今回の講義での根本の部分に触れて教えて頂けたと思っています。
- ・ 地域づくりには熱意と知恵、お金を循環させる仕組みづくりが必要であることを学んだ。
- ・ 地域づくりを始める際の土台をしっかりさせること、ブレない自分になることを第一歩としたと思います。
- ・ 2時間強に及ぶ直接対話で、講義ではきくことのできなかったおはなしをおききすることができた。
- ・ 心にひびく言葉ばかりでした。それは、自分が体験してきたからこそ伝えられると思う。私も苦しい時にも逃げずにがんばりたい
- ・ すごく熱い講義だった。1人には10人ついている。1人を大切にすることは常に考えていたい。
- ・ 半径10m以内を大切にという言葉を中心にきざみ込んだ取組を行いたいと思います。

### ◎活用度3

- ・ 講義2に引き続き直接対話でお話しさせていただきましたが、今回最も有意義な時間を過ごすことができました。
- ・ 地域づくりに携わるにあたって無理は禁物で、自分を支える人々に感謝し、それを伝えることが大切だと教わりました。先生の気遣い、目配せの細やかさには驚きました。
- ・ 先生が、自治会長になるまでの話をきいたが、大変な苦労があったのだと感じた。偉大なパートナーである奥様を大事にされていると思った。
- ・ たとえ、失敗したり大きなリスクをかかえたとしても、あきらめずに知恵を出し乗り越えるのが必要だと思いました。
- ・ 「講義2」に引き続き受講しましたが、距離が近付き、迫力ある気持ちの強さをより感じる講義でした。
- ・ 行政は子供を巻き込み、コンペ形式でテーマを与え、企画を募集せよというアドバイス。企画書を書きたいと思った。

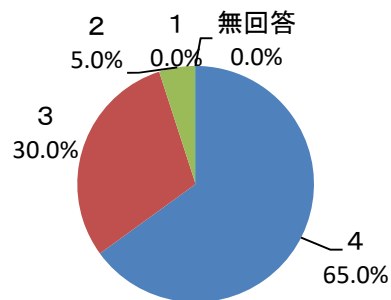
N= 20

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	14	70.0%
	3	6	30.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		20	100.0%



N= 20

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	13	65.0%
	3	6	30.0%
	2	1	5.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		20	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 地元のご当地の PR 方法や目標成果等の設定の方法など教えていただき、有意義な時間を過ごせました。
- ・ 具体的なメソッドや心理学での対話方法など、すぐにでも当てはめられるテクニックを学べました。人としてもポジティブで話しやすく、人間力の高さを感じました。
- ・ 成果が出ないのは定性目標をきちんと定めていないから。何のためにどう行動するのかを考えて業務に取り組みたい。
- ・ 目標・成果を決めて、それを実施すると、どう変わるのかを徹底的に話し合っイメージを共有し、ゴールから逆算して、いつ、何をやるのかといった考え方は日常の業務でも使えることで、大変勉強になりました。会議における3ヶ条の話も実践できることでやりたいと思います。
- ・ ソリューション、フォーカスドアプローチが、目標を定めた時に、目標を達成するとどうなるのか関係者全員で徹底的に話し合い、成果を皆で共有することが。
- ・ ファシリテート、地域に入るにあたり大切なスキルについて学びができた。
- ・ 今後の地域資源の PR 活動に役立てたい。
- ・ 地域の方との関わり方、行政としての自分の立ち位置（優秀な黒子になる）を改めて見直す機会になった。
- ・ ビジネス感覚を強く把握できてよかった。
- ・ 玉沖先生の直接対話への対応、受講生への接し方には学ぶことが多かったです。何事にもせっかちな自分を見直し、傾聴しながらじっくりと取り組んでいくことをこころがけたいものです。
- ・ コミュニケーションの方法や、具体的にどのようにアピール・発信していくかを学ぶことがで

きました。白糠町の例は非常に分かりやすかったです。

- ・ 地域資源を見つける方法からそれを活かしていく方法、スキームが理解できました。商品だけでなく、観光など他の点にも活かせるのは良いと思った。

### ◎活用度 3

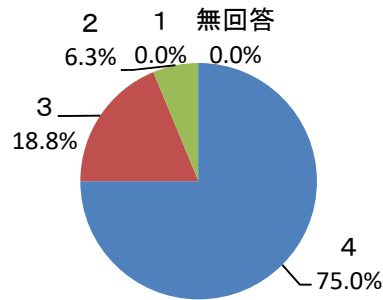
- ・ 様々な手法、切口から地域づくりを見ることにつながる知識を得ることができました。
- ・ 目標達成のための数字（定量）よりもどうよくなるのか（定性）をしっかりと考え抜くことの重要性を学んだ。
- ・ コーチングについてお話しいただいてとても参考になりました。また、色々な体験談が楽しくもっとお話をききたかったです。
- ・ 商品開発やコミュニケーション方法など他の先生とは違う角度で教えていただいた。
- ・ 商品開発に携わる際、また、広報を行う際、ターゲットや5W1Hを意識して行くと上手にできることを教えていただき、実践できそうだと思います。

### ◎活用度 2

- ・ くつろいだ環境を整えていただき、理解しやすい語りかけで、もう少し時間をいただきお話ができればと思いました。

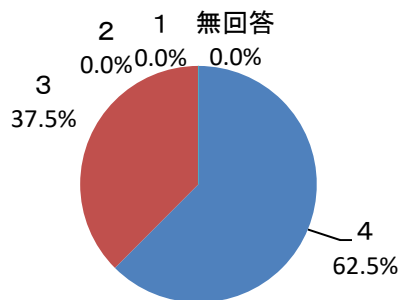
N= 16

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	12	75.0%
	3	3	18.8%
	2	1	6.3%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		16	100.0%



N= 16

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	10	62.5%
	3	6	37.5%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		16	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 小さなきっかけからアイデアがうかび、そこからつながりが生まれ継続できていることに驚きと感動があった。
- ・ 色々な話がきけてヒントをもらえました。
- ・ データの見せ方で人を納得させるというお話が大変参考になりました。
- ・ 非常にパワフルな講義でした。一つのつながりから色々なところにつながりが発展していくことを学びました。目的意識を持つことの重要性も学びました。
- ・ 仕事は公私をきちんと切り離し、自治体職員の立場で携わらなければならないもの、と思い込んでいたが、前神先生の柔軟な考え方を知り、自分も一住民という立場で考えることも大切なんだと気付かされた。
- ・ 同じ公務員と思えないほどのパワフルな人で、福祉、地域づくりのエキスパート。話はおもしろく、マエガミキャン最高！もうすこし、狭まぐ、深い話が聞きたいです。
- ・ 行政職員と言うことで、自分と似た立場にいる方の活動を聞き、地域と行政の関わり方がよくわかりました。今、自分が抱えている課題についても相談することができ、今回得たことを活用していきたいです。
- ・ 行政マンはプレイヤーになれない事は無い。自分の地域で、一住民として、できる事をできるだけ関わっていこうと思います。今も地域で行っている事業もムダと思わず、側面的にも見ていこうと思います。
- ・ ブランド=信頼、ブランドはつくるものではないというお話からはじまり、本当に色々勉強になりました。自分が地域の住民だという目線を忘れずに今後とりくんでいきたいです。先生

に会えお話できて元気をもらいました（余談）。

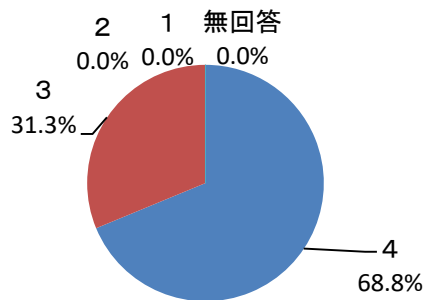
- ・ 行政と地域が連携し、すべて行政主導でやるのではなく、地域住民主導でやっていくことも大切だと思った。また地域づくりには時間がかかるということを学んだ。

### ◎活用度 3

- ・ 実際に公務員で行政職員としてお仕事されている講師のお話は、大変参考になると同時に、そのアイデアと行動力に驚いた。
- ・ 一つ一つの取組の足場がわからずにジェットコースターのような事例紹介でした！飯盛先生の講義内容のエッセンスとつながる部分が多く、相乗効果で理解が深まりました。
- ・ 地元の話し合いの中で、いろいろな意見が来て、それを実施しているのはいい取組みだと思う。今やっていることに対して視点を変えることは重要だと感じた。
- ・ 思考のカルチャーショックでした。介護予防について専門職のかかわりについて、最もアドバイスを頂きたかったところでした。色々な考え方があるのだとつくづく感じました。我が町にもどり再考したいと思います。
- ・ 「できない」思考から「何ができるか」思考に切り替えなければいけないと感じました。
- ・ 先生が行政職員と言う事もあり、講義内容が身近に感じました。仕事上ご苦労はあると思いますが、前神先生のように楽しく仕事をしたいと思いました。

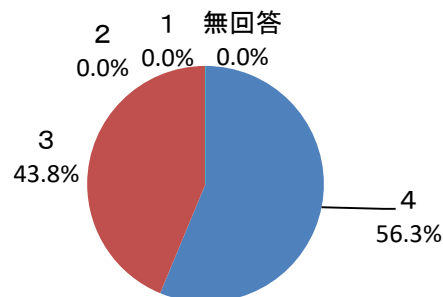
N= 16

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	11	68.8%
	3	5	31.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		16	100.0%



N= 16

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	9	56.3%
	3	7	43.8%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		16	100.0%



<感想>

◎活用度 4

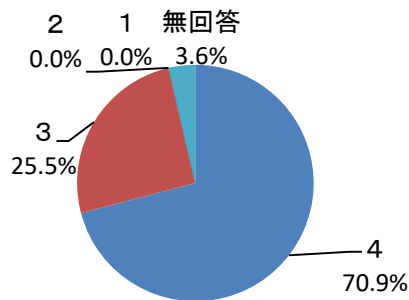
- ・ ICTは、思いの外容易で安価にできるのだと教わった。学びとったことをぜひ実せんしていきたいと考える。
- ・ ICTは、あらゆる分野で活用できることが分かった。また、今までやったことのない取組を実現できる可能性を持っているのが ICT であると感じた。
- ・ ITは時代の流れ、でも高価メンテも必要なので…と思っていたが、時代は進化していると改めて感じた。
- ・ ICTを地域づくりにどう組み込んでいくかわからなかったが、道すじが見えた気がします。まずは自分からできることをコツコツ始めていきたいと思う。
- ・ ITの活用は、仕事をやりやすくするためではなく、多くの人に必要な情報を届けるために必要なツールだと感じました。
- ・ 様々な事例を聞くことで、ITを身近に前向きに捉えることができた。ITを地域活性に利活用するアイデアはもっと柔軟に考えられればよかった。
- ・ 地域活性化に ICTはどう活かせるのか。自分の地域と合うかは分からないが、様々な案をメンバーで考えることでいろんな可能性を感じた。
- ・ ICTは日々進化している。自分が知らないことがたくさんあり、知っているだけで考えられる施策が多くあると考えた。アンテナを高くしていきたい。
- ・ 具体的なアクションプランが明確になりました。IT×子供＝地域再生やります！

### ◎活用度 3

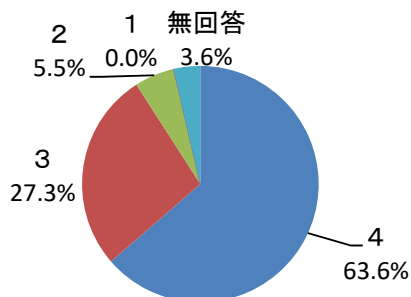
- ・ IT を使ってデータを集積し分析することでわかることがあり、これを様々な分野で活用すれば、業務改善、観光施策、ビジネスなどに有効であることが認識できました。
- ・ お話が大変わかりやすく、聞き入ってしまいました。私が勉強不足だったため、グループワークで発言できませんでしたが、これから勉強し、またお話を聞かせていただければと思います。
- ・ 最近 ICT 技術のとりいれが話題になっているが、実際にとり入れる際は慎重になる必要があると感じました。
- ・ 牧野先生のお話は ICT を活用していく第一歩として、非常に参考になった。前半だけしかお話をきくことができなかつたのが残念である。
- ・ とても楽しい時間でした。自分には苦手な分野でしたが、わかりやすくご説明頂き、ぜひ帰ってから実践してみようと思っています。
- ・ IT と地域活性化がどう結びつくか、想像もつかなかつたですが、IT を利用して、便利さや効率をあげ、それで地域の活性化に繋げるといふ話を伺い、感銘を受けました。IT の専門家でなくても、ある程度詳しい人であれば良いといふお話も伺えて良かったです。



		N= 55	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	39	70.9%
	3	14	25.5%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	2	3.6%
合計		55	100.0%



		N= 55	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	35	63.6%
	3	15	27.3%
	2	3	5.5%
	1	0	0.0%
	無回答	2	3.6%
合計		55	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 地域づくりに関する勉強会を職場で実施したい。
- ・ 同じ立場である行政マンとして共感できる部分がたくさんあった。しかし、同じ職業でありながらも、自分とのモチベーションや行動力の差が歴然としていて、ぜひ見習いたいと思った。彼女のようにできなくても、自分のできることを見つけて実践したいと思う。
- ・ 地域づくりを行う上で立ち足る悩みや困難を乗り越えていく方法を学べて大変よかったです。
- ・ 実際にいろいろやってみる行動力がすばらしいと思った。自分はささえりさんとは逆で、地域から出たことがないので、地域のイメージが固まりすぎているのではないかと感じた。もっと地域の現実を見てみようと思う。
- ・ 同じ自治体職員として苦労していること、頑張っていることがよくわかり、参考になった。
- ・ 社会教育をやる人間にとって重要な要素がつまっていると感じました。仕事とプライベートの時間を上手く使うということは簡単なようで難しいことですが、佐々木さんのように日々努力したいと思います。
- ・ 等身大で公務員として、一住民として前向きに頑張っているささえりさんの姿にとっても感銘を受けた。仕事を進めていく上で住民の方からの理解や協力はとても重要で、それはやはり自分から地域に飛び込んで得ていくものなんだなと改めて感じた。
- ・ 職場でミーティングするときにホワイトボードを常に使用しており、グラフィックファシリテーションはぜひ導入して活かしたい。
- ・ インドアな人間だったのですが佐々木さんのようにプライベートでも地域に関わってみよう

思いました。

- ・ まさに今の自分の立場、境遇で悩んでいたことへのヒントをいただいた講義だった。
- ・ 年齢や役職は関係ない。本当に私もそう思います。後輩や職場仲間を巻き込み、研修で学んだことを実践していることに感心しました。
- ・ 地域に飛び出し、地元のことを良く知ること。市の人ではなく、一人の人間として勝負している所が参考になりました。また、自分の持つ力を活用することも大切だと感じました。
- ・ 仕事外の時間の中でまちの中に市民としてどんどん飛び込む機会を自分から見つけることの大切さを感じました。
- ・ 楽しみを見つけながら仕事をしているという感じが伝わってきた。自分も以前の職場で思っていたように楽しみながら仕事をしようと思う。
- ・ 活発に動いていてスゴいなあと思いました。マネできるところからやっていきます
- ・ 同じ立場の職員の経験談と言うことで、すんなり受け止めることができました。講師の方々はすごい人ばかりで、地域に出ていくのも、何かを企画するのも積極的な気持ちだけでやっているのかと思っていましたが、失敗したら…など、ためらうこともあるのだと知り、勇気づけられました。
- ・ 地域づくりは長距離走というのが心に響きました。「職員」としてではなく「個人」として地域の方々と接することができるように努めたいです。
- ・ 共感できることが多く、内容も非常にわかりやすい、とても有意義なものでした。
- ・ 住民と地域をつなぐファシリテーターの手法を詳しく学べた。
- ・ 実践力がすばらしい、地域に飛び出す公務員として、共にならばっていきたいと思います。実践している姿、全てに共感しました。
- ・ 若い方で、行動力があって、自分をもっともっと動かないといけないとあらためて考えさせられた。
- ・ 「自分がどうなりたいか」と「どんな地域にしたいか」をしっかりとつなげて考えている姿に感動した。行政職員でもあり市民でもある。まずはもっと市のことを知らないといけない。
- ・ できないのではなく、できるという発想を持って行動することが大切だと思いました。
- ・ どんどん現場に出て地域にとけこみながらイキイキと活躍されているササエリさんが印象的でした。
- ・ まずは、できることから始める。とても前向きな方で、とても憧れました。私もまずはできることから第一歩をすすめてみようと思えることができました。
- ・ 大学生とまちづくりに取り組む手法が学べ大変参考になった。
- ・ ファシリテーションについて、全てを真似することは難しいが、地域住民との会議の場で、ホワイトボードを利用しつつ、少しでも真似していきたい。
- ・ 4月に異動して、ここまで取組まれているのはすごいと思う。地域の人とのつながりは、現場に行かないと得ることはできないので、帰ってから実践していきたい。
- ・ 地域に出ると見えてくる事や共感者に出合ふことに共感出来る。もっと出よう。具体的に自分の目標を持って、イメージを持って。
- ・ ファシリテーショングラフィックすばらしい。ぜひ業務に取り入れたい。

- ・ 地域づくりに積極的に取り組み、そしてそれを心から楽しまれているようすがよく分かった。私も地域の声に耳を傾け、地域全体で地域づくりを行っていきたい。
- ・ ファシリテーションのことを初めて知った。支所に勤務しているながら、本庁の職員をまきこんでの研修会はすばらしいと思った。
- ・ プライベートな時間を活用して地域に飛び込み、見たいもの、学びたいことに貪欲になること。その学びと気づきをアクションにつなげることが大切だと思った。
- ・ 等身大の発表で、いずれ自分もぶち当たるだろうカベがあると思いました。そこを乗り越えていく術はとても参考になりました。

### ◎活用度 3

- ・ 自分に何ができるか…どうなりたいか、考えなければならない時点で私、職員として、怠慢です。少しがんばってみます。
- ・ とってもわかりやすく共感できることが多かったです。
- ・ 仕事とプライベートをうまく融合させることでモチベーションを高めアクティブに行動していると感じた。
- ・ 一公務員として非常に尊敬します。自らのビジョンを持ちゴールを目指すことの重要性を再確認しました。
- ・ 基本を重視し、小さなことから積み重ねていくこと、それらを改めて感じました。
- ・ モチベーションの保ち方や、地域へ関わるきっかけの作り方が参考になった。
- ・ 同世代として刺激を受けました。自分のできる小さなことから実践し、それを継続していくことが大切なのだと学びました。
- ・ とっても5年目とは思えないしっかりとした内容のお話でした。私にもできそうな気にさせて頂きました。
- ・ 組織人としてできないことはあるが、組織の中で仲間を見つけることはできる。私も動こうと思った。
- ・ 実践として、目標をもって積極的に取り組まれていると思いました。質問として、佐々木さんが異動になった場合の現職務の引継や業務の質の確保についてのお考えをおしえて頂きたかったです。
- ・ 様々なご苦勞がありながらモチベーションを保って頑張っておられる姿に元気をいただきました。
- ・ 積極的な姿勢に深く感銘を受けました。まず自分が地域に入ることの重要性を認識しました。
- ・ 個人の思いと組織を動かすためのポイントを学びました。きっかけは情熱、その後は継続！！

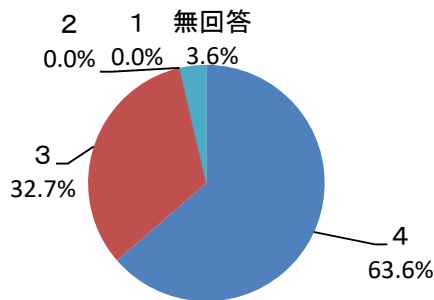
### ◎活用度 2

- ・ 自ら進んで地域に飛び込んでいく姿勢は見習うところがあるとも感じました。
- ・ モチベーションの持ち方や、ビジョンを明確にしているところがすばらしかった。若いささえりさんが荒削りな中でも芯がある人だから地域に入っていけるのかなと思った。地域に必要なスキルを持っているスキルUPしているのはすばらしい。みならいたい。

- ・ 凄くモチベーションがある、分かりやすい講義であったと思います。すぐに自分の業務に活かせることはないですが、このように頑張っている行政実務者がいるという紹介はできるのでとても参考になりました。

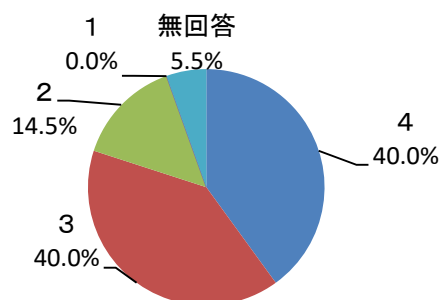
N= 55

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	35	63.6%
	3	18	32.7%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	2	3.6%
合計		55	100.0%



N= 55

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	22	40.0%
	3	22	40.0%
	2	8	14.5%
	1	0	0.0%
	無回答	3	5.5%
合計		55	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 人財塾受講により、意識を変え、学び感じたことを仕事や地域活動で実践されていることがすばらしいと思う。地域の特性をよく理解されているとともに、自治制度や情勢もよく学ばれているのだと感じた。
- ・ どんなに苦しい状況でもどんなに失敗しても最後までやりぬくことの大切さを改めて実感しました。
- ・ どこの部署でも、基本的な考え方は同じだと思った。「あきらめない」「やってみる」等、いつでも自分の気持ちひとつで始められることだと思う。
- ・ 失敗事例も織り交ぜながら発表は同じ自治体職員として安心できる部分があり、やる気を貰った。無いものは作る、その発想で自分も頑張ろうと思った。
- ・ 配布資料とスライド表示の使い分けと説明が分かりやすかった！文字少なく、キーワード表示のスライドと、説明内容がマッチしていた！「情熱」と「想い」が伝わりました！
- ・ 移住・定住について、ゼロからのスタートをして、苦労話や失敗談をテンポよく聞けて、どんどん話が心に入ってきた。
- ・ 面白い人だなと。どんな仕事も最終的にはポジティブに楽しんでやられていると感じました。そういった前向きなパワーが何事にも必要だと思います。
- ・ 失敗談を混じえたプログラムで、とても面白かったです。移住定住の担当となったら、必ず活用できる内容だと思いましたし、プレゼンする方法などは、すぐにでも取り入れていきたいと思いました。
- ・ パワーポイントのスライドがとても面白く、取り組みも素晴らしいと思いました。

- ・ 住民に対する具体的なアプローチ方法やスタンス、考え方等が大変参考になった。
- ・ 移住政策の受け入れからフォローアップまで、目くばりが届いていると感じた。移住者は、小さな決断の積み重ねとの事で、その後押しができる様施策に取り組んでいく。
- ・ 移住対策は大変だと思うが進んでいるところだと思うので少しでもまねしてみたいと思いました。
- ・ プレゼンテーションがすばらしかったです。また楽しく仕事をされていると思いました。
- ・ プレゼンテーションが聞きとりやすく、もっと深くお話をおききしたかったです。
- ・ 移住相談者をしっかり分析することが重要だと感じた。ただの変な人のひとくくりでは、ダメだと思った。
- ・ 空き家の活用と移住について、支援センターを立ち上げ、窓口を一本化していることは当市でも取り組みたいと思った。
- ・ 人を冷静に分析出来るスキルは重要だと感じる。今まで意識しなくて人財を逃してしまったかも、反省。
- ・ 気負いすぎずとにかく動いてみる行動力に感心しました。そして話が最高におもしろかったです。
- ・ まずは地域の課題を見つけ、それを分析すること、そしてとにかくやってみるということの大事さを学んだ。プレゼンも工夫されていて面白かった。
- ・ とてもわかりやすかった。安富さんの苦勞は本人しかわからないと思うが、周りの人からの意見に自問自答があったと思う。
- ・ 空き家の交渉における注意点を失敗談を含めた（空き家という言葉使わない）説明が具体的に分かりやすかった。
- ・ 実際に空き家問題にとりくみはじめているので、とても参考になりました。

### ◎活用度 3

- ・ 講師の方の行動力に感銘を受けました
- ・ 人財塾の経験を現場で活かしていること、「何年まで」と目標立てることが参考になった。
- ・ 移住支援中心のお話でしたが、「遊び仕事」が地域に入る企画になる、などの話は大変参考になりました。社会教育の現場でもぜひ活かしたいと思います。
- ・ 強い思いを確実に実現しているところに非常に感銘を受けた。
- ・ 電話では拒絶されたが、直接会って話をすると許可が貰えたという事例は大変参考になりました。
- ・ 空き家を所管している部署なので、非常に参考になりました。動かないと始まらないことが再認識できました。
- ・ 今年度移住定住支援に本格的に取り組み始めたため、ノンフィクションのエピソードは大変参考になった。「まずはやってみる」を実践したい。
- ・ 動きつづける大切さを学びました。
- ・ 非常にたのしく受講させていただきました。
- ・ 熱のある取組みをされてることが伝わってきました。

- ・ 移住促進のイメージ・対処が学べた。
- ・ 1件1件丁寧に対応をして、村と移住者双方にとって良い結果となるように努力していることが素晴らしい。失敗や苦しいことをユーモアを交えてお話しされ、課題をやわらかく伝えることも必要だと感じた。
- ・ プレゼンに聞き入ってしまいました。佐那河内村を知ることができて良かったです。
- ・ 都会含め、他の土地から移住してもらうにはとにかく話を聞いて、そのケースに合わせた対応が必要と感じた。どんな人とも、寄り添って話をしていきたい。
- ・ 公務員の枠にとらわれずに地域活動を実践されている姿に感銘を受けました。
- ・ 行政マンに、こんなに力の抜けた講師がおられたのが驚きでした。力が抜けた中に信頼と優しさにあふれた地域づくりにビックリでした。
- ・ プレゼン力って大切だと感じました。ひと、権利・記憶をつなぎたい。まさにふるさとを守ることだと思い、大切なことだと思いました。
- ・ 70分の時間の中、取り組みの実際についてお話しをきくことができ、よかったです。たしかに、うまくいくことばかりではなく、立ち止まって考えることも多いのが実情です。私も同様です。何か1つでも動き出すことの大切さを改めて実感しました。
- ・ 定住促進という新規事業のたちあげで、苦勞したことや、失敗談があり、その失敗談からの対応したことの話を聞いて勉強になった。
- ・ 失敗してもあきらめない重要性、信頼されるためにはまず実践するということが理解できました。
- ・ 人口の少ない村ならではの悩みも多くあると思う。その中で長野に活かせる部分は人との関わり方とか移住相続での対応だと思う。この点は参考にしていきたいと思います。

### ◎活用度2

- ・ プレゼンが素晴らしいです。合併しないで続けるためにはトップダウンのミッションだと思います。内部評価が低いとは、残念です。
- ・ 移住促進とは違う部署にいたので、この研修で移住について学ぶことができました。
- ・ 自分の業務と直接は結びつく部分は少なかったものの、他都市の取り込み事例として、拝聴させていただきました。
- ・ プレゼンがわかりやすく、楽しめた。今回の研修のシメにふさわしく、情ねつがったわってきました。自分も後々語れるようになりたいと思います。
- ・ 「公務員だからできない」とは言わない。という言葉が良かった。できないとはなるべく言わずに業務を進めていきたい。
- ・ とにかくすごく楽しくてお話しにひきこまれました！行動力を見習いたいです。
- ・ とても強烈な内容でした。自らの評価は低い気がしますが、やっている内容は濃くて勉強になることが多かったです。パワポの使い方も上手で、どこで学んだか気になりました。

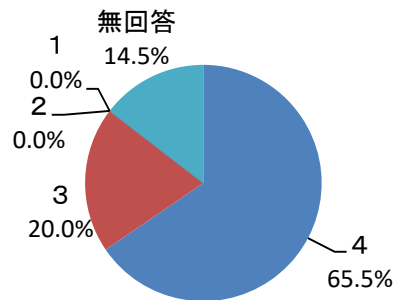
### ◎活用度無回答

- ・ プレゼンが楽しくききやすかった。移住・定住の話は初めてきいて自分が担当になった場合の参考になります。

【成果発表と振り返り】

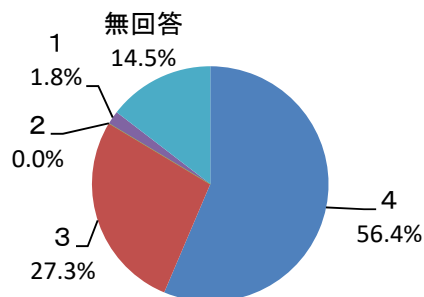
N= 55

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	36	65.5%
	3	11	20.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	8	14.5%
合計		55	100.0%



N= 55

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	31	56.4%
	3	15	27.3%
	2	0	0.0%
	1	1	1.8%
	無回答	8	14.5%
合計		55	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 研修を通して行動できるエネルギーをいただき、まず、自分にできることをやってみようという決意を固めることができた。
- ・ 他の方々の行動宣言が具体的で良かった。それぞれの職場でがんばりたいと思えた。
- ・ 手あげ方式で5名の方素晴らしい宣言でした！やる気少しでした。
- ・ プレゼンがすばらしく実現したらうれしく思います。自分も何か一歩ふみだしたいです。
- ・ 行動宣言を書いたこと、発表を聞いたことでモチベーションが更に上がった。
- ・ 皆の思いを聞いて参考になった。
- ・ 自分自身の内側に入り込み自己分析と確認が出来た。
- ・ 5人の中で一番小さな一歩となってしまいましたが、発表できる第1歩踏み出すことができましたありがとうございました。
- ・ 仲間の第一歩を見させてもらいました。自分も一歩を踏めるよう努めたい。
- ・ 同じ時間を過ごした仲間の行動宣言は大変参考になった。
- ・ 行動宣言で具体的に書きおこせて、はっきりしました。また、沢山のエネルギー（これからやるべきこと）をいただきました。ありがとうございました。
- ・ 自分だけでは気付けない点や受けとめ方があることを知ることができました。
- ・ 参加者のねついが伝わってきました。自分も今回の宣言を必ず実行したいと思います。
- ・ 他の受講生の活動宣言を聞くことで、大変刺激になりました。
- ・ 発表させていただいたことで物事がぐっと「自分事」になりました。
- ・ 三日間、色々と貴重な講義を聞いた中で、最も重要と思える点を整理することができた。



- ・ 学んだ事のポイント、キーワードを復習する事ができた。「宣言を現実に」取り込みます。
- ・ これからは実際に動くのみ。一步でも半歩でも前に出ようと思う。
- ・ 発表はしなかったが宣言をぜひ実行したい。
- ・ みなさんの今回の研修を受けての決意表明も参考になり、私自身もどのようなことができるか具体的に考えられてよかったです。
- ・ まちづくりに対する研修生のあつい気持ちを感じ、自分のモチベーションがあがった。
- ・ すぐに行動している方の多さにおどろきと刺激をもらえた。
- ・ 3日間の研修は、新しい情報や地域づくりの取り組みの実例を知ることにより自問自答の日々でもありました。振り返りもでき、明日から自分の仕事への方向性もゆれていた思いから確信したものにへかえることができました。
- ・ みなさんの熱い志をきいてやる気が出ました。
- ・ 発表された方々のお話をきいて、具体的な宣言をされていたので感心した。私も自分の宣言どおり実行していきたい。
- ・ 非常に熱い思いを聞くことができてよかったです。
- ・ 吉田さんの発表が最高でした。
- ・ 知行合一。「思い」と「行動」を共にできるよう取りくみたい。
- ・ 熱い思いをもった人との出会いと一晩でまとめた提案書のプレゼンが出来有意義でした。

### ◎活用度 3

- ・ 皆さんのプレゼン能力にただただ感銘を受けました。
- ・ かなり志が高い人が多く参考になった。
- ・ 発表された5名の方含め全く異なる宣言であったため大変勉強になりました。
- ・ 行動宣言をしたので、動いていきます。
- ・ 行動宣言、個々に興味深いものでした。刺激を受けることができました。
- ・ 今回の研修の総まとめとして、自分の考えを体系化する機会だった。
- ・ 講義・事例等大変勉強になりました。行動宣言、実行できるようにがんばりたい。
- ・ 同じ研修を受けたメンバーの、行動宣言を聞くことで、自身のモチベーションの向上にもつながり良かった。
- ・ 要点よくまとめて発表される方のスピーチには刺激を受けました。
- ・ いろんなことを詰め込みすぎて、すぐは整理できていないですが、今回学んだことは忘れないうちに1つでも当市に取り入れたいです。
- ・ 今後3年間の未来を思い浮かべた。具体化、実行していきたい。
- ・ 発表された方々の行動計画が高くほんとにすばらしいと感じた。
- ・ 発表してくれた5名の方はとても刺激になりました。一步踏み出す勇気が出ました。

### ◎活用度 1

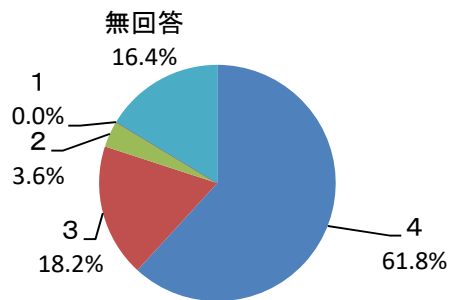
- ・ みんなの意気込みを聞いて、強いやる気がでてきました。

◎活用度無回答

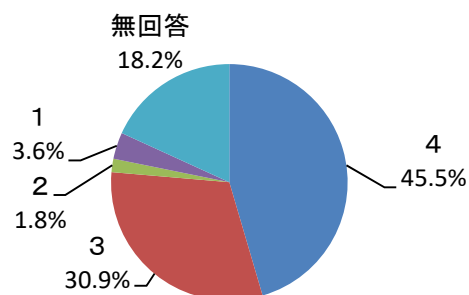
- ・ 発表者の方々の課題設定や、どうアイデア行動に結びつくのかを知れて、おもしろかった。
- ・ あんな実践者になりたい！

【グループトーク】

		N= 55	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	34	61.8%
	3	10	18.2%
	2	2	3.6%
	1	0	0.0%
	無回答	9	16.4%
合計		55	100.0%



		N= 55	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	25	45.5%
	3	17	30.9%
	2	1	1.8%
	1	2	3.6%
	無回答	10	18.2%
合計		55	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ 皆さん、積極的にトークされることに刺激を受けました。
- ・ その日の思ったこと・感じたことを振り返ることが頭の中の整理につながり、また、他の人たちの考えを聞いたので大変よかったです。
- ・ 他の方の考え方、感じ方など、同じ講義を受けても、とらえ方が人それぞれで、参考になった。
- ・ 自治体の規模もちがう職員間の話し合いはとても参考になりました。
- ・ 自分だけでは整理できていなかった講義内容が、グループトークでうまく整理され納得することができました。他の自治体の方のお話が聞いたことも大変参考になりました。
- ・ 自分と違う考え方や見方に気づかされたりハッとさせられることも多くとても良かった。又、発表の場では自分の中で咀嚼できていなかった事を適確に表現されていたりして理解が深まった。
- ・ 講義に対しての各自の考えが異なるため、情報共有できてよかった。
- ・ 1日目より2日目の方がより楽しく話したように感じました。交流会のおかげでしょうか？
- ・ 共に受講した仲間の感じ方はそれぞれで、講義の補完として有意義でした。
- ・ 夕・朝と各日2回のグループトークで、意見の共有や新たな気づきがあり、とてもよかった。
- ・ アウトプットの一環として他自治体の方とグループトークすることで実戦の訓練を行うことができました。
- ・ 多くの人と話す事ができて良い機会になりました。良いシゲキをもらいました。
- ・ 共有できてうれしかったです。ありがとうございました。
- ・ 直接対話のあとのグループトークなどは、自分が受けられなかった先生の話を受講生を通して

間接的にでも聞くことができ、良い機会でした。

- ・ 様々な意見に触れることができ、自分では気付かなかった点も、拾うことができました。
- ・ 同じ受講生同士で意見交換をすることで、重要事項の確認をすることができた。
- ・ 1人1人が理解を整理する場になってよかった。
- ・ それぞれ考えや思いは違うけど、目指しているところは一緒だと感じました。
- ・ 特に直接対話は全ての講師のお話を聞くことができなかつたので、間接体験ができよかった。
- ・ 他の研修生の考えを確認できたことや意見交換ができてよかったです。
- ・ その日あったことを語ることで、自分とはちがう考えや、メンバーとの交流を図ることができた。
- ・ 研修内容について、研修生の様々な考え方を聞き、視野が広がった。
- ・ 多くの意見を共有できてよかった。
- ・ 様々な立場の人と話し、それぞれの違った思いを持っていることや、各人のゴールはちがえど、目標は同じであることを共有できた。
- ・ 他の参加者の声をきいて、改めて講義をふり返ることのできる良い時間だった。全体での共有もあり、様々な意見・感想をきけて良かった。

### ◎活用度3

- ・ 同じ講話を聴いても、それぞれの配属や立場で、響くポイントが違うところもあり、いろんな視点があることを気づかされた。その日に一度振り返ることや、みんなの話を聞くことで、内容が整理されるので有意義であった。
- ・ 講義の感想を共有することで新たな気づきがあったり、つながりもできてよかった。
- ・ 自分と全く異なる視点で講義内容を受けの方がいるため、様々な価値観を知る良い機会でした。
- ・ 短時間でまとめる能力が足りないと痛感した。
- ・ 地方と首都圏では課題にも色々差があると感じました。根本の思いや人間力は同じだと思うので、皆で頑張っていきたいと感じました。
- ・ 所属した両班ともに班員に恵まれたため、有意義なグループトークができました。
- ・ 他自治体の方とお話をする機会もなかなかなく、その中でも全国の自治体職員とお話しできたのは有意義でした。
- ・ 同じ講義を聞いたメンバーで意識・意見を共有することで、自身のモチベーション向上につながった。
- ・ 他の受講生の方の意見を聞くことで、自分とは異なる着眼点に気づき、勉強になりました。
- ・ いろんな市町の方たちのお話や悩みが聞けて、共感する部分が多々あり、勉強になりました。
- ・ 研修内容の整理と、他の研修者の考え方や見方を知れて、参考になった。
- ・ グループ・トークする中でタイムリーに他の方の考え方をきくことができ、自分が気づかない視点をみつけることができました。メンバーが息子と同世代の方たちばかりで何となく落ちつける時間でもありました。
- ・ 学んだことをみんなで話しあい共有できたことはとても有意義でした。
- ・ 様々な考え方を聞くことができました。しかし、もう少し時間があつた方がいいのかなと思ひ

ました。

- ・ その日の振り返りは良いと思いますが、直接対話の途中でのグループワークは不要だと思った。
- ・ それぞれの学びを共有し、忘れてしまったアイデアを補完できた。有意義な時間でした！！

#### ◎活用度 2

- ・ やる意味があまり感じられなかった。

#### ◎活用度 1

- ・ 講義の後にすぐにふり返れたのは、知識の反すうには役立ちました。一方、講師との対話の間に入ると、連続性がないように思えたため、全ての講義の後に1回やれば良いかとも思いました。
- ・ この時間を使って講師の先生の話をもっと聞きたかった。

#### ◎活用度無回答

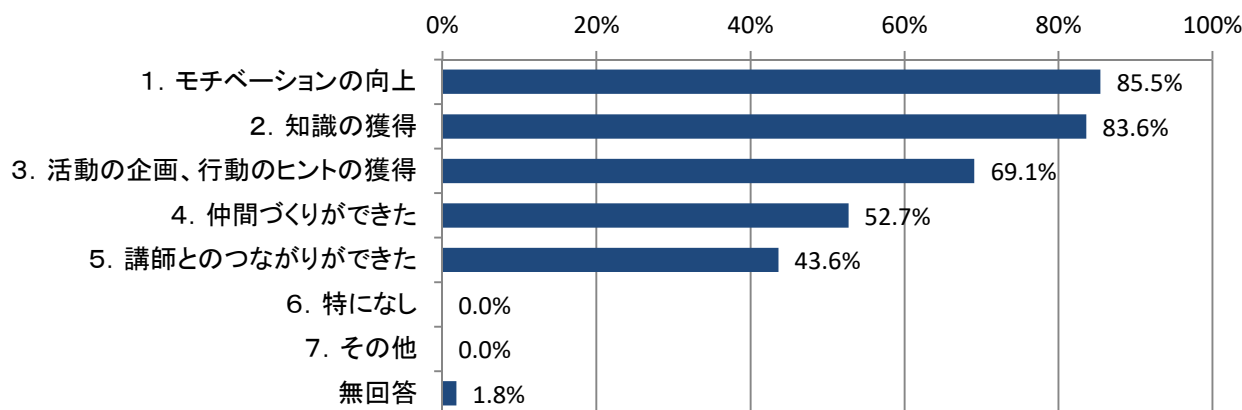
- ・ グループトークが毎回班が変わることにとまどいました。交流のため、でしょうか？
- ・ 情報共有する事ができた。様々な人と班で一緒になれたので良かった。
- ・ 1分間発表であったが、ちょうど良い時間と感じた。

(2) 研修全体について

①人財塾の良かった点についてお伺いします。下記の選択肢から該当するもの全てに○をつけてください。

N= 55

	回答数	%
1. モチベーションの向上	47	85.5%
2. 知識の獲得	46	83.6%
3. 活動の企画、行動のヒントの獲得	38	69.1%
4. 仲間づくりができた	29	52.7%
5. 講師とのつながりができた	24	43.6%
6. 特になし	0	0.0%
7. その他	0	0.0%
無回答	1	1.8%



<感想>

- ・ 一度の研修でこれだけ中身の濃いお話が聞ける機会はないので、良かったです。ただ、期間が短いので、「仲間づくり」は少し難しかったです。
- ・ 初日は不安でいっぱいでしたが、講師の先生方の話にもたびたび出てきた「まず1歩を踏み出そう」という言葉で自信を持つことができました。
- ・ 「何かしなければ」と思えました。自分のビジョンを整理してみたいです。
- ・ 他市町の人たちとつながることができ、それぞれにある問題を知ることができました。多くの事を持ちかえり、今後の業務にいかしたいと思います。
- ・ 数年後の町田市がこうなっているだろうという想像をしながら既に取り組みをされている方々のお話が聞けて仕事を見直すきっかけ作りができました。
- ・ 今回の研修で、様々な事例を知ることができ、よい刺激となった。
- ・ 豊重さんの努力、苦勞のお話が本当に心に残りました。地域づくりは簡単ではない。でも、一歩ずつ踏み出していかなければならないと思いました。
- ・ 他自治体や総務省、出向中の方ともお話ができ。
- ・ 講師の方のバランスの良さがあり、色々な視点での考えや学びを得ることができました。今後、

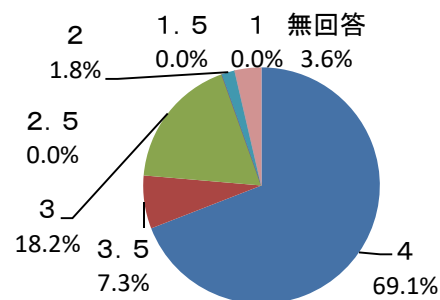
何ができるか常に考えアンテナをはっていきたいです。今まで考えてきた事や実行してきた事が誤りではなかったと自信がつけましたし、足りない所は色々と学ぶことができ、熟成できた。

- ・ 現場で実際に業務を実施している方の色々なご意見、実施してきた事を伺えて大変勉強になりました。
- ・ 地域子供塾や地域再生に IT といった今までに私の頭の中になかった手法を学べ、実践まで行けるイメージができました。玉沖さんや牧野さんといった講師との関係もできた。

②人財塾を受講したことにより、今後、業務又は業務外で地域づくりに関する活動を新たに又は、継続して行っていききたいと思うようになりましたか？

N= 55

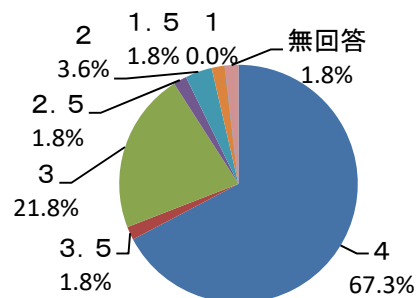
		回答数	%	
↑ 思った	4	38	69.1%	
	3.5	4	7.3%	
	3	10	18.2%	
	2.5	0	0.0%	
	↓ 思わない	2	1	1.8%
		1.5	0	0.0%
		1	0	0.0%
無回答		2	3.6%	
合計		55	100.0%	



③研修全体の進め方・運営についてどのようにお感じになりましたか？

N= 55

		回答数	%	
↑ 良かった	4	37	67.3%	
	3.5	1	1.8%	
	3	12	21.8%	
	2.5	1	1.8%	
	↓ 良くなかった	2	2	3.6%
		1.5	1	1.8%
		1	0	0.0%
無回答		1	1.8%	
合計		55	100.0%	



④その他研修に関して改善点・お気づきの点をお聞かせください。

[プログラム、講義]

- ・ 講師との直接対話Ⅱ後半を食事の前にやってもらえたら。
- ・ 個人的であるが、3日間と短い期間であるため、もう少し長く研修をしたいと思った。講師の話がたくさん聞きたい。
- ・ 講師との直接対話について、もっと多くの方と対話をしたかった。また、対話の際に初めてお会いする講師についてはその方の活動内容の説明から始まるので対話の時間が短く残念だった。
- ・ 2日目の直接対話の前・後半は続けてやってほしかったです。
- ・ グループトーク・発表は無くてもよいと感じた。上記やその他の時間を減らし、直接対話の回数を増やしたらよいと思う。
- ・ 授業が延長した場合、トイレに行く時間がなかったのが、少し遅らせて次の授業に進んでもらいたいです。
- ・ 時間制約を強く感じたため、日数を増やしても良いのではないかと感じました。
- ・ 2日目の19:00~20:10は休みを入れずにつめた方が良かった。
- ・ 研修の最初の方で、まちづくりにおける行政の関わり方のパターンなどについて整理して示すような講義があれば、各自治体の方も自らの取り組み方をイメージでき、その後の講義が効果的になると思います。
- ・ 首都圏では状況が異なっていると思うので、首都圏版人財塾があるとより一層、首都圏の自治体職員も地域づくりに積極的に取り組むようになると思うので是非開催していただきたいとします。
- ・ 直接対話の時間は気兼ねなく講師の先生方に質問することができて大変有意義だった。
- ・ 2日目の直接対話の夕食時間は必要なかった。
- ・ 直接対話等は、もう少し少ない人数で対話ができるとじっくり話をするのができたと思う。
- ・ 講師との直接対話について、人数、距離間もよく、より集中して聞くことができたので良かった。ただ、3日間連続で様々な講義を聞いたため、話が混同、混乱してしまう部分もあった。
- ・ 全国各地から意欲あふれる受講生が集い、一緒に勉強ができ、とても刺激的でした。もう少し受講生同士が論議できる時間があれば良かったと思います。
- ・ 個性ある講師の先生方からのお話はとても興味深く、また楽しいものでした。もっと他市町とのグループトークの時間が欲しかったです。
- ・ 大変密度の濃い研修だった。講師との直接対話は時間的には調度良かったが、もっと他の方とも話してみたかった。
- ・ 2回目の直接対話の間が空くのは改善してほしいです。せっかくの熱が下がってしまうように感じました。
- ・ 2泊3日の研修は、参加しやすいと思いました。直接対話の方法はいろいろであると思います。受講生の思いを傾聴して頂くと受講生の悩みの軽減や前向きに思考することができることを実感しました。
- ・ 先生方のお話をもっと聞きたかったです。丁度、これくらいが良かったかもです。
- ・ 直接対話Ⅱの前半と後半の時間が空きすぎているのでもっと詰めて良いと思う。もしくはご飯



を後にしても良い。慌ただしさもありましたが、全体的に濃密な時間が過ごせました。ありがとうございました。

- ・ 講師陣には民間の方が多かったが、参加者に民間の人がいて、違う視点での交流が始まるともって会の意味合いが変わるし、地域も変わると思いました。

#### [会場]

- ・ ワイファイがあると助かります。
- ・ 教室が寒かったです…。
- ・ 施設について、案内人の配置など、配慮が行き届いているようです。広いゆえに多少配置関係がわかりにくい部分はありました。

#### [その他]

- ・ 特にありません。3日間ありがとうございました。
- ・ それぞれのお国自慢、すばらしいのですが、記憶に残せず、お顔も覚えられず大変失礼いたしました。
- ・ 特になし。(2件)
- ・ 今回は、各界で活躍されている著名な方々を講師として研修を実施していただき、その研修に参加できたことに感謝します。引き続き、当該研修を継続していただければと思います。ありがとうございました。
- ・ 事務局の方とも少しですがお話しできる時間があり楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ 1日目の懇親会が自己紹介で終わってしまい、あまり皆さんとお話しできなかったのが残念でした。
- ・ 2日目の講師との直接対話後に、講師との交流会をもう一度行いたかったと感じました。
- ・ 大変貴重な経験でした。ありがとうございました。
- ・ 事務局って大変ですよ。お疲れ様でした。ありがとうございました！！

(3) 今回の研修受講生を対象としたステップアップ研修として、どのようなことに取り組みたいですか？

**[知識・技術の習得を目指した研修]**

- ・ 自治体経営の視点に関する知識の習得。「ファシリテーション」の活用方法についての習得。
- ・ もっと制度についての理解を深める研修に参加したり実際に先進的に取りくんでいる市町村を視察に行きたいです。
- ・ 地域のことは地域で考える、と言うフレーズが何回か出てきたので、地域運営組組を学びたい。

**[実践的な研修]**

- ・ 実際に行った事例等を基にした地域づくりのシミュレーションを行ってみたい。
- ・ 集落再生の現場での実践研修。1週間～2週間、実際の現場での調査・分析、提案、実施までをロールプレイ。八王子でぜひやってください！別途連絡し提案します！

**[視察やフィールドワーク]**

- ・ もっと制度についての理解を深める研修に参加したり実際に先進的に取りくんでいる市町村を視察に行きたいです。
- ・ 今回の講師の活動場所でのフィールドワーク。
- ・ 視察見学。
- ・ 実際に地域づくりが行われている現地を見ながら、試行錯誤の経緯や周囲の雰囲気を感じてみたい。
- ・ 先進事例の視察に、機会があれば参加してみたいと思います。
- ・ フィールドワーク。
- ・ 現場（地域）での研修。
- ・ 事例の現地調査。
- ・ フィールドワークを行いたい。実際に講師の先生方がどのような活動をされているのか、目で見て、肌で感じ自分の財産にしたい。

**[活動報告会発表会]**

- ・ 数ヵ月後、数年後と継続的に報告できる活動事例の報告会をやってみたい。
- ・ 今後の活動を発表しあう。
- ・ 今回の研修や過去も含めて、受講したことをきっかけに業務等に取り入れた取り組みの事例を聞きたい。
- ・ 研修内容を生かした実践発表。

**[交流]**

- ・ OB・OG会等の開催。3日間ありがとうございました！

### [学んだことの実践活用]

- ・ 地域づくり実践者の方々のお話を直接聞くことができたのは本当によかった。実践者のことばは経験と実績に裏打ちされた説得力があり、みなさん必ず心に響くキャッチフレーズがあった。まちづくり活動を支援していく仕事をしている私にとっては、短い期間に数多くのことを学ばせていただき、有意義な研修で、まちづくりに取り組んでいる人は本当に地域のことを想っており、行政側としてもその思いや活動に対して真剣に答えていかなければならないと思った。まず、第一歩として様々な市民活動、地域活動に参加して現場のことを知り、人を覚えていくことをもっとやっつけていこうと思う。
- ・ 目くばり気くばり心くばりだまって1ヶ月くらい実践してみたい。
- ・ 自分のビジョンを整理することからはじめてみようと思います。入庁時の思いを形にしてみようと思いました。
- ・ まずは職場で今回の研修の内容を共有し、職員の意識啓発を行っていくとともに、自ら地域に出て、市民の方々と接していきたいと考えました。その際には一職員としてではなく、一個人として地域活動に参加したいと思います。
- ・ 地域と大学生の連携強化を計りたい。
- ・ 地域での実践です。必要な力をつけていきます。
- ・ まず今ある問題について、取材をし、情報を集めたいと思います。その情報を基に相手側の要求に対して何ができるか？できるだけたくさん、細かい情報をいろいろな方向から集め、じっくり地域づくりにつなげられる事業や対策を考えていきたいと思います。
- ・ 自分なりに、ここ数年で実施したい事業を検討しながら順次実行しているところです。迷いも多かったので1度1人でじっくり町づくりの基本を学び直したいと思い研修を受けました。町民と直接、対話したり活動することは重要ですし個人的に好きです。すぐには、効果は見えないと思っています。2020年と団塊世代が75才になる2025年に経過をまとめたいと思っています。3日間の研修、大変、お世話になりました。

### [その他]

- ・ 今回受講できなかった他の先生のお話も聞いてみたい。
- ・ 前回以降に受講された方も含めた意見交換。
- ・ 正直申し上げれば、現在の業務で平日・休日共にいっぱいいっぱいですので、今後、関われる機会があれば、その時に関わっていききたいと思います。
- ・ 行動発表の実践フォローがあると、学びと実践のサイクルが回り、人材育成が進むと思います。  
「行政×民間×NPO」と「学び×実践」のコラボレーションで相乗効果！！

## 参考資料 2. 全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修

### 1. 九州地域フォローアップセミナーチラシ

平成 29 年度

# 全国地域づくり人財塾

## 九州地域フォローアップセミナー

総務省の支援を受けて、「全国地域づくり人財塾」受講修了生を中心に地域づくりの実践を始められる方等の九州地域のフォローアップとして開催致します。「地域づくり人」としてのネットワークを構築すると共に、問題の共有をはかり課題解決の糸口として地域の活性化に寄与する人材を育てるものです。人財力活性化研究会の副座長で東京・八王子市で住民参加型の公園管理を行っている NPO フェージョン長池の富永講師と一緒に、地域活性化に活かせる公園活用についてグループワークで考え、皆さんの取組みのヒントにしたいと考えています。

地域づくり人財塾受講修了生を中心に開催致しますが、地域づくりの実践を考えている方、有志とのネットワークを構築したい方、実際に地域づくりに携わっている方も是非、御参加ください。

日時：平成 30 年 1 月 27 日（土）13:30～18:00

会場：三股町まち・ひと・しごと情報交流センター“あつまい”

（宮崎県北諸県郡三股町五本松 10 番地 6）

参加費：セミナー無料 ※研修会終了後に交流会を予定

（交流会費 ¥4,000）

対象者：全国地域づくり人財塾修了生及び地域づくりに興味のある方  
≪講師≫

NPO 法人 NPO フェージョン長池 会長

総務省人材力活性化研究会 副座長

総務省地域力創造アドバイザー

国土交通大学校 講師

内閣府地域活性化伝道師

#### ■メイン講師

東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンが、47歳で会社を辞めて、暮らしを支援する NPO 法人を設立。住宅管理支援事業、高度情報化支援事業等々の事業を行い、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組む。後継者育成にも専念し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。2017年8月にはeラーニング教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。“都市郊外”の新興住宅地で、既存住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践している。



富永 一夫

申し込み方法

メール、または FAX にて以下の事項を記載の上、お申込み下さい。

①氏名 ②所属 ③役職 ④連絡先（電話番号） ⑤交流会参加の有無

≪お申し込み・問い合わせ先≫

担当：宮崎県北諸県郡三股町役場企画商工課 笠島一郎

[ichirou-k@town.mimata.miyazaki.jp](mailto:ichirou-k@town.mimata.miyazaki.jp) TEL：0986-52-1114

《タイムスケジュール》

12:30～13:00	受付開始
13:00～13:05	開催挨拶及び講師紹介
13:05～13:10	講師挨拶
13:10～13:30	自己紹介タイム
13:30～13:45	三股町概要説明
13:45～15:00	長田地区〈椎八重公園〉※視察前後での休憩有
15:00～15:45	グループワーク1（地域住民に喜ばれる公園とは）
15:45～16:05	発表
16:05～16:15	《休憩》
16:15～17:00	グループワーク2（人の交流の起点になる公園活用方法）
17:00～17:20	発表
17:20～17:35	気付き共有と今後の展開
17:35～17:40	総評
17:40	閉会
18:00～20:00	懇親会

<b>氏名</b>	
<b>所属</b>	<b>役職</b>
<b>連絡先（電話番号）</b>	
<b>交流会（¥4,000.-）</b>	
<b>参加 ・ 不参加</b>	

FAX 送信先  
三股町役場 企画商工課  
0986-52-9762

参考資料3. 全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型）

1. 受講者アンケート・リーフレット

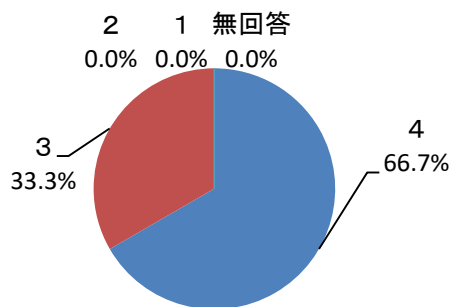
[平成 29 年 12 月 14 日～16 日]

■受講者アンケート

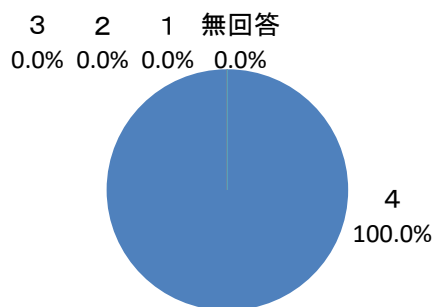
(1) 各プログラムに対する評価

【事前課題の発表】

<理解度>		N= 3	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	2	66.7%
	3	1	33.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



<活用度>		N= 3	
		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	3	100.0%
	3	0	0.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



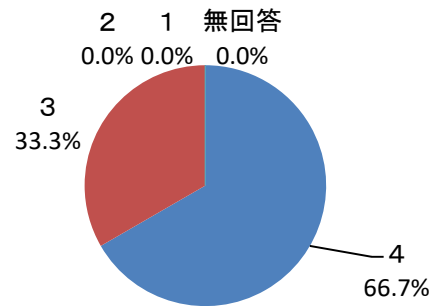
<感想>

◎活用度 4

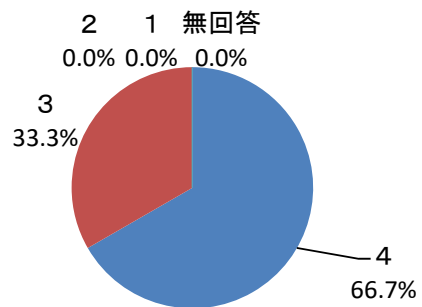
- ・ どのくらいの枚数とか分からなくて大変だった。
- ・ 単なる自己紹介だということを忘れて、量を多くもりこみすぎました。

【フィールドワーク①】土佐山アカデミー

		N= 3	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	2	66.7%
	3	1	33.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



		N= 3	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	2	66.7%
	3	1	33.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



<感想>

◎活用度 4

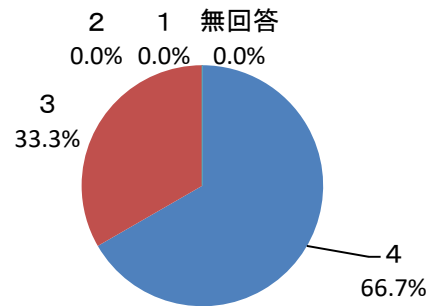
- ・ 地域との関わり方について非常に参考になりました。

◎活用度 3

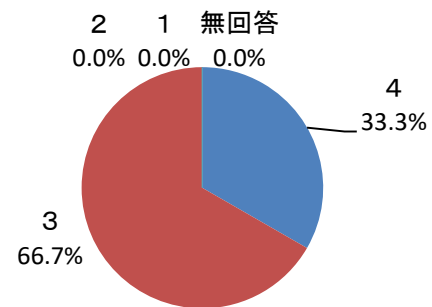
- ・ 小平市とは状況が違って驚きばかりだった。吉富さんの影響力は真似したくてもできないと思った。

【フィールドワーク②】ひろめ市場（自由見学）

		N= 3	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	2	66.7%
	3	1	33.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



		N= 3	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	1	33.3%
	3	2	66.7%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



<感想>

◎活用度 4

- ・ ストアプロモーションアプローチのスキルだけでは説明がつかない集客の神業を見た気がしました。

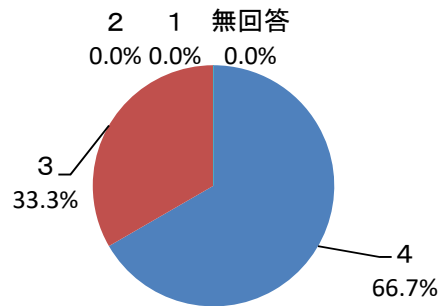
◎活用度 3

- ・ 東京では味わえない異和感が逆にこち良かった。高知の地でしかできないのだろうなと感じた。
- ・ 地元の施設を、違った視点で見ることにより、新たな発見がありました。

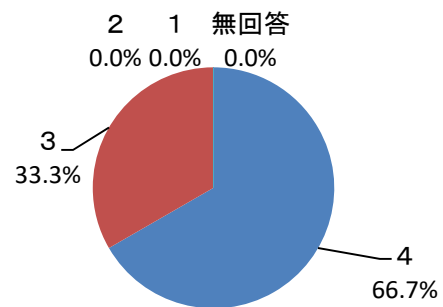


【フィールドワーク③】NPO 砂浜美術館

		N= 3	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	2	66.7%
	3	1	33.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



		N= 3	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	2	66.7%
	3	1	33.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



<感想>

◎活用度 4

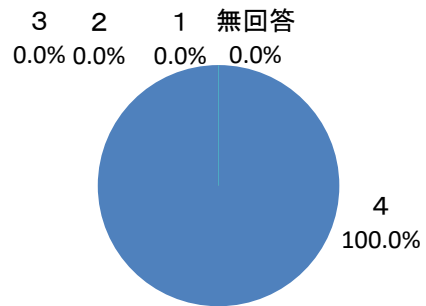
- ・ まったく同感！進んでいる方向はまちがってなかった！という確信がもてました。
- ・ 30年間活動を継続していく中で得られていたノウハウやコンセプトの重要性等、興味深い話が聞けました。

◎活用度 3

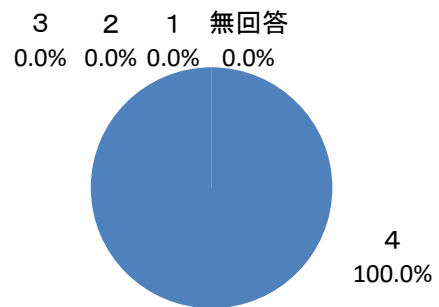
- ・ 哲学があって、そこに立ち帰る姿勢がぶれない理由の1つなのだと思った。自分は何のために行動するのか疑問を感じた。

【グループワーク・成果発表】

		N= 3	
<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	3	100.0%
	3	0	0.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



		N= 3	
<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	3	100.0%
	3	0	0.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



<感想>

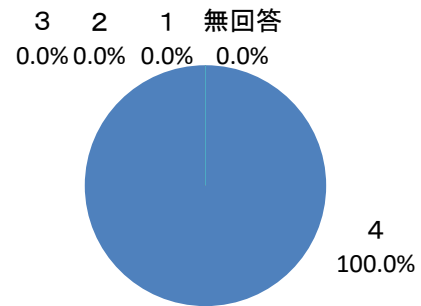
◎活用度 4

- ・ 模造紙に書くことで、具体性をおびた。書いていて楽しかったし、実現したいと思った。
- ・ 考え方の意識・課題の整理ができました。
- ・ 情報や思考の整理と、限られた時間内で発表内容をまとめる訓練になりました。

【行動宣言】

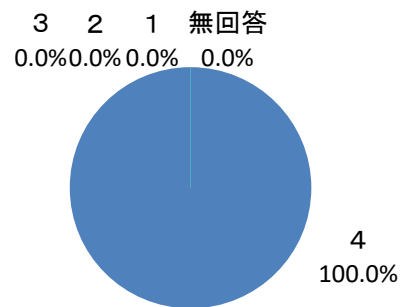
N= 3

<理解度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	3	100.0%
	3	0	0.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



N= 3

<活用度>		回答数	%
↑ 高 低 ↓	4	3	100.0%
	3	0	0.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



<感想>

◎活用度 4

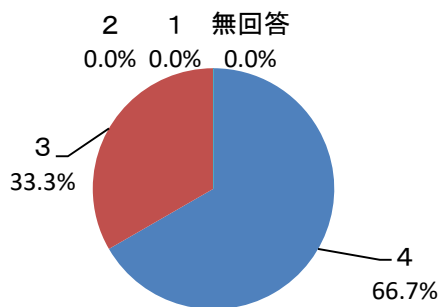
- ・ もっと小平市の魅力を発信できるような仕事をしたいと改めて感じた。
- ・ 必ずやり遂げます。
- ・ 今後の業務に向かう指針にします。

<行動宣言の内容>

- ・ コダレンジャーで知名度アップ作戦
- ・ 縁故会員登録まず10名
- ・ 指定管理全施設へあいさつまわりするぞ！！
- ・ 地域と行政の結び役になります
- ・ 自身も地域活動に積極的に参加します
- ・ 全国の事例を広く収集し生かします

(2) 本研修は現在取り組んでいるまたは取り組み予定の活動に活用できる内容でしたか？

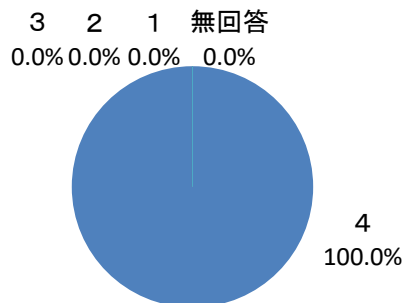
		N= 3	
<活用度>		回答数	%
↑ 活用できる 活用できない ↓	4	2	66.7%
	3	1	33.3%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



(3) 他の地域との交流・ネットワークについてお伺いします。

①本研修に参加して、他の地域のメンバーと交流は深まりましたか？

		N= 3	
<活用度>		回答数	%
↑ 交流が深まった 交流できなかった ↓	4	3	100.0%
	3	0	0.0%
	2	0	0.0%
	1	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		3	100.0%



②研修後も今回参加のメンバーと交流を深めるためのアイデアがあればお聞かせください。

- ・ 十分だったと思います。Facebook もつながり、今後も連絡がとれるのではないかと思います。
- ・ SNS で情報交換。
- ・ メーリングリストによる情報交換。

(4) 研修全体についてお伺いします。

①研修の開催時期、実施期間(2泊3日)、開催場所、参加条件はどうでしたか？

- ・ 12月はちょっと厳しかった。2泊3日はちょうど良かった。高知初で想像以上に勉強になった。
- ・ 今回受講生3名ということで非常に密の濃い内容でよかったです。グループコンサル的な研修という意味で、一般的には10名くらいがベターとは思いますが今回はラッキーでした。
- ・ ちょうど良かった。

②本研修は期待に沿った内容でしたか？

- ・ 実際に活動をやっていないとかなりキツイ内容だった。机上の空論にならないよう、実現していきたい。
- ・ 欲しかった情報にも出あえました。ナイスなタイミング。まさにタイムリーな内容でした。
- ・ 期待通りでした。

(5) 人財塾では、JUMP、JIAM等での2泊3日程度の大教室での講義中心の研修を行うとともに、当該研修の既受講者等を対象とした、今回のような課題解決型の比較的少人数の研修を実施しています。大教室での研修とは別に、既受講者等を対象とした研修を実施するとしたら、どのような内容の研修が望ましいと思いますか？

- ・ 受講生の自治体に行って紹介してもらうとか面白いと思う。
- ・ 大人数、中人数、少人数の法則に従い、大きな会場での研修をベーシック。比較的10名前後の中人数でグローイング的なコース。個別のコンサル、という感じです。
- ・ 今回のような形式が合っていると思います。様々な地域で開催すれば、全国の人たちも参加しやすいと思います。

(6) 今回の研修についてのご感想をご自由にお書きください。

- ・ 刺激だらけで、ぐさぐさと刺さるくらい痛い研修だった。その反面、自分の成長につながったとともに、将来こういうことがしたいと明確な夢を持つことができた気がする。本当にありがとうございました。
- ・ 飯盛先生と直接お話できたこと、目黒さんにすばらしい情報をいただけたこと、三宅さんにこうした方が補助金申請通す可能性が高くなりますよ、というアドバイスをいただけたこと、村上理事長から聞いたお話から、向かう方向に確信をもてたこと、みなさんに出会えたこと、最高でした！！
- ・ 期待していた通りの内容でした。自身が関わっている業務と直接関連するようなことも多く、参考になる事例もたくさん聞くことができました。

平成29年度



# 全国地域づくり人財塾

## － 課題解決編（フィールドワーク型）－

総務省では、「全国地域づくり人財塾」等の受講を経て地域づくりの実践を始めた方等を対象に、課題解決の糸口発見や更なる活動へのステップアップの場とするために、本講座を開催いたします。

「地域づくり人」として更なる実践を考えている方、全国の有志とのネットワークを構築したい方、新しい事業・取組を検討されている方、是非ご参加ください。

グループによる実践的なプランニングを通じて実現のための手法を学んでみませんか。

日 程： 平成29年12月14日(木)～16日(土)[2泊3日]  
テ ー マ： 地域資源を活かした事業創造

講 師： 飯盛 義徳 慶應義塾大学総合政策学部学部長補佐／教授（総務省「人材力活性化研究会」座長）

会 場： NPO法人土佐山アカデミー（高知県高知市）、NPO法人NPO砂浜美術館（高知県黒潮町）

対 象： 地方公共団体職員又は地域づくりに取り組むNPO関係者等の皆様

※ 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできません。

※ 事前課題として、地域の状況や課題、研修で学びたいことなどについてのプレゼン資料の作成（発表時間10分程度の分量、Microsoft社のPower Pointで作成）が必要となります。

定 員： 15名（受付は先着順となります。お申込み受付後、受講案内、事前課題の詳細をお送りします。）

宿 泊： 高知共済会館（高知市）[相部屋]、ネスト・ウエストガーデン土佐（黒潮町）[相部屋] ※外泊不可

経 費： 18,000円

※ 研修、宿泊、食事（1日目夕食、2日目朝食、3日目朝食・昼食）が含まれます。

※ 2日目夕食は交流会を予定（各自負担）。

申込方法： 申込書に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールにてお申し込みください。

※ 申込期限：平成29年11月24日(金)まで。

■メイン講師 慶應義塾大学総合政策学部学部長補佐／教授 飯盛 義徳 氏



地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的方策を探究されています。その豊富なご経験と、先進事例の成功要因に基づいて、「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から、参加者の皆さんが実践されている、地域づくり活動の課題についてアドバイスをいただきます。

<講師略歴>

佐賀県生まれ。慶應義塾大学大学院経営管理研究科単位取得退学、博士（経営学）。1987年、松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年、同校修了後、飯盛教材株式会社入社。1999年、アントレプレナー育成スクールNPO法人鳳雛塾を設立。2002年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任。2008年、慶應義塾大学総合政策学部准教授。2014年から現職。「域学連携」を各地で推進。総務省人材力活性化研究会座長、総務省過疎問題懇談会委員、総務省地域づくり懇談会委員などを務める。

お問合せ

総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

担当：三宅地域支援専門官、菊池係長、高浦事務官 Tel：03-5253-5391

お申込み

(株)価値総合研究所 全国地域づくり人財塾係 担当：木村、目黒

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1

Tel：03-5205-7901 Fax：03-5205-7922 Mail：zinzai@vmi.co.jp

## ■プログラム構成

※プログラムは都合により変更となる可能性があります。

1

### 【事前課題】現在の地域活動の状況・課題の整理

参加者が各地域で実践している地域づくり活動の状況、抱えている課題及び本研修で学びたいことについて事前にまとめていただき、当日発表していただきます。

2

### 【フィールドワーク】地域の取組の視察

実際に地域に赴き、地域の取組を関係者から伺います。

#### ■フィールドワーク①

特定非営利活動法人土佐山アカデミー  
(高知県高知市土佐山)

土佐山アカデミーは、高知市の源流域である中山間地「土佐山(旧土佐山村)」を拠点として「人が自然の一部として生きる文化を育む」というミッションの実現に向けて「学びの場づくり事業」「つながりづくり事業」「文化・社会づくり事業」といった事業を実施しています。ここでは、土佐山アカデミーが大切にしている“地域の資源を活かし、新たな出会いやアイデアを育む”、「学びの場」、「創る場」、「活かす場」づくりのポイント等を学びます。

【ホームページ: <http://tosayamaacademy.org/>】

#### ■フィールドワーク②

特定非営利活動法人NPO砂浜美術館  
(高知県幡多郡黒潮町)

町の“ありのままの風景”そのものを美術館と考え、そこにある豊かな自然と、そこに暮らす人びとの営みを、訪れた人びとが自分自身で、見方をかえたり、想像力を働かせたりしながら、一つひとつ大切な「作品」として楽しむ「砂浜美術館」を運営しています。ここでは砂浜美術館を学ぶことを通じて、町全体を美術館と捉える発想法や視点、特に、自然や地場産業、地域の人々の暮らしを「地域の価値」として発見する考え方等のポイントを学びます。

【ホームページ: <http://www.sunabi.com/>】

3

### 【グループワーク】課題の共有と解決糸口の発見

事前課題を、さまざまな地域から集う参加者間で共有し、代表的な課題をケーススタディとして取り上げ、多面的な視点から、その解決策をグループワーク形式(1グループ5名程度)で討議します。参加者間で議論を深め、課題解決の糸口を探します。

4

### 【成果発表】課題解決策と実行計画案の発表

各地域の課題について、グループワークで議論した解決策および地域での実行計画案を全体発表します。

## ■現地講師の紹介

### ■現地講師 特定非営利活動法人土佐山アカデミー事務局長 吉富慎作 氏



内閣府地域活性化伝道師。山口県下関市出身。外資系広告代理店勤務時代に坂本龍馬のポータルサイト「龍馬街道」を立上げ高知と深く関わる。2013年2月、土佐山アカデミーの想いに共感し移住。中山間地域をもっと面白くをモットーに活動中！

### ■現地講師 特定非営利活動法人NPO砂浜美術館理事長 村上健太郎 氏



神奈川県出身。大学卒業後、会社つとめを経て、2002年、砂浜美術館の考え方や取り組みに惹かれ、縁もゆかりもない町に移住。2011年から現職。ちょっとあやしい幡多弁(地元の方言)をあやつりながら、日々地域の魅力を発信している。

## ■プログラム(予定)

### ■12月14日(木)【フィールドワーク・事前課題発表】

12月14日(水) 12:30 JR高知駅改札口(外) 集合

※昼食は済ませてからお集まりください。

12:30-13:00 【受付】(JR高知駅)

13:00 JR高知駅 出発(バスで移動) ※車中にてオリエンテーション

14:00-16:00 【フィールドワーク】

・「土佐山アカデミー(高知市土佐山)」を現地視察

16:00-18:30 【事前課題等の発表・講評等】

・事前課題等の発表



19:30 【夕食・交流会】

※宿泊は「高知共済会館」(相部屋)

### ■12月15日(金)【グループワーク・フィールドワーク】

9:00-11:30 【グループワーク】

・事前課題を踏まえたグループワーク

11:30-13:00 【フィールドワーク】

・「ひろめ市場(高知市帯屋町)」を散策

13:00 ひろめ市場 出発(バスで移動) ※車中学習

14:30-16:00 【フィールドワーク】

・「砂浜美術館(黒潮町)」を現地視察

16:30-18:30 【グループワーク】

・フィールドワークを踏まえた事業計画案の作成

19:30 【交流会】

※宿泊は「ネスト・ウエストガーデン土佐」(相部屋)



### ■12月16日(土)【グループワーク・成果発表】

9:00-11:20 【グループワーク】

・グループワークによる事業計画案の作成

11:20-12:20 【成果発表】

・事業計画案のプレゼンテーション

13:00-14:00 【総括講義】

14:10 現地出発(バスで移動)

16:10 JR高知駅 解散



## ■受講生の声

- 期待以上に密の濃い研修で充実しました。
- 人前でプレゼンすることは、あまりない為、実際に行えること、また、講評をいただけたことは有難い。
- 一つの事業を起こしていく奥深さ、大変さを少し経験できた。もっと沢山知識を深めていく必要があると感じた。
- 役割分担と時間配分を決めてやることの大切さを味わった。理論を通すためのデータにも力を入れたい。
- 事業計画を立てる事の難しさ、チームをうまく機能させる難しさを感じました。事業計画をしっかりと考えることが大切で何度も考えることが大事だと感じました。
- テーマなど、それぞれの着眼点の違いや、経験の違いによる思考の差を見れた。地域の中での話し合いに活用できそう。



# 全国地域づくり人財塾 — 課題解決編(フィールドワーク型) — 受講申込書

平成29年12月14日(木)～16日(土)(3日間)

・必要事項をご記入いただき、下記の申込先にFAX又はメールでお申し込み下さい。

申込締切: 11月24日(金)

申込先:

(株)価値総合研究所 全国地域づくり人財塾係 担当:木村、目黒  
FAX: 03-5205-7922 Mail: zinzai@vmi.co.jp

- ・申込は先着順となります。定員に到達次第、締切とさせていただきます。
- ・一つの団体で複数名申し込みされる場合は、応募状況によって抽選となります。
- ・研修受講の際には、事前課題に取り組んでいただきます。詳細は、受講通知送付時にお知らせします。

氏 名	所 属 ・ 役 職	性 別
ふりがな		男 ・ 女
	携 帯 T E L	

取り組んでいる 地域づくりの 活動概要			
連絡先 (受講決定通知 の送付先)	氏 名		所 属 ・ 役 職
	ふりがな		
	〒		
	TEL		
	E-mail		

2日目交流会の出欠

出 席 ・ 欠 席

## 参考資料 4. 人材力活性化研究会 資料

### 1. 第 21 回人材力活性化研究会

## 第21回人材力活性化研究会

### 議事次第

- 開催日時 平成29年6月8日(木)13:30～15:30
- 開催場所 総務省(合同庁舎2号館) 共用会議室3
- 議 事
  1. 「全国地域づくり人財塾」実施報告について
  2. 平成29年度の事業概要について
    - ・ 「全国地域づくり人財塾」@JAMP開催(案)について
    - ・ 「全国地域づくり人財塾」@地方開催について
    - ・ 平成29年度のフィールドワーク事業について
  3. 人財塾修了生への支援について
  4. 意見交換(最近の地域づくり好事例について)
- 配布資料
  - ・ 資料1 「全国地域づくり人財塾」実績報告について
  - ・ 資料2-1 「全国地域づくり人財塾」～平成28年度までの展開～
  - ・ 資料2-2 平成29年度における人材研・人財塾の展開(案)
  - ・ 資料2-3 平成29年度「全国地域づくり人財塾」(@JAMP)のカリキュラム(案)
  - ・ 資料2-4 全国地域づくり人財塾(地方開催)(案)
  - ・ 資料2-5 課題解決編(フィールドワーク型・少人数型)(案)
  - ・ 資料3 「全国地域づくり人財塾」修了生の活動への支援について(案)

## 「全国地域づくり人財塾」実績報告について(1)

資料1

### 開催日時・会場

平成28年5月10日(水)～12日(金) 全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市)

### 参加者の状況

参加者数 36名(男性38人 女性16人)※年齢層・参加団体区分・地域の内訳は以下のとおり

～29歳	14人	最年少 23歳 最年長 69歳 平均 37歳	市	39人	北海道	1人	近畿	16人
30～39歳	16人		町 村	10人	東北	3人	中国	9人
40～49歳	15人				関東	4人	四国	1人
50～59歳	6人		その他	5人	中部	12人	九州	8人
60歳～	3人							

### 研修概要

- 人材力活性化研究会の構成員等が実践事例を基に研修を実施
- 講師との直接対話(3R)、オフィスアワー(課外)の実施
- 人材塾の卒業生(4名)による事例報告等

### 受講生の声(アンケートより抜粋)

#### (研修時間・研修内容関係)

- ・全体的にコマ数が多い。時間的な余裕がない。
- ・一つのテーマにもう少し時間を割いて、グループワークなどをしてほしい。
- ・講義を聴いてから直接対話してほしい。
- ・グルーブワークがもう少しあってもよかった。
- ・研修最後の宣言は、大きな輪になり一言ずつ全員が宣言してほしい。

#### (ステップアップ研修の要望等)

- ・現地での実践研修。
- ・参加者から提案された事例、現に取り組んでいる活動・課題についてのグループ討議。
- ・まちづくりの目的別(自治会支援、産業振興、福祉等)に分けてほしい。
- ・失敗例を取り上げてほしい。
- ・メンバー間で話し合えるフォローアップ研修。



1

## 「全国地域づくり人財塾」実績報告について(2)

### 開催日時・会場

平成28年6月1日(木)～2日(金) 自治大学校 (東京都立川市)

### 参加者の状況

参加者数 97人(男性83人 女性14人)※年齢層・参加団体区分・地域の内訳は以下のとおり

～34歳	7人	最年少 27歳 最年長 53歳 平均 42.6歳	都道府県	23人	北海道	3人	近畿	7人
35～39歳	21人		市	64人	東北	9人	中国	13人
40～44歳	40人				指定都市	(9人)	関東	16人
45～49歳	24人		町 村	8人	中部	22人	九州	19人
50歳～	5人				その他	2人		

### 研修概要

- 政策専門課程の研修科目として8時限を確保して実施
- 人材力活性化研究会の構成員及び有識者が実践事例を基に講義

### 受講生の声(アンケートより抜粋)

#### (研修時間・参加内容関係)

- ・1コマ70分は短い。時間が短い。(多数)
- ・自分の考えをまとめる時間、振り返りの時間がほしい。

#### (ステップアップ研修の要望等)

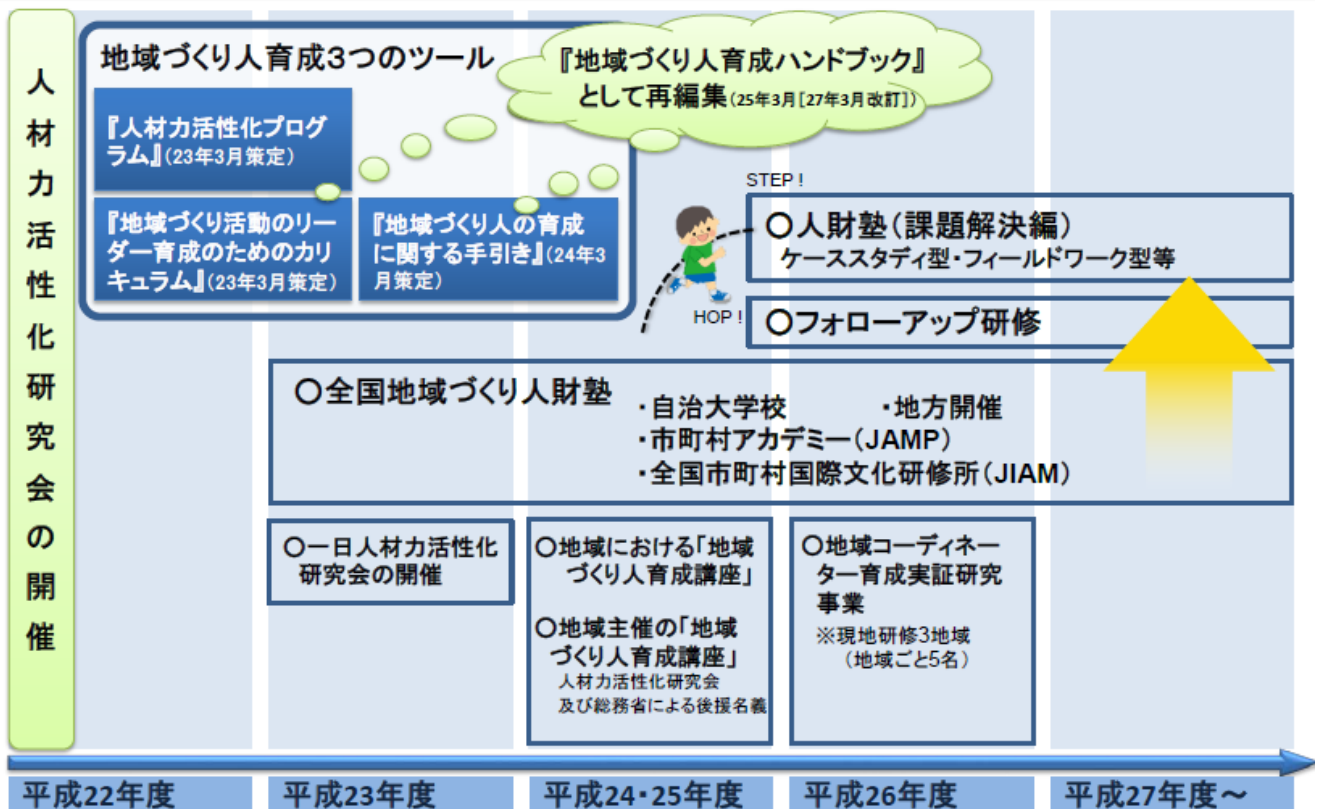
- ・現地研修、フィールドワーク。(多数)
- ・受講生の地域の取組・施策・現状・課題についての討議。(同旨多数)
- ・また、各講師からどのような切り口で対応すべきか指導してほしい。
- ・今回の研修を受けての実践事例の発表。
- ・日本の最前線の取組事例、世界の事情や先進事例。
- ・実践計画の作成、失敗談とそのフォローアップ方法。
- ・成功事例を詳しく掘り下げてほしい。



2

# 全国地域づくり人財塾～平成28年度までの展開～

資料2-1



# 平成29年度における人材研・人財塾の展開(案)

資料2-2

## 調査研究

### 人材力活性化に関する調査研究

- ・今後の人材力活性化の取り組みの展開にかかる課題等について調査・分析等

### フォローアップ研修

(自主開催)

## 人材力活性化研究会構成員

### 実践編①

#### 全国地域づくり人財塾

- ・JIAM(5月11日～13日)
  - ・自治大(6月1日～2日)
  - ・JAMP(10月25日～27日)
- 【大人数型】

### 実践編②

#### 全国地域づくり人財塾(地方開催)

- ・日程 9月21～22日
  - ・場所 福岡市
- 【大人数型・地方版】

### 実践編③

#### 課題解決編

(フィールドワーク型)

- ・日程 12月14～16日
  - ・場所 高知県
- 【少人数・地方版】

【以下について今後具体的に検討】

- 全国地域づくり人財塾(地方開催)の検討
- 「全国地域づくり人財塾」(@JAMP)のカリキュラムの検討
- 課題解決編(フィールドワーク型・少人数型)の検討(資料2-5関係)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00~)
10/26	水		11:00-12:00 入寮受付 11:30- 昼食 12:45- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【導入】 (13:00-13:15) 人材力の活性化 について 総務省人材力活性化 ・連携交流室長  【実践事例】 (13:15-14:10) NPOフュージョン長池の実 践～多様で美しい共生の地 域を創造する人財とは～ NPOフュージョン長池(※1) 理事長 富永 一夫	【実践事例】 地域再生 ～行政に頼らない 感動の地域づくり～  柳谷自治公民館長 豊重 哲郎	【実践事例】	【グループトーク】 (17:00-17:30)  18:00- 交流会
10/27	木	【グループ トーク】 (9:00 -9:25)	【実践事例】 地域づくりのマネジ メントつながりをつ くり創発を生む仕組 みづくり (講義)  慶應義塾大学SFC研究所長 総合政策学部 教授 飯盛 義徳	【実践事例】	【講師との直接対話】	【講師との直接対話】	【グループトーク】 (17:00~17:30)  19:30-課外(直接対話)
10/28	金	【グループ トーク】 (9:00 -9:25)	【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者からの報告	【成果発表と振り返り】	14:10-14:20 閉講		

全国地域づくり人財塾(地方開催)(案)

(開催目的)

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしなが、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが重要。そのような状況を生み出すために必要となる地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材を全国各地域において育成するため、人材力活性化研究会の構成員が直接赴いて育成することを目的とする。

開催候補地について

- 昨年度は宮城県仙台市における開催。
- また、人材力活性化研究会の実践編となる全国地域づくり人財塾は、現在、以下のとおり。
  - ・ 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)・・・主に西日本在住の地方公務員が中心
  - ・ 市町村職員中央研修所(千葉県千葉市)・・・主に東日本在住の地方公務員が中心
  - ・ 総務省自治大学校(東京都立川市)・・・全国の地方公務員を対象に政策専門課程内で短期間の実施
- 以上から、今年度は九州(福岡県福岡市・9月21~22日)において開催を行うこととする。

開催概要(案)

- 対象人数:100名程度(昨年度は70名が参加)の地方公務員、地域づくりに興味関心があるNPO職員等
- 日程:1泊2日
- カリキュラムイメージ:①座学の講義  
②分科会(講師との直接対話)

「全国地域づくり人財塾」修了生の事後アンケート等においてフィールドワーク型研修の要望が多いこと等を踏まえ、人財塾修了生や地域づくりの実践をする者等15～20名程度を対象に、地域づくりの現地に赴き当該事例を参考として地域の抱えている課題の共有と課題解決策及び実行計画案の作成等を内容とする研修事業を実施する。

### 研修計画（案）

○開催日時及び開催地域：高知県高知市、幡多郡黒潮町

※最近の課題解決編（フィールドワーク型）開催地は、㊸石川県七尾市、鳳珠郡能登町、㊹三重県伊勢市、㊺滋賀県米原市

○研修カリキュラム（案）

1.【事前課題】現在の地域活動の状況・地域課題の整理

参加者が各地域で実践している地域づくり活動の状況、抱えている課題及び本研修で学びたいことについて当日発表

2.【フィールドワーク】地域の取組の視察

実際に現地に赴き、関係者から地域の取組を伺う

3.【グループワーク】課題の共有と解決糸口の発見

事前課題を参加者間で共有し、代表的な課題をケーススタディとして取り上げ、現地視察での気づき等多面的な視点から、その解決策をグループワーク形式で討議

4.【成果発表】課題解決策と実行計画案の発表

グループワークで議論した解決策及び地域での実行計画案を全体発表

○その他

→地域おこし協力隊員の参加についてどうするか。

※平成28年度は、対象者として「地域おこし協力隊員」を加えたところ、参加13名中8名が地域おこし協力隊員であった。



## (案②) 修了生が地方版人財塾・フォローアップ研修等を開催する際の支援

- 修了生が地域で人財塾開催や、フォローアップ研修を開催する際に、総務省が人材力活性化研究会構成員等講師を派遣(総務省が旅費・謝金等を負担)することとしてはどうか。



・地域の人にも是非〇〇  
先生の話を聞いて欲しい。  
・近隣の修了生と継続して  
ネットワークを構築したい。  
どうしたらいいのだろう？

修了生

・地域版人財塾の開催に  
より取組の輪を広げる。  
・フォローアップ研修により  
モチベーションを維持!



修了生

地方での人財塾開催・フォローアップ研修開催  
に対する総務省による支援(案)

- ・ 総務省から講師の派遣
- ・ 総務省が講師の謝金・旅費を負担 等



## 2. 第22回人材力活性化研究会

### 第22回 人材力活性化研究会 議事次第

- 開催日時：平成30年2月26日（月）14：00～16：00
- 開催場所：総務省（合同庁舎2号館） 総務省6階会議室
- 議事
  1. 「全国地域づくり人財塾」実績報告について
    - (1) 「全国地域づくり人財塾」（地方開催 in 福岡）実施報告
    - (2) 「全国地域づくり人財塾」（@JAMP）実施報告
    - (3) 「全国地域づくり人財塾課題解決編（フィールドワーク型）」実施報告
    - (4) 「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修
  2. 平成30年度「全国地域づくり人財塾」実施計画（案）について
  3. 平成30年度「全国地域づくり人財塾」のカリキュラム（案）について
  4. 「人材力活性化に関する調査研究事業」報告書骨子（案）について
  5. その他
- 配付資料
  - ・ 資料1-1 「全国地域づくり人財塾」（地方開催 in 福岡）実績報告
  - ・ 資料1-2 「全国地域づくり人財塾」（@JAMP）実績報告
  - ・ 資料1-3 「全国地域づくり人財塾課題解決編（フィールドワーク型）」実績報告
  - ・ 資料2 「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修
  - ・ 資料3 第21回研究会における主な議論
  - ・ 資料4 平成30年度「全国地域づくり人財塾」実施計画（案）
  - ・ 資料5-1 平成30年度「全国地域づくり人財塾」（@JIAM）のカリキュラム（案）
  - ・ 資料5-2 平成30年度「全国地域づくり人財塾」（@JAMP）のカリキュラム（案）
  - ・ 資料5-3 平成30年度「全国地域づくり人財塾」（@自治大学校）（素案）
  - ・ 資料6 平成30年度「全国地域づくり人財塾」地方開催（案）
  - ・ 資料7 「人材力活性化に関する調査研究事業」報告書骨子（案）

## 「全国地域づくり人財塾」地方開催in福岡

資料1-1

### 開催日時・会場

平成29年9月21日(木)～22日(金) 福岡国際会議場 (福岡県福岡市)

### 参加者の状況

参加者数 85名 [修了者数 63名(男性48人 女性15人)]

### 研修概要

- 人材力活性化研究会構成員が実践事例を基に研修及び直接対話を実施
- 外部講師 森山 奈美氏(株式会社御成川代表取締役)、井手 修身氏(イデアパートナーズ(株))

### 受講生の声(アンケートより抜粋)

#### (研修時間・参加人数関係)

- ・研修の申し込みの案内が遅かったので行政への連絡を早めをお願いしたいと思いました。
- ・講義の後に直接対話の講師を選択できればもっと良かった。
- ・受講者の中には途中集中力が落ちてあからさまに携帯をされる人があり、見ていて残念でした。募集の段階でレポート提出などされてはいいかでしょうか。見られる方々は大変だと思いますが…。

#### (ステップアップ研修の要望等)

- ・受講生の活動について講師がアドバイスをを行う形。受講生のプランも講師のアドバイスも共有したい。
- ・地域おこし協力隊員の成功例、現在活動して成功されていることなども伺いたいと思いました(協力隊員として)
- ・グループワークを多くとり入れるなど、実際に考える時間も(手を動かす?)あればもっとよいのではないかと思います。
- ・実地調査や政策提言などを行う研修(フォローアップについて)
- ・今回の経験がその後どう生かされたかの事例発表会を開催する。



## 「全国地域づくり人財塾」@JAMP

資料1-2

### 開催日時・会場

平成29年10月25日(水)～27日(金) 市町村中央職員研修所 (千葉県千葉市)

### 参加者の状況

参加者数 56名

### 研修概要

- 人材力活性化研究会の構成員等が実践事例を基に研修を実施
- 外部講師 山田 一久氏(社会福祉法人スマイリングパーク 理事長)
- 講師との直接対話(2R)の実施
- 人財塾の修了生(2名)による事例報告 等

### 受講生の声(アンケートより抜粋)

#### (研修時間・研修内容関係)

- ・3日間と短い期間であるため、もう少し長く研修をしたいと思った。講師の話がたくさん聞きたい。
- ・講師との直接対話について、もっと多くの方と対話をしたかった。また、対話の際に初めてお会いする講師についてはその方の活動内容の説明から始まるので対話の時間が短く残念だった。
- ・直接対話の時間は気兼ねなく講師の先生方に質問することができて大変有意義だった。
- ・全国各地から意欲あふれる受講生が集い、一緒に勉強ができ、とても刺激的でした。もう少し受講生同士が論議できる時間があれば良かったと思います。
- ・講師陣には民間の方が多かったが、参加者に民間の人がいて、違う視点での交流が始まるともっと研修の意味合いが変わるし、地域も変わると思いました。

#### (ステップアップ研修の要望等)

- ・集落再生の現場での実践研修。1週間～2週間、実際の現場での調査・分析、提案、実施までをロールプレイ。
- ・実際に地域づくりが行われている現地を見ながら、試行錯誤の経緯や周囲の雰囲気を感じてみたい。
- ・数か月後、数年後と継続的に報告できる活動事例の報告会をやってみたい。



1

## 「全国地域づくり人財塾課題解決編(フィールドワーク型)」 資料1-3

### 開催日時・会場

平成29年12月14日(木)～16日(土) 高知県高知市・黒潮町

### 参加者の状況

参加者数 3名(男性2人 女性1人)※うち人財塾修了者は1名

### 研修概要

- 受講者の事前課題の発表、飯盛座長が実践事例を基に講義
- 個人ワークによるテーマ選定、具体的実行計画検討・取りまとめ・発表
- フィールドワーク(土佐山アカデミー・砂浜美術館)
- 飯盛座長による全体講評、受講生による行動宣言の作成・発表

### 受講生の声(アンケートより一部抜粋)

#### (研修全般)

・刺激だらけで、ぐさぐさと刺さるくらい痛い研修だった。その反面、自分の成長につながったとともに、将来こういうことがしたいと明確な夢を持つことができた気がする。本当にありがとうございました。

・飯盛先生と直接お話できたこと、目黒さんにすばらしい情報をいただいたこと、こうした方が補助金申請通す可能性が高くなりますよ、というアドバイスをいただいたこと、村上理事長から聞いたお話から、向かう方向に確信をもてたこと、みなさんに出会えたこと、最高でした！！

・期待していた通りの内容でした。自身が関わっている業務と直接関連するようなことも多く、参考になる事例もたくさん聞くことができました。

#### (ステップアップ研修の要望等)

・受講生の自治体に行って紹介してもらうとか面白いと思う。

・大人数、中人数、少人数の法則に従い、大きな会場での研修をベーシック。比較的10名前後の中人数でグローイング的なコース。個別のコンサル、という感じです。

・今回のような形式が合っていると思います。様々な地域で開催すれば、全国の人たちも参加しやすいと思います。



## 「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修①

資料2

### 概要

人材力活性化研究会の構成員や大学講師等を招へいた講義のほか、参加者が自分の地域についてプレゼンを行い、それに対して他の参加者からフィードバックを行う形式で開催。

東日本支部においては、平成25年4月以降、3か月毎に開催され、20回となった。また、西日本においてはこれまで四国、中国、関西地区において、それぞれテーマを設定して不定期に開催されている。さらに、平成28年度、平成29年度の地方開催を機に、東北、九州での自主研修が、それぞれスタート。

### 開催状況

年度	日時	場所	テーマ	
東日本支部	25 平成25年4月17日、7月19日、10月3日、平成26年1月29日	長池公園自然館	あったらいいな、こんな〇〇(市)	
	26 平成26年4月23日	長池公園自然館	あったらいいな、こんな〇〇(市)	
	平成26年7月9日	地域活性化センター	あったらいいな、こんな〇〇(市)	
	平成26年10月8日	地域活性化センター	よりよい「コーディネーター」とは？	
	平成27年1月7日	地域活性化センター	人財塾での行動宣言の実践状況の報告、抱負	
	27 平成27年4月15日	地域活性化センター	今、これから	
	平成27年7月29日	長池公園自然館	指定管理者制度の10年を検証する	
	平成27年10月21日	ルネこだいら	“みんなが集まる場”とは？	
	平成28年1月21日	フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ	地域とかわる“楽しさ”と“難しさ”	
	28 平成28年4月28日	千葉市生涯学習センター	地域の未来イメージをつくる～千葉市の新たな取り組みをケースに～	
	平成28年7月28日	山武市ふれあいセンター	図書館が発信する山武市の魅力！	
	平成28年11月7日	首都大学東京	学生との交流で、新たな創発を！	
	平成29年1月20日	地域活性化センター	人財力とは何か…いま再び考える	
	29 平成29年4月13日	長池公園自然館	公園力とは何か…都市公園法改正を考える	
西日本支部	平成29年7月19日	白鷗大学東キャンパス	市民協働とは何かを考える	
	平成29年10月17日	移住・交流情報ガーデン	持続可能な移住交流とは？	
	平成30年1月15日	首都大学東京	若者政策を考える	
	25 平成26年2月23日～25日	松山市ほか	移住対策	
	26 平成26年10月11日～12日	周南市	若手による地域づくり	
	27 平成27年9月26日～27日	河内長野市	開催地における地域づくり(中山間地の活動拠点整備・運用、地区まちづくり会の活動)	
	29 平成29年8月5日～6日	西予市		
	仙台	28 平成28年8月2日	仙台国際センター	地域と関わる中であなたが大切にしたいことは？
		宮崎	29 平成30年1月27日	三股町まち・ひと・しごと情報交流センター

## 「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修②

### 全国地域づくり人財塾 東日本支部

#### 1. 概要

人材力活性化研究会の構成員や大学講師を招聘した講義のほか、参加者から自分の地域についてプレゼンを行い、それに対して他の参加者からフィードバックを行う形式で開催。

#### 2. 開催状況

平成24年度の人財塾@市町村アカデミーの受講生が中心となって企画・開催。平成25年4月以降、3か月毎に開催。平日開催だが、人財塾の未受講生を含め、東京ほか近隣県の市町村職員を中心に1回あたり20名程度の参加。第18回は東京圏以外で初めて開催。

【平成29年度(第1回研究会以降)の開催状況】

- (第18回) 7月19日会場: 白鷗大学  
主なテーマ: 市民協働とは何かを考える  
参加者数: 15名
- (第19回) 10月17日会場: 移住・交流ガーデン  
主なテーマ: 関東圏の移住を考える  
参加者数: 16名
- (第20回) 1月15日会場: 首都大学東京  
主なテーマ: 若者参加  
参加者数: 22名

### 全国地域づくり人財塾・九州フォローアップ セミナー(宮崎県三股町)

#### 1. 概要

平成29年度の全国地域づくり人財塾in福岡を受講した笠島氏が課外活動で他のフォローアップ研修事例を聞き、開催を宣言。富永講師、東日本支部を主催する神山氏、事務局と相談しながら宮崎県三股町で企画・実施した九州地区初めてのフォローアップ研修。

#### 2. 開催状況

in福岡や過年度の修了生8名のほか、宮崎、鹿児島、熊本から21名が参加。地元「椎八重公園」の活性化をテーマに、フィールドワーク、グループワークを実施。グループワークでは、宮崎産業経営大学の出山准教授をコーディネーターに住民に使われる公園づくりの検討を行った。

主なテーマ: 地域活性に活かせる公園活用  
参加者数: 21名



**【直接対話について】**

- ・ 講義をした講師が、直接対話を行った方が良い
- ・ 突っ込んだ対話を行うには、時間が短いので、1グループの時間を長くしてはどうか
- ・ 時間を長くして、深い話までできるようにした方が、受講者が何かを持ち帰られる。

**【講義について】**

- 総務省からの講義について
  - ・ 現在の15分程度の施策説明的な話では、不十分ではないか。
  - ・ 国の体制、施策について、1コマ程度は、講義すべきではないか。
  - ・ ある程度の地位の方(地創審)が、講義をした方が良い。
  - ・ 財政に係る講義内容も必要ではないか。
- そのほかの講義について
  - ・ 質問が少ないので、講義終了後、短時間のグループトークの時間を与えて、その講義の疑問点等を話し合わせると、質問も多く出て、深まるのではないか。

**【参加自治体について】**

- ・ 参加している団体に、偏りがあるように思われる。
- ・ 参加したことのない団体にも参加してもらえるように、PRすべき。
- ・ 遠方だと、出席しにくい団体も多いので、地方開催は毎年行ってほしい。

## 平成30年度「全国地域づくり人財塾」等開催計画(案)

月	開催予定	備考
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国地域づくり人財塾</li> <li>  @全国市町村国際文化研修所(JIAM)</li> <li>  5月9日(水)～5月11日(金)</li> <li>  定員:50名を予定</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国地域づくり人財塾 地方開催in〇〇</li> <li>  7月19日(木)～20日(金)</li> <li>  定員:100名程度を想定</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国地域づくり人財塾</li> <li>  @市町村職員中央研修所</li> <li>  9月19日(水)～9月21日(金)</li> <li>  定員:80名を予定</li> </ul>	フィールドワークin〇〇 9月6日(木)～9月8日(土)
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国地域づくり人財塾</li> <li>  @自治大学校</li> <li>  10月17日(水)～10月19日(金)</li> <li>  定員:60名を想定</li> </ul>	自治大学校の講座と合同開催 10月15日(月)～10月19日(金)
2月		人材力活性化研究会?

※現時点で想定されるもののみを記載している。

平成30年度政策・実務研修「全国地域づくり人財塾」@JIAM カリキュラム(案)

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00~)
5/9	水		11:00-12:00 入寮受付 11:30- 昼食 12:30- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【導入】 (13:00-13:15) 人材力の活性化 について <small>総務省自治行政局地域自立応援課 人材力活性化・連携交流室</small> 室長 飛田 章	【実践事例】 住民の学びと自治が育む 地域づくり	【実践事例】 地域再生 ～行政に頼らない感動の 地域づくり～	【グループトーク】 (17:00-17:30)
				【実践事例】 (13:15-14:10) “地域人財が育つ” 地域資源融合型公園経営 NPOフュージョン長池 会長 富永 一夫	長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課 企画幹 木下 巨一	榑谷自治公民館 館長 豊重 哲郎	【大教室1】 18:00- 交流会
5/10	木	【グループトーク】 (9:00-9:25) 地域づくりのマネジメント つながりをつくり 創発を生む仕組みづくり	【実践事例】 『能力を磨く』という人 材育成の考え方  株式会社 紡 代表取締役 玉沖 仁美	【講師との直接対話】 1R-1	【講師との直接対話】 1R-2	【講師との直接対話】 2R-1	【グループトーク】 (17:00~17:30)
		【実践事例】 全国地域づくり人財塾 既受講者からの報告 福井県大野市：林順和	【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者からの報告 宮崎県宮崎市：池袋耕人	【成果発表と振り返り】 飯盛 義徳 富永 一夫 豊重 哲郎	14:10-14:40 研修アンケート記入 ・閉講	【講師との直接対話】 (19:00~20:10)	
5/11	金	【グループトーク】 (9:00-9:25)	【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者からの報告	【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者からの報告	【成果発表と振り返り】 飯盛 義徳 富永 一夫 豊重 哲郎	14:10-14:40 研修アンケート記入 ・閉講	【グループトーク】 (17:00~17:30)

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

◎【講師との直接対話】に出講予定の講師はあくまで仮予定となっております。受講者数に伴い変更されますのでご了承ください。

平成30年度「全国地域づくり人財塾」@JAMPのカリキュラム(案)

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00~)
9/19	水		11:00-12:00 入寮受付 11:30- 昼食 12:30- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【導入講義】 地域力の創造と地域づくり  総務省 地域力創造審議官	【実践事例】 “地域人財が育つ” 地 域資源融合型公園経営 NPOフュージョン長池 会長 富永 一夫	【実践事例】 地域再生～行政に頼ら ない感動の地域づくり～ 榑谷自治公民館館長 豊重 哲郎	【グループトーク】 (17:00-17:30)
							18:00- 交流会
9/20	木	【グループトーク】 (9:00-9:25) 地域づくりのマネジメント つながりをつくり 創発を生む仕組みづくり	【実践事例】 外部講師 or 人材研構成員  慶應義塾大学 総合政策学部 教授 飯盛 義徳	【講師との直接対話】 【1R】	【講師との直接対話】 【1R】	【講師との直接対話】 【2R】	【グループトーク】 (17:00~17:30)
		【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者(2名)からの報告 1時限目及び2時限目、報告者1名ずつ 報告40分、グループ10分、質疑20分	【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者(2名)からの報告	【成果発表と振り返り】	14:10~14:20 閉講あいさつ  総務省 人材力活性化・ 連携交流室長	【講師との直接対話】 (19:00~20:10)	
9/21	金	【グループトーク】 (9:00-9:25)	【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者(2名)からの報告	【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者(2名)からの報告	【成果発表と振り返り】	14:10~14:20 閉講あいさつ  総務省 人材力活性化・ 連携交流室長	【グループトーク】 (17:00~17:30)

平成30年度 自治大学校 全国地域づくり人財塾  
(素案)

月日	時限	時間	講義内容	
10/15 (月)	3	13:00~14:10	自治大学校校長講話	
	4	14:25~15:35	自治大講義	
	5	15:50~17:00		
10/16 (火)	1	9:25~10:35	自治大講義	
	2	10:50~12:00		
	3	13:00~14:10	自治大講義	
	4	14:25~15:35		
	5	15:50~17:00	「演習1」 班別で、事前課題の発表。 班員の課題の中から、演習のテーマとするものを選択し、課題解決の方向を検討	
10/17 (水)	1	9:25~10:35	自治大講義	
	2	10:50~12:00		
	3	13:00~14:10	【合同講義】 講師:総務省	
	4	14:25~15:35	【合同講義】 講師:人材研構成員	
	5	15:50~17:00	「演習2」 選択した課題と課題解決の方向の発表	
10/18 (木)	1	9:25~10:35	【合同講義】 講師:人材研構成員	
	2	10:50~12:00	【合同講義】 講師:人材研構成員	
	3	13:00~14:10	「演習3」 課題解決に向けた班別検討 (全体の1/3)	「直接対話1」 人材研構成員 班別検討を行っていない班 (全体の2/3)
	4	14:25~15:35	「演習3」 課題解決に向けた班別検討 (全体の1/3)	「直接対話2」 人材研構成員 班別検討を行っていない班 (全体の2/3)
	5	15:50~17:00	「演習3」 課題解決に向けた班別検討 (全体の1/3)	「直接対話3」 人材研構成員 班別検討を行っていない班 (全体の2/3)
10/19 (金)	1	9:25~10:35	人材研構成員or外部講師講義	
	2	10:50~12:00	「演習4」 課題解決発表に向けた班別検討	
	3	13:00~14:10	「演習5」 課題解決の発表(10分/班)×10班 講師からの講評	
	4	14:25~15:35	ふりかえり	



## 平成30年度 全国地域づくり人財塾 地方開催(案)

資料6

### (開催目的)

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが重要。そのような状況を生み出すために必要となる地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材を全国各地域において育成するため、人材力活性化研究会の構成員が直接赴いて育成することを目的とする。

### 来年度以降の開催計画(案)

○全国を北海道・東北・北陸・関東甲信越・東海・近畿・中国四国・九州沖縄の8ブロックに分けて年に1ブロックにおいて実施することとする(地域バランス重視型)。

→平成29年度は、第20回研究会における構成員の意見を踏まえるとともに、福岡市において開催  
平成30年度は、北海道、北陸、中国・四国から、選定

### <(参考)福岡開催に当たり事前に考慮した事項>

- ・全国、特に九州地域からの受講生が比較的容易に参加でき、また宿泊場所が研修場所又は近隣において確保可能なこと
- ・受講生約100名が、余裕をもって使用できる会場を確保できること(直接対話会場の確保も含む)

1

## (参考)平成29年度 全国地域づくり人財塾 (地方開催in福岡)

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが重要。そのような状況を生み出すために必要となる地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材を、人材力活性化研究会の構成員が中心となって育成する。

### 開催概要

場所:福岡国際会議場5F

福岡県福岡市博多区石城町2-1

日時:平成29年9月21日(木)~22日(金)

定員:120名 ※当日受講者85名(男性67人 女性18人)

対象:地域づくりに関心のある行政職員・地域づくり団体・NPO関係者

主催:総務省

### 主な研修講師

※人材力活性化研究会構成員を中心に有識者を招へい

飯盛 義徳 (慶應義塾大学総合政策学部 学部長補佐、教授)

富永 一夫 (NPO法人 NPOフュージョン長池 会長)

豊重 哲郎 (柳谷自治公民館 館長)

森山 奈美 (株式会社御祓川 代表取締役)

井手 修身 (アイデアパートナーズ株式会社 代表取締役)

### 全国地域づくり人財塾

IN 福岡

**主催:総務省**

地域の活性化に向け、地域独自の強みや魅力を高める創造的な人材が、行ってみたい、自分でやりたいと望むような地域づくりが求められています。  
そうした地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる「地域づくり人」を育成するため、「全国地域づくり人財塾」を、福岡県福岡市において開催します。

**開催日** 平成29年 9月21日(木)・22日(金)  
※お泊りの場所は各自でご用意ください。

9/21(木)	13:00~17:30	開塾
	18:00~19:30	開塾と夕食会
9/22(金)	9:00~11:30	開塾
	12:30~15:45	開塾との連携対話(分科会形式)

**対象** ●地域づくりに関心のある行政職員・地域づくり団体・NPO関係者の方  
●原則、全拝聴を受講いただける方

**定員** 120名 (受付は先着順。定員になり次第、締切となります。)

**受講料** 無料 (1日目の夜食会場は別途必要です。)  
※2日目の研修は各自でご用意ください。 ※お泊りの場所は各自でご用意ください。

**会場** 福岡国際会議場5F  
(福岡県福岡市博多区石城町2-1)

**【受講生の声】** 平成28年度 地方開催in自治 アナクトより  
● 講師の先生方の熱意ある御講演を受けて、自分もまだ頑張れるなとモチベーションが上がりました。  
● 自分自身の活動を多角的な視点から確認したかったので、個別事例や全く興味なかった事例の中に、共通のコミュニケーションやヒントを得ることができました。  
● 地域づくりをする上で求められているスキルや姿勢が、見えたように思います。

**【主催】** 総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室  
担当: 国土地域政策課 事務局 担当: 本村、日高、日原  
E-mail: zms@pam.go.jp Tel: 03-5265-7901 Fax: 03-5265-7922  
〒100-0004 東京都千代田区千代田1-9-2 大手町1729ビル17F 5F・7F 5階

**お問い合わせ先**  
→ お問い合わせは、こちら。  
財団法人 人材力活性化研究会 全国地域づくり人財塾事務局 担当: 本村、日高、日原  
E-mail: zms@pam.go.jp Tel: 03-5265-7901 Fax: 03-5265-7922  
〒100-0004 東京都千代田区千代田1-9-2 大手町1729ビル17F 5F・7F 5階

1

**プログラム詳細**

**9月21日(木)**

※1日目の昼食は済ませて、ご参加ください

12:00-12:45 受付  
12:45-13:00 開講・オリエンテーション

**13:00-13:30 【導入講義】**

『人材力の活性化について』

講師：総務省人材力活性化・連携交流室室長 飛田 章

**13:40-14:40 【講義】**

『“地域人財が育つ”地域資源融合型公園経営』

NPO法人NPOフュージョン長池会長 富永 一夫 氏

**14:55-16:05 【講義】**

『地域再生～行政に頼らない地域づくり～』

柳谷自治公民館館長 豊重 哲郎 氏

**16:20-17:30 【講義】**

『民間まちづくり会社の挑戦～御蔵川がなくなクマセ・ミセ・ヒト～』

株式会社御蔵川代表取締役 森山 奈美 氏

**18:00-19:30 【交流会】**

福岡国際会議場内 参加者間の交流を深める懇親会を開催します（会費制 ¥3,500円）

**9月22日(金)**

※2日目の昼食は各自でご用意ください

※施設のレストランは混雑する場合があります

※施設内に売店、コンビニエンスストアはありません

**9:00-10:10 【講義】**

『人材×組織×マーケティングによる地域活性化戦略』

イデアパートナーズ株式会社代表取締役/NPO法人イデア九州・アジア理事長 井手 修身 氏

**10:25-11:35 【講義】**

『地域づくりのマネジメント～つながりをつくり創発を生む仕組みづくり～』

慶應義塾大学SFC研究所所長/総合政策学部教授 飯盛 義徳 氏

**11:35-12:30 【昼食・休憩】**

**12:30-14:00 【直接対話Ⅰ】**

※講師が参加者からの質問に答えるセミ形式の時間です。

※5名の講師(コース)から2名(コース)を受講できます。

**14:15-15:45 【直接対話Ⅱ】**

①：飯盛講師 ②：富永講師 ③：豊重講師

④：森山講師 ⑤：飛田講師

※希望する講師(コース)を申込時にご選択ください。

**16:00-16:30 【振り返り・閉講】**

**16:40-17:30 【課外活動】**

※任意参加

**講師紹介(講義順)**

※12月28日0月1日現在の役職

**■特定非営利活動法人NPOフュージョン長池会長 富永 一夫 氏**



東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンが、47歳で会社を辞めて、暮らしを支えるNPO法人を設立。住宅管理支援事業、高齢福祉支援事業等々の事業を行い、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組む。後継者育成にも専心し、2016年に全ての経営権を30代と20代に後継し、2017年8月にはワーキング教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。「都市郊外」の新興住宅地で、既存住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた経験をもとに、地域活動の真諦を講義いたしました。

**■柳谷自治公民館館長 豊重 哲郎 氏**



柳谷(やわだん)は、鹿児島県肝野に位置し、奥深くまで豊かな生き方を旨とする「むら」です。土着型を活用した環境保全型農業の志を持った若年志望が高評価され、第5回日本自治行政学会「自治官」の最優秀賞を受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。全住民参加型の感動の地域づくりを実現している豊重自治公民館長の経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出して、活動に巻き込むためのポイントを講義いたします。

**■株式会社御蔵川(みそぎがわ)代表取締役 森山 奈美 氏**



都市計画コンサルタントとして各種地域計画に携わる傍ら、故郷 七尾の民間まちづくり会社(株)御蔵川の設立に携わり、1999年より同社サブマネージャーを兼務。2007年より現職。川を中心としたまちづくりに取り組み、日本水次賞国土交通大臣賞や経済産業省「ランヤルビジネス6選」等を受賞。また「船倉宿舎」で地域課題に挑戦する若者を対象に施設するなど、様々な主体が関わるまちづくりのつぎ役として、船倉の元気を発信し「小さな世界都市」七尾の実現を目指して日々挑戦中。その経験から、地域づくりの真諦を講義いたします。

**■イデアパートナーズ株式会社代表取締役/NPO法人イデア九州・アジア理事長 井手 修身 氏**



理(ワケ)を経て、2006年観光・実務事業のリニューアルを行ってイデアパートナーズを設立。2010年にはNPO法人イデア九州・アジアを設立し、九州を中心に地域の再生と活性化のプロデュースを多数手がける。福岡の街を歩み見学するイベント/ネットワーク開催し全国一の規模に育てる。また日本版DMOの経験づくりの第一人者として、産官学有財団の連携まちづくり公認など九州各地のDMO構築の支援に携わる。その経験をもとに、「人材×組織×マーケティングによる地域活性化戦略」について講義いたします。

**■慶應義塾大学SFC研究所所長/総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏**



地域づくりの第一人者である慶應義塾大学SFC教授は、実践を通じて地域の元気の具体的な方を提案されています。その御経験から、先進事例の成功要因に基づき、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」の活かし、リーダーを支えるための人材「など地域づくりにおける人材力の観点から講義いたします。

**■総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室室長 飛田 章**

1995年4月運輸省(現国土交通省)入省、石川県企画振興部長、国土交通省総合政策局政策課企画専門官、日本貨物鉄道株式会社総合企画本部経営企画部グループリーダー、国土交通省自動車局安全政策課安全監理室長、東北運輸局総務部長を経て、2017年7月より現職。

「人材力活性化に関する調査研究事業」報告書骨子（案）

序章 調査の目的

1. 調査の目的
2. 調査研究事業（全国地域づくり人財塾のほか、課題解決編（フィールドワーク型）と地方開催（in 福岡）を実施。

第Ⅰ章 全国地域づくり人財塾

1. 全国地域づくり人財塾とは
2. 今年度の実施状況（JIAM、JAMP、自治大、及び地方開催（in 福岡）
3. 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修

第Ⅱ章 全国地域づくり人財塾課題解決編

1. 全国地域づくり人財塾課題解決編
2. フィールドワーク型の実施状況

第Ⅲ章 人材力活性化研究会

1. 第21回研究会
2. 第22回研究会

第Ⅳ章 本年度の調査研究事業の成果と今後の方向性

1. 本年度の調査研究事業の成果と課題
2. 今後の展開に向けて

参考資料：

全国地域づくり人財塾初級編 受講者アンケート等



平成29年度 人材力活性化に関する調査研究事業 報告書  
平成30年3月

総務省 地域力創造グループ 地域自立応援課 人材力活性化・連携交流室  
〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2  
電話 03-5253-5111 (代)

(事業請負) 株式会社価値総合研究所  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2  
電話 : 03-5205-7901 FAX : 03-5205-7922

